Panasonic

取扱説明書 活用ガイド
デジタルカメラ

品番 DC-FZ85



困ったときは？
メッセージ表示 P.250
Q&A 故障かな？と思ったら P.252

知りたいことの探し方 P.2
目次 P.4
機能別目次 P.8
メニュー一覧 P.141
さくいん P.267

LUMIX

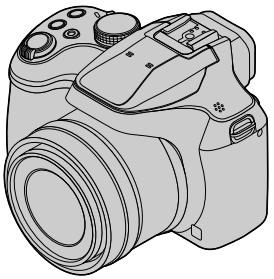
このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
●ご使用の前に「安全上のご注意」（付属冊子「取扱説明書」）を必ずお読みください。

最新のサポート情報は、下記サポートサイトでご確認ください。
http://panasonic.jp/support/dsc/

DVQP1222ZC
M0217KZ2079

知りたいことの探し方

取扱説明書 活用ガイドでは、知りたいことを以下のページから探すことができます。
参照ページをクリックすると、該当ページへ移動しますので、知りたいことを素早く探せます。



「目次」から探す ➡P.4 ～

機能から探す
ー機能別目次ー ➡P.8 ～

「各部の名前と働き」から探す ➡P.11 ～

「モニター / ファインダーの表示一覧」から探す ➡P.245 ～

カメラに表示されたメッセージから探す
ーメッセージ表示ー ➡P.250 ～

メニュー名から探す
ーメニュー一覧ー ➡P.141 ～

撮影.....P.141
動画.....P.159
カスタム.....P.161
セットアップ.....P.169
再生.....P.177

「Q&A 故障かな？と思ったら」から探す ➡P.252 ～

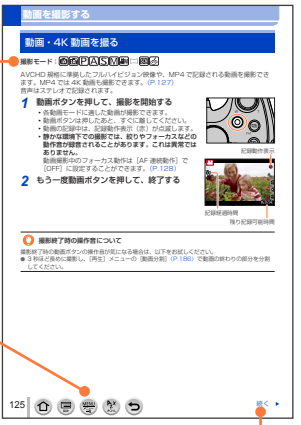
キーワードから探す
ーさくいんー ➡P.267 ～

本書の詳しい読み方は、次ページへ

Wi-Fi については、192 ページへ

本書の見方

撮影モード表示について
アイコンが黒く表示されている撮影モードでは、記載されているメニューや機能を選択 / 実行できます。
C は登録した撮影モードによって使える機能が変わります。



クリックすると、説明が次のページに続きます。

クリックすると「知りたいことの探し方」のページに移動します。

クリックすると「目次」のページに移動します。

クリックすると「メニュー一覧」のページに移動します。

クリックすると「さくいん」のページに移動します。

クリックすると、直前に表示していたページに戻ります。

- 本文中やさくいんの参照ページをクリックすると、該当ページへ移動します。
- 本書では、バッテリーパックを「バッテリー」と表記します。
- 本書では、メモリーカードを「カード」と表記します。

■本文中の記号について

MENU　［MENU/SET］ボタンを押してメニューの設定をすることを示しています。

Wi-Fi　［Wi-Fi］ボタンを押して Wi-Fi の設定をすることを示しています。

上手に使うためのヒントや撮影のポイントを記載しています。

(P.00)　参照ページを示しています。クリックするとそのページに移動します。

本書では、メニュー設定の手順を次のように説明しています。
例）［撮影］メニューで、［クオリティ］を［ ］から［ ］に設定する
MENU ボタン→ 📷 ［撮影］→［クオリティ］→［ ］

- 本書ではダイヤル、レバーの操作を次のように表します。

後ダイヤルを回す	
後ダイヤルを押す	
ズームレバーを回す	

知りたいことの探し方 2
本書の見方 3
機能別目次 8

はじめに

ご使用の前に 10
各部の名前と働き 11

準備

レンズキャップ / ショルダーストラップを付ける 13
レンズキャップを付ける 13
ショルダーストラップを付ける 14
バッテリーを充電する 15
バッテリーを入れる 16
充電する 17
カード（別売）を入れる・取り出す 20
カードについて 21
カードをフォーマット（初期化）する 22
記録可能枚数・時間の目安 22
時計を合わせる 24
時計を合わせ直す 25

基本操作

カメラの構え方 26
撮影時に使うボタン / ダイヤル / レバー 27
[LVF] ボタン（ファインダー撮影） 27
ズームレバー（ズームを使う） 27
シャッターボタン（写真を撮る） 28
動画ボタン（動画を撮る） 29
モードダイヤル（撮影モードを選ぶ） 29
後ダイヤル 30
カーソルボタン / [MENU/SET] ボタン（項目を選択 / 決定する） 30
[DISP.] ボタン（画面の表示情報を切り換える） 31
タッチパネル（タッチ操作） 33
画面をタッチして撮影する（タッチシャッター） 34
狙った場所に簡単に明るさを合わせる（タッチ AE） 35
メニューを使って設定する 36
よく使うメニューをすぐに呼び出す（クイックメニュー） 38
クイックメニューをお好みの項目に変更する 39
よく使う機能をボタンに割り当てる（ファンクションボタン） 40
撮影時にファンクションボタンを使う 40
再生時にファンクションボタンを使う 42
文字を入力する 43

撮影モード

- カメラにおまかせで撮る（インテリジェントオートモード）.....44
  - 手持ちで夜景を撮る（i 手持ち夜景）.....46
  - 階調豊かな写真に合成する（iHDR）.....47
  - 色合いを設定する.....47
  - 明るさ（露出）・背景のボケ具合（ボケ味コントロール）を設定する.....48
- 絞り値とシャッタースピードを自動で設定して撮る（プログラム AE モード）.....49
- 絞り値 / シャッタースピードを決めて撮る.....50
  - 絞り値を決めて撮る（絞り優先 AE モード）.....50
  - シャッタースピードを決めて撮る（シャッター優先 AE モード）.....50
  - 絞り値とシャッタースピードを決めて撮る（マニュアル露出モード）.....51
  - 絞り効果 / シャッタースピード効果を確認する（プレビューモード）.....52
  - 絞り値 / シャッタースピードを簡単に適正露出に合わせる（ワンプッシュ AE）.....53
- パノラマ写真を撮る（パノラマモード）.....54
- 撮影シーンに合わせて撮る（シーンガイドモード）.....56
  - シーンガイドモードの種類.....56
- 画像効果を変えて撮る（クリエイティブコントロールモード）.....59
  - 画像効果の種類.....59
- 絞り / シャッタースピード / ISO 感度を決めて動画を撮る（クリエイティブ動画モード）.....64
  - スローモーション動画を撮影する（ハイスピード動画）.....65
  - 動画撮影中の操作音を抑えて撮る.....66
- お好みの設定を登録して撮る（カスタムモード）.....67
  - お好みのメニュー設定を登録する（カスタムセット登録）.....67
  - 登録したカスタムセットで撮る.....67

ピント・明るさ（露出）・色合いの設定

- 自動でピントを合わせる（オートフォーカス）.....68
  - シャッターボタン半押し時のピント合わせ動作を設定する（AFS、AFF、AFC）.....69
  - オートフォーカスモードを切り換える.....70
  - AF エリアの位置や大きさを変更する.....76
  - タッチパッドで AF エリアの位置を設定する.....78
  - タッチした位置にピントと明るさを合わせる.....79
- 近づいて撮る（マクロ撮影）.....80
- 手動でピントを合わせる（マニュアルフォーカス）.....81
- ピントや露出を固定して撮る（AF/AE ロック）.....83
- 露出を補正して撮る.....84
- ISO 感度を設定する.....85
- ホワイトバランスを調整する.....86

4K フォト・ドライブの設定

- 4K フォトで撮影して、写真を選んで保存する 89
  - 4K フォトで撮る 89
  - 4K 連写ファイルから写真を選び保存する ... 91
  - 4K フォトについてのお知らせ 94
- 撮影後にピントを操作する（フォーカスセレクト / フォーカス合成）... 97
  - フォーカスセレクト撮影をする 97
  - ピントを合わせる位置を選び、写真を保存する（フォーカスセレクト）..... 98
  - ピントが合う範囲を選び、１枚の写真に合成する（フォーカス合成）..... 99
  - フォーカスセレクト / フォーカス合成のお知らせ 100
- ドライブモードを選ぶ 101
  - 連写する 102
  - セルフタイマーで撮る 103
- 設定を自動的に変えながら撮る（ブラケット撮影）..... 104
  - 露出ブラケット 105
- 一定の間隔で自動的に撮影する（インターバル撮影）..... 106
- ストップモーション動画の作成（コマ撮りアニメ）..... 108

手ブレ補正・ズーム・フラッシュ

- 手ブレを補正する 110
- ズームを使って撮る 112
  - ズームの種類と用途 112
  - タッチ操作でズームを使う（タッチズーム）..... 115
- フラッシュを使って撮る 116
- フラッシュの機能を設定する 118
  - 発光モードを変更する（マニュアルフラッシュ）..... 118
  - フラッシュモードを切り換える 119
  - 後幕シンクロに設定する 121
  - フラッシュの発光量を調整する 122
  - 露出補正時にフラッシュ発光量を連動させる 122
- ワイヤレスでフラッシュ撮影する ... 123

動画を撮影する

- 動画・4K 動画を撮る 125
  - フォーマット、サイズ、記録フレームレートを設定する 127
  - 動画撮影時のピントの合わせ方（AF 連続動作）..... 128
- カメラを固定したままパン / ズーム動画を撮る（4K ライブクロップ）..... 129
- 動画撮影中に写真を撮影する 131
- スナップムービーを撮る 132

再生・編集

- 写真を見る 134
- 動画を見る 135
  - 動画から写真を切り出す 136
- 再生方法を切り換える 137
  - 拡大して見る（再生ズーム）..... 137
  - 画像を一覧で見る（マルチ再生）..... 137
  - 画像を撮影日ごとに見る（カレンダー再生）..... 138
- グループ画像を見る 139
- 写真や動画を消す（消去）..... 140

メニュー機能を使う

■ メニュー一覧 141
[撮影] 141
[動画] 159
[カスタム] 161
[セットアップ] 169
[再生] 177

Wi-Fi

■ Wi-Fi® 機能でできること 192
■ Wi-Fi 機能について 193
■ スマートフォンとつないで使う 195
スマートフォン / タブレットアプリ「Panasonic Image App」をインストールする 195
スマートフォンと接続する 196
スマートフォンで撮影する（リモート撮影） 200
カメラの画像を再生する 201
カメラの画像を保存する 201
カメラの画像を SNS へ送信する 202
カメラの画像にスマートフォンから位置情報を追加する 202
スナップムービーで撮影した動画をスマートフォンでお好みに結合する 204
■ テレビに写真を映す 205
■ 画像を送る 206
■ スマートフォンに画像を送る 209
■ ワイヤレスでプリントする 210
■ AV 機器に画像を送る 211
■ パソコンに画像を送る 212
■ Web サービスを利用する 214
Web サービスに画像を送る 214
クラウド同期サービスに画像を送る 217
■ LUMIX CLUB (PicMate) への登録 218
LUMIX CLUB (PicMate) を設定する 218
宅外 AV 機器を設定する 222
■ 接続について 223
無線アクセスポイントを経由して接続する（[ネットワーク経由]） 224
直接接続する（[直接接続]） 226
以前と同じ設定で素早く接続する（[履歴から接続する] / [お気に入りから接続する]） 227
■ [Wi-Fi 設定] 229

他の機器との接続

■ 4K 動画を楽しむ 230
4K 動画を見る 230
4K 動画を残す 230
■ テレビで見る 231
ビエラリンク（HDMI）（HDAVI Control™）を使う 232
■ 写真や動画をパソコンに残す 233
ソフトウェアをダウンロードする 233
写真、動画を取り込む 235
■ 写真や動画をレコーダーに残す 237
■ プリントする 237
写真に日付や文字を入れる 239

その他 Q&A

■ 別売品を使う 240
コンバージョンレンズ（別売） 240
外部フラッシュ（別売） 242
AC アダプター（別売）/DC カプラー（別売） 242
フィルター（別売） 243
■ 海外旅行先で使う 244
■ モニター / ファインダーの表示一覧 245
■ メッセージ表示 250
■ Q&A 故障かな？と思ったら 252
■ 使用上のお願いとお知らせ 259
■ パナソニックスマートアプリのご案内 266
■ さくいん 267

撮影

撮影
- 撮影モード P.29
- プレビュー P.52
- パノラマモード P.54
- マクロ撮影 P.80
- インターバル撮影 P.106
- コマ撮りアニメ P.108
- 多重露出 P.151
- サイレントモード P.161

4K フォト
- 4K フォト P.89
- フォーカスセレクト撮影 P.97

ピント（AF/MF）
- オートフォーカス P.68
- オートフォーカスモード P.70
- AF エリアの位置移動 P.76
- マニュアルフォーカス P.81
- AF/AE ロック P.83

ドライブ
- ドライブモード P.101
- 連写 P.102
- セルフタイマー P.103

露出
- タッチ AE P.35
- ワンプッシュ AE P.53
- AF/AE ロック P.83
- 露出補正 P.84
- ISO 感度 P.85
- 露出ブラケット P.105
- 測光モード P.147

画質・色合い
- ホワイトバランス P.86
- フォトスタイル P.142
- フィルター設定 P.144
- 記録画素数 P.146
- クオリティ P.146
- ハイライトシャドウ P.148
- iD レンジコントロール P.149
- 超解像 P.149
- HDR P.150
- 回折補正 P.154
- 色空間 P.154

フラッシュ
- フラッシュモード P.119
- 後幕シンクロ P.121
- フラッシュ光量調整 P.122
- ワイヤレスフラッシュ設定 ..... P.123、124

動画

動画
- クリエイティブ動画モード P.64
- ハイスピード動画 P.65
- タッチ静音操作 P.66
- 4K 動画 P.125
- 記録方式 P.127
- 画質設定 P.127
- 4K ライブクロップ P.129
- 動画撮影中の写真撮影 P.131
- スナップムービー P.132

音声
- 風音キャンセラー P.159

画面設定
- センターマーカー表示 P.165
- ゼブラパターン表示 P.166
- モノクロライブビュー P.166

セットアップ / カスタム

基本設定
- フォーマット P.22
- 時計設定 P.24
- 表示の切り換え ..... P.31、32
- 視度調整 P.27
- メニューの設定方法 P.36
- クイックメニュー P.38
- 電子音 P.171
- エコモード P.173
- リセット（初期化） P.176

カスタマイズ
- クイックメニューの［カスタム］ P.39
- ファンクションボタン P.40
- カスタムモード P.67
- カスタムメニュー P.161

再生

再生
- 写真の再生 P.134
- 動画の再生 P.135
- 再生ズーム P.137
- マルチ再生 P.137
- 消去 P.140
- オートレビュー P.167

表示 / 再生設定
- スライドショー P.178
- 画像回転 / 縦位置自動回転 ..... P.188、189

編集
- フォーカスセレクト P.98
- フォーカス合成 P.99
- RAW 現像 P.180
- 4K フォト一括保存 P.182
- 比較明合成 P.182
- クリアレタッチ P.183
- リサイズ P.187
- トリミング P.188

情報追加
- 位置情報記録 P.179
- タイトル入力 P.184
- 文字焼き込み P.185

画像設定
- お気に入り P.189
- プリント設定 P.190
- プロテクト P.190

Wi-Fi

接続
- Image App P.195
- WPS（プッシュボタン） ..... P.224、226
- 直接接続 P.226

Image App
- リモート撮影 P.200
- 画像の保存 P.201
- 画像の送信 ..... P.202、209
- 位置情報の送信、追加 P.202
- スナップムービーの結合 P.204

他機器連携
- テレビで写真再生 P.205
- 画像のプリント P.210
- AV 機器に画像を送信 P.211
- パソコンに画像を送信 P.212
- Web サービスに画像を送信 P.214
- クラウド同期サービスの利用 P.217

他機器接続

パソコン
- パソコンに画像を取り込む P.233
- PHOTOfunSTUDIO P.233
- SILKYPIX P.234

テレビ
- テレビで見る P.231
- ビエラリンク P.232

レコーダー
- ダビング P.237

プリンター
- PictBridge（ピクトブリッジ） P.237

ご使用の前に

■本機の取り扱いについて

本機に、強い振動や衝撃、圧力をかけないでください。

● 下記のような状態で使用すると、レンズやモニター、ファインダー、外装ケースが破壊される可能性があります。
また、誤動作や、画像が記録できなくなることもあります。
・本機を落とす、またはぶつける
・レンズ部やモニターを強く押さえつける

レンズ鏡筒をつかんで撮影しないでください。レンズ収納時に指を挟むおそれがあります。

本機から「カタカタ」と音がしたり、手に振動が伝わったりすることがありますが、絞り動作やレンズが移動する音、または内部のモーターの動作による振動であり故障ではありません。

本機は、防じん・防滴・防水仕様ではありません。ほこり・水・砂などの多い場所でのご使用を避けてください。

● 下記のような場所で使用すると、**レンズやボタンの隙間から液体や砂、異物などが入ります。**故障などの原因になるだけでなく、修理できなくなることがありますので、特にお気をつけください。
・砂やほこりの多いところ
・雨の日や浜辺など水がかかるところ

■露付きについて（レンズやモニター、ファインダーが曇るとき）

● 露付きは、温度差や湿度差があると起こります。レンズやモニター、ファインダーの汚れ、かび、故障の発生原因になりますのでお気をつけください。
● 露付きが起こった場合、電源を切り、2 時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、曇りが自然に取れます。

■事前に必ず試し撮りをしてください

大切な撮影（結婚式など）は、必ず事前に試し撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

■撮影内容の補償はできません

本機およびカードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

■著作権にお気をつけください

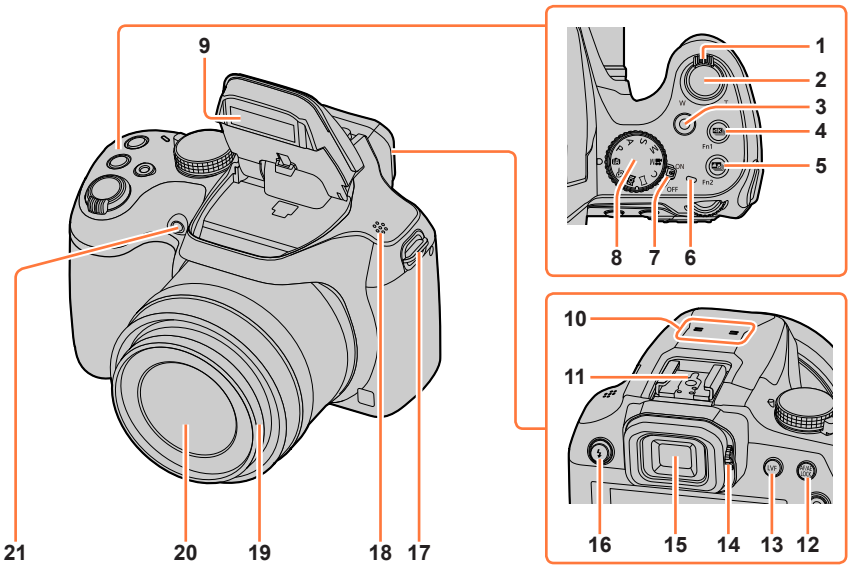
あなたが撮影や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

■「使用上のお願いとお知らせ」も、併せてお読みください（P.259）

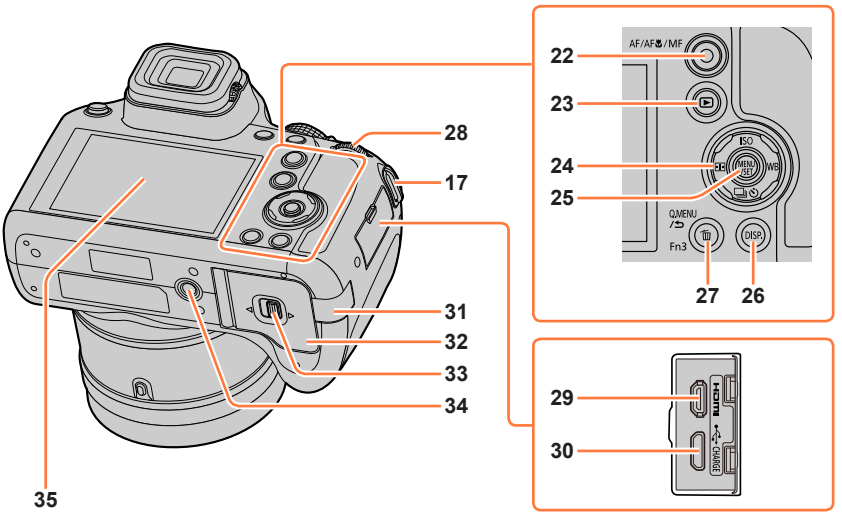
■付属冊子「取扱説明書」に記載の付属品をご確認ください

別売品については 240 ページを参照してください。

各部の名前と働き



1	ズームレバー（P.27）
2	シャッターボタン（P.28）
3	動画ボタン（P.29）
4	[4K]（4K フォトモード）ボタン（P.89）/ [Fn1（ファンクション）] ボタン（P.40）
5	[AF]（フォーカスセレクト）ボタン（P.97）/ [Fn2（ファンクション）] ボタン（P.40）
6	充電ランプ（P.18）/ Wi-Fi®（ワイファイ） 接続ランプ（P.193）
7	電源スイッチ（P.24）
8	モードダイヤル（P.29）
9	フラッシュ発光部（P.116）
10	ステレオマイク（P.26） 指などで塞がないようにしてください。音が記録されにくくなります。
11	ホットシュー（P.242）
12	[AF/AE LOCK（ロック）] ボタン（P.83）
13	[LVF] ボタン（P.27）
14	視度調整ダイヤル（P.27）
15	ファインダー（P.27、245）
16	[⚡]（フラッシュオープン）ボタン（P.116）
17	ショルダーストラップ取り付け部（P.13、14）
18	スピーカー（P.26）
19	レンズ鏡筒
20	レンズ部
21	セルフタイマーランプ（P.103）/ AF 補助光ランプ（P.26、163）



17	ショルダーストラップ取り付け部 (P.13、14)
22	[AF/AF /MF] ボタン (P.68、80、81)
23	[▶]（再生）ボタン (P.134)
24	カーソルボタン (P.30) [ISO]（ISO 感度）（▲）(P.85) [WB]（ホワイトバランス）（▶）(P.86) [ ]（ドライブモード）（▼）(P.101) [ ]（オートフォーカスモード）（◀）(P.70)
25	[MENU/SET] ボタン (P.30、36)
26	[DISP.] ボタン (P.31)
27	[Q.MENU/]（戻る）ボタン (P.38) / [ ]（消去）ボタン (P.140) / [Fn3] ボタン (P.40)
28	後ダイヤル (P.30)
29	[HDMI] 端子 (P.231)
30	[USB/CHARGE] 端子 (P.17、235、237)
31	DC カプラー扉 (P.242) AC アダプターを使用するときは、当社製の AC アダプター（別売：DMW-AC10）と DC カプラー（別売：DMW-DCC6）を使用してください。
32	カード / バッテリー扉 (P.16、20)
33	開閉レバー (P.16、20)
34	三脚取り付け部 (P.262) ねじの長さが 5.5 mm 以上の三脚を取り付けると、本機を三脚にしっかり固定できない場合や、本機を傷つける場合があります。
35	タッチパネル (P.33) / モニター (P.245)

■ファンクションボタン [Fn4] ～ [Fn8] について

- [Fn4] ～ [Fn8] (P.40) は、タッチアイコンです。撮影画面の [Fn] タブをタッチすると表示されます。

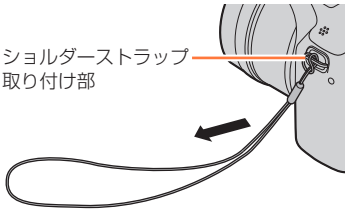
レンズキャップ / ショルダーストラップを付ける

レンズキャップを付ける

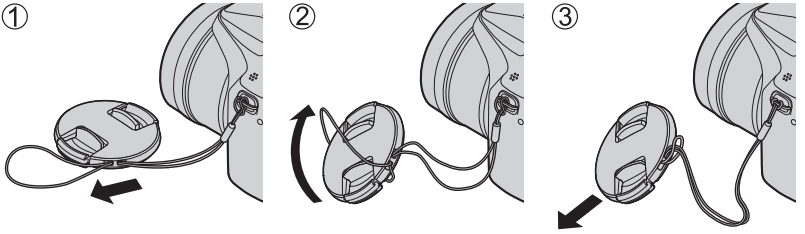
レンズ保護のため、撮影していないときはレンズキャップを付けておいてください。
レンズキャップの紛失防止のため、レンズキャップひもの取り付けをお勧めします。

- レンズキャップひもで本機をぶら下げたり、振り回したりしないでください。
- 電源スイッチを［ON］にするときは、必ずレンズキャップを外してください。
- レンズキャップひもがショルダーストラップなどとからまないようにお気をつけください。

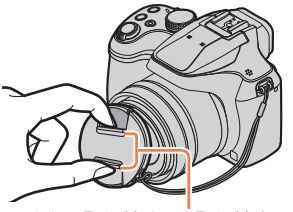
1 本機のショルダーストラップ取り付け部にレンズキャップひもを通す



2 レンズキャップにひもを通す



3 本機にレンズキャップを取り付ける

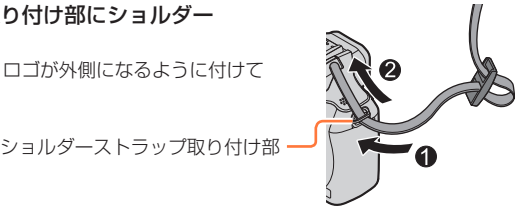


ショルダーストラップを付ける

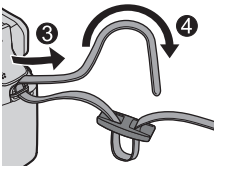
落下防止のため、ショルダーストラップを取り付けてご使用いただくことをお勧めします。

1 **本機のショルダーストラップ取り付け部にショルダーストラップを通す**

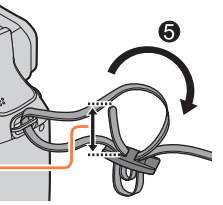
- ショルダーストラップの LUMIX ロゴが外側になるように付けてください。



2 **ショルダーストラップの端を留め具に通す**

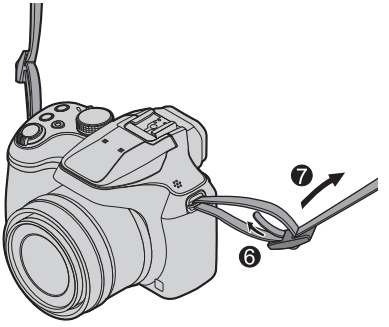


3 **ショルダーストラップの端を留め具のもう一方の穴に通す**



4 **ショルダーストラップを引いて、抜けないことを確認する**

- 手順 ***1*** ～ ***4*** に従って、もう片方のショルダーストラップも取り付けてください。



バッテリーを充電する

本機専用の AC アダプター（付属）、USB 接続ケーブル（付属）、バッテリーを使用してください。

- **お買い上げ時、バッテリーは充電されていません。充電してからお使いください。**
- **本機にバッテリーを入れた状態で充電してください。**

本機の状態	充電
電源オフ	できます
電源オン	できません

● AC アダプター（別売：DMW-AC9）でも、本機にバッテリーを入れて充電できます。
● バッテリーチャージャー（別売：DMW-BTC4）でも充電できます。

本機で使えるバッテリー（2017 年 2 月現在）

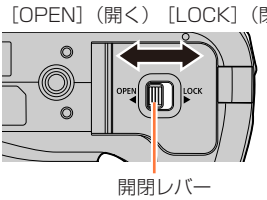
本機で使えるバッテリーは DMW-BMB9 です。

パナソニック純正品に非常によく似た外観をした模造品のバッテリーが一部国内外で流通していることが判明しております。このようなバッテリーの模造品の中には、一定の品質基準を満たした保護装置を備えていないものも存在しており、そのようなバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。安全に商品をご使用いただくために、バッテリーを使用するパナソニック製の機器には、弊社が品質管理を実施して発売しておりますパナソニック純正バッテリーのご使用をお勧めいたします。
なお、弊社では模造品のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

バッテリーを入れる

充電するために、バッテリーを本機に入れます。

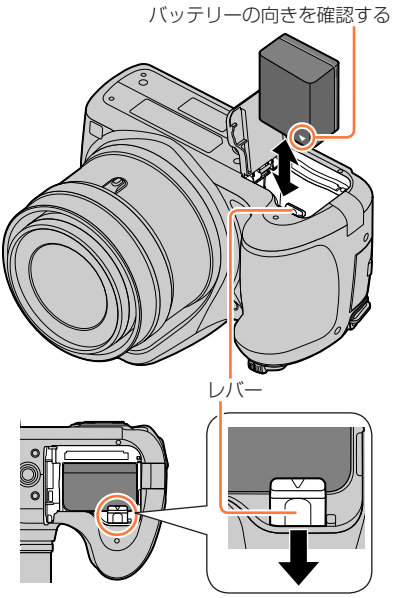
1 開閉レバーを［OPEN］側にスライドさせて、カード / バッテリー扉を開ける



2 バッテリーを奥まで入れる

- バッテリーを奥まで確実に挿入し、バッテリーにレバーがかかっていることを確認する

3 カード / バッテリー扉を閉め、開閉レバーを［LOCK］側にスライドさせる



■取り出すとき
レバーを矢印方向へ引く。

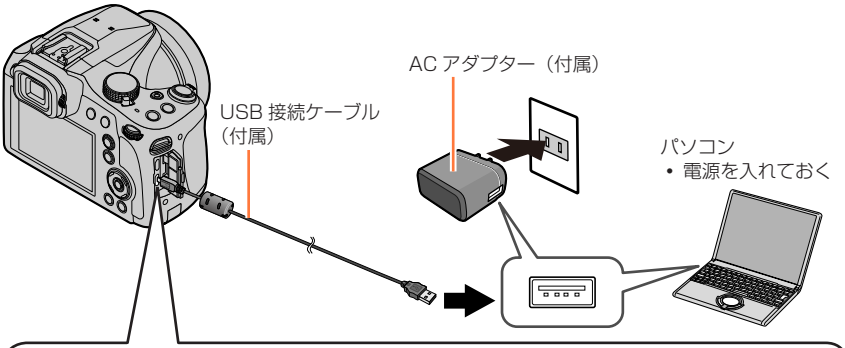
- バッテリーの取り出しは、電源を切り、画面の LUMIX 表示が消えてから行ってください。（本機が正常に動作しなくなったり、カードや撮影内容が壊れる場合があります）
- **使用後は、バッテリーを取り出してください。**

充電する

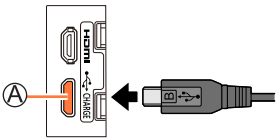
充電は周囲の温度が 10 ℃～ 30 ℃（バッテリーの温度も同様）のところで行うことをお勧めします。

本機にバッテリーを入れてください。
電源が切れていることを確認してください。

電源コンセントまたは、パソコンを使用して充電します。



充電するときは、USB 接続ケーブル（付属）を［USB/CHARGE］端子に接続してください。

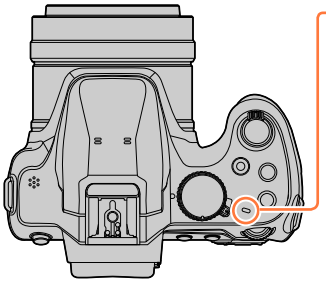


Ⓐ：［USB/CHARGE］端子
• カメラを立てたときに下にある端子です。

• 端子の向きを確認し、まっすぐ入れる。
（向きを逆にすると、端子が変形して故障の原因になります）
また、誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。

- 充電中にパソコンが休止状態になると、充電が中止されることがあります。
- 電源を接続していないノートパソコンと本機を接続した場合は、ノートパソコンの電池が消耗していきます。そのまま長時間放置しないでください。
- 必ずパソコン本体の USB 端子に接続してください。モニターやキーボード、プリンターの USB 端子や USB ハブには接続しないでください。

充電ランプ表示について



充電ランプ
点灯：充電中
消灯：充電終了
（充電終了後は、電源コンセントまたはパソコンとの接続を解除してください）
点滅：充電エラー
（対処方法は 252 ページをお読みください）

充電時間について

AC アダプター（付属）使用時

充電時間	約 170 分

- 充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。バッテリーの使用状況によって充電時間は変わります。高温 / 低温時や長時間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。
- パソコンからの充電時間は、パソコンの給電能力によって異なります。

- 電源プラグの接点部周辺に金属類（クリップなど）を放置しないでください。ショートや発熱による火災や感電の原因になります。
- 付属の USB 接続ケーブル以外は使わないでください。故障の原因になります。
- 付属の AC アダプターまたは当社製 AC アダプター（別売：DMW-AC9）以外は使わないでください。故障の原因になります。
- USB 延長ケーブルは使用しないでください。
- AC アダプター（付属）と USB 接続ケーブル（付属）は本機専用です。他の機器に使用しないでください。
- AC アダプター（付属）は海外でも使うことができます。(P.244)
- 使用後は、バッテリーを取り出してください。（長時間放置すると、バッテリーは消耗します）
- 使用後や充電中、充電直後などはバッテリーが温かくなっています。また使用中は本機も温かくなりますが、異常ではありません。
- バッテリー残量が残っていても、そのまま充電できますが、満充電での頻繁な継ぎ足し充電はお勧めできません。（バッテリーが膨らむ特性があります）
- 停電時など電源コンセントに異常が発生した場合は、充電が正常に終了しないことがあります。USB 接続ケーブル（付属）を抜き、接続し直してください。
- AC アダプター（付属）やパソコンにつないでも本機の充電ランプが点灯しない場合は、正しく接続しているか確認してください。(P.17)

バッテリー残量の表示



バッテリー残量表示（バッテリー使用時のみ）



（赤点滅）

赤点滅したら、バッテリーを充電または満充電されたバッテリーと交換してください。

撮影可能枚数や使用時間の目安

CIPA（カメラ映像機器工業会）規格による。当社製 SDHC メモリーカード使用、付属バッテリー使用。

■写真撮影（モニター使用時）

撮影可能枚数	約 330 枚
撮影使用時間	約 165 分

■写真撮影（ファインダー使用時）

撮影可能枚数	約 240 枚
撮影使用時間	約 120 分

■動画撮影（モニター使用時）

記録方式	AVCHD	MP4	MP4
画質設定	[FHD/17M/60i]	[FHD/28M/60p]	[4K/100M/30p]
撮影可能時間	約 100 分	約 100 分	約 80 分
実撮影可能時間※	約 50 分	約 50 分	約 40 分

※電源の入り切り、撮影の開始と終了、ズーム操作などを繰り返したときに撮影できる時間です。

■再生（モニター使用時）

再生使用時間	約 260 分

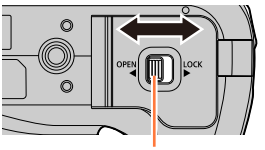
- **使用時間と撮影可能枚数は、周囲環境や使用条件によって変わります。**
  例えば、次の場合、使用時間は少なくなり、撮影可能枚数は減少します。
  - スキー場などの低温下
  - フラッシュ発光やズームなどの動作を繰り返したとき
- 著しく使用できる時間が短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

カード（別売）を入れる・取り出す

• 電源が切れていることを確認してください。

1 **開閉レバーを［OPEN］側にスライドさせて、カード / バッテリー扉を開ける**

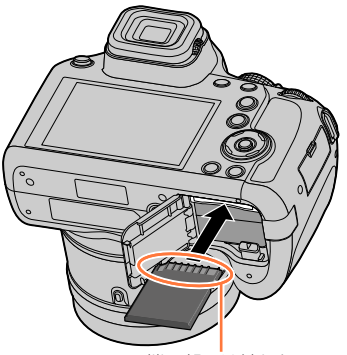
［OPEN］（開く）［LOCK］（閉じる）



開閉レバー

2 **カードを奥まで入れる**

• カードの向きを確認
•「カチッ」と音がするまで押し込む

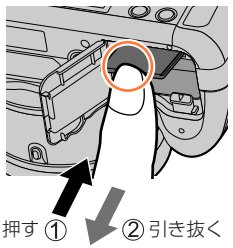


端子部には触れない

3 **カード / バッテリー扉を閉め、開閉レバーを［LOCK］側にスライドさせる**

■取り出すとき

カードの中央を押す



押す ①　②引き抜く

● カードの取り出しは、電源を切り、画面の LUMIX 表示が消えてから行ってください。（本機が正常に動作しなくなったり、カードや撮影内容が壊れる場合があります）

カードについて

SD 規格に準拠した次のカードが使用できます。

カードの種類	容量	備考
SD メモリーカード microSD カード※	512 MB ～ 2 GB	• 本機は UHS-Ⅰ UHS Speed Class 3 規格の SDHC/SDXC メモリーカードに対応しています。 • 左記の当社製カードで動作確認済みです。
SDHC メモリーカード microSDHC カード※	4 GB ～ 32 GB	
SDXC メモリーカード microSDXC カード※	48 GB ～ 128 GB	

※本機で使用する場合は、専用のアダプターを必ず装着してお使いください。

■動画撮影や 4K フォトの撮影とスピードクラスについて

動画の［記録方式］や［画質設定］（P.127）によって必要なカードが異なります。4K フォトの撮影には対応したスピードクラスのカードが必要になります。以下の SD スピードクラスや UHS スピードクラスに対応したカードをお使いください。

• SD スピードクラスや UHS スピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。カードのラベル面などでご確認ください。

［記録方式］	［画質設定］	スピードクラス	表示の例
AVCHD	すべて	Class 4 以上	CLASS 4
MP4	FHD/HD		
MP4	4K/ハイスピード動画	UHS Speed Class 3	3
4K フォト / フォーカスセレクト撮影時		UHS Speed Class 3	3

• 最新情報：http://panasonic.jp/support/dsc/

カードアクセス中は…

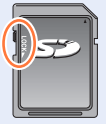
カードに画像を記録しているときは、アクセス表示が赤く表示されます。



● アクセス中（画像の書き込み、読み出しや消去、フォーマット中など）は電源を切ったり、バッテリーやカード、AC アダプター（別売：DMW-AC10）および DC カプラー（別売：DMW-DCC6）を取り外さないでください。また、本機に振動、衝撃や静電気を与えないでください。カードやカードのデータが壊れたり、本機が正常に動作しなくなることがあります。振動、衝撃や静電気により動作が停止した場合は、再度操作してください。

● 書き込み禁止スイッチを［LOCK］側にすると、データの書き込みや消去、フォーマット、撮影日時順での表示などができなくなる場合があります。

● 大切な画像はパソコンなどへの保存をお勧めします。
（電磁波や静電気、故障などにより壊れたり消えることがあります）



書き込み禁止スイッチ

カードをフォーマット（初期化）する

本機で撮影する前に、カードをフォーマットします。
フォーマットするとデータを元に戻すことができませんので、必要なデータを保存してからフォーマットしてください。

MENU ボタン→ [セットアップ] → [フォーマット]

- フォーマットするときは、十分に充電したバッテリーか、AC アダプター（別売：DMW-AC10）および DC カプラー（別売：DMW-DCC6）をご使用ください。
- フォーマット中は、電源を切ったり、他の操作をしないでください。
- フォーマットは、必ず本機で行ってください。パソコンやその他の機器でフォーマットした場合、もう一度本機でフォーマットしてください。

記録可能枚数・時間の目安

記録可能枚数・時間はカードの容量と比例して増減します。（撮影条件、カードの種類により変化します）

記録可能枚数（写真：枚）

画像横縦比［4:3］、クオリティ［▲］の場合

記録画素数	16 GB	32 GB	64 GB	128 GB
L（18M）	1610	3240	6500	12870
EX M（9M）	2970	5950	11760	23290
EX S（4.5M）	5240	10500	20590	40760

画像横縦比［4:3］、クオリティ［RAW▲］の場合

記録画素数	16 GB	32 GB	64 GB	128 GB
L（18M）	490	1000	2000	3970
M（9M）	580	1160	2330	4610
S（4.5M）	630	1270	2540	5040

- 記録可能枚数が 9999 枚を超える場合は、［9999+］と表示されます。

記録可能時間（動画撮影時）（h：時間、m：分、s：秒）

• 記録可能時間は複数の動画を記録したときの合計時間です。

記録方式［AVCHD］の場合

画質設定	16 GB	32 GB	64 GB	128 GB
[FHD/28M/60p]	1h15m00s	2h30m00s	5h00m00s	10h00m00s
[FHD/17M/60i]	2h00m00s	4h05m00s	8h15m00s	16h25m00s
[FHD/24M/30p]	1h25m00s	2h55m00s	5h50m00s	11h35m00s

記録方式［MP4］の場合

画質設定	16 GB	32 GB	64 GB	128 GB
[4K/100M/30p]	20m00s	42m00s	1h20m00s	2h45m00s
[FHD/28M/60p]	1h10m00s	2h30m00s	5h00m00s	9h55m00s
[FHD/20M/30p]	1h35m00s	3h20m00s	6h40m00s	13h15m00s
[HD/10M/30p]	3h05m00s	6h20m00s	12h45m00s	25h25m00s

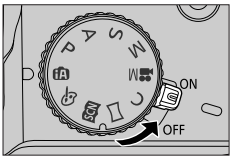
● AVCHD 動画の場合：
ファイルサイズが 4 GB を超える場合は、ファイルは分かれて保存されます。
［画質設定］が［FHD/28M/60p］、［FHD/17M/60i］の場合は、連続記録時間が 29 分 59 秒を超えると記録を停止します。
● ［画質設定］のサイズが［FHD］、［HD］の MP4 動画の場合：
ファイルサイズが 4 GB を超える場合は、ファイルは分かれて保存・再生されます。（撮影は一時中断することなく続けることができます）
［画質設定］が［FHD/28M/60p］の場合は、連続記録時間が 29 分 59 秒を超えると記録を停止します。
● ［画質設定］のサイズが［4K］の MP4 動画の場合：
連続記録時間が 15 分を超えると記録を停止します。
SDHC メモリーカード使用時は、ファイルサイズが 4 GB を超える場合は、ファイルは分かれて保存・再生されます。（撮影は一時中断することなく続けることができます）
SDXC メモリーカードを使用すると、ファイルサイズが 4 GB を超えても 1 つのファイルとして記録できます。
● **画面には、連続して記録できる時間が表示されます。**

時計を合わせる

お買い上げ時は日時が設定されていません。

1 **電源スイッチを［ON］にする**

- お買い上げ時、電源を入れると［時計を設定してください］と表示されます。



2 **［MENU/SET］ボタンを押す**

3 **◀▶で合わせたい項目（年・月・日・時・分）を選び、▲▼で設定する**

表示順・時刻表示形式を設定する場合

- ［表示形式］を選び、［MENU/SET］ボタンを押すと、表示順・時刻表示形式の設定画面が表示されます。

：ホームの時間
：旅行先の時間



表示形式



表示順　時刻表示形式

4 **［MENU/SET］ボタンを押す**

5 **［時計を設定しました］と表示されたら、［MENU/SET］ボタンを押す**

6 **［ホームエリアを設定してください］と表示されたら、［MENU/SET］ボタンを押す**

7 ◀▶ でお住まいの地域を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



● 時計を設定しないと、お店にプリントを依頼するときや、［文字焼き込み］を使うときに、正しい日付をプリントできません。

時計を合わせ直す

1 ［セットアップ］メニューから［時計設定］を選ぶ
- メニュー操作について（P.36）

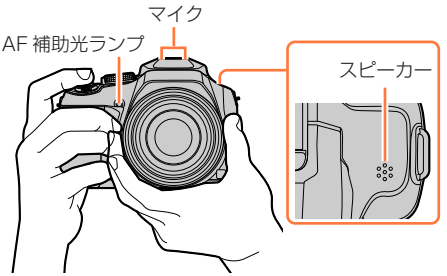
2 日時と表示形式を設定する（24 ページの手順 **3**、**4**）

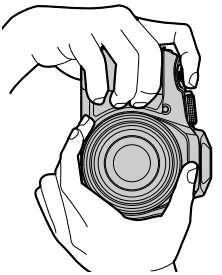
● 時計設定はバッテリーを取り出しても、約 3 か月記憶します。
（満充電のバッテリーを入れて約 24 時間経過した場合）

カメラの構え方

両手で本機を軽く持ち、脇を締め、肩幅くらいに足を開いて構える

- **フラッシュ発光部や AF 補助光ランプ、マイク、スピーカーを指などで塞がないでください。**
- シャッターボタンを押す瞬間に、カメラが動かないように気をつけてください。
- 足場が安定しているか確認し、周囲の人や物などにぶつからないよう気をつけて撮影してください。
- レンズ鏡筒をつかんで撮影しないでください。レンズ収納時に指を挟むおそれがあります。





■縦位置検出機能について

カメラを縦に構えて撮影した写真を、再生時に自動で縦向きに表示することができます。（[縦位置自動回転] を [ON] に設定している場合のみ）

- 本機を上に向けたり、下に向けたりして撮影すると、正しく働かないことがあります。
- 動画、4K フォトの 4K 連写ファイルおよびフォーカスセレクト撮影した画像は、縦向きに表示できません。

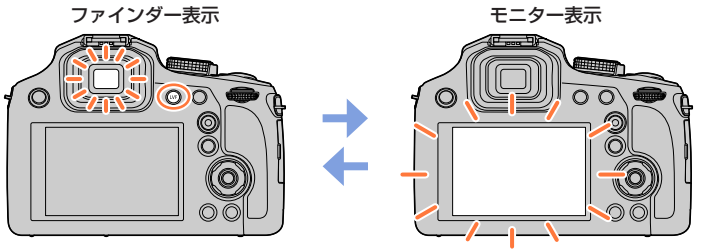


撮影時に使うボタン / ダイヤル / レバー

[LVF] ボタン（ファインダー撮影）

1 **[LVF] ボタンを押す**

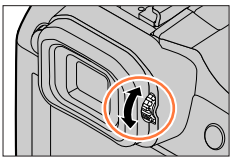
モニター表示とファインダー表示が切り換わります。



- [セットアップ] メニューの [モニター優先（再生）] (P.172) を [ON] に設定すると、再生モードに切り換えたとき、モニターで画像を再生します。

■視度調整について

ファインダー内に表示される文字がはっきり見えるまで視度調整ダイヤルを回して調整してください。



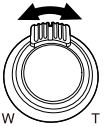
ズームレバー（ズームを使う）

ズームレバーを操作して、写す範囲を調整できます。

- タッチパネルを操作して、ズームを使うこともできます。(P.115)
- ズームの種類と用途について、詳しくは 112 ページをお読みください。

1 **ズームレバーを回す**

T 側：望遠、大きく撮る
W 側：広角、広く撮る
回す角度が大きい：ズームスピードが速い
回す角度が小さい：ズームスピードが遅い



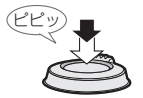
- ズーム中、レンズ鏡筒には触れないでください。
- ピントは、ズームしたあとに合わせてください。
- ズームレバーを操作すると、多少音がしたり振動したりしますが、故障ではありません。

シャッターボタン（写真を撮る）

• [ ] ボタン（▼）を押して、ドライブモードを [ ]（単写）に設定する。

1 シャッターボタンを半押し（軽く押す）して被写体にピントを合わせる

• 絞り値とシャッタースピードが表示されます。（フラッシュ発光時を除き、適正露出にならないときは、赤くなり点滅します）





2 シャッターボタンを全押し（さらに押し込む）して撮影する

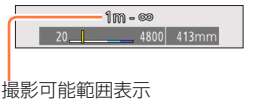


● **[フォーカス / レリーズ優先]**（P.163）**が [フォーカス] に設定されていると、ピントが合うまで撮影できません。**
● **[ライブビューモード]**（P.171）**が [ECO 30fps] に設定されていると、デジタルズームが使えません。**
● メニュー操作中や画像の再生中でも、シャッターボタンを半押しすると、すぐに撮影ができる状態にすることができます。

■ピントの合う範囲について

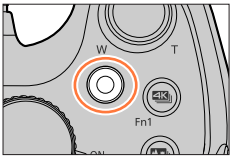
ズーム操作時に撮影可能範囲（ピントの合う範囲）が表示されます。

• シャッターボタン半押し時に、ピントが合っていないと撮影可能範囲表示が赤く表示されます。



撮影可能範囲はズーム位置によって段階的に変化する場合があります。

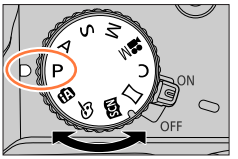
動画ボタン（動画を撮る）



1 動画ボタンを押して、撮影を開始する
- 動画ボタンは押したあと、すぐに離してください。

2 もう一度動画ボタンを押して、撮影を終了する

モードダイヤル（撮影モードを選ぶ）



1 モードダイヤルを切り換える
- モードダイヤルはゆっくり回して確実に各モードに合わせてください。

iA	iA インテリジェントオートモード（P.44）
	iA+ インテリジェントオートプラスモード（P.44）
P	プログラム AE モード（P.49）
A	絞り優先 AE モード（P.50）
S	シャッター優先 AE モード（P.50）
M	マニュアル露出モード（P.51）
M	クリエイティブ動画モード（P.64）
C	カスタムモード（P.67）
	パノラマモード（P.54）
SCN	シーンガイドモード（P.56）
	クリエイティブコントロールモード（P.59）

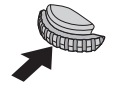
後ダイヤル

後ダイヤルは左右方向に回す操作と、押して決定する操作との 2 とおりあります。

回す
各種設定時には、項目の選択や、数値の設定などを行います。



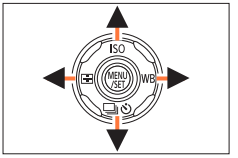
押す
各種設定時には、設定内容の決定など、［MENU/SET］ボタンと同じ操作を行います。



カーソルボタン /［MENU/SET］ボタン（項目を選択 / 決定する）

カーソルボタンを押す：項目の選択や、数値の設定などができます。
［MENU/SET］ボタンを押す：設定内容の決定などができます。

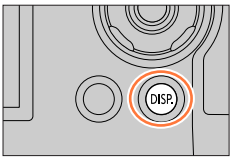
- 本書ではカーソルボタンの上下左右を ▲▼◀▶ で説明しています。
- ［カーソルボタンロック］について （P.41）



[DISP.] ボタン（画面の表示情報を切り換える）

1 **[DISP.] ボタンを押して表示を切り換える**

- しばらく操作せずに、画面の情報が表示されなくなった場合は、[DISP.] ボタンを押す、または画面をタッチすると再度表示されます。



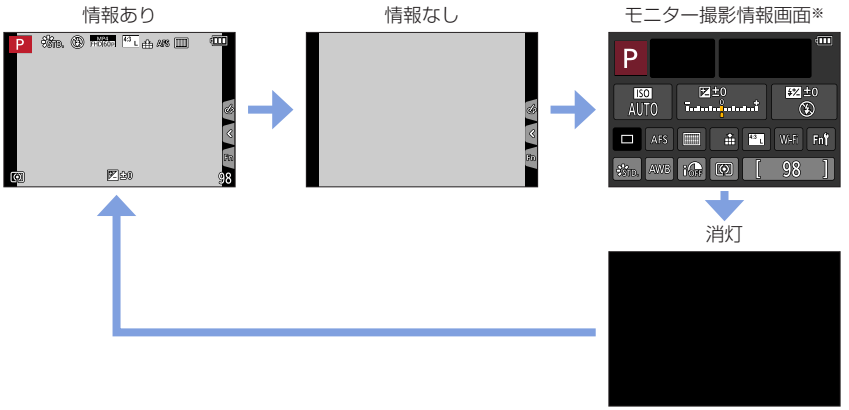
撮影時

モニター / ファインダーの表示方法を切り換えることができます。

MENU ボタン→ [カスタム] → [モニター表示スタイル] / [LVF 表示スタイル]

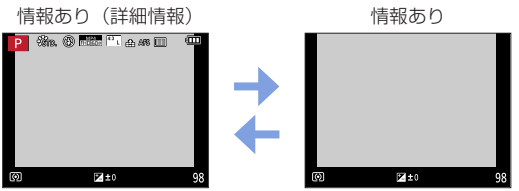
設定：[▭]（モニタースタイル）/ [▯]（ファインダースタイル）

■[▭] モニタースタイル（モニター表示での例です）

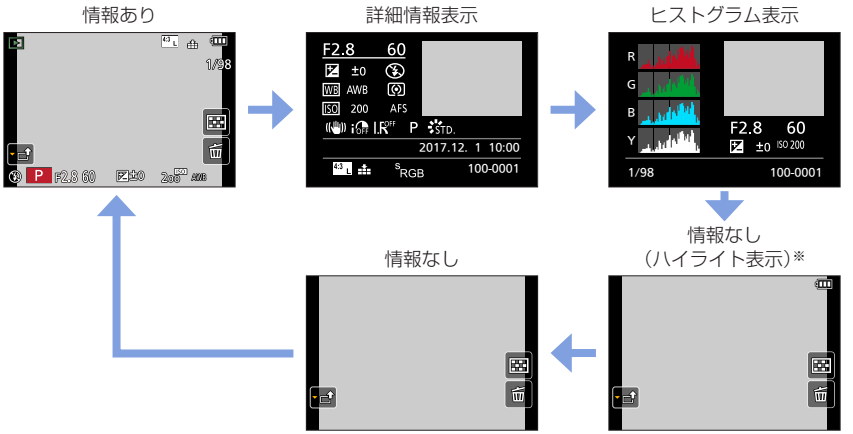


※[カスタム] メニューの [モニター撮影情報画面] を [ON] にしているときのみ表示されます。
各項目をタッチすると、設定を直接変更できます。

■[▭] ファインダースタイル（ファインダー表示での例です）



再生時



※［カスタム］メニューの［ハイライト表示］（P.165）を［ON］にしているときのみ表示されます。

● 動画や 4K 連写ファイルなど、再生するファイルによっては、一部の画面を表示できません。

タッチパネル（タッチ操作）

本機のタッチパネルは、静電容量方式です。タッチパネルは直接指でタッチしてください。

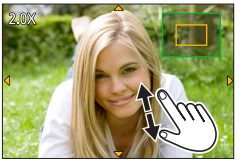
タッチする
タッチパネルに触れて離す動作です。



ドラッグする
タッチパネルに触れたまま動かす動作です。



ピンチする（広げる / 縮める）
タッチパネルを 2 本の指で広げる（ピンチアウト）と拡大し、縮める（ピンチイン）と縮小します。



- タッチパネルは、清潔で乾燥している指でタッチしてください。
- 市販のモニター保護シートをご使用になる場合は、その注意書きに従ってください。（モニター保護シートの種類によっては、視認性や操作性が損なわれる場合があります）
- 次の場合、タッチパネルが正常に動作しないことがあります。
  - 手袋を着用している
  - タッチパネルがぬれている

画面をタッチして撮影する（タッチシャッター）

撮影モード：

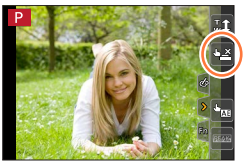
画面に表示されている被写体をタッチするだけで、ピントを合わせて写真を撮影します。

1 [ ] をタッチする



2 [ ] をタッチする

- アイコンが [ ] に変わり、タッチシャッター撮影が可能になります。



3 撮影したい被写体をタッチする



■タッチシャッターを解除するとき
[ ] をタッチする

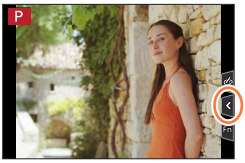
● タッチシャッターに失敗したときは、AF エリアが赤く点灯したあと消えます。

狙った場所に簡単に明るさを合わせる（タッチ AE）

撮影モード：

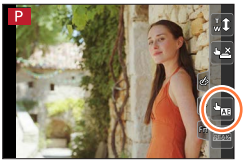
タッチした位置に、簡単に明るさを合わせることができます。人物の顔が暗く写るときに、顔に合わせて画面を明るくすることなどができます。

1 [ ] をタッチする



2 [ ] をタッチする

- 明るさを合わせる位置の設定画面が表示されます。
- ［測光モード］はタッチ AE 専用の［ ］に変わります。



3 明るさを合わせたい被写体をタッチする

- ［リセット］をタッチすると、明るさを合わせる位置は中央に戻ります。



4 ［決定］をタッチする

■タッチ AE 機能を解除するとき

[ ] をタッチする

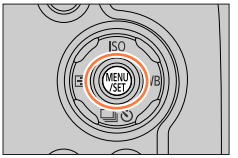
- 測光モードが元に戻り、明るさを合わせる位置が解除されます。

● 次の場合、タッチ AE は使えません。
- デジタルズーム使用時
- ハイスピード動画撮影時
- 4K ライブクロップ設定時
- ［カスタム］メニューの［タッチ設定］で、［タッチ AF］を［AF+AE］に設定時（P.79）

メニューを使って設定する

メニューを使って、本機の設定や撮影機能の設定、再生機能の操作などが行えます。
• メニューの設定はボタン操作、タッチ操作のどちらでも行えます。

1 [MENU/SET] ボタンを押してメニューを表示する



[撮影] (P.141)	画像横縦比、画素数、4K フォトなどを設定できます。
[動画] (P.159)	記録方式や画質などが設定できます。
[カスタム] (P.161)	画面の表示方法やボタンの働きなど、本機の操作をお好みに応じて設定できます。
[セットアップ] (P.169)	時計設定や電子音音量の切り換えなど、使いやすさの設定ができます。Wi-Fi 機能に関する設定もできます。
[再生] (P.177)	画像の保護、切り抜き、プリント設定など、撮影した画像に対して設定ができます。

■メニューの種類を切り換えるとき

①◀を押す
②▲▼で［🔧］などのタブを選ぶ
③[MENU/SET] ボタンを押す



メニューの種類

タッチ操作

［🔧］などのタブをタッチする

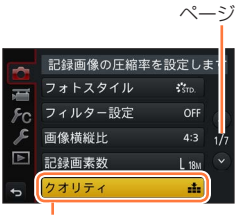
2 ▲▼でメニュー項目を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- [DISP.]ボタンを押したり、ズームレバーを回したりして、ページを切り換えることができます。

タッチ操作

メニュー項目をタッチする

- [⌃]/[⌄]をタッチすると、ページを切り換えられます。



3 ▲▼で設定内容を選び、[MENU/SET]ボタンを押す

- メニュー項目により、設定方法が異なります。

タッチ操作

設定内容をタッチして決定する



4 撮影/再生画面に戻るまで、繰り返し[Q.MENU/ ⮌]ボタンを押す

- 撮影時は、シャッターボタンを半押ししてもメニュー画面を終了できます。

タッチ操作

[⮌]をタッチする

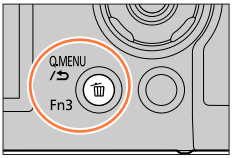


● メニュー項目などを選んで決定する操作は後ダイヤルでもできます。後ダイヤルを回すと選択、押すと決定の操作ができます。(P.30)

よく使うメニューをすぐに呼び出す（クイックメニュー）

撮影時、一部のメニュー項目を簡単に呼び出して設定できます。
• モードや表示画面によっては設定できない項目があります。

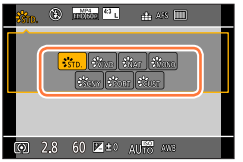
1 [Q.MENU/ ⮌] ボタンを押す



2 ◀▶ でメニュー項目を選び、▼ または ▲ を押す



3 ◀▶ で設定内容を選ぶ



4 [Q.MENU/ ⮌] ボタンを押してクイックメニューを終了する

[▭]（モニタースタイル）のモニター撮影情報画面（P.31）でクイックメニューを使う

① [Q.MENU/ ⮌] ボタンを押す
②▲▼◀▶ でメニュー項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
③▲▼◀▶ で設定内容を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
• 各項目をタッチすると、設定を直接変更できます。

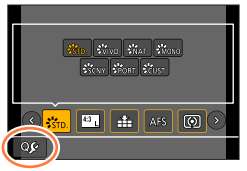


● メニュー項目などを選んで決定する操作は後ダイヤルでもできます。後ダイヤルを回すと選択、押すと決定の操作ができます。（P.30）

クイックメニューをお好みの項目に変更する

［カスタム］メニューの［Q.MENU］を［カスタム］に設定時は、クイックメニューをお好みで変更できます。クイックメニューは 15 項目まで設定しておくことができます。

1 **［Q.MENU/ ⮌］ボタンを押したあと、▼で［Q］を選び、［MENU/SET］ボタンを押す**



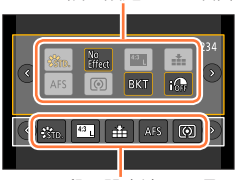
2 **▲▼◀▶で上段のメニュー項目を選び、［MENU/SET］ボタンを押す**

- 上段の薄いグレーで表示されている項目は、設定済みの項目です。

3 **◀▶で下段の空いている項目を選び、［MENU/SET］ボタンを押す**

- 上段から下段へ項目をドラッグしても設定できます。
- 下段に空いている項目がない場合は、設定済みの項目を選ぶと入れ換えて設定することができます。
- 設定を解除するには、▼で下段に移動し、解除する項目を選んで［MENU/SET］ボタンを押してください。

上段：設定できる項目



下段：設定済みの項目

4 **［Q.MENU/ ⮌］ボタンを押す**

- 手順 **1** の画面に戻ります。撮影画面にするには［MENU/SET］ボタンを押してください。

よく使う機能をボタンに割り当てる（ファンクションボタン）

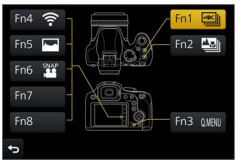
特定のボタン（[Fn1] ～ [Fn3]）または画面に表示されるアイコン（[Fn4] ～ [Fn8]）に、よく使う機能を割り当てることができます。
- ファンクションボタンによっては、割り当てられない機能があります。
- モードや表示画面によっては、使えない機能もあります。

1 メニューを設定する （P.36）

MENU ボタン→ [カスタム] → [Fn ボタン設定]

設定：[撮影時設定] / [再生時設定]

2 ▲▼ で機能を割り当てたいファンクションボタンを選び、[MENU/SET] ボタンを押す



3 ▲▼ で割り当てる機能を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [撮影時設定] で割り当てられる機能については （P.41）
- [再生時設定] で割り当てられる機能については （P.42）

■モニター撮影情報画面からファンクションボタンを設定する

モニター撮影情報画面 （P.31） で [Fn] をタッチしても、手順 **2** の画面を表示することができます。

■素早く機能を割り当てる

ファンクションボタン（[Fn1] ～ [Fn3]）を長押し（2 秒）すると、手順 **3** で表示される割り当て画面を表示することができます。
- モードや表示画面によっては、表示できない場合もあります。

撮影時にファンクションボタンを使う

ファンクションボタンを押すことで、割り当てた機能を使えます。

■タッチ操作でファンクションボタンを使う

① [Fn] をタッチする
② [Fn4] ～ [Fn8] のいずれかをタッチする
- ファインダー表示時は、[Fn4] ～ [Fn8] は使えません。



■［撮影時設定］で割り当てられる機能

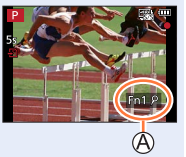
［撮影］メニュー / 撮影機能	
• 4K フォトモード（P.89）：［Fn1］※	• 測光モード（P.147）
• フォーカスセレクト（P.97）：［Fn2］※	• ブラケット（P.104）
• Wi-Fi（P.193）：［Fn4］※	• ハイライトシャドウ（P.148）
• Q.MENU（P.38）：［Fn3］※	• iD レンジコントロール（P.149）
• LVF/ モニター表示スタイル（P.31）	• 超解像（P.149）
• AF/AE LOCK（P.83）	• HDR（P.150）
• AF-ON（P.83）	• シャッター方式（P.152）
• プレビュー（P.52）	• フラッシュモード（P.119）
• ワンプッシュ AE（P.53）	• フラッシュ光量調整（P.122）
• タッチ AE（P.35）	• ワイヤレスフラッシュ設定（P.124）
• フォーカスエリア選択	• iA ズーム（P.113）
• カーソルボタンロック	• デジタルズーム（P.114）
• フォトスタイル（P.142）	• 手ブレ補正（P.110）
• フィルター効果（P.144）	• ISO 感度（P.85）
• 画像横縦比（P.145）	• ホワイトバランス（P.86）
• 記録画素数（P.146）	• AF モード /MF（P.70、81）
• クオリティ（P.146）	• ドライブモード（P.101）
• AFS/AFF/AFC（P.69）	• デフォルトに戻す

［動画］メニュー	
• 4K ライブクロップ（P.129）	• 動画記録方式 / 画質設定（P.127）
• スナップムービー（P.132）：［Fn6］※	

［カスタム］メニュー	
• サイレントモード（P.161）	• モノクロライブビュー（P.166）
• ピーキング（P.164）	• 記録枠表示（P.167）
• ヒストグラム表示（P.165）：［Fn5］※	• ズームレバー（P.168）
• ガイドライン表示（P.165）	• タッチパネル（P.168）
• ゼブラパターン表示（P.166）	

※お買い上げ時のファンクションボタン設定
（［Fn7］、［Fn8］はお買い上げ時にファンクションボタン設定されていません）

- ［フォーカスエリア選択］設定時は、AF エリアまたは MF アシストの位置設定画面を表示することができます。
- ［カーソルボタンロック］設定時は、カーソルボタン、［MENU/SET］ボタンの操作を無効にできます。もう一度、ファンクションボタンを押すと有効にできます。
- 画面に Ⓐ のように表示された場合は、［Fn ボタン設定］で割り当てた機能ではなく、表示された操作が実行されます。



再生時にファンクションボタンを使う

再生時にファンクションボタンを押すことで、選んだ画像に割り当てた機能を直接設定できます。
例）［お気に入り］を［Fn2］に設定した場合

1 **◀▶ で画像を選ぶ**

2 **［Fn2］ボタンを押し、画像に［お気に入り］設定する**



■［再生時設定］で割り当てられる機能

• ［Fn1］、［Fn2］のボタンに以下の機能が割り当てられます。

［再生］メニュー / 再生機能	
• Wi-Fi（P.193）：［Fn1］※	• 1 枚消去（P.140）
• お気に入り（P.189）：［Fn2］※	• OFF
• プリント設定（P.190）	• デフォルトに戻す
• プロテクト（P.190）	

※お買い上げ時のファンクションボタン設定

文字を入力する

1 ▲▼◀▶ で文字を選ぶ

2 希望の文字が表示されるまで［MENU/SET］ボタンを押す



- ［␣］：空白を入力できます。

■文字の種類を切り換えるとき

- ［DISP.］ボタンを押す
- ▲▼◀▶ で［切換］を選び、［MENU/SET］ボタンを押す

■続けて文字を入力するとき

- ▲▼◀▶ で［▶］を選び、［MENU/SET］ボタンを押す
- ズームレバーを T 側に回す
- 後ダイヤルを右側に回す

■文字を修正するとき

①▲▼◀▶ で［◀］［▶］を選んで［MENU/SET］ボタンを押し、修正する文字にカーソル位置を移動する
- ズームレバーまたは後ダイヤルでもカーソル位置を移動できます。

②▲▼◀▶ で［消去］を選び、［MENU/SET］ボタンを押す
③▲▼◀▶ で正しい文字を選び、［MENU/SET］ボタンを押す

3 入力が終わったら、▲▼◀▶ で［決定］を選び、［MENU/SET］ボタンを押して終了する

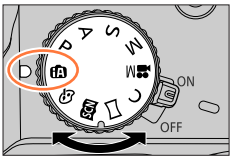
● 入力できる文字数は以下のとおりです。
［かな］［カナ］：最大 15 文字（［個人認証］の名前設定時は最大 6 文字）
［A］［a］［1］［&］※：最大 30 文字（［個人認証］の名前設定時は最大 9 文字）
※［＼］、［「］、［」］、［・］、［ー］は最大 15 文字（［個人認証］の名前設定時は最大 6 文字）

カメラにおまかせで撮る（インテリジェントオートモード）

撮影モード：iA iA+

被写体や撮影状況に合わせてカメラが最適な設定を行うので、カメラにおまかせで気軽に撮りたいときにお勧めです。

1 モードダイヤルを［iA］に合わせる



- インテリジェントオートプラスモードまたはインテリジェントオートモードのどちらか最後に使用していたモードに切り換わります。お買い上げ時は、インテリジェントオートプラスモードが設定されています。

2 被写体にカメラを向ける



- カメラが最適なシーンを判別すると、各シーンのアイコンが 2 秒間青色で表示後、通常の赤色に変わります。（自動シーン判別）

■インテリジェントオートプラスモードとインテリジェントオートモードを切り換える

メニュー画面で［iA+］または［iA］タブを選び、▶ で［iA+］または［iA］を選んで［MENU/SET］ボタンを押してください。



撮影画面の撮影モードアイコンをタッチして、選択画面を表示することもできます。



［iA+］は、［iA］の設定に加えて明るさや色合いなどの設定を変更できるので、よりお好みに合わせた撮影ができます。

（○：設定可、×：設定不可）

	iA+ インテリジェントオートプラスモード	iA インテリジェントオートモード
色合い設定	○	×
明るさ（露出）設定	○	×
ボケ味コントロール	○	×
設定できるメニュー	多い	少ない

オートフォーカス / 顔・瞳認識 / 個人認証

オートフォーカスモードは自動で［ ］に設定されます。被写体をタッチすると［ ］に切り換わり、追尾 AF 機能が働きます。(P.72)
カーソルボタンの ◀ を押しても、［ ］に切り換わります。被写体を追尾 AF エリアに合わせ、シャッターボタンを半押しすると追尾 AF 機能が働きます。

- ［個人認証］を［ON］に設定時 (P.155)、登録した顔に近い顔を認識すると、［ ］、［ ］、［ ］の右上に［R］が表示されます。

フラッシュ

フラッシュを開いているときは、被写体の種類や明るさに合わせて、カメラが自動で［ ］、［ ］（赤目軽減オート）、［ ］または［ ］に設定します。

- ［ ］または［ ］のときは、［デジタル赤目補正］機能が働き、赤目を自動的に検出して画像データを修正します。
- ［ ］または［ ］のときは、シャッタースピードが遅くなります。

自動シーン判別

写真撮影時

i 人物	i 風景	i マクロ	i 夜景 & 人物※1
i 夜景	i 手持ち夜景※2	i 料理	i 赤ちゃん※3
i 夕焼け	どのシーンにも当てはまらないとき		

※1 フラッシュ使用時に表示
※2 ［i 手持ち夜景］が［ON］の場合 (P.46)
※3 個人認証機能で登録した乳幼児（3 歳未満）を認識したとき

- ［ ］と判別された場合に、三脚などを使用し、ブレの量が少ないとカメラが判断したとき、シャッタースピードは通常より遅くなります。撮影中はそのままカメラを動かさないようにお気をつけください。
- 4K フォト撮影時またはフォーカスセレクト撮影時は、動画撮影時と同じシーン判別になります。

動画撮影時

i 人物	i 風景	i ローライト	i マクロ
どのシーンにも当てはまらないとき			

- 撮影条件によっては、同じ被写体でも異なるシーンになることがあります。

逆光補正について

インテリジェントオートプラスモードまたはインテリジェントオートモード時は、逆光補正が自動で働きます。逆光とは、被写体の後ろ側から光が当たることです。このとき、被写体が暗く写りますので、画像を明るくすることにより自動で逆光補正します。

手持ちで夜景を撮る（i 手持ち夜景）

撮影モード：

［i 手持ち夜景］は手持ち撮影時に夜景を自動判別した場合、複数枚撮影した写真を合成して、三脚を使わずに手ブレとノイズの少ない写真を記録できる機能です。

MENU ボタン→ [撮影] → ［i 手持ち夜景］

設定：［ON］/［OFF］

- 画角がわずかに狭くなります。
- シャッターボタンを押したあと、連写中は本機を動かさないでください。
- フラッシュは［⊗］（発光禁止）に固定されます。
- 動画撮影中の写真撮影では働きません。
- 次の場合、［i 手持ち夜景］は使えません。
  - 連写撮影時
  - 4K フォト撮影時
  - フォーカスセレクト撮影時
  - ブラケット撮影時
  - ［クオリティ］を［RAW］［RAW］［RAW］に設定時
  - インターバル撮影時
  - ［コマ撮りアニメ］時（［自動撮影］設定時のみ）

階調豊かな写真に合成する（iHDR）

撮影モード：

［iHDR］は背景と被写体の明暗差が大きい場合などに、露出の異なる写真を複数枚撮影して 1 枚の階調豊かな写真に合成する機能です。
［iHDR］は必要に応じて働きます。働くときは、画面に［HDR］が表示されます。

MENU ボタン→ 📷［撮影］→［iHDR］

設定：［ON］/［OFF］

- 画角がわずかに狭くなります。
- シャッターボタンを押したあと、連写中は本機を動かさないでください。
- 撮影後、連写した写真を合成するため、しばらくの間、次の撮影ができません。
- 連写合成した場合、動いている被写体の残像が記録される場合があります。
- 動画撮影中の写真撮影では働きません。
- 次の場合、［iHDR］は使えません。
  - フラッシュ撮影時
  - 連写撮影時
  - 4K フォト撮影時
  - フォーカスセレクト撮影時
  - ブラケット撮影時
  - ［クオリティ］を［RAW］［RAW］［RAW］に設定時
  - インターバル撮影時
  - ［コマ撮りアニメ］時（［自動撮影］設定時のみ）

色合いを設定する

撮影モード：

1 ▶ を押して設定画面を表示する

2 後ダイヤルを回して色合いを調整する

- ［MENU/SET］ボタンを押すと撮影画面に戻ります。
- 設定した色合いは、電源を切る、または他の撮影モードに変更すると、標準（中心点）に戻ります。
- タッチパネル操作時（P.48）



明るさ（露出）・背景のボケ具合（ボケ味コントロール）を設定する

撮影モード：[iA+]

1 後ダイヤルを押して設定画面を表示する

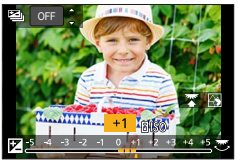
- 後ダイヤルを押すごとに、明るさ（露出）設定操作、ボケ味コントロール操作、操作の終了に切り換わります。

2 後ダイヤルを回して設定する

- ［MENU/SET］ボタンを押すと撮影画面に戻ります。

明るさ（露出）設定時

- ▲▼を押すと、露出ブラケットの設定ができます。（P.105）



背景のボケ具合設定時

- ［Q.MENU/⮌］ボタンを押すと、設定が解除されます。
- オートフォーカスモードが［■］になります。画面をタッチすると、AF エリアの位置を設定できます。（大きさは変更できません）



■タッチパネル操作時

①［[iA+]］をタッチする

②設定する項目をタッチする

［[■]］：色合い

［[ボケ具合]］：ボケ具合

［[明るさ]］：明るさ（露出）

③スライドバーや露出メーターをドラッグして設定する

- ［MENU/SET］ボタンを押すと撮影画面に戻ります。



絞り値とシャッタースピードを自動で設定して撮る
（プログラム AE モード）

撮影モード：P

被写体の明るさに応じて、絞り値とシャッタースピードをカメラが自動的に設定します。

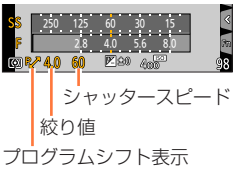
1 モードダイヤルを［P］に合わせる

2 シャッターボタンを半押しする

- 適正な露出でない場合は、絞り値とシャッタースピードが赤色点滅します。

3 数値が表示されている間（約 10 秒間）に、後ダイヤルを回してプログラムシフトする

- プログラムシフトを解除するには、電源を切るか、プログラムシフト表示が消えるまで後ダイヤルを回してください。
- ファンクションボタンに［ワンプッシュ AE］を設定すると、簡単にプログラムシフトを解除できます。(P.53)



プログラムシフトについて

同じ露出（明るさ）になるように、絞り値とシャッタースピードの組み合わせを変更する機能を「プログラムシフト」といいます。プログラムシフトを使うと、プログラム AE モードでも絞り値やシャッタースピードを調整して撮影できます。

● 次の場合、プログラムシフトは使えません。
- 4K フォト撮影時
- フォーカスセレクト撮影時
- ISO 感度を［ISO］に設定時

絞り値 / シャッタースピードを決めて撮る

撮影モード：A S M

- 設定した絞り値とシャッタースピードの効果は、撮影画面に反映されません。撮影画面で確認するには、［プレビューモード］をお使いください。(P.52)
- 画面の明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。再生画面で確認してください。
- 絞り値またはシャッタースピードを調整すると、露出メーターが表示されます。適正な露出でない場合は、赤色で表示されます。
- シャッターボタンを半押ししたとき、適正露出にならない場合は、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になり点滅します。

絞り値を決めて撮る（絞り優先 AE モード）

絞り値を設定すると、被写体の明るさに応じたシャッタースピードをカメラが自動的に設定します。

1 モードダイヤルを［A］に合わせる

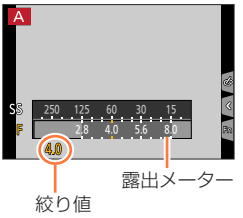
2 後ダイヤルを回して絞り値を設定する

- 後ダイヤルを押すごとに、絞り設定操作と露出補正操作が切り換わります。

設定可能な絞り値※1	設定されるシャッタースピード（秒）
F2.8 ～ F8.0	4※2 ～ 1/2000（メカシャッター使用時） 1※2 ～ 1/16000（電子シャッター使用時）

※1 ズーム位置によっては選べない値があります。また、コンバージョンレンズ（別売）使用時は選べない絞り値があります。

※2 ISO 感度の設定により変わります。(P.85)



シャッタースピードを決めて撮る（シャッター優先 AE モード）

シャッタースピードを設定すると、被写体の明るさに応じた絞り値をカメラが自動的に設定します。

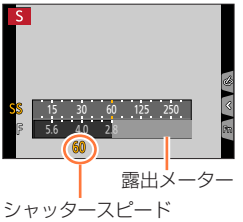
1 モードダイヤルを［S］に合わせる

2 後ダイヤルを回して、シャッタースピードを設定する

- 後ダイヤルを押すごとに、シャッタースピード設定操作と露出補正操作が切り換わります。

設定可能なシャッタースピード（秒）	設定される絞り値
4※3 ～ 1/2000（メカシャッター使用時） 1※3 ～ 1/16000（電子シャッター使用時）	F2.8 ～ F8.0

※3 ISO 感度の設定により変わります。(P.85)



● ISO 感度が［ISO］のときに、撮影モードをシャッター優先 AE モードに切り換えると、ISO 感度は［AUTO］になります。

絞り値とシャッタースピードを決めて撮る（マニュアル露出モード）

絞り値とシャッタースピードを手動で設定して、露出を決定します。

1 **モードダイヤルを［M］に合わせる**

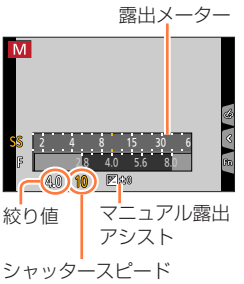
2 **後ダイヤルを回して、絞り値とシャッタースピードを設定する**

- 後ダイヤルを押すごとに、シャッタースピード設定操作と絞り値設定操作が切り換わります。

設定可能な絞り値※1	設定可能なシャッタースピード（秒）
F2.8 ～ F8.0	4※2 ～ 1/2000（メカシャッター使用時） 1※2 ～ 1/16000（電子シャッター使用時）

※1 ズーム位置によっては選べない値があります。また、コンバージョンレンズ（別売）使用時は選べない絞り値があります。

※2 ISO 感度の設定により変わります。（P.85）



● ISO 感度が［ISO］のときに、撮影モードをマニュアル露出モードに切り換えると、ISO 感度は［AUTO］になります。

絞り値とシャッタースピードに ISO 感度を合わせる

ISO 感度を［AUTO］に設定時、設定した絞り値とシャッタースピードで適正露出になるように、ISO 感度をカメラが自動的に設定します。

- 撮影条件により、適正露出にならなかったり、ISO 感度が高くなる場合があります。

マニュアル露出アシスト（目安）

0	標準的な明るさ（適正露出）に写ります。
	明るく写ります。適正露出にするには、シャッタースピードを速くするか、絞り値を大きくします。
	暗く写ります。適正露出にするには、シャッタースピードを遅くするか、絞り値を小さくします。

絞り効果 / シャッタースピード効果を確認する（プレビューモード）

撮影モード：iA iA+ P A S M M □ SCN

プレビューモードを使うと、絞り効果とシャッタースピード効果の確認ができます。
- **絞り効果の確認**：実際に撮影される絞り値までレンズの絞り羽根を物理的に絞り込むことにより、被写界深度（ピントの合っている範囲）を確認することができます。
- **シャッタースピード効果の確認**：実際に撮影されるシャッタースピードでの画面を表示し、動きを確認することができます。

1 **ファンクションボタンに［プレビュー］を設定する** （P.40）
- 次の手順は、［Fn3］ボタンに［プレビュー］を設定した場合の例です。

2 **［Fn3］ボタンを押して効果確認画面を切り換える**
- ［Fn3］ボタンを押すごとに画面が切り換わります。



被写界深度の性質

撮影条件	絞り値	小さい	大きい
	焦点距離	望遠	広角
	被写体までの距離	近い	遠い
被写界深度（ピントの合っている範囲）		浅い（狭い） 例：背景をぼかして撮りたいときなど	深い（広い） 例：背景までピントを合わせて撮りたいときなど

- プレビューモード中でも撮影することができます。
- シャッタースピード効果を確認できる範囲は、8 秒～ 1/16000 秒です。
- 4K フォトの［4K連写］（4K プリ連写）では使用できません。

絞り値 / シャッタースピードを簡単に適正露出に合わせる（ワンプッシュ AE）

撮影モード： iA iA+ P A S M 動画 カスタム SCN

露出の設定が明るすぎる、または暗すぎるとき、ワンプッシュ AE を使うと簡単に適正露出に合わせることができます。

適正露出でないときの見分け方

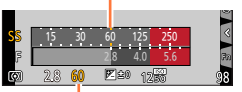
- シャッターボタンを半押しした際、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になり、点滅したとき。
- マニュアル露出モード時、マニュアル露出アシスト（P.51）が［ ±0 ］以外で表示されたとき。



赤色で点滅

1 ファンクションボタンに［ワンプッシュ AE］を設定する（P.40）

2（適正露出でないときに）ファンクションボタンを押す



適正露出に変更

- クリエイティブ動画モードの場合、露出メーターは表示されません。
- 次の場合、適正露出に合わせることができません。
  - 非常に暗い被写体など、絞り値やシャッタースピードを変えても適正露出にできないとき
  - フラッシュ撮影時
  - プレビューモード時（P.52）

パノラマ写真を撮る（パノラマモード）

撮影モード：

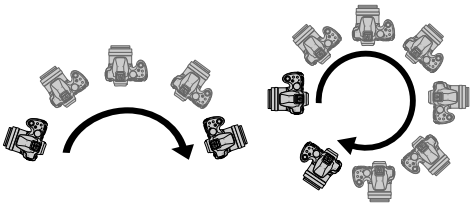
カメラを動かしている間に連続撮影し、画像を合成することでパノラマ画像を撮影できます。

1 モードダイヤルを［］に合わせる

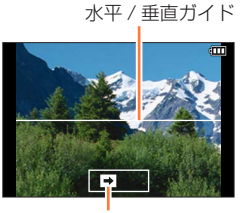
2 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる

3 シャッターボタンを全押しして、撮影方向へ小さな円を描くようにカメラを動かして撮影する

左から右に撮影する場合



画像サイズ：標準の場合　　画像サイズ：ワイドの場合



撮影の方向と進み具合（目安）

- 一定の速さでカメラを動かしてください。
- 速すぎても遅すぎても、うまく撮影できない場合があります。

4 もう一度、シャッターボタンを全押しして撮影を終了する

- 撮影中に途中でカメラの動きを止めても、撮影を終了できます。
- ガイドの終わりまでカメラを動かしても撮影を終了できます。

■パノラマ写真の撮影方向や画角（画像サイズ）を変更する

MENU ボタン→ ［撮影］ →［パノラマ設定］

撮影方向	撮影する向きを設定します。
画像サイズ	画角（画像サイズ）を設定します。 **［標準］/［ワイド］**

続く ▶

• パノラマ写真の横縦の記録画素数は、画像サイズや撮影方向、合成した写真の枚数により異なります。最大記録画素数は以下のとおりです。

画像サイズ	撮影方向	横	縦
標準	水平方向	8176 画素	1920 画素
	垂直方向	2560 画素	7680 画素
ワイド	水平方向	8176 画素	960 画素
	垂直方向	1280 画素	7680 画素

撮影のコツ

揺れないように、撮影方向へカメラを動かす。
（揺れが大きいと撮影できなかったり、出来上がりのパノラマ写真が細く（小さく）なります。）



撮影したい範囲の少し先までカメラを動かす。
（最後の 1 コマは端まで記録されません）

■再生について

▲ を押すと、撮影時と同じ方向に自動でスクロール再生されます。

• スクロール再生中は、以下の操作が行えます。

▶/❚❚	▲	パノラマ再生開始 / 一時停止※
■	▼	停止



※一時停止中は、画面をドラッグしてスクロールを進めたり戻したりすることができます。スクロールバーをタッチすると、タッチした位置まで再生位置がジャンプします。

- ズーム位置は W 端に固定されます。
- ピント、ホワイトバランス、露出は、最初の 1 枚目の画像に最適な値に固定されます。このために、撮影の途中の画像でピント位置や明るさが極端に異なる場合、パノラマ写真全体で一様なピントや明るさに撮影されない場合があります。
- 複数画像を合成してパノラマ写真を作成するため、被写体がゆがんだり、つなぎ目が目立つ場合があります。
- ［シャッター方式］は［電子シャッター］に固定されます。
- 次の被写体や撮影状況などでは、パノラマ写真が作成できなかったり、適切に合成されない場合があります。
  - 単調な色や模様が続く被写体（空や砂浜など）
  - 動いている被写体（人やペット、自動車、波、風に揺れる花など）
  - 短時間で色や模様が変化する被写体（ディスプレイに映った画像など）
  - 暗い場所
  - 蛍光灯やろうそくなど、光源がちらついている場所

撮影シーンに合わせて撮る（シーンガイドモード）

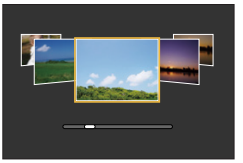
撮影モード： SCN

作例写真を見ながら、被写体や撮影状況に合わせてシーンを選択すると、カメラが最適な露出や色調、ピントの合わせ方などを設定し、シーンに合った撮影ができます。

1 モードダイヤルを［SCN］に合わせる

2 ◀▶ でシーンを選ぶ

- 作例写真やスライドバーをドラッグすることでも、シーンを選ぶことができます。



3 ［MENU/SET］ボタンを押す

撮影画面の撮影モードアイコンをタッチして、選択画面を表示することもできます。



- シーンによっては、撮影画面がコマ落としのように表示されます。
- シーンガイドモードを変更したい場合は、メニュー画面で［SCN］タブを選び、［シーン切換］を選んで［MENU/SET］ボタンを押すと手順 **2** に戻ります。
- シーンガイドモード時は、カメラが自動で最適に調整するため以下の設定はできません。
  - ［ISO 感度］/［フォトスタイル］の画質調整以外の項目 /［フィルター設定］/［測光モード］/［ハイライトシャドウ］/［HDR］/［多重露出］
- シーンによってはホワイトバランスは［AWB］に固定されますが、撮影画面で ▶ を押すとホワイトバランスの微調整やホワイトバランスブラケットが使えます。（P.87、88）

シーンガイドモードの種類

シーンの説明や撮影のヒントを表示する

シーン選択画面で［DISP.］ボタンを押す

- ガイド表示では、各シーンの詳しい説明や撮影のヒントが表示されます。

通常表示 → ガイド表示 → 一覧表示



続く ▶

1 人物をきれいに撮る

2 人物の肌をきれいに撮る

- 背景などに肌色に近い色をした箇所があると、その部分も同時に滑らかになります。
- 明るさが不十分なときは、効果が分かりにくい場合があります。

3 逆光でふんわり撮る

4 逆光でしっかり撮る

5 ほのぼのした雰囲気で撮る

6 子どもをかわいく撮る

- 顔をタッチするとタッチした場所にピントや露出が合い、写真が撮影されます。

7 風景をきれいに撮る

8 青空をさわやかに撮る

9 夕焼けを幻想的に撮る

10 夕焼けを印象的に撮る

11 水面をキラキラ撮る

- クロスフィルターを使用するため、水面以外がキラキラと強調される場合があります。

12 夜景をきれいに撮る

13 夜空をクールに撮る

14 夜景を暖かく撮る

15 夜景をアーティスティックに撮る

- 後ダイヤルを回すとシャッタースピードを変更できます。

続く ▶

16 イルミネーションをキラキラ撮る

17 夜景を手持ちで撮る

- シャッターボタンを押したあと、連写中は本機を動かさないでください。
- 画角がわずかに狭くなります。

18 夜景をバックに人物をきれいに撮る

- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
- 被写体の人に、撮影後約 1 秒間は動かないように伝えてください。

19 花をふんわり撮る

- 近距離撮影する場合は、フラッシュを使用しないことをお勧めします。

20 料理をおいしそうに撮る

- 後ダイヤルを回すと、絞りを調整して背景のボケ具合を変えられます。
- 近距離撮影する場合は、フラッシュを使用しないことをお勧めします。

21 スイーツをかわいく撮る

- 近距離撮影する場合は、フラッシュを使用しないことをお勧めします。

22 動くペットをきちんと撮る

- ［AF 補助光］の初期設定は［OFF］になります。

23 スポーツをきれいに撮る

24 モノクロで撮る

画像効果を変えて撮る（クリエイティブコントロールモード）

撮影モード：

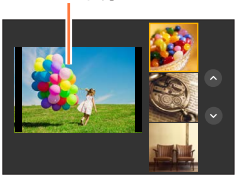
画像に効果を加えて撮影することができます。画像に加える効果は作例写真から選ぶことができ、画面で確認しながら設定できます。

1 モードダイヤルを［］に合わせる

2 ▲▼で画像効果（フィルター）を選ぶ
- 作例写真をタッチして選ぶこともできます。

3 ［MENU/SET］ボタンを押す

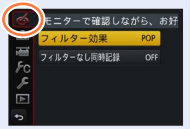
プレビュー表示



撮影画面の撮影モードアイコンをタッチして、選択画面を表示することもできます。



- 画像効果によっては、撮影画面がコマ落としのように表示されます。
- ホワイトバランスは［AWB］に、ISO 感度は［AUTO］に固定されます。
- ［］メニューで、以下のメニュー項目が設定できます。
  - ［フィルター効果］：画像効果（フィルター）の設定ができます。
  - ［フィルターなし同時記録］：画像効果を加えない写真を同時に記録する設定ができます。（P.145）

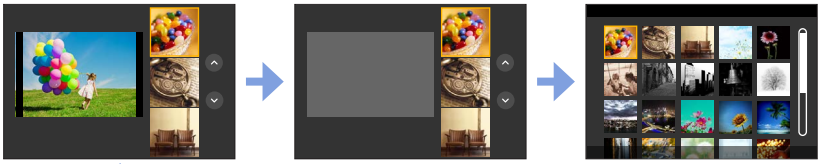


画像効果の種類

画像効果の説明を表示する

画像効果選択画面で［DISP.］ボタンを押す
- ガイド表示では、各画像効果の説明が表示されます。

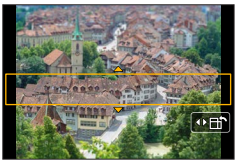
通常表示　ガイド表示　一覧表示



■［ジオラマ］でぼかし方を設定する

①［ ］をタッチしたあと、［ ］をタッチする

②▲▼または◀▶でぼかさない部分を移動する
- 撮影画面で画面をタッチしても、ぼかさない部分を移動できます。
- ［ ］をタッチすると、撮影する向き（ぼかす向き）を設定できます。



③後ダイヤルを回してぼかさない部分の大きさを変更する
- 画面をピンチアウト / ピンチイン（P.33）しても、拡大 / 縮小できます。
- ［DISP.］ボタンを押すと、初期設定の状態に戻ります。

④［MENU/SET］ボタンを押す

- 動画に音声は録音されません。
- 動画は約 1/10 の時間で記録されます。（10 分間撮影した場合、動画記録時間は約 1 分になります）表示される記録可能時間は約 10 倍になります。
- 動画撮影を短い時間で終了すると、一定の時間まで撮影を続けることがあります。

■［ワンポイントカラー］で残したい色を選択する

①［ ］をタッチしたあと、［ ］をタッチする

②▲▼◀▶で残す色を選び、［MENU/SET］ボタンを押す
- 画面をタッチすることでも、残す色を選べます。
- ［DISP.］ボタンを押すと、初期設定の状態に戻ります。



- 被写体によっては、設定した色が残らない場合があります。

■［サンシャイン］で光源の位置と大きさを設定する

①［ ］をタッチしたあと、［ ］をタッチする

②▲▼◀▶で光源の中心の位置を移動する
- 画面をタッチして光源の位置を移動することもできます。

③後ダイヤルを回して光源の大きさを調整する
- ピンチアウト / ピンチインしても拡大 / 縮小できます。
- ［DISP.］ボタンを押すと、初期設定の状態に戻ります。

④［MENU/SET］ボタンを押す

光源の中心を置くときのポイント

画像の外に光源の中心を置くことで、より自然な仕上がりにできます。

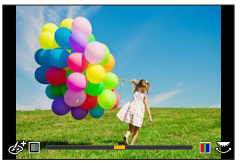
画像効果を好みに合わせて調整する

画像効果の強さや色合いなどを、簡単にお好みに合わせることができます。

1 ▶ を押して設定画面を表示する

2 後ダイヤルを回して画像効果を調整する

- ［MENU/SET］ボタンを押すと、撮影画面に戻ります。



画像効果	調整できる項目
［ポップ］	鮮やかさ 落ち着いた色合い ◀▬▶ 派手な色合い
［レトロ］	色合い 黄色っぽい色 ◀▬▶ 赤っぽい色
［オールドデイズ］	コントラスト 明暗差が小さい ◀▬▶ 明暗差が大きい
［ハイキー］	色合い ピンクっぽい色 ◀▬▶ 水色っぽい色
［ローキー］	色合い 赤っぽい色 ◀▬▶ 青っぽい色
［セピア］	コントラスト 明暗差が小さい ◀▬▶ 明暗差が大きい
［モノクローム］	色合い 黄色っぽい色 ◀▬▶ 青っぽい色
［ダイナミックモノクローム］	コントラスト 明暗差が小さい ◀▬▶ 明暗差が大きい
［ラフモノクローム］	粒子感 粒子感が弱い ◀▬▶ 粒子感が強い
［シルキーモノクローム］	ボケ具合 ボケ具合が小さい ◀▬▶ ボケ具合が大きい
［インプレッシブアート］	鮮やかさ 白黒 ◀▬▶ 派手な色合い
［ハイダイナミック］	鮮やかさ 白黒 ◀▬▶ 派手な色合い

画像効果を変えて撮る（クリエイティブコントロールモード）

画像効果	調整できる項目
[クロスプロセス]	色合い 緑っぽい色 / 青っぽい色 / 黄色っぽい色 / 赤っぽい色 • 後ダイヤルを回して発色させる色合いを選び、[MENU/SET] ボタンを押してください。 
[トイフォト]	色合い オレンジっぽい色 ◀▶ 青っぽい色
[トイポップ]	周辺光量が落ちる範囲 小さい ◀▶ 大きい
[ブリーチバイパス]	コントラスト 明暗差が小さい ◀▶ 明暗差が大きい
[ジオラマ]	鮮やかさ 落ち着いた色合い ◀▶ 派手な色合い • [ジオラマ] について詳しくは (P.60)
[ソフトフォーカス]	ボケ具合 ボケ具合が小さい ◀▶ ボケ具合が大きい
[ファンタジー]	鮮やかさ 落ち着いた色合い ◀▶ 派手な色合い
[クロスフィルター]	[×-×] 光の輝きの長さ 輝きが短い ◀▶ 輝きが長い [×-✳] 光の輝きの数 輝きが少ない ◀▶ 輝きが多い [⟅×⟆] 光の輝きの角度 輝きを左に回転 ◀▶ 輝きを右に回転
[ワンポイントカラー]	残す色の量 少し色を残す ◀▶ 多く色を残す • [ワンポイントカラー] について詳しくは (P.60)
[サンシャイン]	色合い 黄色っぽい色 / 赤っぽい色 / 青っぽい色 / 白っぽい色 • 後ダイヤルを回して色合いを選び、[MENU/SET] ボタンを押してください。  • [サンシャイン] について詳しくは (P.60)

画像効果を変えて撮る（クリエイティブコントロールモード）

明るさ（露出）・背景のボケ具合（ボケ味コントロール）を設定する

1 後ダイヤルを押して設定画面を表示する

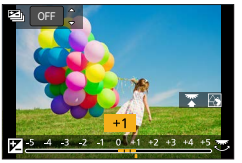
- 後ダイヤルを押すごとに、明るさ（露出）設定操作、ボケ味コントロール操作、操作の終了に切り換わります。

2 後ダイヤルを回して設定する

- ［MENU/SET］ボタンを押すと撮影画面に戻ります。

明るさ（露出）設定時

- ▲▼を押すと、露出ブラケットの設定ができます。（P.105）



背景のボケ具合設定時

- ［Q.MENU/ ⮌］ボタンを押すと、設定が解除されます。



■タッチパネル操作時

①［ ］をタッチする

②設定する項目をタッチする

［ ］：画像効果の調整

［ ］：ボケ具合

［ ］：明るさ（露出）

③スライドバーや露出メーターをドラッグして設定する

- ［MENU/SET］ボタンを押すと撮影画面に戻ります。



● クリエイティブコントロールモードの［ジオラマ］では、ボケ味コントロール機能を使えません。

絞り / シャッタースピード /ISO 感度を決めて動画を撮る
（クリエイティブ動画モード）

撮影モード：

1 モードダイヤルを［M］に合わせる

2 メニューを設定する (P.36)

MENU ボタン→ ［動画］ → ［動画露出設定］

設定：[P] / [A] / [S] / [M]

- モードダイヤルを［P］/［A］/［S］/［M］のいずれかに合わせたときと同じ操作で、絞り値やシャッタースピード、ISO 感度を変更できます。

撮影画面の撮影モードアイコンをタッチして、選択画面を表示することもできます。



3 動画ボタン（またはシャッターボタン）を押して撮影を開始する

4 動画ボタン（またはシャッターボタン）を押して撮影を終了する

● ［動画露出設定］を［M］に設定時、ISO 感度の［AUTO］は［80］に切り換わります。

スローモーション動画を撮影する（ハイスピード動画）

超高速撮影を行うことにより、スローモーション動画を撮影することができます。再生時には動作などがゆっくり表示されます。

• 撮影時は UHS Speed Class 3 のカードをお使いください。（P.21）

1 モードダイヤルを［M］に合わせる

2 メニューを設定する （P.36）

MENU ボタン→［動画］→［ハイスピード動画］

[240fps/VGA]	［MP4］の［VGA］で 240 コマ / 秒で記録します。 • 画角が狭くなります。
[120fps/HD]	［MP4］の［HD］で 120 コマ / 秒で記録します。

3 動画ボタン（またはシャッターボタン）を押して撮影を開始する

4 動画ボタン（またはシャッターボタン）を押して撮影を終了する

- 音声は記録されません。
- ファイルサイズが 4 GB を超える場合は、ファイルは分かれて保存・再生されます。（撮影は一時中断することなく続けることができます）
  連続記録時間が 29 分 59 秒を超えると記録を停止します。（再生時間に換算して約 120 分までの動画を記録できます）
- ピント、ズーム、露出、ホワイトバランスは撮影開始時に固定されます。
- 蛍光灯下でちらつきや横しまが出る場合があります。

動画撮影中の操作音を抑えて撮る

動画撮影中にズームやボタン操作などをすると、その動作音が記録される場合があります。タッチ操作をすることで、動画撮影中でも静かに操作できます。

MENU ボタン→ [動画] →［タッチ静音操作］→［ON］

1 撮影を開始する

2 [ ] をタッチする

3 アイコンをタッチする

	ズーム
F	絞り値
SS	シャッタースピード
	露出補正
ISO	ISO 感度

4 スライドバーをドラッグして設定する

• タッチする位置により、操作のスピードは変わります。

［▼］/［▲］	ゆっくり設定を変える
［▼］/［▲］	速く設定を変える



5 撮影を終了する

● ハイスピード動画撮影時は使えません。

お好みの設定を登録して撮る（カスタムモード）

撮影モード：C

お好みのメニュー設定を登録する（カスタムセット登録）

現在のカメラの設定内容を［カスタムセット登録］で３つまで登録しておくことができます。（［C1］、［C2］、［C3］）

- お買い上げ時、カスタムセットにはプログラム AE モードの初期設定が登録されています。

準備

あらかじめ保存したい状態の撮影モードに設定し、本機でメニュー設定する。

MENU ボタン→ fC［カスタム］→［カスタムセット登録］→登録したいカスタムセット

● 以下のメニュー項目はカスタムセット登録されません。

［撮影］メニュー	［セットアップ］メニュー
• ［個人認証］で登録されたデータ • ［プロフィール設定］の設定内容	• すべてのメニュー

［カスタム］メニュー	［再生］メニュー
• ［タッチ再生送り速度］ • ［メニューガイド］	• ［縦位置自動回転］ • ［画像表示順］

登録したカスタムセットで撮る

1 モードダイヤルを［C］に合わせる

- 最後に使ったカスタムセットが呼び出されます。

■カスタムセットを変更するとき

①モードダイヤルを［C］に合わせる
②［MENU/SET］ボタンを押して、メニューを表示する
③◀▶で使いたいカスタムセットを選び、［MENU/SET］ボタンを押す

- 選択したカスタムセットの設定に切り換わります。



撮影画面の撮影モードアイコンをタッチして、選択画面を表示することもできます。



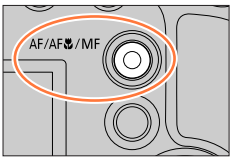
■登録内容を変更するとき

モードダイヤルを［C］に合わせた状態で、一時的にメニュー設定を変更しても、登録内容は変更されません。登録内容を変更する場合は、［カスタム］メニューの［カスタムセット登録］で登録内容を上書きしてください。

自動でピントを合わせる（オートフォーカス）

被写体や撮影状況に合わせて、シャッターボタン半押し時のピント合わせ動作やオートフォーカスモードを設定することで、さまざまなシーンに対応した自動でのピント合わせができます。

1 ［AF/AF/MF］ボタンを押す



2 ◀▶で［AF］を選び、［MENU/SET］ボタンを押す

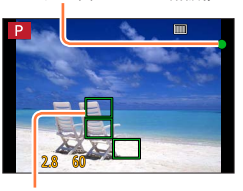
3 ［▦］ボタン（◀）を押してオートフォーカスモードを切り換える (P.70)

- シャッターボタン半押し時のピント合わせ動作を設定する (P.69)

4 シャッターボタンを半押しする

- 電子音がピピッと鳴り、オートフォーカスが働きます。ピントが合わないときは、ピピピピッと鳴ります。
- 暗い環境ではフォーカス表示が［LOW］と表示され、通常よりピント合わせに時間がかかることがあります。

フォーカス表示
（ピントが合う：点灯
ピントが合わない：点滅）



AF エリア
（ピントが合う：緑）

次の被写体や撮影環境では、ピントが合いにくいことがあります。
- 動きの速い被写体
- 非常に明るい、または濃淡のないもの
- ガラス越しや光るものの近くで撮るとき
- 暗いときや手ブレしているとき
- 被写体に近すぎるとき
- 遠くと近くを同時に撮るとき

シャッターボタン半押し時のピント合わせ動作を設定する（AFS、AFF、AFC）

撮影モード：

MENU ボタン→［撮影］/［動画］→［AFS/AFF/AFC］

設定	被写体の動き、撮影シーン（お勧め）	設定内容
AFS	静止している（風景、記念撮影など）	AFS とは「Auto Focus Single」の略で、シャッターボタンを半押しすると、自動でピント合わせを行います。半押ししている間、ピントは固定されます。
AFF	動きが予測できない（子ども、ペットなど）	AFF とは「Auto Focus Flexible」の略で、シャッターボタンを半押しすると、自動でピント合わせを行います。半押ししている間に被写体が動いた場合、動きに合わせて自動でピントを合わせ直します。
AFC	動いている（スポーツ、鉄道など）	AFC とは「Auto Focus Continuous」の略で、シャッターボタンを半押ししている間、被写体の動きに合わせて常にピント合わせを行います。動いている被写体の場合は、撮影時に予測してピント合わせを行います。（動体予測）

［AFF］、［AFC］で撮影する場合は

- W 端から T 端にズームしたり、急に被写体を遠くから近くに変えた場合、ピントが合うまで時間がかかることがあります。
- 撮影中、ピントが合いにくいときは、再度シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ直してください。
- シャッターボタンを半押ししている間、画面に揺れが見える場合があります。

- ［AFF］または［AFC］で明るさが足りないときは［AFS］と同じ動作をします。このとき画面の表示が黄色の［AFS］に変わります。
- 次の場合、［AFS/AFF/AFC］の［AFC］は、［AFS］と同じ動作をします。
  - 4K フォトの［4K連写］（4K 連写（S/S））で撮影時
- パノラマモード設定時、［AFS］に固定されます。
- 4K フォト撮影時、［AFF］に設定できません。撮影時には AF 連続動作が働きます。
- フォーカスセレクト撮影時は設定できません。

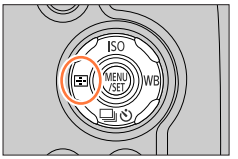
自動でピントを合わせる（オートフォーカス）

オートフォーカスモードを切り換える

撮影モード： iA iA+ P A S M 🎥M 🎥 SCN 🎨

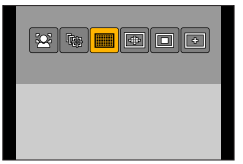
被写体の位置や数に応じて、ピントの合わせ方を選択できます。

1 **［⊞］ボタン（◀）を押す**



2 **◀▶ でオートフォーカスモードを選び、［MENU/SET］ボタンを押す**

設定：［👤］（顔・瞳認識）/［⧉］（追尾）/［▦］（49 点）/［⊞］など（カスタムマルチ）/［■］（1 点）/［+］（ピンポイント）（P.71 ～ 75）



- 次の場合、［👤］（顔・瞳認識）に固定されます。
  - 4K ライブクロップ設定時
- 次の場合、［■］（1 点）に固定されます。
  - デジタルズーム使用時
  - クリエイティブコントロールモード（［ジオラマ］）
- 次の場合、オートフォーカスモードは設定できません。
  - フォーカスセレクト撮影時
  - ［スナップムービー］の［ピント送り］を［ON］に設定時

人物を正面から撮るとき（顔・瞳認識）

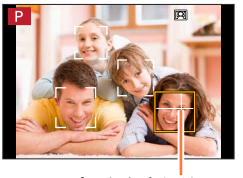
人の顔と目を自動的に検知します。ピントは本機に近い側の目に、露出は顔に合わせます。（[測光モード] を [⊙]（マルチ測光）に設定時）

- 検知できる顔は 15 個までです。検知できる目はピントを合わせる顔の目だけです。

カメラが顔を認識すると AF エリアとピントを合わせる目が表示されます。

黄色：シャッターボタンを半押しし、ピントが合うと緑色に変わります。

白色：複数の顔を認識すると表示されます。
黄色の AF エリア枠内と同じ距離にある顔にはピントが合います。



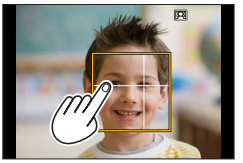
ピントを合わせる目

■ピントを合わせる目を変更する

ピントを合わせる目をタッチする

黄色枠内以外をタッチすると、AF エリア設定画面が表示されます。(P.76)

- [AF] をタッチする、または［MENU/SET］ボタンを押すと、ピントを合わせる目の設定が解除されます。



- 次の場合、[（顔・瞳認識）] に設定できません。
  - シーンガイドモード（［夜景をきれいに撮る］［夜空をクールに撮る］［夜景を暖かく撮る］［夜景をアーティスティックに撮る］［イルミネーションをキラキラ撮る］［夜景を手持ちで撮る］［料理をおいしそうに撮る］［スイーツをかわいく撮る］）
- 4K ライブクロップ設定時、ピントを合わせる目の変更はできません。
- 被写体の動きが速いときなど、状況によって顔を認識できない場合は、[▦]（49 点）に切り換わります。

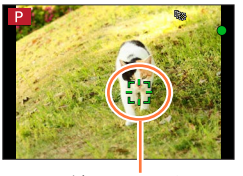
動いている被写体を自動でフォーカスロックするとき（追尾）

ボタン操作

被写体を追尾 AF エリアに合わせ、シャッターボタンを半押しする

被写体を認識すると追尾 AF エリアが緑色になります。シャッターボタンを離すと追尾 AF エリアが黄色に変わり、自動的にピントを合わせ続けます。

- 追尾 AF を解除するとき→［MENU/SET］ボタンを押す
- ピントが合う範囲：［AF］（AF マクロ）と同じ



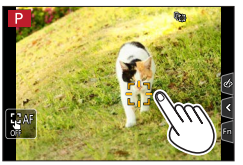
追尾 AF エリア

タッチ操作

被写体をタッチする

タッチシャッター機能を解除した状態で行ってください。
ロック中は追尾 AF エリアが黄色になります。

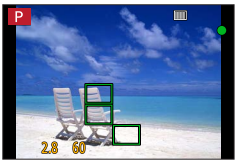
- 追尾 AF を解除するとき→［AF］をタッチする



- AF ロックに失敗したときは、赤く点滅したあと消えます。
- ［測光モード］を［］（マルチ測光）に設定すると、ロックした被写体に合わせて露出を調整します。(P.147)
- 被写体が小さいときや暗いときなど、撮影状況によっては、追尾 AF が正しく動作しない場合があります。追尾 AF が働かないときは、［］（1 点）となります。
- インターバル撮影時は［］は使えません。
- 次の場合、［］は［］（1 点）の動作になります。
  - シーンガイドモード（［水面をキラキラ撮る］［イルミネーションをキラキラ撮る］［花をふんわり撮る］［モノクロで撮る］）
  - クリエイティブコントロールモード（［セピア］［モノクローム］［ダイナミックモノクローム］［ラフモノクローム］［シルキーモノクローム］［ソフトフォーカス］［クロスフィルター］［サンシャイン］）
  - ［フォトスタイル］の［モノクローム］

被写体が中央にないとき ▦（49 点）

撮影画面の広範囲（最大 49 点）の中の被写体にピントを合わせます。



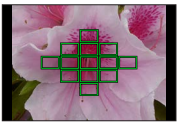
AF エリアの形状を設定するとき ⊞ など（カスタムマルチ）

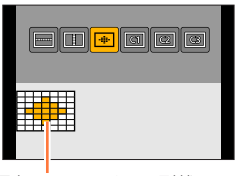
被写体に合わせて、49 点の AF エリアから選ぶことで自由に形状を設定できます。

1 **［⊞］ボタン（◀）を押す**

2 **カスタムマルチアイコン（［⊞］など）を選び、▲ を押す**

3 **◀▶ で設定項目を選ぶ**

▭（横）	横一列の形状 流し撮りなどの撮影に便利な形状です。	
▯（縦）	縦一列の形状 建築物の撮影などに便利な形状です。	
⊞（中央）	中央に分布した形状 中央周辺にピントを合わせたい場合に便利な形状です。	
C1 / C2 / C3（カスタム）	カスタム登録した内容を設定できます。	


現在の AF エリアの形状

4 **▼ を押す**

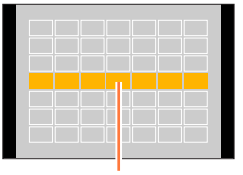
- AF エリア設定画面が表示されます。

自動でピントを合わせる（オートフォーカス）

5 AF エリアを選ぶ

[ ] / [ ] / [ ] 選択時

操作	タッチ操作	操作内容
▲▼◀▶	タッチ	位置の移動
	ピンチアウト / ピンチイン	大きさの変更（3 段階）
[DISP.]	[リセット]	初期設定に戻す



[C1] / [C2] / [C3] 選択時

ボタン操作

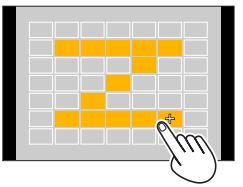
▲▼◀▶ で AF エリアを選び、[MENU/SET] ボタンで設定する（繰り返す）

- もう一度 [MENU/SET] ボタンを押すと選択が解除されます。
- [DISP.] ボタンを押すと、すべての選択が解除されます。

タッチ操作

AF エリアにしたい場所をタッチする

- 選択された AF エリアをタッチすると選択が解除されます。



6 [Fn2] ボタンを押す

■設定した AF エリアを [C1]、[C2]、[C3]（カスタム）に登録する

①手順 **3** の画面で、▲ を押す
②▲▼ で登録先を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

● [ ] / [ ] / [ ] で調整した設定は、電源を切るとお買い上げ時の設定に戻ります。

ピントを合わせる位置が決まっているとき [■]（1 点）/ [+]（ピンポイント）

[■]（1 点）

画面中央の AF エリアにピントが合います。（ピントが合いにくいときにお勧め）

[■] で被写体が撮りたい構図の中央にないときなどは、被写体に AF エリアを合わせ、シャッターボタン半押しでピントと露出を固定し、半押ししたまま撮りたい構図に本機を動かして撮影することもできます。（[撮影] メニューの [AFS/AFF/AFC] を [AFS] に設定時のみ）

[+]（ピンポイント）

[■]（1 点）より小さな点で繊細なピント合わせができます。シャッターボタンを半押しすると、ピントが合っている位置を確認するための画面が拡大表示されます。

- 動画撮影中や 4K フォト撮影時、[+]（ピンポイント）に設定している場合は、[■]（1 点）に切り換わります。
- 次の場合、[+]（ピンポイント）に設定できません。
  - [撮影] メニューの [AFS/AFF/AFC] を [AFF] または [AFC] に設定時

自動でピントを合わせる（オートフォーカス）

AF エリアの位置や大きさを変更する

撮影モード： iA iA+ P A S M 🎥M ▭ SCN 🔗

オートフォーカスモードの［👤］、［▦］、［■］、［+］では、AF エリアの位置や大きさを設定することができます。

- タッチシャッター機能を解除した状態で行ってください。
- 撮影画面をタッチすることでも、AF エリア設定画面を表示できます。（［カスタム］メニューの［タッチ設定］で、［タッチ AF］を［AF］に設定時）

- ［測光モード］（P.147）が［•］（スポット）のときは、測光ターゲットも AF エリアに合わせて移動します。
- デジタルズーム領域では、AF エリアの位置と大きさを変えることはできません。

■［👤］/［■］選択時

AF エリアの位置と大きさを変更することができます。

① ［⊞］ボタン（◀）を押す

② ［👤］または［■］を選び、▼を押す

- AF エリア設定画面が表示されます。



③ AF エリアを変更する

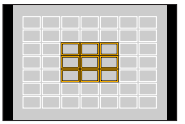
操作	タッチ操作	操作内容
▲▼◀▶	タッチ	AF エリアの移動
—	ピンチアウト / ピンチイン	AF エリアを細かく拡大 / 縮小
🔍	—	AF エリアを拡大 / 縮小
[DISP.]	[リセット]	AF エリアを中央に戻す • もう一度押すと、枠の大きさが初期設定に戻ります。

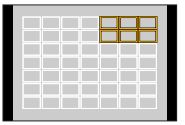
④ ［MENU/SET］ボタンを押す

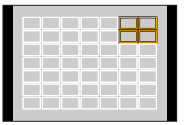
- ［👤］選択時は、タッチした場所に［■］と同じ働きの AF エリアが表示されます。
  ［MENU/SET］ボタンを押す、または［AF OFF］をタッチすると AF エリアの設定を解除できます。

■［▦］選択時

グループの例







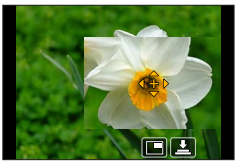
AF エリアのグループを選ぶことで、ピントを合わせる位置を設定できます。49 点の AF エリアは 9 点（画面の端では 6 点または 4 点）ごとのグループに分けられています。

①［⊞］ボタン（◀）を押す
②［▦］を選び、▼を押す
- AF エリア設定画面が表示されます。

③▲▼◀▶で AF エリアのグループを選択する
④［MENU/SET］ボタンを押す
- ［+］表示（選択したグループの中心点）のみが画面に残ります。
- ［MENU/SET］ボタンを押す、または［AF］をタッチすると AF エリアの設定が解除されます。

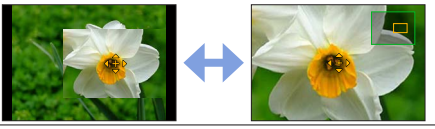
■［+］選択時

画面を拡大することで、ピントを合わせる位置の細かい設定ができます。
- 画面の端にはピントを合わせる位置の設定ができません。



①［⊞］ボタン（◀）を押す
②［+］を選び、▼を押す
③▲▼◀▶でピントを合わせる位置を決め、［MENU/SET］ボタンを押す
- ピントを合わせる位置を決めるためのアシスト画面が拡大表示されます。

④［+］をピントを合わせる位置に移動する

操作	タッチ操作	操作内容
▲▼◀▶	タッチ	［+］の移動
—	ピンチアウト / ピンチイン	画面を細かく拡大 / 縮小
	—	画面を拡大 / 縮小
—		拡大表示の切り換え（画面の一部 / 画面全体） 
［DISP.］	［リセット］	［+］を中央に戻す

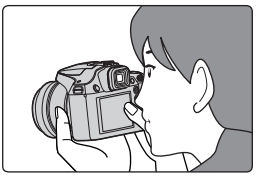
- 画面の一部のときは約 3 倍～ 6 倍、画面全体のときは約 3 倍～ 10 倍に拡大 / 縮小できます。
- アシスト画面では、［⬇］をタッチすることでも、写真を撮影することができます。

⑤［MENU/SET］ボタンを押す

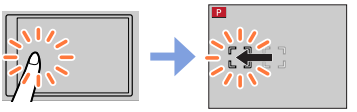
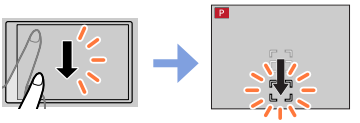
タッチパッドで AF エリアの位置を設定する

撮影モード：

ファインダー表示中にモニターをタッチして AF エリアを移動できます。



MENU ボタン→ [カスタム]→[タッチ設定]→[タッチパッド AF]

絶対位置	タッチパッドをタッチした位置に、ファインダーの AF エリアが移動します。	
相対位置	タッチパッドをドラッグ（P.33）した移動量に応じて、ファインダーの AF エリアを移動させます。	
OFF	—	

- シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる位置を決定してください。また、決定前に［DISP.］ボタンを押すと、ピントを合わせる位置が中央に戻ります。
- オートフォーカスモード（P.70）を［］（顔・瞳認識）、［］（追尾）、［］（49点）に設定時は、［MENU/SET］ボタンを押すと AF エリア枠の設定が解除されます。

● ［タッチパッド AF］使用時は、タッチシャッター（P.34）は無効になります。
● 次の場合、［タッチパッド AF］は使えません。
  - 4K ライブクロップ設定時
  - ［スナップムービー］の［ピント送り］を［ON］に設定時

自動でピントを合わせる（オートフォーカス）

タッチした位置にピントと明るさを合わせる

撮影モード： iA iA+ P A S M 🎥M ▭ SCN 🔗

タッチした位置にピントと明るさを合わせることができます。

MENU ボタン→ 🔧C［カスタム］→［タッチ設定］→［タッチ AF］→［AF+AE］

1 明るさを合わせたい被写体にタッチする

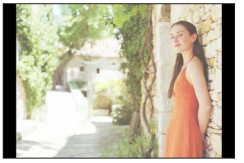


- AF エリア設定画面が表示されます。(P.76)
- 明るさを合わせる位置が AF エリアの中央に表示され、AF エリアに合わせて移動します。
- ［測光モード］はタッチ AE 専用の［AE］に変わります。
- ［リセット］をタッチすると、明るさを合わせる位置と AF エリアは中央に戻ります。

2 ［決定］をタッチする

- タッチした場所に［■］と同じ働きの AF エリアが表示されます。
- ［AF OFF AE］（［■］設定時は［AF OFF AE］）をタッチすると、［AF+AE］の設定が解除されます。

背景が明るくなりすぎた場合などは、露出補正をすることで、背景との明るさのバランスを調整できます。



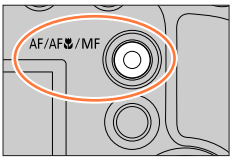
- タッチシャッター撮影時は、タッチした位置でピントと明るさを合わせて撮影します。
- 画面の端では、タッチした場所の周辺の明るさに影響を受ける場合があります。
- 次の場合、［AF+AE］は働きません。
  - デジタルズーム使用時
  - 4K ライブクロップ設定時

近づいて撮る（マクロ撮影）

撮影モード：

花などの被写体に近づいて撮りたいときに設定します。

1 ［AF/AF /MF］ボタンを押す



2 ◀▶でモードを選び、［MENU/SET］ボタンを押す

［AF］（AF マクロ）	ズームをもっとも広角（W 端）にすると、レンズから 1 cm まで接近して撮影できます。
［］（ズームマクロ）	被写体に近づいて、さらに拡大して撮りたいときに合わせてください。W 端の距離（1 cm）のまま、最大 3 倍までデジタルズームして撮影します。 • 通常撮影時よりも画質が劣化します。 • ズーム領域表示は青色（デジタルズーム領域）になります。

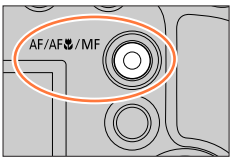
- 近距離で撮影するときは、フラッシュを使用しないことをお勧めします。
- 撮影可能範囲外で使用しているときは、フォーカス表示が点灯していても、ピントが合っていない場合があります。
- 近距離を撮影する場合は…
  - 三脚を使用し、セルフタイマー（P.103）を使って撮影することをお勧めします。
  - ピントの合っている範囲（被写界深度）が非常に狭くなりますので、ピントを合わせたあと、カメラと被写体との距離が変化するとピントが合いにくくなります。
  - 画像の周辺部の解像度が少し低下する場合がありますが、故障ではありません。
- 次の場合、［ズームマクロ］に設定できません。
  - シーンガイドモード（［夜景を手持ちで撮る］）
  - パノラマモード
  - ハイスピード動画撮影時
  - クリエイティブコントロールモード（［インプレッシブアート］［トイフォト］［トイポップ］［ジオラマ］）
  - ［HDR］を［ON］に設定時
  - ［多重露出］設定時
  - ［クオリティ］を［RAW］［RAW］［RAW］に設定時
  - ［コンバージョン］を［］または［］に設定時

手動でピントを合わせる（マニュアルフォーカス）

撮影モード：iA iA+ P A S M 🎥M 🎥 SCN 🔗

ピントを固定して撮影したいときや、オートフォーカスでピントが合いにくい環境では、マニュアルフォーカスが便利です。

1 ［AF/AF🌷/MF］ボタンを押す



2 ◀▶で［MF］を選び、［MENU/SET］ボタンを押す

3 ［⊞］ボタン（◀）を押す

- ピントを調整する画面が表示されます。
- ［MF アシスト］を［ON］に設定時は、MF アシスト（拡大画面）が表示されます。（P.164）画面をドラッグ（P.33）すると、拡大表示する位置を移動できます。
- 画面をピンチアウト（P.33）するか 2 回タッチしても、拡大表示できます。

4 ピントを合わせる

▶	近くにピントを合わせる
◀	遠くにピントを合わせる

- ◀▶を押したままにすると、ピント調整の速度が速くなります。
- スライドバーをドラッグすることでも、ピント合わせができます。
- ピントが合っている部分に色が付いて表示されます。（ピーキング）（P.164）
- MF ガイドについて（P.164）



■拡大表示する位置を変更するとき

①▼を押す

②▲▼◀▶で MF エリアを移動する
- 中央に戻すとき→［DISP.］ボタンを押す

③［MENU/SET］ボタンを押す

操作	タッチ操作	操作内容
—	ピンチアウト / ピンチイン	画面を細かく拡大 / 縮小
	—	画面を拡大 / 縮小
 ※1	 ※1	拡大表示の切り換え（画面の一部 / 画面全体）※2 

※1 インテリジェントオートモード時は設定できません。
※2 画面の一部のときは約 3 倍～ 6 倍、画面全体のときは約 3 倍～ 10 倍に拡大 / 縮小できます。

5 シャッターボタンを半押しする

- 撮影画面が表示されます。
- ［MENU/SET］ボタンを押しても同じ操作ができます。

オートフォーカスを使って素早くピントを合わせる

マニュアルフォーカス時に、オートフォーカスでピントを合わせることができます。

1 ［AF］をタッチする

- 枠の中心でオートフォーカスが働きます。
- 次の操作でもオートフォーカスが働きます。
  - ［AF-ON］を設定した［AF/AE LOCK］ボタンを押す (P.83)
  - ［AF-ON］を設定したファンクションボタンを押す
  - モニターをドラッグしてピントを合わせたい位置で指を離す
- 4K ライブクロップ設定時、この機能は使えません。



ピントや露出を固定して撮る（AF/AE ロック）

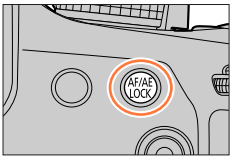
撮影モード：iA iA+ P A S M

被写体のコントラストが強すぎて適正露出が得られない場合（AE ロック）や、被写体がAF エリアから外れた構図で撮りたい場合（AF ロック）などに便利です。

1 被写体にカメラを向ける

2 ［AF/AE LOCK］ボタンを押したままにし、ピントや露出を固定する

- ［AF/AE LOCK］ボタンを離すと、ロックは解除されます。



3 ［AF/AE LOCK］ボタンを押したまま、撮りたい構図に本機を動かし、シャッターボタンを全押しする

■［AF/AE LOCK］の機能を設定する

MENU ボタン→ C［カスタム］→［AF/AE ロック切換］

［AE LOCK］	露出だけを固定します。 • 露出が合うと、［AEL］が表示されます。
［AF LOCK］	ピントだけを固定します。 • ピントが合うと、［AFL］が表示されます。
［AF/AE LOCK］	ピントと露出を固定します。 • ピントと露出が合うと、［AFL］と［AEL］が表示されます。
［AF-ON］	オートフォーカスが働きます。

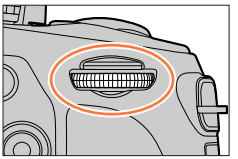
- マニュアル露出モード時は、AE ロックは無効になります。
- マニュアルフォーカス時は、AF ロックは無効になります。
- AE ロック時でも、プログラムシフトを設定できます。

露出を補正して撮る

撮影モード：

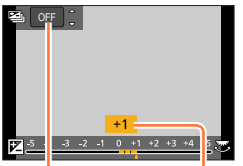
逆光時や、暗すぎる / 明るすぎる場合に露出を補正します。

1 後ダイヤルを押して露出補正操作に切り換える



2 後ダイヤルを回して露出を補正する

操作	操作内容
	露出補正
▲▼	露出ブラケットの設定（P.105）



露出ブラケット

露出補正

暗すぎる



［+］方向へ補正

適度な明るさ



［−］方向へ補正

明るすぎる



3 後ダイヤルを押して決定する

• シャッターボタン半押しでも決定できます。

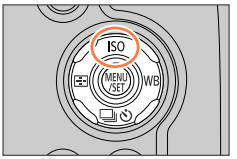
- 露出補正値は、− 5 EV ～+ 5 EV の範囲で設定可能です。
  動画撮影時、4K フォト撮影時、フォーカスセレクト撮影時は、− 3 EV ～+ 3 EV の範囲で設定可能です。
- ［撮影］メニューの［フラッシュ設定］の［露出補正連動］を［ON］に設定時は、露出補正量に応じてフラッシュの発光量も自動的に調整されます。（P.122）
- 明るさによっては、補正できない場合があります。
- 設定した露出補正量は、電源を切っても記憶しています。（［露出補正リセット］（P.175）を［OFF］に設定時）

ISO 感度を設定する

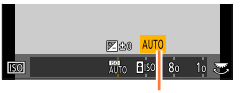
撮影モード： iA iA+ P A S M 動画 カスタム SCN

ISO 感度（光に対する感度）を設定します。
暗い場所で明るく撮りたいときは、高く設定することをお勧めします。

1 ［ISO］ボタン（▲）を押す



2 後ダイヤルを回して ISO 感度を選ぶ



ISO 感度

AUTO	被写体の明るさに応じて、最大 3200（フラッシュ使用時：1600）までの範囲で自動設定します。※1
iISO（インテリジェント ISO）	被写体の動きと明るさに応じて、最大 3200（フラッシュ使用時：1600）までの範囲で自動設定します。※1 • シャッタースピードはシャッターボタン半押し時に固定されず、全押しするまで常に被写体の動きに合わせて変化します。
80 ～ 3200、6400※2	それぞれの ISO 感度に固定します。

※1 ［ISO 感度上限設定］（P.153）を［OFF］以外に設定しているときは、［ISO 感度上限設定］の設定値までの範囲で自動的に設定します。
※2 ［拡張 ISO 感度］が［ON］の場合のみ

3 後ダイヤルを押して決定する

• シャッターボタン半押しでも決定できます。

設定の目安

ISO 感度	80 ←→	3200
適した撮影場所	明るい（屋外）	暗い
シャッタースピード	遅くなる	速くなる
ノイズ	減る	増える
被写体ブレ	多い	少ない

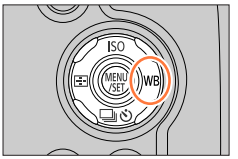
● ［AUTO］設定時のフラッシュ撮影可能範囲については、117 ページをお読みください。
● シャッター優先 AE モード時やマニュアル露出モード時は、［iISO］は選択できません。
● ［多重露出］設定時は、［3200］までの設定になります。
● クリエイティブ動画モード時や 4K フォト撮影時、フォーカスセレクト撮影時は、下記の設定項目になります。
– ［AUTO］、［80］～［3200］

ホワイトバランスを調整する

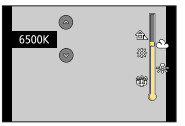
撮影モード：

太陽光や白熱灯下など、白色が赤みがかったり青みがかったりする場面で、光源に合わせて見た目に近い白色に調整します。

1 ［WB］ボタン（▶）を押す



2 後ダイヤルを回してホワイトバランスを選ぶ

［AWB］	環境光に応じて、自動で色合いを調整します。
［☼］	晴天下に適した色合いに調整します。
［☁］	曇天下に適した色合いに調整します。
［⌂］	日陰に適した色合いに調整します。
［☼］	白熱灯の照明下に適した色合いに調整します。
［WB］※	フラッシュ撮影時に適した色合いに調整します。
［1］/［2］/［3］/［4］	手動で設定した設定値を使用します。 ①▲を押す ②画面中央の枠内に紙など白いものを写し、シャッターボタンを押す • ホワイトバランスが設定され、撮影画面に戻ります。 • ［MENU/SET］ボタンを押すことでも、同じ操作ができます。 • 被写体が明るすぎたり、暗すぎたりすると、正しくホワイトバランスが設定できない場合があります。そのときは、適切な明るさに調整して、設定し直してください。
［K］	色温度でホワイトバランスを設定できます。 ①▲を押す ②▲▼で色温度を選び、［MENU/SET］ボタンを押す • ［2500K］～［10000K］まで設定できます。 

※動画撮影中、4K フォト撮影時およびフォーカスセレクト撮影時は［AWB］の動作になります。

3 後ダイヤルを押して決定する

• シャッターボタン半押しでも決定できます。

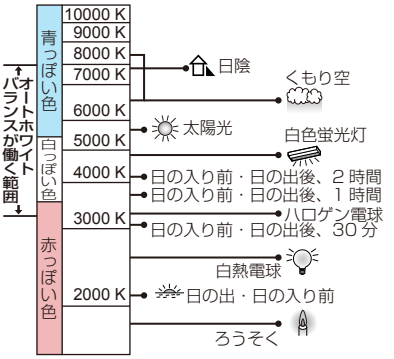
蛍光灯や LED などの照明下では、その種類によって最適なホワイトバランスは異なりますので、［AWB］または［1］、［2］、［3］、［4］をご使用ください。

続く ▶

- フラッシュ撮影時、フラッシュ撮影可能範囲（P.117）外で撮影すると、ホワイトバランスが合わない場合があります。
- シーンガイドモードでは、シーンまたは撮影モードを変更すると、設定したホワイトバランス（ホワイトバランス微調整も含む）は、［AWB］に戻ります。
- シーンガイドモードでは、それぞれのシーンに適した設定になります。

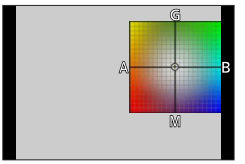
■オートホワイトバランスについて

AWB（オートホワイトバランス）に設定すると、光源に合わせて色合いを調整します。ただし、明暗の極端な状況では、画像が赤っぽくなったり、青っぽくなったりします。また、光源が複数の場合は、正常に働かない場合があります。この場合は、ホワイトバランスを［AWB］以外に設定して調整してください。



ホワイトバランスを微調整する

ホワイトバランスを設定しても思いどおりの色合いにならないとき、ホワイトバランスを個々に微調整することができます。



1 **「ホワイトバランスを調整する」（P.86）の手順 2 でホワイトバランスを選び、▼ を押す**

2 **▲▼◀▶ でホワイトバランスを微調整する**

◀：A（アンバー：オレンジ系）　▶：B（ブルー：青系）
▲：G（グリーン：緑系）　▼：M（マゼンタ：赤系）

- ホワイトバランスのグラフをタッチしても微調整することができます。
- ［DISP.］ボタンを押すと中心点に戻ります。

3 **［MENU/SET］ボタンを押す**

4 **［MENU/SET］ボタンを押して決定する**

- シャッターボタン半押しでも決定できます。

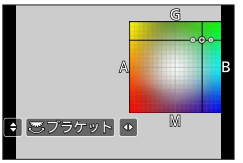
続く ▶

● ホワイトバランスを A（アンバー）または B（ブルー）方向に微調整すると、画面に表示されるホワイトバランスアイコンが微調整した色に変わります。
● ホワイトバランスを G（グリーン）または M（マゼンタ）方向に微調整すると、画面に表示されるホワイトバランスアイコンに［+］（グリーン）または［−］（マゼンタ）が表示されます。

ホワイトバランスのブラケット撮影をする

ホワイトバランス微調整の調整値を基準にブラケット設定を行い、1 回の撮影操作で異なった色合いの写真を自動的に 3 枚撮影します。

1 「ホワイトバランスを微調整する」（P.87）の手順 2 でホワイトバランスを微調整し、後ダイヤルを回してブラケット設定を行う
- [▲▼] / [◀▶] をタッチしてもブラケット設定することができます。



2 [MENU/SET] ボタンを押す

3 [MENU/SET] ボタンを押して決定する
- シャッターボタン半押しでも決定できます。

● ホワイトバランスブラケットは、[撮影] メニューの［ブラケット］でも設定できます。（P.104）
● 次の場合、ホワイトバランスブラケットは働きません。
- パノラマモード
- シーンガイドモード（［水面をキラキラ撮る］［イルミネーションをキラキラ撮る］［夜景を手持ちで撮る］［花をふんわり撮る］）
- 連写撮影時
- 4K フォト撮影時
- フォーカスセレクト撮影時
- 動画撮影中の写真撮影
- ［クオリティ］を［RAW］［RAW］［RAW］に設定時
- ［多重露出］設定時
- インターバル撮影時
- ［コマ撮りアニメ］時（［自動撮影］設定時のみ）

4K フォトで撮影して、写真を選んで保存する

4K フォトで撮る

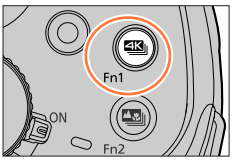
撮影モード：iA iA+ P A S M SCN

約 800 万画素の写真を 30 コマ / 秒で連写撮影します。撮影後、連写ファイルから一瞬を選び出し、保存することができます。

- 撮影時は UHS Speed Class 3 のカードをお使いください。(P.21)

1 [4K] ボタンを押す

- [▶] ボタン（▼）を押して、◀▶ で 4K フォトアイコンを選び、▲ を押しても同じ操作ができます。



2 ◀▶ で撮影方法を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 撮影方法は、［撮影］メニューの［4K フォト］でも設定できます。



4K 連写	**動きの速い被写体のベストな一瞬をとらえたいとき** （スポーツ、飛行機、鉄道など） 音声記録：なし
4K 連写（S/S） S/S とは「Start/Stop」の略を表します。	**いつ起こるか分からないシャッターチャンスをとらえたいとき** （植物、動物、子どもなど） 音声記録：あり※
4K プリ連写	**シャッターチャンスの瞬間に合わせて撮りたいとき** （ボールを投げる瞬間など） 音声記録：なし

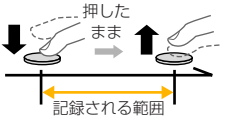
※本機で再生する場合、音声は再生されません。

続く ▶

3 4K フォトで撮影する

4K 連写

①シャッターボタンを半押しする
②撮影したい間、シャッターボタンを全押ししたままにする
- 全押しから約 0.5 秒後に撮影が開始されますので、早めに全押ししてください。

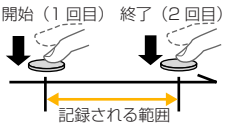


- オートフォーカスで撮影時、撮影中は AF 連続動作が働き、ピントを合わせ続けます。
- 撮影開始後にすぐにシャッターボタンを離すと、最大約 1.5 秒後まで記録される場合があります。

4K 連写（S/S）
S/S とは「Start/Stop」の略を表します。

①シャッターボタンを全押しする
- 撮影を開始します。
- オートフォーカスで撮影時、撮影中は AF 連続動作が働き、ピントを合わせ続けます。

②もう一度、シャッターボタンを全押しする
- 撮影を終了します。



撮影中に［Fn1］ボタンを押すと、マーカーを付けることができます。（1 回の記録につき最大 40 個まで）4K 連写ファイルから写真を選び保存するときに、マーカーを付けた位置へスキップできます。

4K プリ連写

①シャッターボタンを全押しする
- オートフォーカス時はピントを合わせ続けます。マニュアル露出モード以外では、露出も合わせ続けます。



- 通常の撮影画面と比べて滑らかさが劣る場合があります。

被写体が中央にないときなどで、ピントや露出を固定したい場合は、AF/AE ロックをお使いください。（P.83）

- 4K 連写ファイルは MP4 形式で保存されます。
- オートレビューを設定している場合、写真を選ぶ画面が自動で表示されます。続けて撮影する場合は、シャッターボタンを半押しして、撮影画面を表示してください。
- 4K 連写ファイルから写真を選び保存する方法は、91 ページをお読みください。
- 比較明合成（P.182）を行う場合、カメラのブレを抑えるために、三脚を使用し、スマートフォンと接続してリモート撮影することをお勧めします。（P.200）

■4K フォトを解除するとき

手順 **2** で［4K OFF］を選ぶ。
- ［▶］ボタン（▼）を押して［□］（単写）または［4K OFF］を選んでも解除できます。

4K 連写ファイルから写真を選び保存する

4K 連写ファイルから写真を選び出して保存する方法を説明します。
4K 連写ファイルの撮影方法は、89 ページをお読みください。

1 再生画面で［▲］が付いた画像を選び、▲ を押す

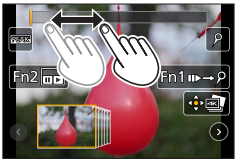
- ［▲］をタッチしても同じ操作ができます。
- ［4K PRE］（4K プリ連写）で撮影した場合は、手順 **3** へ進んでください。



2 スライドバーをドラッグし、おおまかにシーンを選ぶ

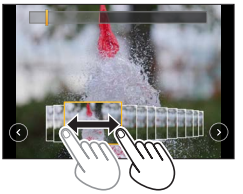
- スライドフォトセレクト画面での操作方法は、92 ページをお読みください。
- ［▶］をタッチする（または［Fn2］ボタンを押す）と 4K 連写再生画面でシーンを選ぶこともできます。(P.93)

スライドフォトセレクト画面



3 ドラッグし、写真として保存するコマを選ぶ

- ◀▶ でも同じ操作ができます。



4 ［⊕］をタッチし、写真を保存する

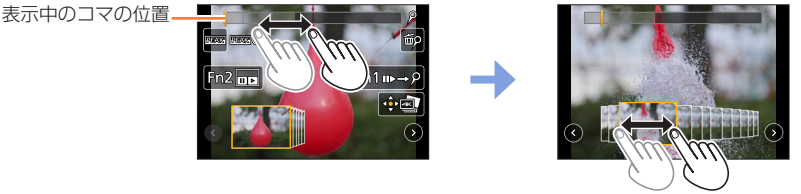
- 写真は JPEG 形式で保存されます。
- 保存する写真には、シャッタースピード、絞り、ISO 感度などの撮影情報（Exif 情報）も記録されます。

［再生］メニューの［4K フォト一括保存］を使うと、5 秒分の写真を一括保存することができます。(P.182)

続く ▶

4K フォトで撮影して、写真を選んで保存する

＜スライドフォトセレクト画面＞



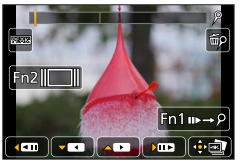
操作	タッチ操作	操作内容
◀▶	ドラッグ	写真として保存するコマの選択 • 60 枚（連写時間約 2 秒）から選べます。
◀▶ で ⟨⟩ を選択 → [MENU/SET]	⟨⟩	前または後のコマ（45 枚）を表示 • 続けて押すと、さらに前または後を表示します。
—	タッチ / ドラッグ	表示するコマの選択 • 選んだコマの前後のコマを表示します。
	ピンチアウト / ピンチイン	表示の拡大 / 縮小
▲▼◀▶	ドラッグ	拡大表示位置の移動（拡大表示中）
[Fn1]		マーカー操作への切り換え
[Fn2]		4K 連写再生画面を表示
—	/	マーカーの追加 / 削除
—	PEAK	ピントが合っている部分に色をつけて表示（ピーキング） •［PEAK OFF］→［PEAK L］（低）→［PEAK H］（高）の順に切り換わります。
[MENU/SET]		写真の保存

• マーカー操作中は、設定したマーカーや 4K 連写ファイルの始めと終わりにスキップする操作が可能になります。もう一度［Fn1］ボタンを押すと、元の操作に戻ります。

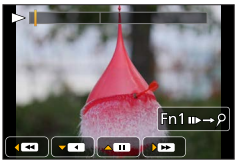
ボタン操作	タッチ操作	操作内容
▶		次のマーカーへ移動
◀		前のマーカーへ移動

4K フォトで撮影して、写真を選んで保存する

＜ 4K 連写再生画面＞



一時停止中



連続再生中

操作	タッチ操作	操作内容
▲	▶ / ❚❚	連続再生 / 一時停止（連続再生中）
▼	◀ / ❚❚	連続戻し再生 / 一時停止（連続戻し再生中）
▶	▶▶ / ❚❚▶	早送り再生 / コマ送り（一時停止中）
◀	◀◀ / ◀❚❚	早戻し再生 / コマ戻し（一時停止中）
—	タッチ / ドラッグ	表示するコマの選択（一時停止中）
	ピンチアウト / ピンチイン	表示の拡大 / 縮小（一時停止中）
▲▼◀▶	ドラッグ	拡大表示位置の移動（拡大表示中）
[Fn1]		マーカー操作への切り換え （P.92）
[Fn2]		スライドフォトセレクト画面を表示（一時停止中）
—	/	マーカーの追加 / 削除
—	PEAK	ピントが合っている部分に色をつけて表示（ピーキング） • ［PEAK OFF］→［PEAK L］（低）→［PEAK H］（高）の順に切り換わります。
[MENU/SET]		写真の保存（一時停止中）

• 画面を 2 回タッチすると拡大表示されます。拡大時に 2 回タッチすると元の表示に戻ります。

■テレビの画面で写真を選び保存する

• ［HDMI 出力解像度（再生時）］を［AUTO］または［4K］に設定してください。4K 動画に対応していないテレビに接続する場合は、［AUTO］に設定してください。
• ［テレビ接続設定］の［ビエラリンク］を［OFF］に設定してください。
• テレビに接続して表示する場合、4K 連写再生画面のみが表示されます。
• 4K 動画対応の SD カードスロット付きテレビにカードを入れて再生できるのは、［画像横縦比］が［16:9］で撮影した 4K 連写ファイルのみです。（2017 年 2 月現在）

4K フォトについてのお知らせ

■横縦比を変更するには

［撮影］メニューの［画像横縦比］を設定することで、4K フォトの横縦比を設定できます。

■被写体ブレを抑えて撮るには

シャッタースピードを速くすることで、被写体ブレを抑えることができます。

①モードダイヤルを［S］に合わせる
②後ダイヤルを回してシャッタースピードを設定する
- 晴天の屋外でのシャッタースピードの目安：1/1000 秒以上
- シャッタースピードを速くすると、ISO 感度が高くなり、画面にノイズが増えることがあります。

■4K フォト撮影時のシャッター音について

［4K 連写］（4K 連写）や［4K プリ連写］（4K プリ連写）で撮影時、電子シャッターで撮影されるので、［シャッター音音量］と［シャッター音音色］で、電子シャッター音の設定ができます。(P.171)

［4K 連写 (S/S)］（4K 連写（S/S））で撮影時、開始音 / 終了音は、［電子音音量］で音量を設定できます。

- サイレントモードと組み合わせて 4K フォト撮影すると、静かに高速連写撮影ができます。(P.161)

■4K フォトが苦手な撮影シーン

室内での撮影

蛍光灯や LED などの照明下で撮影すると、色合いや明るさが変わったり、画面に横しまが現れたりすることがあります。シャッタースピードを遅くすると横しまが軽減されることがあります。

速く動く被写体

速く動く被写体を撮影すると、被写体がゆがんで撮影される場合があります。

続く ▶

■4K フォトでの制限事項

一部の撮影機能やメニュー設定などで制限があります。

• 次の設定が固定されます。

記録画素数	[4K]（8M）
	[4:3]：3328 × 2496　[3:2]：3504 × 2336 [16:9]：3840 × 2160　[1:1]：2880 × 2880
クオリティ	[ ]
シャッター方式	[電子シャッター]
記録方式※	[MP4]
画質設定※	[4K/100M/30p]
AF 連続動作※	[ON]

※［動画］メニューでの設定は、4K フォトで撮影する 4K 連写ファイルに反映されません。

• 次の撮影機能が制限されます。

	[ ]（4K 連写）/ [ ]（4K 連写（S/S））	[ ]（4K プリ連写）
プログラムシフト	×	
露出補正	− 3 EV ～+ 3 EV	
シャッタースピード	1/30 ～ 1/16000	
AFS/AFF/AFC（AFF）	×	
オートフォーカスモード（[ ]）	×	
MF アシスト	○	×
ホワイトバランス（[ ]）	×	
ISO 感度	[AUTO]、80 ～ 3200	
フラッシュ	×	
ブラケット撮影	×	

• 以下のメニューは設定できません。

撮影	[記録画素数] / [クオリティ] / [ブラケット] / [i 手持ち夜景] / [iHDR] / [HDR] / [パノラマ設定] / [シャッター方式] / [フラッシュ設定] / [拡張 ISO 感度] / [色空間] / [個人認証] / [プロフィール設定]
カスタム	[記録枠表示]
セットアップ	[エコモード]（[ ]（4K プリ連写）のみ）

続く ▶

本機の温度やバッテリーの消耗について

- 周囲の温度が高かったり連続で 4K フォトの撮影を行ったとき、[⚠] が表示されたあと、撮影が停止する場合があります。本機の温度が下がるまでお待ちください。
- **[4K PRE] (4K プリ連写) に設定しているときは、バッテリーの消耗が早くなり、本機の温度も上昇します。(本機の保護のため、[4K] (4K 連写) に切り換わる場合があります)**
  撮影するときだけ [4K PRE] (4K プリ連写) に設定してください。

- 連続記録時間が 15 分を超えると記録を停止します。
  SDHC メモリーカード使用時は、ファイルサイズが 4 GB を超える場合は、ファイルは分かれて保存・再生されます。(撮影は一時中断することなく続けることができます)
  SDXC メモリーカードを使用すると、ファイルサイズが 4 GB を超えても 1 つのファイルとして記録できます。
- 撮影時、画角が狭くなります。
- 4K フォト撮影時、次のようになります。
  - [超解像] の [拡張] は [弱] に切り換わります。
  - [トラベル日付] の [旅行先] は記録できません。
  - [フィルターなし同時記録] は設定できません。
- [4K PRE] (4K プリ連写) で撮影時、[ステップズーム] は働きません。
- インテリジェントオートモードでのシーン判別は、動画撮影時と同じシーン判別になります。
- 次の場合、4K フォトは無効になります。
  - シーンガイドモード ([逆光でしっかり撮る] [水面をキラキラ撮る] [夜景をアーティスティックに撮る] [イルミネーションをキラキラ撮る] [夜景を手持ちで撮る] [夜景をバックに人物をきれいに撮る] [花をふんわり撮る])
  - クリエイティブコントロールモード ([ラフモノクローム] [シルキーモノクローム] [ジオラマ] [ソフトフォーカス] [クロスフィルター] [サンシャイン])
  - 動画撮影時
  - [多重露出] 設定時
  - インターバル撮影時
  - [コマ撮りアニメ] 時
- パソコンで 4K 連写ファイルから写真を選び保存する場合は、ソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」をご使用ください。(P.233) ただし、「PHOTOfunSTUDIO」で 4K 連写ファイルを動画として編集することはできません。

撮影後にピントを操作する（フォーカスセレクト / フォーカス合成）

撮影モード： iA iA+ P A S M M ▭ SCN

4K 連写でピント位置を変化させながら撮影し、撮影後にピント位置を選ぶことができます。
動きのない被写体に適した機能です。
複数のピント位置を選び、一枚の写真に合成することもできます。（フォーカス合成）



自動でピントをずらしながら 4K フォト連写

合わせたいピント位置でタッチ

お好みのピント位置での写真が完成

- フォーカス合成を行う場合は、三脚の使用をお勧めします。
- 撮影時は UHS Speed Class 3 のカードをお使いください。(P.21)

フォーカスセレクト撮影をする

1 **[ ] ボタンを押す**

2 **◀▶ で［ON］を選び、［MENU/SET］ボタンを押す**

- [ ] ボタン（▼）を押して、◀▶ でフォーカスセレクトアイコン（[ ]）を選んでも［ON］に設定できます。

3 **構図を決めて、シャッターボタンを半押しする**

- オートフォーカスが働き、画面内のピント位置を検出します。
- 画面内にピントが合う位置がない場合、フォーカス表示（●）が点滅し、撮影できません。

フォーカスセレクトアイコン



シャッターボタン半押し後から撮影終了までは
- 被写体との距離や構図が変わらないようにしてください。

4 **シャッターボタンを全押しして撮影を開始する**

- ピント位置を自動で変化させながら撮影します。撮影進捗バーが消えると、撮影が自動で終了します。
- MP4 形式の動画で記録されます。（音声は記録されません。）
- オートレビューを設定している場合、ピントを合わせる位置を選ぶ画面が自動で表示されます。(P.98)

撮影進捗バー



■フォーカスセレクトを解除するとき

手順 **2** で［OFF］を選ぶ。
- [ ] ボタン（▼）を押して、[ ]（単写）または [ ] を選んでも解除できます。

ピントを合わせる位置を選び、写真を保存する（フォーカスセレクト）

1 再生画面で［▲］が付いた画像を選び、▲を押す

• アイコン（［▲］）をタッチしても同じ操作ができます。



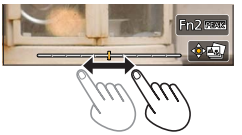
2 ピントを合わせる位置をタッチする

• 選んだ位置にピントが合う写真がない場合、赤い枠が表示され、写真を保存できません。
• 画面の端は選べません。



操作	タッチ操作	操作内容
▲▼◀▶	タッチ	ピント位置の選択 • 拡大表示中は選択できません。
		表示の拡大
		表示の縮小（拡大表示中）
[Fn1]		フォーカス合成操作への切り換え（P.99）
[Fn2]	PEAK	ピントが合った部分に色をつけて表示（ピーキング） •［PEAK OFF］→［PEAK L］（低）→［PEAK H］（高）の順に切り換わります。
[MENU/SET]		写真の保存

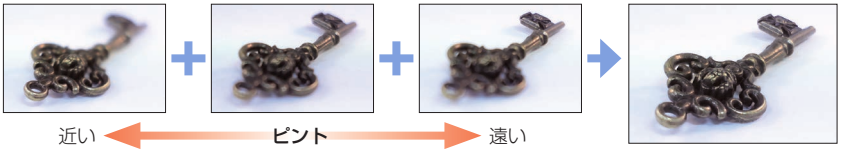
• 拡大表示中は、スライドバーをドラッグし、ピントを微調整することができます。（◀▶ でも同じ操作ができます。）



3 [ ] をタッチし、写真を保存する

• 写真は JPEG 形式で保存されます。

ピントが合う範囲を選び、1 枚の写真に合成する（フォーカス合成）



1 「ピントを合わせる位置を選び、写真を保存する（フォーカスセレクト）」（P.98）の手順 **2** で、画面の［🖼］をタッチする

- ［Fn1］ボタンを押すことでも、同じ操作ができます。

2 合成方法をタッチする

自動合成	合成に適した写真を自動で選び、1 枚の写真に合成します。 • 近距離側の写真を優先して選びます。 • 合成が実行され写真が保存されます。
指定範囲合成	選択したピント位置の写真を 1 枚の写真に合成します。

3 （［指定範囲合成］選択時）
ピントを合わせる位置をタッチする



- 2 点以上の位置を選んでください。
- 選択した 2 点の間にピントが合っている位置があれば、その位置も選択されます。
- 選択できない位置や、選択すると不自然な写真になる可能性がある位置はグレーで表示されます。

- もう一度、タッチすると選択が解除されます。
- 画面をドラッグすると、位置を続けて選択できます。

操作	タッチ操作	操作内容
▲▼◀▶	タッチ	位置の選択
［Fn2］	［設定 / 解除］	位置の設定 / 解除
［DISP.］	［全範囲］	すべての位置を選択（位置の選択前）
	［リセット］	すべての選択を解除（位置の選択後）
［MENU/SET］	🖼	写真の合成・保存

4 ［🖼］をタッチし、写真を合成し保存する

- 写真は JPEG 形式で保存され、もっとも近い位置の写真のシャッタースピード、絞り、ISO 感度などの撮影情報（Exif 情報）も記録されます。

フォーカスセレクト / フォーカス合成のお知らせ

■フォーカスセレクト撮影の制限事項

- 4K フォトと同様の画質で撮影するため、撮影機能やメニュー設定に制限があります。詳しくは、95 ページの「4K フォトでの制限事項」をお読みください。
- フォーカスセレクト撮影時は、4K フォトの制限事項に加え、以下が制限されます。
  - オートフォーカスモードは設定できません。
  - マニュアルフォーカス操作はできません。
  - 以下のメニューは設定できません。
    ［撮影］メニュー（［AFS/AFF/AFC］/［デジタルズーム］）
    ［カスタム］メニュー（［シャッター半押し AF］/［残枚数 / 残時間切換］/［動画ボタン］）
  - 動画撮影はできません。

本機の温度について

周囲の温度が高かったり連続でフォーカスセレクト撮影を行ったとき、［⚠］が表示されたあと、撮影が停止する場合があります。本機の温度が下がるまでお待ちください。

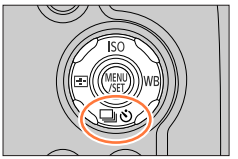
- 撮影時、画角が狭くなります。
- 次の場合、フォーカスセレクト撮影は無効になります。
  - シーンガイドモード（［逆光でしっかり撮る］［水面をキラキラ撮る］［夜景をアーティスティックに撮る］［イルミネーションをキラキラ撮る］［夜景を手持ちで撮る］［夜景をバックに人物をきれいに撮る］［花をふんわり撮る］）
  - クリエイティブコントロールモード（［ラフモノクローム］［シルキーモノクローム］［ジオラマ］［ソフトフォーカス］［クロスフィルター］［サンシャイン］）
  - ［多重露出］設定時
  - インターバル撮影時
  - ［コマ撮りアニメ］時
- ピントを選んで保存する場合、HDMI マイクロケーブルで本機とテレビを接続しても、テレビの画面で写真を選んで保存できません。
- 次の場合、不自然な写真に合成されることがあります。
  - 被写体が動いた場合
  - 被写体までの距離の差が大きい場合
  - ボケ具合が大きい場合（絞り値を大きくして撮影すると不自然さが軽減することがあります）
  - コンバージョンレンズ（別売）を使用して撮影した場合
- フォーカス合成時は、手ブレによる画像のずれを自動で調整します。その場合、合成時に画角がわずかに狭くなります。
- フォーカス合成できるのは本機でフォーカスセレクト撮影した画像のみです。

ドライブモードを選ぶ

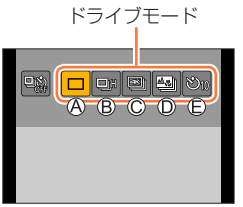
撮影モード：

シャッターボタンを押したときの動作を切り換えることができます。

1 [ ]ボタン（▼）を押す



2 ◀▶でドライブモードを選び、[MENU/SET]ボタンを押す



Ⓐ **単写**	シャッターボタンを押すと 1 枚だけ撮影します。
Ⓑ **連写** (P.102)	シャッターボタンを押している間、連続して撮影します。
Ⓒ **4K フォト** (P.89)	シャッターボタンを押すと 4K フォトで撮影します。
Ⓓ **フォーカスセレクト** (P.97)	シャッターボタンを押すとフォーカスセレクト撮影をします。
Ⓔ **セルフタイマー** (P.103)	シャッターボタンを押すと、設定した時間後に撮影します。

■ドライブモードを解除するとき

手順 **2** で［□］（単写）または［ ］を選ぶ。

- セルフタイマーは電源を切っても解除されます。（［セルフタイマー自動解除］(P.175)を［ON］に設定時）

ドライブモードを選ぶ

連写する

■［連写速度］を設定する

101 ページの手順 **2** で連写を選んで ▲ を押したあと、◀▶ で連写速度を選び、［MENU/SET］ボタンを押す

		［H］（高速）	［M］（中速）	［L］（低速）
連写速度	AFS	10 コマ / 秒	6 コマ / 秒	2 コマ / 秒
	AFF/AFC	6 コマ / 秒	6 コマ / 秒	2 コマ / 秒
連写中のライブビュー		なし	あり	あり
最大記録枚数※1	RAW ファイルあり	13 枚		
	RAW ファイルなし	41 枚	80 枚	100 枚

※1 連写できる最大記録枚数は、撮影条件やカードの種類またはカードの状態などによって制限されます。カードの空き容量がいっぱいになるまで撮影されますが、途中から連写速度が遅くなります。遅くなるタイミングは画像横縦比、記録画素数、クオリティの設定、使用するカードによって異なります。

連写とピントについて

ピント合わせは、［撮影］メニューの［AFS/AFF/AFC］（P.69）と［カスタム］メニューの［フォーカス / レリーズ優先］（P.163）の設定によって異なります。

［AFS/AFF/AFC］	フォーカス / レリーズ優先	ピント合わせ
AFS	フォーカス	1 枚目
	レリーズ	
AFF/AFC※2	フォーカス	常時ピント※3
	レリーズ	予測ピント※4

※2 被写体が暗い場合は、ピントは 1 コマ目に固定されます。
※3 常時ピントを合わせながら連写するので、連写速度は遅くなることがあります。
※4 連写速度を優先し、可能な範囲でピントの予測を行います。

続く ▶

- 連写速度は、次の設定によって低下することがあります。
  [ISO 感度]／[記録画素数]／[クオリティ]／[AFS/AFF/AFC]／[フォーカス / レリーズ優先]
- [H] 設定時、連写枚数が多くなると途中で連写速度が低下することがあります。
- [H]（[AFS/AFF/AFC] が [AFS] またはフォーカスモードが [MF] の場合）設定時、1 枚目の露出、ホワイトバランスに固定されます。
  [H]（[AFS/AFF/AFC] が [AFF] または [AFC] の場合）、[M] または [L] 設定時、1 枚ごとに露出、ホワイトバランスを調整します。
- **連写した写真の保存には時間がかかる場合があります。保存中に引き続き連写した場合は、最大記録枚数が減少します。連写時は、高速タイプのカードのご使用をお勧めします。**
- 次の場合、連写は無効になります。
  - シーンガイドモード（[水面をキラキラ撮る] [イルミネーションをキラキラ撮る] [夜景を手持ちで撮る] [花をふんわり撮る]）
  - クリエイティブコントロールモード（[ラフモノクローム] [シルキーモノクローム] [ジオラマ] [ソフトフォーカス] [クロスフィルター] [サンシャイン]）
  - フラッシュ撮影時
  - 動画撮影時
  - [多重露出] 設定時
  - インターバル撮影時
  - [コマ撮りアニメ] 時（[自動撮影] 設定時のみ）

セルフタイマーで撮る

■[セルフタイマー] の動作を設定する

101 ページの手順 **2** でセルフタイマーを選んで ▲ を押したあと、◀▶ で動作設定を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

10	10 秒後に撮影します。
10	10 秒後に約 2 秒間隔で 3 枚撮影します。
2	2 秒後に撮影します。シャッターボタンを押したときのカメラのブレを防ぐのにも効果的です。

- セルフタイマーランプが点滅後、撮影動作が開始されます。
- フォーカスと露出はシャッターボタン半押し時に固定されます。
- 三脚の使用をお勧めします。
- 次の場合、[10] に設定できません。
  - ブラケット撮影時
  - [多重露出] 設定時
  - [フィルター設定] の [フィルターなし同時記録] を [ON] に設定時
- 次の場合、セルフタイマーは無効になります。
  - 動作撮影時
  - インターバル撮影時
  - [コマ撮りアニメ] 時（[自動撮影] 設定時のみ）

設定を自動的に変えながら撮る（ブラケット撮影）

撮影モード：

シャッターボタンを押すと、自動的に設定を変えて複数枚の画像を撮影できます。

1 メニューを設定する (P.36)

MENU ボタン→ ［撮影］ →［ブラケット］ →［ブラケット種類］

（露出ブラケット）	シャッターボタンを押すと、露出を変えながら撮影します。(P.105)
WB （ホワイトバランスブラケット）	1 回シャッターボタンを押すと、ホワイトバランスの調整値を変えた画像を自動的に 3 枚撮影します。(P.88)

2 ▼ で［詳細設定］を選び、［MENU/SET］ボタンを押す

- ［詳細設定］については、各機能のページをお読みください。
- シャッターボタンを半押ししてメニューを終了してください。

3 ピントを合わせて撮影する

- 露出ブラケット設定時は、設定枚数分がすべて撮影されるまでブラケット表示が点滅します。設定枚数分がすべて撮影されるまでにブラケットの設定を変更したり、電源スイッチを［OFF］にした場合は、1 枚目からの撮影になります。

■ブラケットを解除するとき

手順 1 で［OFF］を選ぶ。

● 次の場合、ブラケット撮影は無効になります。
- シーンガイドモード（［水面をキラキラ撮る］［イルミネーションをキラキラ撮る］［夜景を手持ちで撮る］［花をふんわり撮る］）
- クリエイティブコントロールモード（［ラフモノクローム］［シルキーモノクローム］［ジオラマ］［ソフトフォーカス］［クロスフィルター］［サンシャイン］）
- フラッシュ撮影時（ホワイトバランスブラケットを除く）
- 動画撮影時
- 4K フォト撮影時
- フォーカスセレクト撮影時
- ［多重露出］設定時
- インターバル撮影時
- コマ撮りアニメ時（［自動撮影］設定時のみ）

露出ブラケット

■詳細設定（104 ページの手順 2）

補正幅	撮影枚数と露出補正幅を設定します。 **[3•1/3]**（3 枚撮影・1/3 EV 幅）～ **[7• 1]**（7 枚撮影・1 EV 幅）
ブラケット順序	画像の撮影順を設定します。
単写時撮影方法※	[□]：シャッターボタンを押すごとに 1 枚撮影。 [□]：1 回シャッターボタンを押すと設定枚数すべてを撮影。

※連写設定時は設定できません。シャッターボタンを押し続けると設定枚数まで連続撮影されます。

補正幅：[3・1/3]、ブラケット順序：[0/ ー / +] 設定時の例



● 露出補正をしてから露出ブラケット撮影をする場合は、補正された露出値を基準にして撮影されます。

一定の間隔で自動的に撮影する（インターバル撮影）

撮影モード： iA iA+ P A S M 🎥M ▭ SCN 🔗

撮影開始時刻や撮影間隔などをあらかじめ設定しておくと、自動的に写真を撮影します。動植物の経過観察や風景などの定点撮影に便利です。ひとつのグループ画像（P.139）として記録されます。

- **あらかじめ時計設定をしておいてください。**（P.24）

1 メニューを設定する（P.36）

MENU ボタン→ 📷［撮影］→［インターバル撮影］

開始時刻	**即時開始**	シャッターボタンを全押しすると、撮影を開始します。
	開始時刻設定	最大 23 時間 59 分後まで設定可能です。 ①◀▶ で項目（時・分）を選び、▲▼ で開始時刻を設定し、［MENU/SET］ボタンを押す
撮影間隔 **撮影枚数**	撮影間隔と撮影枚数を設定できます。 ◀▶：項目（分・秒・枚）選択 ▲▼：設定 **［MENU/SET］ボタン**：決定	

- 撮影条件によっては、設定した撮影間隔や撮影枚数どおりに撮影できない場合があります。

2 ▲で［開始］を選び、［MENU/SET］ボタンを押す

3 シャッターボタンを全押しする

- 自動的に撮影が開始されます。
- 撮影待機中、一定時間何も操作しないと、自動的に電源が切れます。電源が切れてもインターバル撮影は継続され、撮影開始時刻になると自動的に電源が入ります。手動で電源を入れる場合はシャッターボタンを半押ししてください。
- 撮影待機中の操作（電源が入った状態）

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
［Fn1］	⏲	一時停止または終了の選択画面を表示
	⏲ II	再開または終了の選択画面を表示（一時停止中）

4 動画の作成方法を選ぶ

• ［記録方式］：［MP4］

画質設定	動画の画質を設定します。
フレームレート	1 秒当たりのコマ数を設定します。数字が大きい程滑らかな動画になります。
動画化順番	**［撮影順］**：撮影した順番で画像をつなげます。 **［逆順］**：撮影したのとは逆の順番で画像をつなげます。

5 ▲ で［実行］を選び、［MENU/SET］ボタンを押す

• ［再生］メニューの［インターバル動画作成］からも動画化できます。（P.186）

● システム用途（監視カメラ）の機能ではありません。
● ズームを使うと、レンズ鏡筒が伸びてカメラが傾くおそれがあります。三脚を使用するなどして、カメラを固定してください。
● 次の場合、インターバル撮影は一時停止します。
  • バッテリー残量がなくなったとき
  • 電源を切ったとき
  設定時間中であれば、一時停止中にバッテリー、カードを交換し、電源を入れて再開することができます。（ただし、再開後に撮影された画像は別のグループ画像として記録されます）なお、バッテリー、カードを交換するときは、電源を切って行ってください。
● ［撮影間隔］を長く設定し、撮影待機中に電源が自動的に切れる場合は、オートフォーカスでインターバル撮影することをお勧めします。
● 画質設定のサイズを［4K］に設定して動画を作成する場合、記録時間が 29 分 59 秒を超える動画は作成できません。
  SDHC メモリーカード使用時は、ファイルサイズが 4 GB を超える場合も動画作成できません。
  SDXC メモリーカードを使用すると、ファイルサイズが 4 GB を超えても動画作成できます。
● 画質設定のサイズを［FHD］または［HD］に設定して動画を作成する場合、記録時間が 29 分 59 秒を超える、またはファイルサイズが 4 GB を超える動画は作成できません。
● 次の場合、［インターバル撮影］は使えません。
  • シーンガイドモード（［夜景を手持ちで撮る］）
  • ［多重露出］設定時
  • ［コマ撮りアニメ］時

ストップモーション動画の作成（コマ撮りアニメ）

撮影モード：iA iA+ P A S M 🎥M ▭ SCN 🔗

写真をつなぎ合わせてストップモーション動画を作成します。
- **あらかじめ時計設定をしておいてください。**(P.24)
- コマ撮り撮影した写真はひとつのグループ画像としてまとめて表示されます。(P.139)

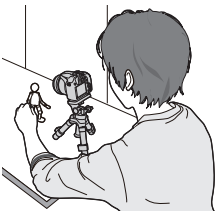
1 メニューを設定する (P.36)

MENU ボタン→ 📷［撮影］→［コマ撮りアニメ］

自動撮影	[ON]：設定した撮影間隔で自動的に写真を撮影します。 [OFF]：1 コマずつ手動で写真を撮影します。
撮影間隔	（[自動撮影］を［ON］に設定時のみ） 自動撮影の間隔を設定します。

2 ▲で［開始］を選び、[MENU/SET］ボタンを押す

3 ▲で［新しく撮る］を選び、[MENU/SET］ボタンを押す



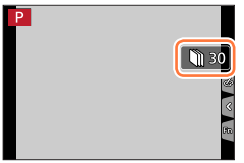
4 シャッターボタンを全押しする
- 最大 9999 コマまで撮影できます。

5 被写体を動かし、構図を決める
- 同様に撮影を繰り返してください。
- 撮影中に電源を切ると、電源を入れたときに撮影再開のメッセージが表示されます。[はい］を選ぶと続きから撮影できます。

素材を上手に撮影するために

- 撮影画面には 2 つ前までの撮影画像が表示されます。動かす量の参考にしてください。
- ［▶］（再生）ボタンを押すと、撮影した画像を確認できます。不要な画像は［🗑］ボタンを押して消去することができます。もう一度［▶］（再生）ボタンを押すと撮影画面に戻ります。

6 [ ] をタッチして撮影を終了する



- [撮影] メニューから [コマ撮りアニメ] を選び、[MENU/SET] ボタンを押しても終了できます。
- [自動撮影] を [ON] に設定時は、確認画面で [終了] を選んでください。([一時停止] を選んだ場合、撮影を再開するにはシャッターボタンを全押ししてください)

7 動画の作成方法を選ぶ

- [記録方式]：[MP4]

画質設定	動画の画質を設定します。
フレームレート	1 秒当たりのコマ数を設定します。数字が大きい程滑らかな動画になります。
動画化順番	**[撮影順]**：撮影した順番で画像をつなげます。 **[逆順]**：撮影したのとは逆の順番で画像をつなげます。

8 ▲ で [実行] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [再生] メニューの [コマ撮りアニメ作成] からも動画化できます。(P.187)

■撮影済みのコマ撮りグループに画像を追加する

手順 **3** で [続きから撮る] を選ぶと、[コマ撮りアニメ] で撮影したグループ画像が表示されます。グループ画像を選んで [MENU/SET] ボタンを押し、確認画面で [はい] を選んでください。

- フラッシュ撮影時など、撮影条件によっては撮影に時間がかかるため、設定した撮影間隔どおりに自動撮影できないことがあります。
- 画質設定のサイズを [4K] に設定して動画を作成する場合、記録時間が 29 分 59 秒を超える動画は作成できません。
  SDHC メモリーカード使用時は、ファイルサイズが 4 GB を超える場合も動画作成できません。
  SDXC メモリーカードを使用すると、ファイルサイズが 4 GB を超えても動画作成できます。
- 画質設定のサイズを [FHD] または [HD] に設定して動画を作成する場合、記録時間が 29 分 59 秒を超える、またはファイルサイズが 4 GB を超える動画は作成できません。
- 1 枚だけ撮影された画像を [続きから撮る] で選ぶことはできません。
- 次の場合、[コマ撮りアニメ] は使えません。
  - [多重露出] 設定時
  - インターバル撮影時
- 次の場合、[コマ撮りアニメ] の [自動撮影] は使えません。
  - シーンガイドモード ([夜景を手持ちで撮る])

手ブレを補正する

撮影モード：

本機では、手ブレを自動で感知して補正します。

MENU ボタン→ ［撮影］/ ［動画］→ ［手ブレ補正］

（通常）	上下左右の動きに対する手ブレを補正します。
（流し撮り）	上下の動きに対する手ブレを補正します。流し撮り（一定の方向に向かって動いている被写体の動きに合わせて、本機を動かしながら撮影する方法）するときに適しています。
OFF	手ブレ補正は働きません。

■アクティブモードについて

動画撮影時はアクティブモード（動画用手ブレ補正）が自動的に働きます。歩きながら動画を撮影するときなど、大きな揺れに対してブレにくくします。

手ブレを防ぐために



手ブレ警告表示が表示されたときは、［手ブレ補正］、三脚、［セルフタイマー］などをお使いください。

- 特に、次の場合にはシャッタースピードが遅くなって撮影されますので、シャッターを切ったあと、画像が出るまで本機を固定してください。三脚の使用をお勧めします。
  - スローシンクロ
  - 赤目軽減スローシンクロ
  - シーンガイドモード（［夜景をきれいに撮る］［夜空をクールに撮る］［夜景を暖かく撮る］［夜景をアーティスティックに撮る］［イルミネーションをキラキラ撮る］［夜景をバックに人物をきれいに撮る］）
  - シャッタースピードを遅くしたとき

● 三脚を使用するときは、［手ブレ補正］を［OFF］に設定することをお勧めします。
● パノラマモードでは、［(( ))］（通常）での手ブレ補正は使えません。
● 次の場合、［(( ))］（流し撮り）にしていても、［(( ))］（通常）に切り換わります。
  • 動画撮影時
  • 4K フォト設定時
  • フォーカスセレクト撮影時
● ハイスピード動画撮影時、手ブレ補正は使えません。
● アクティブモードは W 端時、より強い補正効果が得られます。
● 次の場合、補正が効きにくくなることがあります。
  • 手ブレが大きいとき
  • ズーム倍率が高いとき（デジタルズーム領域を含む）
  • 動きのある被写体を追いながら撮影するとき
  • 室内や薄暗い場所で撮る（シャッタースピードが遅い）とき
● 次の場合、［(( ))］での流し撮りの効果が出にくくなります。
  • 夏の日中など、明るいところ
  • シャッタースピードが 1/100 秒より速い場合
  • 被写体の動きが遅く、本機を動かす速度があまりにも遅い場合（背景が流れません）
  • 本機が被写体の動きにうまく追いつけていない場合

ズームを使って撮る

ズームの種類と用途

記録画素数を変更すると、ズーム倍率が変わります。

光学ズーム

撮影モード：

画質を劣化させずに拡大します。
最大倍率：60 倍

● 次の場合、光学ズームは使えません。
- ズームマクロ撮影時

EX 光学ズーム

撮影モード：

［EX］付きの記録画素数（P.146）を選ぶと働きます。画質を劣化させずに光学ズームより拡大します。記録画素数により、最大倍率は変わります。
最大倍率：122 倍

● 次の場合、EX 光学ズームは使えません。
- シーンガイドモード（［夜景を手持ちで撮る］）
- クリエイティブコントロールモード（［トイフォト］［トイポップ］）
- 4K フォト撮影時
- フォーカスセレクト撮影時
- ［HDR］を［ON］に設定時
- ［多重露出］設定時
- ［i 手持ち夜景］を［ON］に設定時
- ［iHDR］を［ON］に設定時
- ［クオリティ］を［RAW］［RAW］［RAW］に設定時
- ズームマクロ撮影時
- 動画撮影時

ズームを使って撮る

さらに倍率を上げたいときは、次のズームを併用できます。

iA ズーム

撮影モード： iA iA+ P A S M 🎥M ▭ SCN 🔗

超解像技術によって、画質の劣化を抑えつつ、元のズーム倍率の 2 倍までズーム倍率を上げることができます。

MENU ボタン→ 📷［撮影］/ 🎥［動画］→［iA ズーム］

設定：［ON］/［OFF］

- ［記録画素数］を［S］に設定時は、元のズーム倍率の 1.5 倍までズーム倍率を上げることができます。
- インテリジェントオートモードまたはインテリジェントオートプラスモード時は、iA ズームは自動で働きます。
- 次の場合、iA ズームは使えません。
  - シーンガイドモード（［夜景を手持ちで撮る］）
  - クリエイティブコントロールモード（［インプレッシブアート］［トイフォト］［トイポップ］）
  - ズームマクロ撮影時
  - ［HDR］を［ON］に設定時
  - ［多重露出］設定時
  - ［i 手持ち夜景］を［ON］に設定時
  - ［iHDR］を［ON］に設定時
  - ［クオリティ］を［RAW⁘］［RAW⁘］［RAW］に設定時

ズームを使って撮る

デジタルズーム

撮影モード： iA iA+ P A S M 動画 カスタム SCN

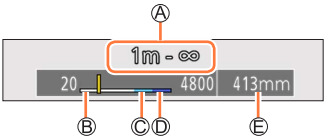
最大ズーム倍率がさらに 4 倍になります。ただし、ズームするほど画質は粗くなります。

MENU ボタン→ [撮影] / [動画] →［デジタルズーム］

設定：[ON] / [OFF]

- iA ズームを併用しているときは、デジタルズームの倍率が 2 倍までに制限されます。
- デジタルズーム使用時は三脚を使用し、セルフタイマー (P.103) を使って撮影することをお勧めします。
- デジタルズーム領域では、AF エリアは中央で大きく表示されます。
- 次の場合、デジタルズームは使えません。
  - **［ライブビューモード］を［ECO 30fps］に設定時（お買い上げ時の設定）**
  - シーンガイドモード（[夜景を手持ちで撮る]）
  - クリエイティブコントロールモード（[インプレッシブアート] [トイフォト] [トイポップ] [ジオラマ]）
  - フォーカスセレクト撮影時
  - ハイスピード動画撮影時
  - ［HDR］を［ON］に設定時
  - ［多重露出］設定時
  - ［クオリティ］を［RAW］［RAW］［RAW］に設定時

プログラム AE モードで、光学ズーム、iA ズームおよびデジタルズームを併用したときの表示例



Ⓐ ピントが合う範囲
Ⓑ 光学ズームの範囲
Ⓒ iA ズームの範囲
Ⓓ デジタルズームの範囲
Ⓔ 現在のズーム位置（35 mm フィルムカメラ換算の焦点距離）

タッチ操作でズームを使う（タッチズーム）

1 [ ] をタッチする

2 [ ] をタッチする
- スライドバーが表示されます。



3 スライドバーをドラッグして、ズーム操作を行う
- タッチする位置により、ズームスピードは変わります。

[▼] / [▲]	ゆっくりズームする
[▼▼] / [▲▲]	速くズームする

- もう一度 [ ] をタッチすると、タッチズーム操作を終了します。



● 次の場合、タッチズームは使えません。
- ハイスピード動画撮影時
- 4K ライブクロップ撮影時

フラッシュを使って撮る

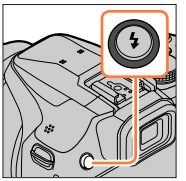
撮影モード：

■内蔵フラッシュを開く / 閉じる

Ⓐ 開くとき

［ϟ］ボタンを押す

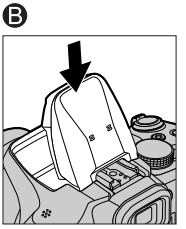
- **フラッシュを開くときに、フラッシュが飛び出しますので、お気をつけください。**



Ⓑ 閉じるとき

フラッシュを「カチッ」と音がするまで押す

- **フラッシュを閉じるときに、指などを挟まないようにお気をつけください。**
- 無理に閉じようとすると故障の原因になります。
- 使わないときは、内蔵フラッシュは必ず閉じておいてください。
- フラッシュを閉じているときは、発光禁止（［ϟ］）に固定されます。



● 次の場合、発光禁止（［ϟ］）に固定されます。
- 動画撮影時
- 4K フォト撮影時
- フォーカスセレクト撮影時
- 電子シャッター使用時
- ［HDR］を［ON］に設定時
- ［サイレントモード］を［ON］に設定時
- ［フィルター設定］の［フィルター効果］で画像効果設定時
- ［コンバージョン］を［ ］または［ ］に設定時

■フラッシュ撮影可能範囲

ズームを使わずに、至近距離（W 端付近）でフラッシュを使って撮影すると、画像の端が暗くなることがあります。少しズームすると改善することがあります。

W 端時	T 端時
約 0.3 m～約 14.1 m	約 1.5 m～約 6.1 m

• ISO 感度を［AUTO］、［ISO 感度上限設定］を［OFF］に設定時の範囲です。

● 熱や光で変形、変色する場合がありますので、次のことはしないでください。
  • フラッシュに物を近づける
  • 発光中にフラッシュを手で塞ぐ
  • 発光中にフラッシュを閉じる
● 赤目軽減強制発光などの予備発光の直後にフラッシュを閉じないでください。故障の原因となります。
● バッテリー残量が少ないときや、連続して発光させたときは、フラッシュの充電に時間がかかることがあります。フラッシュ充電中は、フラッシュアイコンが赤に点滅し、シャッターボタンを全押ししても、撮影できません。
● Wi-Fi 接続中に長時間連続してフラッシュ撮影すると、［⚠］が表示されたあと、Wi-Fi 接続が切断される場合があります。本機の温度が下がるまでお待ちください。
● 外部フラッシュ装着時は、外部フラッシュが優先されます。外部フラッシュについては、242 ページをお読みください。

フラッシュの機能を設定する

発光モードを変更する（マニュアルフラッシュ）

撮影モード：iA iA+ P A S M M

発光量を自動で設定するか、手動で設定するかを選びます。
内蔵フラッシュ使用時のみ設定できます。

MENU ボタン→ [撮影] →［フラッシュ設定］→［発光モード］

TTL	カメラが自動的にフラッシュの発光量を設定します。
マニュアル	フラッシュの光量比を手動で設定します。［TTL］では発光量が大きくなりがちな暗いシーンなどでも、意図どおりの撮影ができます。フラッシュアイコンに光量比（［1/1］など）が表示されます。

■光量比を設定する（［マニュアル］選択時）

MENU ボタン→ [撮影] →［フラッシュ設定］→［マニュアル発光量設定］

①◀▶ で発光量を設定し、［MENU/SET］ボタンを押す
- ［1/1］（フル発光）～［1/128］まで、1/3 段ごとに設定できます。

フラッシュモードを切り換える

撮影モード：iA iA+ P A S M M □ SCN

撮影内容に合わせて、フラッシュの発光のしかたを設定します。

MENU ボタン→ 📷［撮影］→［フラッシュ設定］→［フラッシュモード］

：強制発光 ：赤目軽減強制発光※1	フラッシュを強制的に発光させます。 • **逆光時や蛍光灯などの照明の下に被写体があるときなどに適しています。**
：スローシンクロ ：赤目軽減スローシンクロ※1	フラッシュ発光とともにシャッタースピードを遅くして背景の夜景なども明るく写します。 • **夜景を背景に人物を撮影するときなどに適しています。** • **シャッタースピードを遅くすると画像がブレることがあります。三脚の使用をお勧めします。**
：発光禁止	どのような撮影状況でもフラッシュが発光しません。 • **フラッシュ禁止の場所で撮影するときなどに適しています。** • 外部フラッシュ使用時のみ設定できます。

※1［フラッシュ設定］の［ワイヤレスモード］を［OFF］(P.123)に、［発光モード］を［TTL］に設定時のみ設定できます。(P.118)

• 外部フラッシュの設定によっては、一部のフラッシュモードが使用できない場合があります。

フラッシュは 2 回発光します。特に［ ］、［ ］に設定した場合は、発光間隔が長くなりますので、2 回目の発光終了まで動かないようにしてください。

• 赤目軽減の効果には個人差があり、被写体までの距離や被写体の人が予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が現れにくい場合があります。

■フラッシュモード別のシャッタースピード

フラッシュモード	シャッタースピード
 	1/60 秒※2 ～ 1/2000 秒

フラッシュモード	シャッタースピード
 	1 秒～ 1/16000 秒
	4 秒※3 ～ 1/16000 秒

※2 シャッター優先 AE モード、マニュアル露出モード時は 4 秒になります。
※3 シーンガイドモードの［夜景をアーティスティックに撮る］で撮影時は 60 秒になります。

• インテリジェントオート（［iA］または［iA+］）モード時のシャッタースピードは判別シーンによって異なります。

フラッシュの機能を設定する

■撮影モード別フラッシュ設定（○：設定可、×：設定不可）

撮影モード					
P プログラム AE モード A 絞り優先 AE モード		○	○	○	○
S シャッター優先 AE モード M マニュアル露出モード		○	○	×	×
SCN シーンガイドモード（◎：初期設定）	人物をきれいに撮る	○	◎	×	×
	人物の肌をきれいに撮る	○	◎	×	×
	逆光でふんわり撮る	×	×	×	×
	逆光でしっかり撮る	◎	×	×	×
	ほのぼのした雰囲気で撮る	×	×	×	×
	子どもをかわいく撮る	○	◎	×	×
	風景をきれいに撮る	×	×	×	×
	青空をさわやかに撮る	×	×	×	×
	夕焼けを幻想的に撮る	×	×	×	×
	夕焼けを印象的に撮る	×	×	×	×
	水面をキラキラ撮る	×	×	×	×
	夜景をきれいに撮る	×	×	×	×
	夜空をクールに撮る	×	×	×	×
	夜景を暖かく撮る	×	×	×	×
	夜景をアーティスティックに撮る	×	×	×	×
	イルミネーションをキラキラ撮る	×	×	×	×
	夜景を手持ちで撮る	×	×	×	×
	夜景をバックに人物をきれいに撮る	×	×	×	◎
	花をふんわり撮る	◎	×	×	×
	料理をおいしそうに撮る	◎	×	×	×
	スイーツをかわいく撮る	◎	×	×	×
	動くペットをきちんと撮る	◎	×	×	×
	スポーツをきれいに撮る	◎	×	×	×
	モノクロで撮る	◎	○	○	○

- インテリジェントオート（[iA]または[iA+]）モード時のフラッシュ設定については、45 ページをお読みください。
- シーンガイドモードのフラッシュ設定はシーンを変更するたびに初期設定に戻ります。

フラッシュの機能を設定する

後幕シンクロに設定する

撮影モード： iA iA+ P A S M M ☐ SCN

後幕シンクロとは、車など動きのある被写体をスローシャッターでフラッシュ撮影する場合、シャッターが閉じる直前に発光する撮影方法です。

MENU ボタン→ 📷［撮影］→［フラッシュ設定］→［フラッシュシンクロ］

先幕（さきまく）	一般的なフラッシュ撮影の方法です。	
後幕（あとまく）	被写体の後ろに光源が写り、躍動感が出ます。	

- ［後幕］に設定すると、画面のフラッシュアイコンに［2nd］が表示されます。
- ［フラッシュ設定］の［ワイヤレスモード］を［OFF］に設定時のみ設定できます。(P.123)
- ［フラッシュシンクロ］の設定は、外部フラッシュ使用時にも有効です。(P.242)
- シャッタースピードが速いときは、フラッシュシンクロの効果が十分に得られない場合があります。
- ［後幕］設定時は、［SLOW］、［SLOW］に設定できません。

フラッシュの機能を設定する

フラッシュの発光量を調整する

撮影モード： iA iA+ P A S M 動画 カスタム SCN

フラッシュ撮影した写真が明るすぎたり暗すぎたりする場合は、フラッシュの発光量を調整してください。

MENU ボタン→ [撮影] →［フラッシュ設定］→［フラッシュ光量調整］

1 ◀▶ でフラッシュの発光量を設定し、［MENU/SET］ボタンを押す

設定： − 2EV ～+ 2EV（1/3EV 単位）

フラッシュ発光量を調整しない場合は、［± 0 EV］を選んでください。

- フラッシュ発光量が調整されているときは、フラッシュのアイコンに［+］または［−］が表示されます。
- ［フラッシュ設定］の［ワイヤレスモード］を［OFF］(P.123) に、［発光モード］を［TTL］に設定時のみ設定できます。(P.118)
- ［フラッシュ光量調整］の設定は、外部フラッシュ使用時にも有効です。(P.242)

露出補正時にフラッシュ発光量を連動させる

撮影モード： iA iA+ P A S M 動画 カスタム SCN

露出補正量に応じてフラッシュの発光量も自動的に調整されます。

MENU ボタン→ [撮影] →［フラッシュ設定］→［露出補正連動］

設定：［ON］/［OFF］

- 露出補正については、84 ページをお読みください。
- ［露出補正連動］の設定は、外部フラッシュ使用時にも有効です。(P.242)

ワイヤレスでフラッシュ撮影する

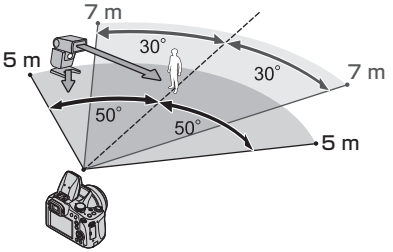
撮影モード： iA iA+ P A S M M ▭ SCN

ワイヤレス撮影機能のあるフラッシュライト（別売：DMW-FL200L、DMW-FL360L、DMW-FL580L）を使うと、3 つのグループのフラッシュと内蔵フラッシュ（または本機のホットシューに装着したフラッシュライト）を別々に発光制御できます。

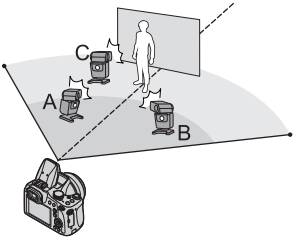
■ワイヤレスフラッシュの設置について

ワイヤレスフラッシュのワイヤレス受光部をカメラ側に向けて設置します。次の図は設置範囲の目安です。範囲は周辺環境により異なります。

設置範囲



設置例



- 設置例は、発光グループフラッシュ A、B でできる被写体の背景の影を消すために C を設置した場合です。
- ワイヤレスフラッシュの設置数は 1 グループ最大 3 台をお勧めします。
- 被写体が近すぎる場合、通信用の発光が露出に影響を与えることがあります。［ワイヤレス通信光量］を［弱］に設定したり、ディフューザーなどで減光すると症状が緩和されます。

準備

［ϟ］ボタンを押してフラッシュを開くか、または本機にフラッシュライト（別売）を取り付ける。

1 ワイヤレスフラッシュの設定を RC モードにして、配置する

- ワイヤレスフラッシュのチャンネルとグループを設定してください。

2 メニューを設定する （P.36）

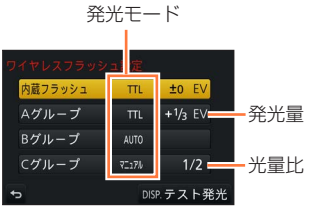
MENU ボタン→ 📷［撮影］→［フラッシュ設定］

ワイヤレスモード	［ON］に設定してください。撮影画面のフラッシュアイコンに［WL］が表示されます。
ワイヤレスチャンネル	手順 **1** で設定したワイヤレスフラッシュと同じチャンネルを選んでください。
ワイヤレス設定	手順 **3** へ進んでください。

続く ▶

3 ▲▼で項目を選び、［MENU/SET］ボタンを押す

• ［DISP.］ボタンを押すと、テスト発光を行います。



内蔵フラッシュ / 外部フラッシュ	発光モード	TTL：カメラが自動的に発光量を設定します。 AUTO※：外部フラッシュ側でフラッシュの発光量を設定します。 マニュアル：外部フラッシュの光量比を手動で設定します。 OFF：本機側のフラッシュは通信発光のみ行います。
	フラッシュ光量調整	［発光モード］を［TTL］に設定時の本機側フラッシュの発光量を手動で調整します。
	マニュアル発光量設定	［発光モード］を［マニュアル］に設定時の外部フラッシュ光量比を設定します。 • ［1/1］（フル発光）～［1/128］まで、1/3 段ごとに設定できます。
A グループ / B グループ / C グループ	発光モード	TTL：カメラが自動的に発光量を設定します。 AUTO：ワイヤレスフラッシュ側で自動的にフラッシュの発光量を設定します。 マニュアル：ワイヤレスフラッシュの光量比を手動で設定します。 OFF：設定したグループのワイヤレスフラッシュは発光しません。
	フラッシュ光量調整	［発光モード］を［TTL］に設定時のワイヤレスフラッシュの発光量を手動で調整します。
	マニュアル発光量設定	［発光モード］を［マニュアル］に設定時のワイヤレスフラッシュ光量比を設定します。 • ［1/1］（フル発光）～［1/128］まで、1/3 段ごとに設定できます。

※本機にフラッシュライト（別売：DMW-FL200L）を装着時は設定できません。

■ワイヤレス撮影時の通信発光の強さを設定する

MENU ボタン→ 📷［撮影］→［フラッシュ設定］→［ワイヤレス通信光量］

設定：［強］/［中］/［弱］

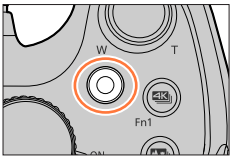
動画・4K 動画を撮る

撮影モード：

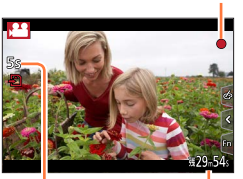
AVCHD 規格に準拠したフルハイビジョン映像や、MP4 で記録される動画を撮影できます。MP4 では 4K 動画も撮影できます。(P.127)
音声はステレオで記録されます。

1 動画ボタンを押して、撮影を開始する

- 各動画モードに適した動画が撮影できます。
- 動画ボタンは押したあと、すぐに離してください。
- 動画の記録中は、記録動作表示（赤）が点滅します。
- **静かな環境下での撮影では、絞りやフォーカスなどの動作音が録音されることがあります。これは異常ではありません。**
  動画撮影中のフォーカス動作は［AF 連続動作］で［OFF］に設定することができます。(P.128)



記録動作表示



記録経過時間

残り記録可能時間

2 もう一度動画ボタンを押して、終了する

撮影終了時の操作音について

撮影終了時の動画ボタンの操作音が気になる場合は、以下をお試しください。

- 3 秒ほど長めに撮影し、［再生］メニューの［動画分割］(P.186)で動画の終わりの部分を分割してください。

続く ▶

- 周囲の温度が高かったり連続で動画撮影を行ったとき、[⚠]が表示されたあと、撮影が停止する場合があります。本機の温度が下がるまでお待ちください。
- 動画ボタンを押す前に EX 光学ズームを使っていた場合は、それらの設定が解除されるため、撮影範囲が大きく変わります。
- 画像横縦比の設定が写真と動画で異なる場合、動画撮影開始時に画角が変わります。[記録枠表示]を[🎥]に設定すると、動画撮影時の画角が表示されます。
- 動画撮影中にズームやボタン、ダイヤル操作などをすると、その動作音が記録される場合がありますのでお気をつけください。
- 動画撮影中はズーム速度が遅くなります。
- カードの種類によっては、動画記録後、カードアクセス表示がしばらく出る場合がありますが、異常ではありません。
- 動画撮影中、ISO 感度は［AUTO］（動画用）の動作になります。クリエイティブ動画モードでは、ISO 感度を設定して動画を撮影できます。
- 次の場合、以下の動画撮影モードになります。

選択されているシーンガイドモード	動画撮影時の撮影モード
［逆光でしっかり撮る］	人物モード
［夜景をきれいに撮る］/［夜景をアーティスティックに撮る］/［夜景を手持ちで撮る］/［夜景をバックに人物をきれいに撮る］	ローライトモード

- 次の場合、動画撮影できません。
  - シーンガイドモード（［水面をキラキラ撮る］［イルミネーションをキラキラ撮る］［花をふんわり撮る］）
  - クリエイティブコントロールモード（［ラフモノクローム］［シルキーモノクローム］［ソフトフォーカス］［クロスフィルター］［サンシャイン］）
  - フォーカスセレクト設定時
  - インターバル撮影時
  - ［コマ撮りアニメ］時

フォーマット、サイズ、記録フレームレートを設定する

1 メニューを設定する （P.36）

MENU ボタン→ 📹［動画］→［記録方式］

［AVCHD］	ハイビジョンテレビなどで再生する場合に適したデータ形式です。
［MP4］	パソコンなどで再生する場合に適したデータ形式です。

2 ▲▼で［画質設定］を選び、［MENU/SET］ボタンを押す

［AVCHD］を選んだ場合

画質設定	サイズ	記録フレームレート	センサー出力	ビットレート
［FHD/28M/60p］※1	1920 × 1080	60p	60 コマ / 秒	28 Mbps
［FHD/17M/60i］	1920 × 1080	60i	60 コマ / 秒	17 Mbps
［FHD/24M/30p］	1920 × 1080	60i	30 コマ / 秒	24 Mbps

［MP4］を選んだ場合

画質設定	サイズ	記録フレームレート	センサー出力	ビットレート
［4K/100M/30p］※2	3840 × 2160	30p	30 コマ / 秒	100 Mbps
［FHD/28M/60p］	1920 × 1080	60p	60 コマ / 秒	28 Mbps
［FHD/20M/30p］	1920 × 1080	30p	30 コマ / 秒	20 Mbps
［HD/10M/30p］	1280 × 720	30p	30 コマ / 秒	10 Mbps

※1 AVCHD Progressive
※2 4K 動画

- 「ビットレート」の数値が大きいほど高画質になります。本機は VBR 記録方式を採用しており、撮影する被写体によりビットレートが自動的に変わるため、動きの激しい被写体を記録した場合、記録時間は短くなります。
- クリエイティブコントロールモードの［ジオラマ］では、4K 動画に設定できません。
- 4K 動画を撮影時は UHS Speed Class 3 のカードをお使いください。（P.21）
- 4K 動画の場合、他のサイズの動画よりも画角が狭くなります。
- 4K 動画は高い精度でピントを合わせるためにオートフォーカスの速度を抑えて撮影します。オートフォーカスでピントが合いにくいことがありますが、異常ではありません。
- 連続記録の制限について （P.23）

■撮影した動画の互換性について

［AVCHD］および［MP4］で撮影された動画は、それぞれの対応機器であっても、再生すると画質や音質が悪くなったり、再生できない場合があります。また撮影情報が、正しく表示されない場合があります。

- ［AVCHD］の［FHD/28M/60p］、［FHD/24M/30p］で記録した動画を本機以外で再生したり取り込んだりする場合は、対応しているブルーレイディスクレコーダーまたはソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」(P.233) をインストールしたパソコンが必要です。
- ［MP4］の［4K/100M/30p］で記録した動画については、230 ページの「4K 動画を楽しむ」をお読みください。

動画撮影時のピントの合わせ方（AF 連続動作）

撮影モード：

ピント合わせはフォーカスの設定と［動画］メニューの［AF 連続動作］の設定によって異なります。

MENU ボタン→ ［動画］→［AF 連続動作］

フォーカスの設定	AF 連続動作	設定
AFS、AFF、AFC (P.69)	ON	動画撮影中も自動でピントを合わせ続けます。
	OFF	動画撮影開始時のピント位置で固定します。
MF (P.81)	ON/OFF	手動でピントを合わせることができます。

- フォーカスの設定を［AFS］、［AFF］または［AFC］に設定時、動画撮影中にシャッターボタンを半押しするとピントを合わせ直します。
- 撮影環境によっては、動画撮影時にオートフォーカスが働くと、動作音が記録される場合があります。動作音が気になる場合は、［動画］メニューの［AF 連続動作］を［OFF］に設定するなどして撮影することをお勧めします。
- 動画撮影時にズーム操作を行うと、ピントが合うまでに時間がかかることがあります。
- 次の場合は働きません。
  - ［スナップムービー］の［ピント送り］の動作中
  - 4K ライブクロップ撮影時

カメラを固定したままパン / ズーム動画を撮る
（4K ライブクロップ）

撮影モード：

4K 画角からフルハイビジョン動画を切り出すことで、カメラを固定したままパンやズームイン、ズームアウトの動作を加えた動画を記録できます。
- 撮影時は、カメラをしっかり固定してください。
- ［MP4］の［FHD/20M/30p］で撮影されます。



パン



ズームイン

- ズームイン / ズームアウトの動作を加える場合は、切り出しの開始と終了の画角を異なる設定にしてください。例えば、ズームイン撮影では開始の画角を大きく、終了の画角を小さく設定します。

1 モードダイヤルを［M］に合わせる

2 メニューを設定する （P.36）

MENU ボタン→［動画］→［4K ライブクロップ］

設定：［40 秒］/［20 秒］/［OFF］
- 画角は狭くなります。

3 切り出し開始枠を設定する

- 初回設定時、1920 × 1080 の大きさの開始枠が表示されます。（切り出し開始枠、終了枠の設定後は、直前に設定した開始枠と終了枠が表示されます。）
- 位置や大きさは、電源を切っても記憶されます。

切り出し開始枠



操作	タッチ操作	操作内容
▲▼◀▶	タッチ	枠の移動
	ピンチアウト / ピンチイン	枠の拡大 / 縮小 （1920 × 1080 ～ 3840 × 2160 の範囲で設定できます）
［DISP.］	［リセット］	枠の位置を中央に、初回設定時の大きさに戻す
［MENU/SET］	［決定］	枠の位置と大きさの決定

続く ▶

4 手順 3 を繰り返し、切り出し終了枠を設定する

- オートフォーカスモードは、[👤]（顔認識）に切り換わります。（ピントを合わせる目は表示されません。）



切り出し終了枠

5 動画ボタン（またはシャッターボタン）を押して撮影を開始する

- 動画ボタン（またはシャッターボタン）は押したあと、すぐに離してください。
- 設定した動作時間が経過すると、自動的に撮影が終了します。途中で撮影を止めるには、再度動画ボタン（またはシャッターボタン）を押してください。

記録経過時間



設定した動作時間

■切り出し枠の位置や大きさを変更するとき

撮影画面で［Fn1］ボタンを押し、手順 3、4 を行う。

■4K ライブクロップ撮影を解除するとき

手順 2 で［OFF］を選ぶ。

- ハイスピード動画設定時、4K ライブクロップ撮影はできません。
- ピント合わせは、切り出し開始枠内で固定されます。
- ［AF 連続動作］は［OFF］になります。
- ［測光モード］は［マルチ測光］になります。

動画撮影中に写真を撮影する

撮影モード：

1 動画撮影中にシャッターボタンを全押しする

- 最大 30 枚まで撮影できます。
- 写真を記録中は同時記録表示が出ます。
- タッチシャッター機能（P.34）を使って撮影することもできます。



- 写真の画像横縦比は［16:9］に固定されます。
- 記録画素数［S］（2M）で写真を記録します。通常の写真の［S］（2M）とは画質が異なる場合があります。
- クオリティを［RAW］、［RAW］または［RAW］に設定時は JPEG 画像のみ記録されます。（［RAW］設定時はクオリティは［］で記録されます）
- 次の場合、写真を記録できません。
  - ［記録方式］を［MP4］、［画質設定］を［4K/100M/30p］に設定時
  - ［スナップムービー］を［ON］に設定時

スナップムービーを撮る

撮影モード：

撮影時間をあらかじめ指定し、スナップ写真を撮るような感覚で動画を撮影します。
ピント送りやフェード効果を加えることもできます。

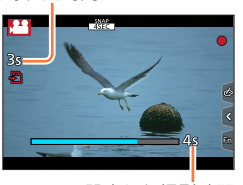
- ［MP4］の［FHD/20M/30p］で撮影されます。
- 本機で撮影した動画を、スマートフォン / タブレットアプリ「Panasonic Image App」でつなぎ合わせて音楽を付けることなどができます。つなぎ合わせた動画をWeb サービスへ送ることもできます。(P.204)

MENU ボタン→ ［動画］ →［スナップムービー］ →［ON］

- シャッターボタンを半押ししてメニューを終了してください。

1 動画ボタンを押して撮影を開始する

- 動画ボタンは押したあと、すぐに離してください。
- 途中で動画撮影は終了できません。設定した撮影時間が経過すると自動的に撮影が終了します。



■スナップムービーを解除するとき

［スナップムービー］で［OFF］を選ぶ。

■設定を変更する

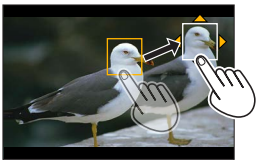
MENU ボタン→ ［動画］ →［スナップムービー］ →［設定］

撮影時間	動画撮影する時間を設定します。
ピント送り	撮影開始時にピントをゆっくりと変えることで、ドラマチックな映像表現を行います。(P.133)
フェード	映像と音声が撮影を開始するとフェードイン（ゆっくりと現れる）または、撮影の終了にかけてフェードアウト（ゆっくりと消える）する効果です。 [WHITE-IN] / [WHITE-OUT]： 白い画面でフェードイン、フェードアウトする効果です。 [BLACK-IN] / [BLACK-OUT]： 黒い画面でフェードイン、フェードアウトする効果です。 [COLOR-IN] / [COLOR-OUT]： 白黒からカラーへフェードイン、またはカラーから白黒へフェードアウトする効果です。 音声は通常どおりに記録されます。 [OFF]

- ［WHITE-IN］、［BLACK-IN］で撮影した動画は、再生時のサムネイル表示が白一色または黒一色になります。
- ［カスタム］メニューの［Fn ボタン設定］(P.40) に［スナップムービー］を設定すると、設定したファンクションボタンを押して［スナップムービー］の［ON］/［OFF］の切り換え画面を表示できます。画面表示中に［DISP.］ボタンを押すとスナップムービーの設定を変更できます。
- ［スマートフォンとつないで使う］で Wi-Fi 接続すると、［スナップムービー］は［OFF］に切り換わります。
- 次の場合、［スナップムービー］は使えません。
  - クリエイティブコントロールモード（［ジオラマ］）
  - 4K フォト設定時
  - フォーカスセレクト設定時
  - 4K ライブクロップ設定時
  - ハイスピード動画撮影時

［ピント送り］の設定をする

ピント送りの開始位置（1 点目）と終了位置（2 点目）の枠を設定します。



タッチ操作

被写体をタッチし（1 点目）、ドラッグして指を離す（2 点目）
- ［AF］をタッチすると、枠の設定が解除されます。

ボタン操作

①◀ を押す

②▲▼◀▶ で枠を移動し、［MENU/SET］ボタンを押す（1 点目）
- ［MENU/SET］ボタンを押す前に［DISP.］ボタンを押すと、枠は中央に戻ります。

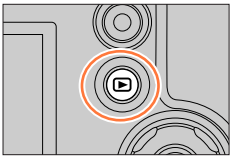
③手順 ② を繰り返す（2 点目）
- ［MENU/SET］ボタンを押すと、枠の設定が解除されます。

- 遠くから近く、近くから遠くのように、開始と終了でピントの変化を大きくすると効果が大きくなります。
- ピント設定後は、被写体との距離が変化しないようにしてください。

- 枠の設定に失敗したときは、枠が 1 点目に戻ります。
- ［ピント送り］を［ON］に設定時は
  - オートフォーカスモードは［ピント送り］専用の［▪］に変わります。
  - 写真撮影時は、1 点目の枠で［▪］のオートフォーカス動作を行います。
- ［測光モード］(P.147) が［⊙］（スポット）のときは、測光ターゲットは 1 点目の枠に設定されます。
- 次の場合、［ピント送り］は使えません。
  - マニュアルフォーカス時
  - デジタルズーム使用時

写真を見る

1 [▶]（再生）ボタンを押す



2 ◀▶ で表示する画像を選ぶ



- ◀▶ を押したままにすると、連続して画像を送ることができます。
- 後ダイヤルを回す、または画面を水平にドラッグ（P.33）しても画像を送ることができます。
- 画像を送ったあとに画面の左右の端をタッチしたままにすると、画像を連続して送ることができます。（画像は縮小して表示されます）

Web サービスへの送信について

画像を 1 枚ずつ表示中、▼ を押すと手軽に Web サービスへ送ることができます。（P.216）

■再生を終了するには

再度、[▶]（再生）ボタンを押すか、動画ボタンを押してください。またはシャッターボタンを半押ししてください。

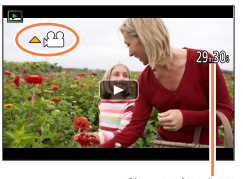
- [▶]（再生）ボタンを押しながら電源スイッチを［ON］にすると、再生画面が表示されます。
- ［レンズ収納］を［ON］に設定時は、撮影画面から再生画面に切り換えると、約 15 秒後にレンズ鏡筒が収納されます。
- 本機は一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格 DCF（Design rule for Camera File system）および、Exif（Exchangeable Image File Format）に準拠しています。
  DCF 規格に準拠していないファイルは再生できません。
- 他機で撮影された画像は、本機で正しく再生されない場合や、本機の機能を使用できない場合があります。

動画を見る

本機で再生できる動画のファイル形式は AVCHD または MP4 です。
• 動画には動画アイコン（[🎥]）が表示されます。

1 ▲ を押して再生する

• 画面中央の［▶］をタッチしても動画を再生できます。
• ［スナップムービー］で撮影した動画は自動再生されます。
• ［AVCHD］で撮影した動画は、一部の情報が表示されません。



動画記録時間

■動画再生中の操作

操作	タッチ操作	操作内容
▲	▶/❚❚	再生 / 一時停止
◀	◀◀	早戻し※1
	◀❚❚	（一時停止中）コマ戻し※2
▼	■	停止
▶	▶▶	早送り※1
	❚❚▶	（一時停止中）コマ送り
🔊	−/+	音量を下げる / 音量を上げる

※1 もう一度 ◀▶ を押すと、早戻し / 早送り速度が速くなります。
※2 ［AVCHD］で撮影した動画は、約 0.5 秒ごとのコマ戻しになります。

■スナップムービー自動再生中の操作

▲	最初から再生
◀	前の画像に戻す
▶	次の画像へ送る

• 画面をタッチすると自動再生が停止します。

● パソコンで見る場合は、「PHOTOfunSTUDIO」（P.233）で再生できます。

動画から写真を切り出す

動画のワンシーンを写真にして保存します。



1 動画再生中に ▲ を押して一時停止にし、写真にしたい画像を表示する

- 一時停止中に ◀▶ を押すと、位置の細かい調整をすることができます。

2 [MENU/SET] ボタンを押す

- [ ] をタッチしても同じ操作ができます。
- 画像横縦比は［16:9］で、［クオリティ］は［ ］で保存されます。記録画素数は再生する動画により異なります。

[画質設定]	[記録画素数]
［4K］	［M］（8M）
［FHD］、［HD］	［S］（2M）

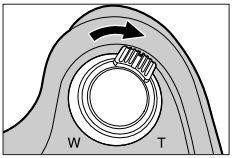
- 元の動画の画質設定により、画質が少し粗くなります。
- 動画から作成された写真には、再生時に［ ］が表示されます。
- HDMI マイクロケーブルでテレビに接続中に動画から写真を作成する場合は、［セットアップ］メニューの［テレビ接続設定］の［ビエラリンク］を［OFF］に設定してください。

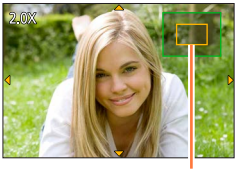
再生方法を切り換える

拡大して見る（再生ズーム）

1 ズームレバーを T 側に回す

- ズームレバーを T 側に回すごとに、1/2/4/8/16 倍に拡大します。
- ズーム倍率を縮小するとき
  →ズームレバーを W 側に回す
- 拡大したい部分をピンチアウト / ピンチイン（P.33）しても、画像を拡大 / 縮小することができます。
- ▲▼◀▶ を押す、または画面をドラッグ（P.33）すると、拡大部分を移動することができます。
- 2 回連続で素早くタッチしても、拡大表示できます。（拡大表示していた場合は、等倍表示に戻ります）
- 再生ズーム中に後ダイヤルを回すと、ズーム倍率、ズーム位置を保持したまま画像を送ることができます。



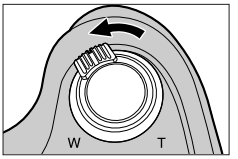


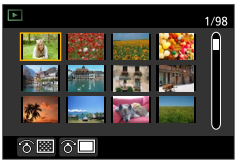
ズーム位置表示

画像を一覧で見る（マルチ再生）

1 ズームレバーを W 側に回す

- ズームレバーを W 側に回すと、1 画面表示→ 12 画面表示 → 30 画面表示→カレンダー画面に切り換わります。（T 側に回すと戻ります）
- 以下のアイコンをタッチすると、再生画面を切り換えることができます。
  - –［▣］：1 画面
  - –［▦］：12 画面
  - –［▩］：30 画面
  - –［CAL］：カレンダー再生
- 画面を上下にドラッグすると少しずつ画像を切り換えることができます。
- 12 画面または 30 画面で、カーソルボタンで画像を選んで［MENU/SET］ボタンを押すと、1 画面表示されます。

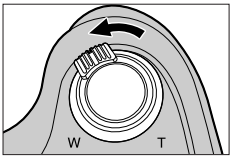




● [!] と表示される画像は再生できません。

画像を撮影日ごとに見る（カレンダー再生）

1 ズームレバーを W 側に回して、カレンダー画面を表示する



2 ▲▼◀▶ で撮影日を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 12 画面表示に切り換わります。
- カレンダー画面表示に戻すには、ズームレバーを W 側に回してください。



- カレンダーの表示できる範囲は、2000 年 1 月から 2099 年 12 月までです。
- [時計設定] せずに撮影した画像は、2017 年 1 月 1 日に表示されます。
- [ワールドタイム] で旅行先を設定して撮った画像は、旅行先の日付でカレンダー画面に表示されます。

グループ画像を見る

複数枚の画像を 1 つにまとめたグループ画像を、連続再生したり、1 枚ずつ再生します。

[▲]：[4K フォト一括保存] で一括保存したグループ画像 （P.182）
[▲]：インターバル撮影で撮影したグループ画像 （P.106）
[▲]：コマ撮りアニメで撮影したグループ画像 （P.108）



- グループ単位での消去や編集ができます。（例えば、グループ画像を消去すると、グループ内のすべての画像が消去されます）

● 時計設定を行わずに撮影した場合、画像はグループ化されません。

グループ画像を連続再生する

1 ▲ を押す

- グループ画像アイコン（[▲]、[▲]、[▲]）をタッチしても同じ操作ができます。

■連続再生中の操作

▲	▶/❚❚	連続再生 / 一時停止	▼	■	停止
◀	◀◀	早戻し再生	▶	▶▶	早送り再生
	⏮	（一時停止中）前の画像に戻す		⏭	（一時停止中）次の画像へ送る

グループ画像を 1 枚ずつ再生する

1 ▼ を押す

- [▼]、[▼]、[▼] をタッチしても同じ操作ができます。

2 ◀▶ を押して画像を送る



- [SUB MENU]：グループ画像を 1 枚ずつ再生しているときは、選択肢が表示されます。
  [連写再生]（または [連続再生]）を選んだあとに、以下の再生方法を選んでください。
  [最初の画像から見る]：グループの先頭画像から連続再生されます。
  [この画像から見る]：再生中の画像から連続再生されます。
- もう一度 ▼ を押す、または、[▶] をタッチすると、通常の再生画面に戻ります。
- グループ内の画像に対して、通常の写真再生時と同様の操作が可能です。（マルチ再生、再生ズーム、画像の消去など）

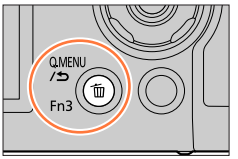
写真や動画を消す（消去）

一度消した画像は元に戻せません。

1 枚消去

1 消去する画像を表示中に［🗑］ボタンを押す

- ［🗑］をタッチしても同じ操作ができます。



2 ▲で［1 枚消去］を選び、［MENU/SET］ボタンを押す

複数消去（100 枚※まで）/ 全画像消去

※グループ画像（P.139）は 1 枚として扱います。（選んだグループ画像内のすべての画像が消去されます）

1 画像を表示中に［🗑］ボタンを押す

2 ▲▼で［複数消去］/［全画像消去］を選び、［MENU/SET］ボタンを押す

- ［全画像消去］のとき［お気に入り］画像があると、［お気に入り以外全消去］が選べます。（P.189）

3（［複数消去］選択時）
▲▼◀▶で画像を選び、［MENU/SET］ボタンを押す
（繰り返す）

- 解除するとき→再度［MENU/SET］ボタンを押す



4（［複数消去］選択時）
◀で［実行］を選び、［MENU/SET］ボタンを押す

- 消去枚数により、時間がかかることがあります。

メニュー一覧

[撮影]	P.141	[カスタム]	P.161	[再生]	P.177
[動画]	P.159	[セットアップ]	P.169		

[撮影]

- [フォトスタイル]、[フィルター設定]、[AFS/AFF/AFC]、[測光モード]、[ハイライトシャドウ]、[iD レンジコントロール]、[超解像]、[回折補正]、[iA ズーム]、[デジタルズーム]、[手ブレ補正]、[コンバージョン] は、[撮影] メニューと [動画] メニューに共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。

- [フォトスタイル] (P.142)
- [フィルター設定] (P.144)
- [画像横縦比] (P.145)
- [記録画素数] (P.146)
- [クオリティ] (P.146)
- [AFS/AFF/AFC] (P.69)
- [測光モード] (P.147)
- [連写速度] (P.102)
- [4K フォト] (P.89)
- [ブラケット] (P.104)
- [セルフタイマー] (P.103)
- [ハイライトシャドウ] (P.148)
- [iD レンジコントロール] (P.149)
- [超解像] (P.149)
- [i 手持ち夜景] (P.46)
- [iHDR] (P.47)
- [HDR] (P.150)
- [多重露出] (P.151)
- [インターバル撮影] (P.106)
- [コマ撮りアニメ] (P.108)
- [パノラマ設定] (P.54)
- [シャッター方式] (P.152)
- [フラッシュ設定] (P.118 ～ 124)
- [デジタル赤目補正] (P.153)
- [ISO 感度上限設定] (P.153)
- [ISO 感度ステップ] (P.153)
- [拡張 ISO 感度] (P.154)
- [回折補正] (P.154)
- [iA ズーム] (P.113)
- [デジタルズーム] (P.114)
- [コンバージョン] (P.241)
- [色空間] (P.154)
- [手ブレ補正] (P.110)
- [個人認証] (P.155)
- [プロフィール設定] (P.158)

メニュー一覧

［フォトスタイル］

撮影モード： iA iA+ P A S M 動画 カスタム SCN

撮りたいイメージに合わせて、色や画質を調整できます。

MENU ボタン→ 📷［撮影］→［フォトスタイル］

STD. ［スタンダード］	標準的な設定です。
VIVD ［ヴィヴィッド］※	彩度やコントラストが高めの設定です。
NAT ［ナチュラル］※	コントラストが低めの設定です。
MONO ［モノクローム］	白黒など、単色の階調のみで表現する設定です。
SCNY ［風景］※	青空や緑を鮮やかにする設定です。
PORT ［人物］※	肌色を健康的に見せる設定です。
CUST ［カスタム］※	あらかじめ登録した色や画質に設定できます。

※インテリジェントオートプラスモード時は設定できません。

- インテリジェントオートプラスモード時、他の撮影モードに切り換えたり、電源を入れ直した場合は、［スタンダード］にリセットされます。
- シーンガイドモード時は画質調整のみ設定できます。(P.143)

続く ▶

■画質を調整する



• インテリジェントオートプラスモード時は画質調整することはできません。

①◀▶でフォトスタイルの種類を選ぶ

②▲▼で項目を選び、◀▶で調整する

コントラスト	＋	画像の明暗差を大きくします。
	－	画像の明暗差を小さくします。
シャープネス	＋	画像の輪郭を強調します。
	－	画像の輪郭を柔らかくします。
ノイズリダクション	＋	ノイズリダクションの効果を強め、ノイズを軽減します。解像感がわずかに低下する場合があります。
	－	ノイズリダクションの効果を弱め、より解像感のある画質を得ることができます。
彩度※1	＋	派手で鮮やかな色になります。
	－	落ち着いた色になります。
色調※1	＋	青っぽい色になります。
	－	黄色っぽい色になります。
フィルター効果※2	黄	被写体のコントラストを強調します。（効果：弱）青空をくっきりと撮影できます。
	オレンジ	被写体のコントラストを強調します。（効果：中）青空を色濃く撮影できます。
	赤	被写体のコントラストを強調します。（効果：強）青空をさらに色濃く撮影できます。
	緑	人物の肌や唇を落ち着いた色にします。緑の葉を明るくし、強調します。
	OFF	—

※1［モノクローム］選択時のみ［色調］が表示されます。それ以外では［彩度］が表示されます。
※2［モノクローム］選択時のみ表示されます。
• 画質を調整すると、フォトスタイルアイコンに［+］が表示されます。

③［MENU/SET］ボタンを押す

■調整した画質の設定を［カスタム］に登録する

①「画質を調整する」の手順 ② で画質を調整し、［DISP.］ボタンを押す

［フィルター設定］

撮影モード： iA iA+ P A S M 動画 カスタム SCN

絞り優先 AE モードやパノラマモードなどで、クリエイティブコントロールモードと同じ画像効果（フィルター）を加えることができます。(P.59)

MENU ボタン→ 📷［撮影］→［フィルター設定］→［フィルター効果］

設定：［ON］/［OFF］/［設定］

■タッチパネルで設定を変える

①［🎨］をタッチする

②設定する項目をタッチする

［🎨］：画像効果の入 / 切

［POP］：画像効果（フィルター）

［🖼］：画像効果の調整



- ハイスピード動画撮影時は使えません。
- 次の場合、［ラフモノクローム］/［シルキーモノクローム］/［トイフォト］※1/［トイポップ］※1/［ジオラマ］※1、※2/［ソフトフォーカス］/［クロスフィルター］/［サンシャイン］は使えません。
  - クリエイティブ動画モード
  - 動画撮影時

  ※1 4K ライブクロップ設定時

  ※2［画質設定］のサイズが［4K］の動画の場合
- パノラマモード時は、［トイフォト］/［トイポップ］/［ジオラマ］/［サンシャイン］は使えません。
- パノラマ写真の撮影中、［ラフモノクローム］/［シルキーモノクローム］/［ソフトフォーカス］/［クロスフィルター］の画像効果は画面に反映されません。
- パノラマモードで［ハイキー］に設定時は、明るさが不十分な場面では効果が現れにくいことがあります。
- ISO 感度は［3200］までの設定になります。［ハイダイナミック］設定時は、ISO 感度は［AUTO］に固定されます。

■画像効果の適用前と適用後の写真を撮る（フィルターなし同時記録）

1 回シャッターボタンを押すと、効果適用前と適用後の写真 2 枚を同時に撮影できます。

MENU ボタン→ [撮影] →［フィルター設定］→［フィルターなし同時記録］

設定：[ON] / [OFF]

- 画像効果あり、画像効果なしの順で撮影されます。
- 撮影後、［オートレビュー］で表示される写真は、効果適用後の写真のみになります。

● 次の場合、［フィルターなし同時記録］は働きません。
- パノラマモード
- 連写撮影時
- 4K フォト撮影時
- フォーカスセレクト撮影時
- 動画撮影中の写真撮影
- ［クオリティ］を［RAW］［RAW］［RAW］に設定時
- ブラケット撮影時
- インターバル撮影時
- ［コマ撮りアニメ］時

［画像横縦比］

撮影モード： iA iA+ P A S M M ☐ SCN

プリントや再生方法に合わせて、画像の横縦比を選択できます。

MENU ボタン→ [撮影] →［画像横縦比］

[4:3]	4:3 テレビの横縦比
[3:2]	一般のフィルムカメラの横縦比
[16:9]	ハイビジョンテレビなどの横縦比
[1:1]	正方形横縦比

［記録画素数］

撮影モード：

画素数が大きいほど、大きな用紙にプリントしても鮮明な画像になります。

MENU ボタン→ ［撮影］→［記録画素数］

画像横縦比	4:3	3:2	16:9	1:1
記録画素数	［L］18M 4896 × 3672	［L］16M 4896 × 3264	［L］13.5M 4896 × 2752	［L］13.5M 3664 × 3664
	［EX M］9M 3456 × 2592	［EX M］8M 3456 × 2304	［EX M］8M 3840 × 2160	［EX M］7M 2592 × 2592
	［EX S］4.5M 2400 × 1800	［EX S］4M 2400 × 1600	［EX S］2M 1920 × 1080	［EX S］3.5M 1824 × 1824

● 4K フォト撮影時、またはフォーカスセレクト撮影時は、記録画素数は［4K］に固定されます。

［クオリティ］

撮影モード：

画像を保存するときの圧縮率を設定します。

MENU ボタン→ ［撮影］→［クオリティ］

設定	ファイル形式	設定内容
［ ］	JPEG	画質を優先して、JPEG 形式で記録します。
［ ］		標準画質で、JPEG 形式で記録します。 画素数を変えずに記録枚数を増やす場合などに便利です。
［RAW ］	RAW + JPEG	RAW 画像と JPEG 画像（［ ］または［ ］）を同時に記録できます。
［RAW ］		
［RAW］	RAW	RAW 形式で記録します。

RAW について

RAW 形式とは、カメラで画像処理が行われていないそのままのデータ形式です。RAW 画像の再生・編集には本機または専用のソフトウェアを必要とします。

- ［再生］メニューの［RAW 現像］で RAW 画像を現像することができます。(P.180)
- パソコンでの RAW ファイルの現像や編集には、ソフトウェア（市川ソフトラボラトリー「SILKYPIX Developer Studio」）をお使いください。ソフトウェアは Web サイト（P.234）からダウンロードし、パソコンにインストールしてください。

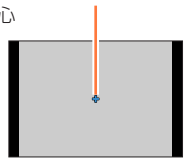
- RAW 画像は常に画像横縦比［4:3］（4896 × 3672）で記録されます。
- ［RAW］、［RAW］で撮影した画像を本機で消去すると、RAW 画像と JPEG 画像が同時に消去されます。
- ［RAW］で撮影した画像を再生時は、撮影時の画像横縦比に合わせてグレーの領域が表示されます。
- 4K フォト撮影時およびフォーカスセレクト撮影時は、［］に固定されます。
- 次の場合、［RAW］［RAW］［RAW］に設定できません。
  - パノラマモード
  - シーンガイドモード（［夜景を手持ちで撮る］）

［測光モード］

撮影モード： iA iA P A S M

明るさを測る測光方式を切り換えることができます。

MENU ボタン→ ［撮影］ →［測光モード］

測光モード	明るさの測定位置	こんなとき
マルチ測光	画面全体	通常使用 （バランスがとれた写真になります）
中央重点	画面中央とその周囲	被写体が画面中央にあるとき
スポット	［+］（スポット測光ターゲット）の中心 	被写体と背景の明るさが極端に異なるとき （舞台上のスポットライトが当たった人物を撮るとき、逆光時など）

- スポット測光ターゲットを画面の端に設定したときは、周辺の明るさの影響を受ける場合があります。

［ハイライトシャドウ］

撮影モード： iA iA+ P A S M 動画 SCN

画像の明るい部分と暗い部分の明るさを画面で確認しながら調整できます。

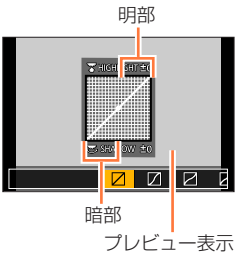
1 メニューを設定する （P.36）

MENU ボタン→ 📷［撮影］→［ハイライトシャドウ］

（スタンダード）	調整なしの状態になります。
（コントラストを上げる）	明部を明るく、暗部を暗くします。
（コントラストを下げる）	明部を暗く、暗部を明るくします。
（暗部を明るくする）	暗部を明るくします。
C1 / C2 / C3（カスタム）	カスタム登録した内容を設定できます。

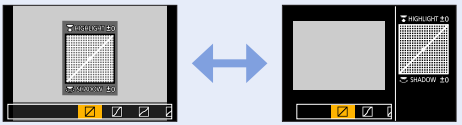
2 後ダイヤルを回して、明部 / 暗部の明るさを調整する

- 後ダイヤルを押すごとに、暗部の調整と明部の調整が切り換わります。
- お好みの設定を登録する場合は ▲ を押して、カスタム登録先（カスタム 1/ カスタム 2/ カスタム 3）を選んでください。
- グラフをドラッグ操作して調整することもできます。



3 ［MENU/SET］ボタンを押す

● 明るさ調整の画面で［DISP.］ボタンを押して、画面の表示を切り換えることができます。



● ［］/［］/［］/［］で調整した設定は、電源スイッチを［OFF］にするとお買い上げ時の設定に戻ります。

[iD レンジコントロール]

撮影モード： iA iA+ P A S M 動画 SCN

背景と被写体の明暗差が大きい場合に、コントラストや露出を自動調整して見た目に近い色にします。

MENU ボタン→ [撮影] → [iD レンジコントロール]

設定：[AUTO] / [強] / [中] / [弱] / [OFF]

- 次の場合、[iD レンジコントロール] は働きません。
  - [HDR] を [ON] に設定時
  - [ISO 感度] を [H.6400] に設定時

[超解像]

撮影モード： iA iA+ P A S M 動画 SCN

超解像技術を使って、より輪郭のはっきりした、解像感がある画像を撮影できます。

MENU ボタン→ [撮影] → [超解像]

設定：[強] / [中] / [弱] / [拡張] / [OFF]

- [拡張] は、より解像感を高めた自然な画像を撮影できます。
- 動画撮影時、4K フォト撮影時およびフォーカスセレクト撮影時は、[拡張] は [弱] に変わります。

[HDR]

撮影モード： iA iA+ P A S M 動画 カスタム SCN

露出の異なる写真を 3 枚撮影して 1 枚の階調豊かな写真に合成します。背景と被写体の明暗差が大きい場合などに、黒つぶれや白飛びを抑えて撮影することができます。
HDR 合成した画像は JPEG で記録されます。

MENU ボタン→ [撮影] → [HDR]

設定：[ON] / [OFF] / [設定]

■設定を変更する

[D レンジ設定]	[AUTO]：被写体の明暗差に応じて露出の調整幅を自動調整して撮影します。 [±1EV] / [±2EV] / [±3EV]：設定した露出の調整幅で撮影します。
[自動位置調整]	[ON]：手ブレなどによる画像のずれを自動的に調整します。手持ち撮影時の設定をお勧めします。 [OFF]：画像のずれ調整を行いません。三脚使用時の設定をお勧めします。

- シャッターボタンを押したあと、連写中はカメラを動かさないでください。
- 撮影後、連写した写真を合成するため、しばらくの間、次の撮影ができません。
- 動いている被写体を撮影すると、残像のように不自然に撮影される場合があります。
- ［自動位置調整］を［ON］に設定時は、画角がわずかに狭くなります。
- フラッシュ撮影時は［⊛］（発光禁止）に固定されます。
- 動画撮影中の写真撮影では働きません。
- 次の場合、［HDR］は使えません。
  - 連写撮影時
  - 4K フォト撮影時
  - フォーカスセレクト撮影時
  - ブラケット撮影時
  - ［クオリティ］を［RAW］［RAW］［RAW］に設定時
  - インターバル撮影時
  - ［コマ撮りアニメ］時（［自動撮影］設定時のみ）

［多重露出］

撮影モード： iA iA+ P A S M M ☐ SCN

1 枚の画像に最大 4 回の露光を行ったような効果を得ることができます。

MENU ボタン→ 📷 ［撮影］ → ［多重露出］

1 ▲ で ［開始］ を選び、［MENU/SET］ ボタンを押す

2 構図を決めて、1 枚目を撮影する



- 撮影後、シャッターボタンを半押しすると、次の撮影に進みます。
- ▲▼ で項目を選び、［MENU/SET］ ボタンを押すと、次の操作ができます。
  - ［次の撮影］：次の撮影に進みます。
  - ［撮り直し］：直前の撮影結果を破棄し、撮り直します。
  - ［完了］：多重露出を終了し、撮影した画像を記録します。

3 2 枚目、3 枚目、4 枚目を撮影する



- 撮影時に［Fn1］ ボタンを押すと、撮影画像を記録し、多重露出の撮影を終了します。

4 ▼ で ［完了］ を選び、［MENU/SET］ ボタンを押す

- シャッターボタン半押しでも終了できます。

■設定を変更する

［自動ゲイン補正］	［OFF］ に設定すると、すべての露光結果をそのまま重ね合わせます。被写体によっては必要に応じて露出補正を行ってください。
［再生画像と多重］	［ON］ に設定すると、すでに撮影した画像に多重露出を行えます。［開始］ 後にカード内の画像が表示されるので、RAW 画像を選んで ［MENU/SET］ ボタンを押し、続けて撮影してください。

- 多重露出で撮影した画像の撮影情報は、最後に撮影した画像の情報になります。
- 多重露出撮影中に、メニュー画面でグレーに表示される項目は設定できません。
- 本機で撮影された RAW 画像にのみ ［再生画像と多重］ を行えます。
- 次の場合、［多重露出］ は使えません。
  - インターバル撮影時
  - ［コマ撮りアニメ］ 時

［シャッター方式］

撮影モード：

メカシャッター方式と電子シャッター方式の 2 種類のシャッター方式で撮影できます。

	メカシャッター方式	電子シャッター方式
フラッシュ	○	×
シャッタースピード	4 秒※1 ～ 1/2000 秒	1 秒※1 ～ 1/16000 秒
シャッター音	メカシャッター音 ＋ 電子シャッター音※2	電子シャッター音※2

※1 ISO 感度の設定により変わります。(P.85)
※2［シャッター音音量］と［シャッター音音色］で、電子シャッター音の設定ができます。(P.171)

MENU ボタン→ ［撮影］→［シャッター方式］

自動切換	撮影状況やシャッタースピードに応じて、シャッター方式が自動で切り換わります。 • フラッシュ撮影などで機能の制約の少ない、メカシャッター方式を優先して使います。
メカシャッター	メカシャッター方式のみで撮影します。
電子シャッター	電子シャッター方式のみで撮影します。

● 次の場合、電子シャッターで撮影されます。
  • 画面に［ ］が表示されている場合
  • 4K フォト撮影時
  • フォーカスセレクト撮影時
  • ［サイレントモード］を［ON］に設定時
● **電子シャッターで撮影時は、動いている被写体を撮影すると、被写体が曲がって撮影される場合があります。**
● **電子シャッターで撮影時は、蛍光灯や LED などの照明下では、横しまが撮影されることがあります。このようなときは、シャッタースピードを遅くすると横しまが軽減されることがあります。**(P.50)

メニュー一覧

[デジタル赤目補正]

撮影モード： iA iA+ P A S M M SCN

フラッシュの赤目軽減（[⚡◎]［⚡S◎]）で撮影したときに、赤目を自動的に検出して、写真を補正します。

MENU ボタン→ 📷［撮影］→［デジタル赤目補正］

設定：[ON] / [OFF]

- ［ON］に設定すると、アイコンが［⚡◎］［⚡S◎］に変わります。
- 赤目の状態によっては、補正できない場合があります。

[ISO 感度上限設定]

撮影モード： iA iA+ P A S M M SCN

ISO 感度の設定が［AUTO］または［ISO］のときの ISO 感度の上限を設定します。

MENU ボタン→ 📷［撮影］→［ISO 感度上限設定］

設定：[200] / [400] / [800] / [1600] / [3200] / [OFF]

- 次の場合は働きません。
  - シーンガイドモード（[夜景をきれいに撮る]［夜空をクールに撮る］［夜景を暖かく撮る］［夜景を手持ちで撮る]）
  - 動画撮影時

[ISO 感度ステップ]

撮影モード： iA iA+ P A S M M SCN

ISO 感度を 1EV ごとに設定するか、1/3EV ごとに設定するかを変更します。

MENU ボタン→ 📷［撮影］→［ISO 感度ステップ］

設定：[1/3EV] / [1EV]

[拡張 ISO 感度]

撮影モード： iA iA+ P A S M 動画 カスタム SCN

設定できる ISO 感度の数値を拡張することができます。

MENU ボタン→ [撮影] → [拡張 ISO 感度]

設定：[ON] / [OFF]

- 4K フォト撮影時、フォーカスセレクト撮影時は設定できません。

[回折補正]

撮影モード： iA iA+ P A S M 動画 カスタム SCN

絞りを絞ったときの回折現象のボケを補正し、画像の解像感を高めます。

MENU ボタン→ [撮影] → [回折補正]

設定：[AUTO] / [OFF]

- 高い ISO 感度では、画面周辺のノイズが目立つ場合があります。

[色空間]

撮影モード： iA iA+ P A S M 動画 カスタム SCN

撮影した画像をパソコンの画面やプリンターなどで再現する場合に、色再現を正しく行うための方式を設定します。

MENU ボタン→ [撮影] → [色空間]

[sRGB]	sRGB 色空間に設定します。パソコンを中心とした機器で広く使われています。
[AdobeRGB]	AdobeRGB 色空間に設定します。 AdobeRGB 色空間は sRGB 色空間よりも色再現の範囲が広いため、主に商用印刷などの業務用途で使われています。

- AdobeRGB についての専門的な知識がない方は、[sRGB] に設定してください。
- 動画撮影時、4K フォト撮影時およびフォーカスセレクト撮影時は、[sRGB] に固定されます。

［個人認証］

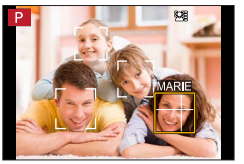
撮影モード： iA iA+ P A S M M ☐ SCN

個人認証とは、登録された顔に近い顔を見つけて、自動で優先的にピントや露出を合わせる機能です。集合写真などで大切な人が奥や隅にいても、大切な人の顔をきれいに撮影することができます。

MENU ボタン→ 📷［撮影］→［個人認証］

設定：［ON］/［OFF］/［登録］

■個人認証機能の働き



撮影時
- 登録した顔を認識し、ピントと露出を合わせる
- 名前を設定して登録した顔を認識すると、名前を表示（3 人まで）

再生時
- 名前や月齢 / 年齢を表示

- **［個人認証］は、オートフォーカスモードを［👤］に設定しているときのみ有効です。**
- 連写撮影時は、1 枚目のみ個人認証に関する撮影情報が付加されます。
- グループ画像では、1 枚目の画像の名前が表示されます。
- ［認証情報編集］の［入換え］（P.191）で撮影済み画像の名前を変更できます。
- 次の場合、［個人認証］を設定できません。
  - クリエイティブコントロールモード（［ジオラマ］）
  - 動画撮影時
  - 4K フォト撮影時
  - フォーカスセレクト撮影時
  - インターバル撮影時

■顔画像を登録する

最大 6 人までの顔画像を名前や誕生日などの情報とともに登録できます。

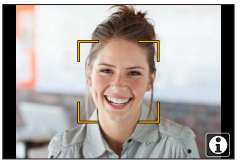
①▼ で［登録］を選び、［MENU/SET］ボタンを押す

②▲▼◀▶ で［新規登録］を選び、［MENU/SET］ボタンを押す



③ガイドに顔を合わせて撮影する

- 人物以外の被写体の顔（ペットなど）は、登録できません。
- ▶ を押す、または［ⓘ］をタッチすると、説明が表示されます。



④▲▼ で編集項目を選び、［MENU/SET］ボタンを押す

名前	名前を設定します。 • 文字の入力方法（P.43）
月齢 / 年齢	誕生日を設定します。
追加登録	❶◀▶ で［追加登録］を選び、［MENU/SET］ボタンを押す • カーソルボタンで登録済みの顔画像を選ぶと、解除の確認画面が表示されます。［はい］を選ぶと、顔画像が消去されます。 ❷撮影する（手順 ③）

顔画像登録時の撮影ポイント

- 目を開き、口を閉じた状態で正面を向き、髪の毛で顔の輪郭、目や眉が隠れないようにする。
- 顔に極端な陰影が出ないようにする。（登録時、フラッシュは発光しません）

登録時の良い例



撮影時に認証されにくいと感じたら

- 同じ人物の顔を室内と屋外で、または表情やアングルを変えて追加で登録する。
- 撮影するその場で追加して登録する。
- 登録している人物を認証しなくなった場合は、登録し直す。
- 登録している人物でも表情や環境によっては個人認証ができない、または正しく認証されない場合があります。

■登録した人物の情報を編集 / 解除する

①▼ で［登録］を選び、［MENU/SET］ボタンを押す

②▲▼◀▶ で編集または解除する人物を選び、［MENU/SET］ボタンを押す

③▲▼ で項目を選び、［MENU/SET］ボタンを押す

情報編集	名前など、登録した情報を修正します。（「顔画像を登録する」の手順 ④）
登録順	ピントや露出の優先順位を設定します。 ❶▲▼◀▶ で登録順を選び、［MENU/SET］ボタンを押す
解除	登録した人物の情報や顔画像を消去します。

［プロフィール設定］

撮影モード：

あらかじめ、赤ちゃんやペットの名前や誕生日を設定することで、名前や月齢 / 年齢を画像に記録することができます。

■名前、月齢 / 年齢を設定する

MENU ボタン→［撮影］→［プロフィール設定］

設定：［（赤ちゃん 1）］/［（赤ちゃん 2）］/［（ペット）］/［OFF］/［設定］

①▼で［設定］を選び、［MENU/SET］ボタンを押す
②▲▼で［赤ちゃん 1］、［赤ちゃん 2］または［ペット］を選び、［MENU/SET］ボタンを押す
③▲▼で［月齢 / 年齢］または［名前］を選び、［MENU/SET］ボタンを押す
④▼で［設定］を選び、［MENU/SET］ボタンを押す
［月齢 / 年齢］（誕生日）を入力する
［名前］を入力する
• 文字の入力方法（P.43）
⑤▼で［終了］を選び、［MENU/SET］ボタンを押して終了する

■月齢 / 年齢や名前の表示を解除するとき

［プロフィール設定］で［OFF］を選ぶ。

- ［名前］や［月齢 / 年齢］は、Web サイトからダウンロードしたソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」（P.233）を使ってパソコンで印刷設定をしたり、本機の［文字焼き込み］で写真に焼き込むことができます。
- 4K フォト撮影時またはフォーカスセレクト撮影時、［プロフィール設定］は使えません。
- 次の場合、月齢 / 年齢や名前は記録されません。
  - 動画撮影時
  - 動画撮影中に記録した写真（P.131）

メニュー一覧

[動画]

- [フォトスタイル]、[フィルター設定]、[AFS/AFF/AFC]、[測光モード]、[ハイライトシャドウ]、[iD レンジコントロール]、[超解像]、[回折補正]、[iA ズーム]、[デジタルズーム]、[手ブレ補正]、[コンバージョン] は、[撮影] メニューと [動画] メニューに共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。詳しくは、[撮影] メニューの同じ項目をお読みください。

- [4K ライブクロップ] (P.129)
- [スナップムービー] (P.132)
- [記録方式] (P.127)
- [画質設定] (P.127)
- [動画露出設定] (P.64)
- [ハイスピード動画] (P.65)
- [AF 連続動作] (P.128)
- [フリッカー軽減] (P.159)
- [タッチ静音操作] (P.66)
- [風音キャンセラー] (P.159)
- [ズームマイク] (P.160)

[フリッカー軽減]

撮影モード： iA iA+ P A S M M SCN

動画のちらつきや横しまを軽減させるために、シャッタースピードを固定することができます。

MENU ボタン→ [動画] → [フリッカー軽減]

設定：[1/50] / [1/60] / [1/100] / [1/120] / [OFF]

[風音キャンセラー]

撮影モード： iA iA+ P A S M M SCN

音質を保ちながら、内蔵マイクに当たる風音ノイズを低減します。

MENU ボタン→ [動画] → [風音キャンセラー]

設定：[強] / [標準] / [OFF]

- [強] は強風を検出すると、低音を抑えてより効果的に風音を低減する設定です。
- [標準] は音質を損なうことなく、風音だけを抽出して低減する設定です。

● 撮影状況によっては十分な効果が得られない場合があります。

メニュー一覧

［ズームマイク］

撮影モード： iA iA+ P A S M M SCN

ズーム操作に連動して、望遠では遠くの音、広角では周囲の音をよりクリアに記録します。

MENU ボタン→ ［動画］→［ズームマイク］

設定：［ON］/［OFF］

- ［ON］に設定時、ズーム操作を行うと、周囲の音に合わせて動作音も強調されて記録される場合があります。また、［OFF］のときよりも録音レベルが下がります。
- 望遠時には、音声のステレオ感がなくなります。

メニュー一覧

[カスタム]

MENU ボタン→ [カスタム]

- [カスタムセット登録] (P.67)
- [サイレントモード] (P.161)
- [AF/AE ロック切換] (P.83)
- [AF/AE ロック維持] (P.162)
- [シャッター半押し AF] (P.162)
- [シャッター半押しレリーズ] (P.162)
- [クイック AF] (P.162)
- [ピンポイント AF 時間] (P.162)
- [ピンポイント AF 表示] (P.162)
- [AF 補助光] (P.163)
- [ダイレクトフォーカス移動] (P.163)
- [フォーカス / レリーズ優先] (P.163)
- [AF+MF] (P.163)
- [MF アシスト] (P.164)
- [MF アシスト表示] (P.164)
- [MF ガイド] (P.164)
- [ピーキング] (P.164)
- [ヒストグラム表示] (P.165)
- [ガイドライン表示] (P.165)
- [センターマーカー表示] (P.165)
- [ハイライト表示] (P.165)
- [ゼブラパターン表示] (P.166)
- [モノクロライブビュー] (P.166)
- [常時プレビュー (M モード)] (P.166)
- [露出メーター] (P.167)
- [ダイヤル操作ガイド] (P.167)
- [LVF 表示スタイル] (P.31)
- [モニター表示スタイル] (P.31)
- [モニター撮影情報画面] (P.31)
- [記録枠表示] (P.167)
- [残枚数 / 残時間切換] (P.167)
- [オートレビュー] (P.167)
- [Fn (ファンクション) ボタン設定] (P.40)
- [ズームレバー] (P.168)
- [レンズ位置メモリー] (P.168)
- [レンズ収納] (P.168)
- [Q.MENU] (P.39)
- [動画ボタン] (P.168)
- [タッチ設定] (P.168)
- [タッチ再生送り速度] (P.168)
- [メニューガイド] (P.168)

[サイレントモード]

操作音と発光の禁止を一括で設定します。

- 操作音は消音に、フラッシュや AF 補助光は発光禁止に設定されます。
  次の機能は固定されます。
  - [シャッター方式]：[電子シャッター]
  - フラッシュ：[⊗] (発光禁止)
  - [AF 補助光]：[OFF]
  - [電子音音量]：[🔇] (OFF)
  - [シャッター音音量]：[🔇] (OFF)

● [ON] に設定していても、次の機能は点灯 / 点滅します。
- セルフタイマーランプ
- Wi-Fi 接続ランプ

● レンズの絞りの音など、本機の動作音は消音されません。

MENU ボタン→ [カスタム]

[AF/AE ロック維持]

[AF/AE LOCK] ボタン（または [AF/AE LOCK] を登録したファンクションボタン）を押したあと、ボタンから指を離してもピントや露出が固定されます。もう一度押すとロックが解除されます。

[シャッター半押し AF]

シャッターボタン半押し時に、自動的にピントを合わせるかを設定します。

[シャッター半押しレリーズ]

シャッターボタン半押しで、すぐにシャッターを切ることができます。

[クイック AF]

シャッターボタンを押していない間も、カメラのブレが小さくなると自動的にピントを合わせます。（バッテリーの消費は早くなります）

● 次の場合、[クイック AF] は働きません。
- プレビューモード時
- 低照度時

[ピンポイント AF 時間]

オートフォーカスモードを [+] に設定時、シャッターボタンを半押ししたときに画面表示が拡大される時間を設定します。

[ピンポイント AF 表示]

オートフォーカスモードを [+] に設定したときのアシスト画面を、画面の一部に表示するか、全画面表示にするか設定します。

メニュー一覧

MENU ボタン→ [カスタム]

[AF 補助光]

暗い場所での撮影時、ピントを合わせやすくするためにシャッターボタン半押しで AF 補助光ランプが点灯します。

- AF 補助光の有効距離は 1.5 m です。
- 次の場合、[OFF] に固定されます。
  - シーンガイドモード（[風景をきれいに撮る] [青空をさわやかに撮る] [夕焼けを幻想的に撮る] [夕焼けを印象的に撮る] [水面をキラキラ撮る] [夜景をきれいに撮る] [夜空をクールに撮る] [夜景を暖かく撮る] [夜景をアーティスティックに撮る] [夜景を手持ちで撮る]）
  - [サイレントモード] を [ON] に設定時
  - [コンバージョン] を [ ] または [ ] に設定時

[ダイレクトフォーカス移動]

撮影時にカーソルボタンを使って、AF エリアや MF アシストを移動します。

- [ ]、[ ]、[ ]、[ ] 選択時では AF エリアを、[ ] のときは拡大位置を移動することができます。
- ホワイトバランスや ISO 感度などカーソルボタンに割り当てられている機能は、クイックメニュー（P.38）を使って設定してください。
- 次の場合、[ダイレクトフォーカス移動] は [OFF] に固定されます。
  - シーンガイドモード設定時（[水面をキラキラ撮る]）
  - クリエイティブコントロールモード設定時
  - 4K ライブクロップ設定時

[フォーカス / レリーズ優先]

ピントが合っていない場合は撮影できないように設定します。

[AF+MF]

AF ロックしている間（[撮影] メニューの [AFS/AFF/AFC] を [AFS] に設定時のシャッターボタン半押し、または [AF/AE LOCK] での AF ロック）に手動でピントを微調整することができます。

メニュー一覧

MENU ボタン→ [カスタム]

[MF アシスト]

[ ] ボタン（◀）を押すと、MF アシスト（拡大画面）を表示します。

● 次の場合、MF アシストは表示されません。
- 動画撮影中
- 4K フォトの [ ]（4K プリ連写）で撮影時
- デジタルズーム使用時

[MF アシスト表示]

MF アシスト（拡大画面）を、画面の一部に表示するか、全画面表示にするか設定します。

[MF ガイド]

手動でピントを合わせると画面に MF ガイドが表示されます。近距離側、遠距離側へピントを合わせる方向を確認できます。



∞（無限）を示す目安

[ピーキング]

手動でピントを合わせているときに、ピントが合っている部分（画面上で輪郭がはっきりした部分）に色を付けて表示します。

● [設定] で [検出レベル] を [高] に設定すると、色を付けて表示される範囲を狭くするため、より厳密なピント合わせができます。
● [検出レベル] の設定を変更すると、[表示色] の設定も以下のように切り換わります。

[検出レベル]	[高] ◀▶	[低]
[表示色]	[ ]（水色）	[ ]（青）
	[ ]（黄色）	[ ]（オレンジ）
	[ ]（黄緑）	[ ]（緑）
	[ ]（ピンク）	[ ]（赤）
	[ ]（白）	[ ]（灰色）

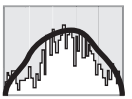
● [ ] の [ ] をタッチするごとに [L]（検出レベル：低）→ [H]（検出レベル：高）→ [OFF] の順に切り換わります。
● 次の場合、ピーキングは働きません。
- クリエイティブコントロールモード（[ラフモノクローム]）

MENU ボタン→ [カスタム]

[ヒストグラム表示]

ヒストグラムを表示するかしないかを設定します。
[ON] 時に ▲▼◀▶ を押してヒストグラムの表示位置を移動することができます。
• 撮影画面でも直接ドラッグして位置を設定できます。
画像の明るさの分布を示しており、例えば山が右側にあれば画像に明るい部分が多いことを示します。山が中央にあるときが適正な明るさ（適正露出）です。露出補正などの参考にします。

（例）



暗い ← 適正 → 明るい

● **撮影画像とヒストグラムが以下の条件で一致しない場合は、ヒストグラムがオレンジ色で表示されます。**
  • 露出補正時
  • フラッシュが発光するとき
  • 低照度時など適正露出にならないとき

[ガイドライン表示]

撮影時に表示するガイドラインのパターンを設定します。

● [田] にすると、▲▼◀▶ を押してガイドラインの位置を移動することができます。
● 撮影画面でも、ガイドライン上の [□] を直接ドラッグして位置を設定できます。
● パノラマモード時、ガイドラインは表示されません。

[センターマーカー表示]

撮影画面の中心を示す [+] を表示します。被写体を画面の中心にとらえたままズーム操作するときに便利な表示です。

[ハイライト表示]

オートレビューまたは再生時に白飛び（明るすぎて、それ以上の階調が出ていない状態）している部分を点滅表示できます。撮影画像に影響はありません。

● 白飛びを軽減したい場合は、ヒストグラム表示（P.165）などを参考に露出をマイナス補正して（P.84）撮影してください。
● 4K フォト再生、フォーカスセレクト撮影した画像の再生、マルチ再生、カレンダー再生、再生ズーム時は働きません。



MENU ボタン→ [カスタム]

[ゼブラパターン表示]

白飛びのおそれがある部分を縞模様に表示して確認できます。

ゼブラ 1：



ゼブラ 2：



[設定] から、縞模様で表示する明るさを設定できます。

- 選べる明るさの範囲は [50%] から [105%] までです。[ゼブラ 2] では、[OFF] に設定することができます。[100%] または [105%] を選択すると、白飛びを起こしている部分だけが縞模様で表示されます。数値を小さくすると、縞模様で表示する明るさの範囲が広くなります。

- 白飛びを軽減したい場合は、ヒストグラム表示（P.165）などを参考に露出をマイナス補正して（P.84）撮影してください。
- 表示される縞模様は記録されません。
- [カスタム] メニューの [Fn ボタン設定]（P.40）に [ゼブラパターン表示] を設定すると、設定したファンクションボタンを押すごとに [ゼブラ 1] → [ゼブラ 2] → [OFF] の順に切り換わります。[ゼブラ 2] を [OFF] に設定時は、[ゼブラ 1] → [OFF] の順に切り換わり、素早く切り換えることができます。

[モノクロライブビュー]

撮影画面を白黒表示にすることができます。白黒で表示する方が、マニュアルフォーカスでピントを合わせやすい場合に便利な機能です。

- 撮影画像に影響はありません。

[常時プレビュー（M モード）]

マニュアル露出モード時に、撮影画面で絞り効果、シャッタースピード効果を確認できます。

- フラッシュ使用時は働きません。

MENU ボタン→ [カスタム]

[露出メーター]

露出メーターを表示するかしないかを設定します。

- [ON] に設定すると、プログラムシフト、絞り設定、またはシャッタースピード操作時に露出メーターが表示されます。
- 適正でない範囲が、赤色で表示されます。
- 露出メーターが表示されないときは、[DISP.] ボタンを押して画面の表示情報を切り換えてください。
- 約 4 秒間何も操作しないと露出メーターが消灯します。



[ダイヤル操作ガイド]

撮影モードを切り換えたときに、ダイヤル操作ガイドを表示するかしないかを設定します。



[記録枠表示]

写真撮影時と動画撮影時の画角を切り換えます。

- 記録枠表示は目安です。
- 4K フォト撮影時やフォーカスセレクト撮影時、[記録枠表示] は使えません。

[残枚数 / 残時間切換]

記録可能枚数または記録可能時間の表示を切り換えます。

[オートレビュー]

写真撮影後に撮影画像を表示する時間を設定します。

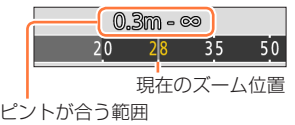
- [ホールド] に設定すると、シャッターボタンを半押しするまで表示されます。
- 4K フォト撮影およびフォーカスセレクト撮影時、[オートレビュー] の設定項目は [ON]、[OFF] に切り換わります。

MENU ボタン→ [カスタム]

[ズームレバー]

ズーム動作の設定を変更できます。

(ズーム)	通常のズーム動作を行います。
(ステップズーム)	操作するたびに、決められた各焦点距離の位置でズームが停止します。 • 動画撮影時、4K フォトの [4K PRE] (4K プリ連写) で撮影時は働きません。



[レンズ位置メモリー]

電源を切ったときのズーム位置とフォーカス位置を記憶します。

[レンズ収納]

撮影モードから再生モードに切り換えて 15 秒後に、レンズ鏡筒を自動的に収納します。

[動画ボタン]

動画ボタンの有効 / 無効を設定します。

[タッチ設定]

タッチ操作の有効 / 無効を設定します。

タッチパネル	すべてのタッチ操作。
タッチタブ	画面右に表示される [<] などのタブ操作。
タッチ AF	タッチした被写体にピント [AF]、またはピントと明るさ [AF+AE] を合わせる操作。
タッチパッド AF	ファインダー表示中にモニターをタッチして AF エリアを移動する操作。(P.78)

[タッチ再生送り速度]

タッチ操作で画像を連続して送るときの画像送りの速さを設定します。

[メニューガイド]

モードダイヤルを [SCN] / [] に切り換えたときに選択画面を表示するかしないかを設定します。

メニュー一覧

[セットアップ]

MENU ボタン→ [セットアップ]

- [取扱説明書の Web サイト] (P.169)
- [時計設定] (P.24)
- [ワールドタイム] (P.169)
- [トラベル日付] (P.170)
- [Wi-Fi] (P.170)
- [電子音] (P.171)
- [ライブビューモード] (P.171)
- [モニター調整] / [LVF 調整] (P.172)
- [モニター輝度] (P.172)
- [モニター優先（再生)] (P.172)
- [エコモード] (P.173)
- [USB モード] (P.173)
- [テレビ接続設定] (P.174)
- [メニュー位置メモリー] (P.174)
- [メニュー背景色] (P.174)
- [メニューインフォメーション] (P.174)
- [言語設定] (P.175)
- [バージョン表示] (P.175)
- [露出補正リセット] (P.175)
- [セルフタイマー自動解除] (P.175)
- [番号リセット] (P.175)
- [設定リセット] (P.176)
- [Wi-Fi 設定リセット] (P.176)
- [デモモード] (P.176)
- [フォーマット] (P.22)

[取扱説明書の Web サイト]

設定：[URL 表示] / [QR コード表示]

[ワールドタイム]

お住まいの地域と旅行先の時刻を設定します。

- [旅行先] の設定は、[ホーム] 設定後に行えます。

設定：[旅行先] / [ホーム]

1 ▲▼ で [旅行先] または [ホーム] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

2 ◀▶ で地域を選択し、[MENU/SET] ボタンを押す



[旅行先] の場合　　[ホーム] の場合

続く ▶

MENU ボタン→ [セットアップ]

■サマータイムを設定する場合

手順 **2** で ▲ を押す（再度、押すと解除）

• サマータイム［☀🕘］を設定すると、現在時刻が 1 時間進みます。設定を解除すると、自動的に戻ります。

■旅行先から戻ってきた場合

手順 **1** で［ホーム］を選び、［MENU/SET］ボタンを押す

● 画面に表示されるエリアで旅行先が見つからない場合は、ホームとの時差を参考に設定してください。

［トラベル日付］

■トラベル日付設定

旅行の日程を設定して撮影すると、旅行何日目に撮影したかが記録されます。

■旅行先

［トラベル日付設定］が設定されているときは、旅行先を設定できます。

• 文字の入力方法（P.43）

● 経過日数や旅行先をプリントするときは、［文字焼き込み］（P.185）を行うか、ソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」（P.233）を使ってプリントしてください。
● トラベル日付は、設定された出発日と本機の時計設定の日付により計算されます。［ワールドタイム］で旅行先を設定したときは、旅行先の日付を基に経過日数を表示します。
● ［トラベル日付設定］を［OFF］に設定すると、経過日数は記録されません。撮影後に［トラベル日付設定］を［設定］にしても表示されません。
● 現在の日付が帰着日を経過した場合、［トラベル日付設定］は自動的に解除されます。
● AVCHD 動画には、［トラベル日付］を記録できません。
● 動画撮影時、4K フォト撮影時とフォーカスセレクト撮影時、［旅行先］は記録できません。

［Wi-Fi］

■**［Wi-Fi 機能］**（P.223）

■**［Wi-Fi 設定］**（P.229）

MENU ボタン→ [セットアップ]

[電子音]

電子音や電子シャッター音を設定します。

■電子音音量

■シャッター音音量

■シャッター音音色

● [サイレントモード] を [ON] に設定時は、電子音は設定できません。

[ライブビューモード]

撮影時の画面（ライブビュー画面）の表示速度・画質を設定します。

ECO 30fps	消費電力を抑えた設定で、30 コマ / 秒で表示します。
30fps	30 コマ / 秒で表示します。
60fps	表示速度を優先し、60 コマ / 秒で表示します。 動きの速い被写体を撮影する場合などに適しています。

● **[ECO 30fps] に設定時はデジタルズームは使用できません。**
● 次の場合、[ECO 30fps] に設定できません。
  • クリエイティブ動画モード
  • 4K フォト撮影時
  • フォーカスセレクト撮影時
● [ライブビューモード] の設定は、撮影画像に影響はありません。
● ファインダーは [60fps] に固定されます。

MENU ボタン→ [セットアップ]

[モニター調整] / [LVF 調整]

モニター / ファインダーの明るさや色合いを調整します。

明るさ	明るさを調整します。
コントラスト	明暗差を調整します。
彩度	色の鮮やかさを調整します。
赤み	赤みを調整します。
青み	青みを調整します。

- モニター表示時はモニターを、ファインダー表示時はファインダーを調整します。
- 被写体によっては実際と違って見える場合がありますが、撮影画像に影響はありません。

[モニター輝度]

周囲の明るさに応じて、モニターの明るさを設定できます。

A☀ (AUTO)	周囲の明るさに応じて、自動的に明るさを調整します。
1☀ (MODE1)	モニターを明るくします。
2☀ (MODE2)	モニターを標準的な明るさにします。
3☀ (MODE3)	モニターを暗くします。

- 被写体によっては実際と違って見える場合がありますが、撮影画像に影響はありません。
- 「MODE1」は、撮影時に 30 秒間操作をしないと通常の明るさに戻ります。(いずれかのボタンを押す、またはモニターをタッチすると再び明るくなります)
- 「AUTO」または「MODE1」を設定すると、使用時間が減少します。
- 再生時は、「AUTO」は選択できません。
- AC アダプター(別売:DMW-AC10)および DC カプラー(別売:DMW-DCC6)使用時の初期設定は「MODE2」になります。

[モニター優先(再生)]

[▶](再生)ボタンを押して撮影モードから再生モードに切り換えたとき、自動的にモニターで画像を再生します。

ON	モニターで画像を再生します。
OFF	ファインダーまたはモニターのうち、前回画像を再生していた方で、画像を再生します。

MENU ボタン→ [セットアップ]

[エコモード]

■スリープモード

設定した時間の間に何も操作をしないと、自動的に電源が切れます。

- 解除するとき→シャッターボタン半押し、または電源スイッチを［OFF］にしてからもう一度［ON］にする

■スリープモード（Wi-Fi）

Wi-Fi 接続が切断されている間に約 15 分間操作をしないと、自動的に本機の電源を切ります。

- 解除するとき→シャッターボタン半押し、または電源スイッチを［OFF］にしてからもう一度［ON］にする

■LVF/ モニター自動 OFF

設定した時間の間に何も操作をしないと、自動的にモニター / ファインダーが消灯します。

- 解除するとき→いずれかのボタンを押す、またはモニターをタッチする

● 次の場合、働きません。
  - 動画撮影 / 再生時
  - 4K フォトの［4K PRE］（4K プリ連写）で撮影時
  - ［多重露出］設定時
  - パソコン・プリンター接続時
  - スライドショー中
  - ［インターバル撮影］設定時
  - ［コマ撮りアニメ］時（［自動撮影］設定時のみ）
● AC アダプター（別売：DMW-AC10）および DC カプラー（別売：DMW-DCC6）使用時は、［スリープモード］、［スリープモード（Wi-Fi）］は働きません。
● AC アダプター（別売：DMW-AC10）および DC カプラー（別売：DMW-DCC6）使用時は、［LVF/ モニター自動 OFF］は［5 分］に固定されます。

[USB モード]

USB 接続ケーブル（付属）でパソコンやプリンターに接続するときの通信方法を選びます。

接続時に選択	パソコンまたは PictBridge 対応プリンターに接続したときに、接続方法を選ぶ場合に設定します。
PictBridge(PTP)	PictBridge 対応プリンターに接続するときに設定します。
PC	パソコンに接続するときに設定します。

メニュー一覧

MENU ボタン→ [セットアップ]

[テレビ接続設定]

■HDMI 出力解像度（再生時）

出力する映像方式を設定します。

AUTO	接続したテレビからの情報を基に、自動的に出力解像度を決定します。
4K	有効走査線数 2160 本のプログレッシブ方式で、出力解像度 3840 × 2160 の出力をします。
1080p	有効走査線数 1080 本のプログレッシブ方式で出力します。
1080i	有効走査線数 1080 本のインターレース方式で出力します。
720p	有効走査線数 720 本のプログレッシブ方式で出力します。
480p	有効走査線数 480 本のプログレッシブ方式で出力します。

- ［AUTO］に設定していて映像がテレビに出ないときは、［AUTO］以外の固定された設定に切り換えて、お使いのテレビが表示できる映像方式に合わせてください。（テレビの取扱説明書もお読みください）

■ビエラリンク

［ON］に設定すると、本機と HDMI マイクロケーブルを使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させ、ビエラリンク対応機器のリモコンで操作できるようになります。(P.232)

[メニュー位置メモリー]

最後に操作したメニューの選択位置を記憶します。

[メニュー背景色]

メニュー画面の背景色を設定します。

[メニューインフォメーション]

メニュー画面にメニュー項目 / 設定内容の説明文を表示します。

メニュー一覧

MENU ボタン→ [セットアップ]

[言語設定]

画面表示の言語を設定します。

● 誤った言語に設定した場合は、メニューアイコンの［］を選び、言語を設定してください。

[バージョン表示]

本体のファームウェアのバージョンを確認できます。

● バージョン表示中に［MENU/SET］ボタンを押すと、ライセンスなど本機のソフトの情報が表示されます。

[露出補正リセット]

撮影モードを変更したとき、または本機の電源を切ったときに露出補正をリセットします。

[セルフタイマー自動解除]

電源を切ると、セルフタイマーが解除されます。

[番号リセット]

画像のファイル番号をリセットします。（新しいフォルダーを作成し、ファイル番号を0001 にリセットします）

- フォルダー番号を 100 にリセットするには：
  まず、カードを本機でフォーマットし、［番号リセット］で［はい］を選びます。その後、フォルダー番号のリセット画面で［はい］を選びます。

● フォルダー番号は 100 ～ 999 まで作成されます。
フォルダー番号が 999 になるとリセットできません。必要な画像をパソコンなどに保存してから本機でフォーマットをしてください。(P.22)

メニュー一覧

MENU ボタン→ [セットアップ]

[設定リセット]

設定をお買い上げ時の状態に戻します。

■撮影設定（[個人認証]、[プロフィール設定] 以外）とドライブモード

■撮影設定（[個人認証]、[プロフィール設定] の設定内容）

■セットアップ / カスタム設定

- セットアップ / カスタム設定をリセットした場合、以下もリセットされます。
  - [ワールドタイム] の設定内容
  - [トラベル日付] の設定内容（出発日、帰着日、旅行先）
  - [再生] メニューの [縦位置自動回転]、[画像表示順] の設定内容
- フォルダー番号、時計設定はリセットされません。

[Wi-Fi 設定リセット]

[Wi-Fi] で設定した内容をお買い上げ時の状態に戻します。

- PicMate のログイン ID はリセットされません。

[デモモード]

フォーカスセレクト（P.97）のピント合わせやピーキングなどをイメージ画像にてお試しいただけます。

[再生]

- [スライドショー]（P.178）
- [再生モード]（P.179）
- [位置情報記録]（P.179）
- [RAW 現像]（P.180）
- [4K フォトー括保存]（P.182）
- [比較明合成]（P.182）
- [クリアレタッチ]（P.183）
- [タイトル入力]（P.184）
- [文字焼き込み]（P.185）
- [動画分割]（P.186）
- [インターバル動画作成]（P.186）
- [コマ撮りアニメ作成]（P.187）
- [リサイズ（縮小）]（P.187）
- [トリミング（切抜き）]（P.188）
- [画像回転]（P.188）
- [縦位置自動回転]（P.189）
- [お気に入り]（P.189）
- [プリント設定]（P.190）
- [プロテクト]（P.190）
- [認証情報編集]（P.191）
- [画像表示順]（P.191）

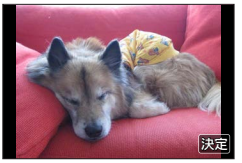
● 次の場合、編集した画像を新しく作成します。カードの空き容量を確認してから編集してください。
  - [RAW 現像] / [4K フォトー括保存] / [比較明合成] / [クリアレタッチ] / [文字焼き込み] / [インターバル動画作成] / [コマ撮りアニメ作成] / [リサイズ（縮小）] / [トリミング（切抜き）]
● 他機で撮影した画像は、設定や編集ができない場合があります。

■[1 枚設定]、[複数設定] での画像の選び方

[1 枚設定] または [複数設定] が選べない場合は、[1 枚設定] と同じ選び方になります。

[1 枚設定]

①◀▶ で写真を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 画面右下に［設定 / 解除］と表示される場合、もう一度 [MENU/SET] ボタンを押すと設定が解除されます。



[複数設定]

右のような画面の場合

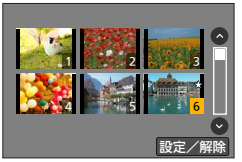
①▲▼◀▶ で写真を選び、[MENU/SET] ボタンを押す（繰り返す）
- 解除するとき→再度 [MENU/SET] ボタンを押す

②◀ で［実行］を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



右のような画面の場合

①▲▼◀▶ で写真を選び、[MENU/SET] ボタンを押す（繰り返す）
- 解除するとき→再度 [MENU/SET] ボタンを押す



メニュー一覧

［スライドショー］

撮影した画像を自動で連続再生します。写真のみ、または動画のみを選んでスライドショーで再生することもできます。テレビで見るときにお勧めです。

MENU ボタン→ ▶ ［再生］ → ［スライドショー］



1 ▲▼ で項目を選び、［MENU/SET］ ボタンを押す

- ［動画のみ］ 設定時、4K 連写ファイルと、フォーカスセレクト撮影した画像も再生されます。
- フォーカスセレクト撮影した画像は、ピントが合っている代表画像のみが再生されます。

2 ▲ で ［開始］ を選び、［MENU/SET］ ボタンを押す

■スライドショー中の操作

操作	タッチ操作	操作内容
▲	▶/❚❚	再生 / 一時停止
◀	⏮	前の画像へ
▼	■	終了
▶	⏭	次の画像へ
👁	− / +	音量を下げる / 音量を上げる

■音楽や表示時間などの設定を変更する場合

［効果］ や ［設定］ を選び、［MENU/SET］ ボタンを押してください。

効果		画像が切り換わる際の画面効果を選ぶことができます。
設定	**再生間隔**	• ［再生間隔］ は、［効果］ を ［OFF］ に設定しているときのみ設定できます。
	リピート	**［ON］ / ［OFF］**
	音設定	**［AUTO］**：写真のときは音楽を、動画のときは音声を再生します。 **［音楽］**：効果の音楽を再生します。 **［音声］**：動画の音声を再生します。 **［OFF］**：音楽も音声も再生しません。

- 4K 連写ファイル、フォーカスセレクト撮影した画像またはグループ画像のスライドショー時は、［効果］ を設定していても無効になります。
- 次の画像をスライドショー時、［再生間隔］ の設定は無効になります。
  - 動画
  - 4K 連写ファイル
  - フォーカスセレクト撮影した画像
  - パノラマ写真
  - グループ画像

メニュー一覧

[再生モード]

再生する画像の種類を選ぶことができます。([通常再生]、[写真のみ]、[動画のみ])

MENU ボタン→ ▶ [再生] → [再生モード]

1 ▲▼ で項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [動画のみ] 設定時、4K 連写ファイルと、フォーカスセレクト撮影した画像も再生されます。

[位置情報記録]

スマートフォン / タブレットで取得した位置情報(緯度・経度)を本機に送信した後、本機を操作して画像に位置情報を書き込むことができます。

準備

スマートフォン / タブレットから本機に位置情報を送信する (P.202)

- お使いのスマートフォン / タブレットに「Panasonic Image App」をインストールする必要があります。(P.195)

MENU ボタン→ ▶ [再生] → [位置情報記録]

1 ▲ で [位置情報データ付与] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

2 ▲▼ で位置情報を書き込む期間を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 位置情報が書き込まれた画像には、[GPS] が表示されます。

■位置情報の書き込みを中断する

①位置情報の書き込み中に [MENU/SET] ボタンを押す

- 中断した期間には [○] が表示されます。
  [○] が表示された期間を再度選択すると、位置情報の書き込みを続きから開始します。

■受信した位置情報を消去する

①▼ で [位置情報データ消去] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
②▲▼ で位置情報を消去する期間を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

● 次の場合、位置情報は書き込まれません。

- 位置情報の送信 (P.202) 後に撮影した画像
- すでに位置情報が書き込まれている画像
- [記録方式] を [AVCHD] で撮影した動画

本機をスマートフォン / タブレットでリモート制御中は、スマートフォン / タブレットを操作して画像に位置情報を書き込むことができます。(P.203)

[RAW 現像]

RAW 形式で撮影した写真をカメラで現像できます。作成した写真は JPEG 形式で保存されます。

MENU ボタン→ ▶ [再生] → [RAW 現像]

1 ◀▶ で RAW 画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

2 ▲▼ で項目を選んで [MENU/SET] ボタンを押し、設定する

- 以下の項目が設定できます。設定を始めるときは、撮影時の設定が反映されています。
- 項目により設定方法が異なります。詳しくは、181 ページの「各項目の設定方法」をお読みください。



ホワイトバランス	ホワイトバランスを選び、調整することができます。[📷] の付いた項目を選ぶと撮影時と同じ設定で現像できます。
露出補正	− 1EV ～+ 1EV の範囲で露出補正ができます。
フォトスタイル	フォトスタイルの効果（[スタンダード]、[ヴィヴィッド]、[ナチュラル]、[モノクローム]、[風景]、[人物]）を選べます。
iD レンジコントロール	iD レンジコントロールの設定（[強]、[中]、[弱]、[OFF]）を選べます。
コントラスト	コントラストを調整することができます。
ハイライト	明るい部分の明るさを調整できます。
シャドウ	暗い部分の明るさを調整できます。
彩度 / 色調	彩度を調整できます。（[フォトスタイル] で [モノクローム] を選択している場合は、色調の調整になります）
フィルター効果	フィルター効果を選べます。（[フォトスタイル] で [モノクローム] を選択している場合のみ）
ノイズリダクション	ノイズを軽減する設定ができます。
超解像	超解像の設定（[強]、[中]、[弱]、[拡張]、[OFF]）を選べます。
シャープネス	解像感を調整できます。
設定	▲▼ で項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押すと、次の操作ができます。 **[調整前に戻す]**：撮影時の設定に戻すことができます。 **[色空間]**：色空間を [sRGB] または [Adobe RGB] から選べます。 **[記録画素数]**：保存時の JPEG 画像のサイズ（[L]、[M]、[S]）を選べます。

3 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

- 手順 **2** の画面に戻ります。他に設定したい項目がある場合は、手順 **2** ～ **3** を繰り返してください。

4 ▲▼ で [RAW 現像実行] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

■各項目の設定方法

項目を選ぶと、設定画面が表示されます。

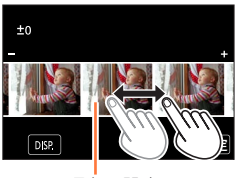
操作	タッチ操作	操作内容
◀▶	ドラッグ	調整の選択
▲	[色温度設定]	色温度設定画面を表示（P.86）（[ホワイトバランス] の [K] 選択時のみ）
▼	[調整]	ホワイトバランス微調整画面を表示（P.87）（[ホワイトバランス] 選択時のみ）
[DISP.]	[DISP.]	比較画面を表示
[MENU/SET]	[決定]	調整内容を決め、項目の選択画面に戻る



- [ノイズリダクション]、[超解像]、[シャープネス] 選択時、比較画面の表示はできません。
- ズームレバーで拡大表示することができます。
- 2 回連続で素早くタッチしても、拡大表示できます。（拡大表示していた場合は、等倍表示に戻ります）

比較画面では以下の方法で調整ができます。

操作	タッチ操作	操作内容
◀▶	ドラッグ	調整の選択
[DISP.]	[DISP.]	設定画面に戻る
[MENU/SET]	[決定]	調整内容を決め、項目の選択画面に戻る



現在の設定

- 中央の写真をタッチすると拡大表示できます。[↩] をタッチすると元の表示に戻ります。

- 本機で行う RAW 現像の結果と、ソフトウェア「SILKYPIX Developer Studio」（P.234）で行う RAW 現像の結果は完全には一致しません。
- 撮影時の画像横縦比にかかわらず、本機で撮影した RAW 画像は常に［4:3］（4896 × 3672）で記録されますが、［再生］メニューの［RAW 現像］では撮影時の画像横縦比固定で現像されます。
- 多重露出で撮影した写真は、［ホワイトバランス］の項目が撮影時の設定に固定されます。
- HDMI マイクロケーブル接続時、［RAW 現像］は使えません。
- RAW 現像できるのは本機で撮影した RAW 画像のみです。

[4K フォト一括保存]

4K 連写ファイルから、5 秒分の写真を一括保存することができます。

MENU ボタン→ ▶ [再生] → [4K フォト一括保存]

1 ◀▶ で 4K 連写ファイルを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

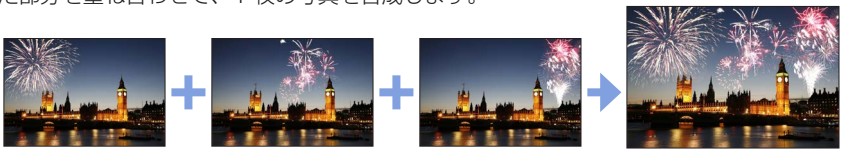
- 連写時間が 5 秒以下の場合、すべてのコマを写真として保存します。

2 一括で写真として保存する最初のコマを選ぶ（P.92、93）

- 写真は JPEG 形式で、ひとつの連写グループ（P.139）として保存されます。

[比較明合成]

4K 連写ファイルから、合成したいコマを複数選び、前のコマと比較して明るく変化した部分を重ね合わせて、1 枚の写真を合成します。



MENU ボタン→ ▶ [再生] → [比較明合成]

1 ◀▶ で 4K 連写ファイルを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

2 合成方法を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

■[選択合成]：合成したいコマを選ぶ

①スライドバーをドラッグするか、▲▼◀▶ で合成したいコマを選ぶ



②[MENU/SET] ボタンを押す

- 選んだコマが記憶され、プレビュー画面になります。
- ▲▼ で項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押すと、次の操作ができます。
  - [次の画像]：さらに合成したいコマを選べます。
  - [選び直す]：直前で選んだコマを破棄し、選び直します。

③手順 ① ～ ② を繰り返し、合成したいコマを選ぶ（最大 40 コマ）

④▼ で [保存] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

■[範囲合成]：合成する範囲を選ぶ

①先頭画像のコマを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 選択方法は、[選択合成] の手順 ① と同じです。

②終了画像のコマを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 確認画面で [はい] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 写真は JPEG 形式で保存され、1 コマ目のシャッタースピード、絞り、ISO 感度などの撮影情報（Exif 情報）も記録されます。

［クリアレタッチ］　不要な部分を消去する

• 消去操作はタッチでのみ行えます。
［クリアレタッチ］では自動的にタッチ操作が可能な状態になります。



MENU ボタン→ ▶ ［再生］ → ［クリアレタッチ］

1 ◀▶ で写真を選び、［MENU/SET］ボタンを押す

2 消去したい部分をなぞる

• 消去される部分に色が付きます。
• ［1 つ戻す］をタッチすると、色が付いた部分が 1 つ前の状態に戻ります。



細かい部分を消去するには（拡大表示）



① ［移動］をタッチする
• 画面をピンチアウト / ピンチイン（P.33）すると、拡大 / 縮小表示できます。
• 画面をドラッグすると、拡大部分を移動することができます。

② ［消去］をタッチする
• 消去したい部分をなぞる操作に戻ります。拡大したまま、消去したい部分をなぞることができます。

3 ［決定］をタッチする

4 ［保存］をタッチする、または［MENU/SET］ボタンを押す

● 消去した部分の背景を合成するため、画像が不自然になることがあります。
● グループ画像は 1 枚ずつクリアレタッチしてください。（グループ単位の編集はできません）
● グループ画像にクリアレタッチを行うと、グループ画像とは別に新規保存されます。
● ファインダー表示時は使えません。
● 次の画像はクリアレタッチできません。
  • パノラマ写真
  • 動画
  • 4K 連写ファイル
  • フォーカスセレクト撮影した画像
  • ［クオリティ］が［RAW］の写真

メニュー一覧

［タイトル入力］

撮影した画像に文字（タイトルなど）を入力します。入力後、［文字焼き込み］（P.185）で撮影画像に焼き込むことができます。

MENU ボタン→ ▶ ［再生］ → ［タイトル入力］

1 写真を選ぶ（P.177）

- すでに文字が入力されている画像には［✎］が表示されます。

2 文字を入力する

- 文字の入力方法（P.43）
- 文字を消去するには文字入力画面ですべての文字を消去してください。

● ソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」（P.233）を使って、文字をプリントすることができます。
● ［複数設定］で一度に設定できるのは 100 枚までです。
● 次の画像には設定できません。
  - 動画
  - 4K 連写ファイル
  - フォーカスセレクト撮影した画像
  - ［クオリティ］が［RAW］［RAW］［RAW］の写真

［文字焼き込み］

撮影した写真に、撮影日時、名前、旅行先、トラベル日付などを焼き込むことができます。

MENU ボタン→ ▶［再生］→［文字焼き込み］

1 写真を選ぶ（P.177）

- すでに文字焼き込みされた画像には、画面に［☑］が表示されます。

2 ▼で［設定］を選び、［MENU/SET］ボタンを押す

撮影日時	［日付］：撮影日を焼き込む ［日時］：撮影日時を焼き込む
名前	：個人認証に登録された名前を焼き込む /：［プロフィール設定］で登録された名前を焼き込む
旅行先	［セットアップ］メニューの［トラベル日付］で登録された旅行先を焼き込む
トラベル日付	［セットアップ］メニューの［トラベル日付］で設定された旅行日の経過日数を焼き込む
タイトル	［タイトル入力］で登録した文字を焼き込む

3 ［Q.MENU/ ⮌］ボタンを押す

4 ▲で［実行］を選び、［MENU/SET］ボタンを押す

- **文字焼き込み済みの写真は、お店やプリンターで日付プリント指定しないでください。（重なってプリントされることがあります）**
- ［複数設定］で一度に設定できるのは 100 枚までです。
- 文字焼き込みを行うと画質が粗くなることがあります。
- グループ画像に文字焼き込みを行うと、グループ画像とは別に新規保存されます。
- 次の画像には設定できません。
  - 動画
  - 4K 連写ファイル
  - フォーカスセレクト撮影した画像
  - ［クオリティ］が［RAW］の写真
  - パノラマ写真
  - 文字焼き込み済みの写真
  - 時計未設定で撮影した画像

［動画分割］

1 つの動画を 2 つに分割できます。必要なシーンのみ残したいときや、旅先などでカードの空き容量を増やすために不要なシーンを消去したいときに便利です。

MENU ボタン→ ▶［再生］→［動画分割］

1 ◀▶ で分割する動画を選び、［MENU/SET］ボタンを押す

2 分割したい位置で ▲ を押して一時停止する

- 一時停止中に ◀▶ を押すと、分割位置の細かい調整をすることができます。



3 ▼ を押す

- **分割した元の動画は残りません。**
  （分割後の 2 つの動画のみになります）

- 分割中は、電源を切ったり、カードやバッテリーを抜かないでください。動画が消失するおそれがあります。
- 動画の最初や最後の部分では分割できない場合があります。
- 次の画像には設定できません。
  - 撮影時間が短い動画

［インターバル動画作成］

インターバル撮影したグループ画像から動画を作成します。作成した動画は MP4 の記録方式で保存されます。

MENU ボタン→ ▶［再生］→［インターバル動画作成］

1 ◀▶ でインターバル撮影グループを選び、［MENU/SET］ボタンを押す

2 動画の作成方法を選び、動画化する

- 詳しくは 107 ページの手順 **4** 以降をお読みください。
  作成した動画については、107 ページのお知らせもお読みください。

［コマ撮りアニメ作成］

［コマ撮りアニメ］で撮影したグループ画像から動画を作成します。作成した動画はMP4の記録方式で保存されます。

MENU ボタン→ ▶［再生］→［コマ撮りアニメ作成］

1 ◀▶でコマ撮りグループを選び、［MENU/SET］ボタンを押す

2 動画の作成方法を選び、動画化する

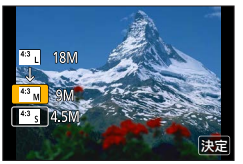
- 詳しくは 109 ページの手順 **7** 以降をお読みください。
  作成した動画については、109 ページのお知らせもお読みください。

［リサイズ（縮小）］　画像サイズ（画素数）を小さくする

ホームページ用やメール添付などで送信しやすいように、写真の容量（記録画素数）を小さくします。

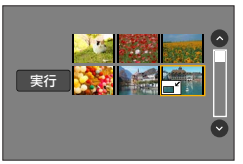
MENU ボタン→ ▶［再生］→［リサイズ（縮小）］

1 写真、サイズを選ぶ



［1 枚設定］

①◀▶で写真を選び、［MENU/SET］ボタンを押す
②▲▼でサイズを選び、［MENU/SET］ボタンを押す



［複数設定］（100 枚まで）

①▲▼でサイズを選び、［MENU/SET］ボタンを押す
②▲▼◀▶で写真を選び、［MENU/SET］ボタンを押す
（繰り返す）
- 解除するとき→再度［MENU/SET］ボタンを押す

③◀で［実行］を選び、［MENU/SET］ボタンを押す

● リサイズすると画質が粗くなります。
● 次の画像には設定できません。
- 動画
- 4K 連写ファイル
- フォーカスセレクト撮影した画像
- ［クオリティ］が［RAW］の写真
- パノラマ写真
- グループ画像
- 文字焼き込み済みの写真

［トリミング（切抜き）］　画像を切り抜く

写真を拡大して、必要な部分を切り抜きます。

MENU ボタン→ ▶ ［再生］ → ［トリミング（切抜き）］

1 ◀▶ で写真を選び、［MENU/SET］ボタンを押す

2 写真を切り抜く部分を表示して、［MENU/SET］ボタンを押す

- ［⊕］/［⊖］をタッチしても拡大 / 縮小できます。
- 画面をドラッグしても移動できます。



- グループ画像は 1 枚ずつトリミング（切抜き）してください。（グループ単位の編集はできません）
- グループ画像にトリミング（切抜き）を行うと、グループ画像とは別に新規保存されます。
- トリミングした写真には、元の写真の個人認証に関する情報はコピーされません。
- トリミングすると画質が粗くなります。
- 次の画像には設定できません。
  - 動画
  - 4K 連写ファイル
  - フォーカスセレクト撮影した画像
  - ［クオリティ］が［RAW］の写真
  - パノラマ写真
  - 文字焼き込み済みの写真

［画像回転］

画像を手動で 90˚ ごとに回転させることができます。

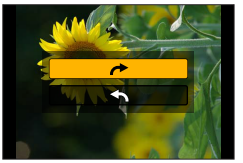
- ［縦位置自動回転］を［OFF］に設定すると、［画像回転］は選択できません。

MENU ボタン→ ▶ ［再生］ → ［画像回転］

1 ◀▶ で画像を選び、［MENU/SET］ボタンを押す

2 ▲▼ で回転方向を選び、［MENU/SET］ボタンを押す

［↷］：時計回りに 90˚ 回転します。
［↶］：反時計回りに 90˚ 回転します。



［縦位置自動回転］

本機を縦に構えて撮影した写真を自動で縦向きに表示させることができます。

MENU ボタン→ ▶［再生］→［縦位置自動回転］→［ON］

- パソコンで再生するとき、Exif に対応した OS またはソフトウェアでないと、回転して表示されないことがあります。Exif とは、一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加することができる写真用のファイルフォーマットです。

［お気に入り］

気に入った画像に［★］印を付けることができます。（画像を消去するときに、お気に入りに設定した画像以外をまとめて消去することができます）

MENU ボタン→ ▶［再生］→［お気に入り］

1 **画像を選ぶ**（P.177）

■全解除するとき

［お気に入り］→［全解除］→［はい］を選び、［MENU/SET］ボタンを押す

- 999 枚まで設定できます。
- ［再生モード］を［通常再生］以外に設定しているときは、［全解除］を選択できません。
- 次の画像には設定できません。
  - ［クオリティ］が［RAW］の写真

［プリント設定］

DPOF プリント対応のお店やプリンターでプリントするときに、画像・枚数・日付プリントの有無を指定できます。（対応しているかどうかはお店やプリンターの取扱説明書で確認してください）

MENU ボタン→ ▶ ［再生］ →［プリント設定］

1 写真を選ぶ （P.177）

2 ▲▼ で枚数を設定し、［MENU/SET］ボタンを押す（999 枚まで）

（［複数設定］時は手順 **1** と **2** を繰り返す）

- 日付プリントを設定 / 解除するとき→ ▶ を押す

■全解除するとき

［プリント設定］ →［全解除］ →［はい］を選び、［MENU/SET］ボタンを押す

- グループ画像に［プリント設定］を行った場合は、グループ内の画像すべてに対して設定した枚数分のプリント設定がされ、先頭画像のプリント設定アイコンに設定枚数と合計枚数が表示されます。合計枚数が 1000 枚以上の場合は、［999+］と表示されます。
- ［文字焼き込み］済みの画像には、日付プリントを設定できません。
- プリンターによっては、プリンター側の設定が優先される場合があります。
- 次の画像には設定できません。
  - 動画
  - 4K 連写ファイル
  - フォーカスセレクト撮影した画像
  - ［クオリティ］が［RAW］の写真

［プロテクト］

誤消去を防止します。設定すると、消去できなくなります。

MENU ボタン→ ▶ ［再生］ →［プロテクト］

1 画像を選ぶ （P.177）

■全解除するとき

［プロテクト］ →［全解除］ →［はい］を選び、［MENU/SET］ボタンを押す

カードの書き込み禁止スイッチを［LOCK］にしておくと、画像をプロテクトしなくても消去されません。

- 画像をプロテクトしても、フォーマットした場合は消去されます。
- 本機以外では無効になることがあります。

［認証情報編集］

間違って個人認証された画像の認証情報を修正したり、解除します。

MENU ボタン→ ▶ ［再生］ →［認証情報編集］ →［入換え］ または ［解除］

1 ◀▶ で画像を選び、［MENU/SET］ ボタンを押す

2 ◀▶ で人物を選び、［MENU/SET］ ボタンを押す

- ［解除］ の場合は手順 **4** へ

3 ▲▼◀▶ で入れ換えたい人物を選び、［MENU/SET］ ボタンを押す

4 ◀ で ［はい］ を選び、［MENU/SET］ ボタンを押す

- 解除した個人認証に関する情報は元に戻せません。
- グループ画像はグループ単位で認証情報編集を行ってください。（1 枚ずつ編集はできません）
- グループ画像は 1 枚目の画像のみ編集できます。

［画像表示順］

本機で画像を再生するときの表示順を設定します。

MENU ボタン→ ▶ ［再生］ →［画像表示順］

ファイル名	フォルダー名 / ファイル名の順番で表示します。カード内での画像の位置が分かりやすい表示形式です。
撮影日時	画像が撮影された日時の順番で表示します。複数カメラで同じカードに撮影した場合は、画像が探しやすい表示形式です。

- 本機にカードを入れた直後は［撮影日時］の順で表示できない場合があります。しばらくすると、［撮影日時］の順で表示されます。

Wi-Fi® 機能でできること

スマートフォン / タブレットとつないで使う （P.195）

スマートフォンで撮影する（リモート撮影）
カメラの画像を再生する
カメラの画像を保存する
カメラの画像を SNS へ送信する
カメラの画像にスマートフォンから位置情報を追加する
スナップムービーで撮影した動画をスマートフォンでお好みに結合する

簡単接続

パスワードの入力なしに、簡単にスマートフォンとの直接接続ができます。

テレビに写真を映す （P.205）

ワイヤレスでプリントする （P.210）

AV 機器に画像を送る （P.211）

写真や動画を、家の中にある AV 機器（宅内 AV 機器）に送れます。離れて暮らす家族や友人の AV 機器（宅外 AV 機器）にも、「LUMIX CLUB (PicMate)」を経由して送ることができます。

パソコンに画像を送る （P.212）

Web サービスを利用する （P.214）

写真や動画を、「LUMIX CLUB (PicMate)」を経由して SNS などに送れます。クラウド同期サービスを利用すると、パソコンやスマートフォン / タブレットで、写真や動画を受信できます。

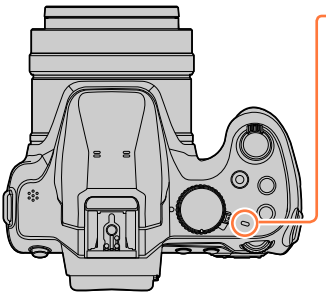
- このページ以降、特にスマートフォンとタブレットを区別しない限り、本書では「スマートフォン」と記載します。

Wi-Fi 機能について

■ご使用の前に

- あらかじめ時計設定をしておいてください。(P.24)
- 本機で Wi-Fi 機能を使用するには、無線アクセスポイントまたは接続先の機器に無線 LAN 機能が必要です。

■Wi-Fi 機能使用時の Wi-Fi 接続ランプの表示について



点灯：Wi-Fi 機能 ON 時、または Wi-Fi 接続中
点滅：画像データ送信時

■[Wi-Fi] ボタンについて

本書では［Wi-Fi］を設定したファンクションボタンを［Wi-Fi］ボタンと記載して説明しています。（お買い上げ時、撮影時は［Fn4］に、再生時は［Fn1］に［Wi-Fi］が設定されています）

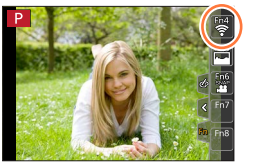
- ファンクションボタンについて詳しくは 40 ページをお読みください。

［Wi-Fi］ボタンを押す操作（撮影時）

①［Fn］をタッチする



②［Fn4］をタッチする



続く ▶

■［Wi-Fi］ボタンを押してできる操作

Wi-Fi 接続していないときに［Wi-Fi］ボタンを押すと、本機がスマートフォンとの接続待機状態になり、スマートフォンに直接接続することができます。(P.196)

- その際に［DISP.］ボタンを押すと、以前に接続した履歴から素早く接続することができ便利です。(P.227)

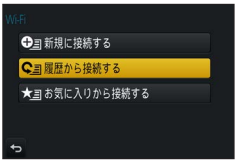
Wi-Fi 接続後に［Wi-Fi］ボタンを押すと、以下の操作ができます。

［接続を終わる］	Wi-Fi 接続を終了します。
［接続先を変える］※1	Wi-Fi 接続を終了し、新たに Wi-Fi 接続を選択します。
［画像の送信設定を変える］※2	(P.208)
［今の接続先をお気に入りに入れる］※1	現在の接続先や接続方法を登録しておくと、次回以降、同じ設定で接続することができます。
［ネットワークアドレス表示］	(P.229)

※1 画像表示中 ▼ を押し、Web サービスに画像を送る際（P.216）は、表示されません。
※2［スマートフォンとつないで使う］または［TV で見る］の場合は表示されません。

■操作の記載方法について

手順で**「［履歴から接続する］を選ぶ」**などと記載されている場合は、以下のいずれかの操作をしてください。



ボタン操作
カーソルボタンで［履歴から接続する］を選び、［MENU/SET］ボタンを押す

タッチ操作
［履歴から接続する］をタッチする

- **通信中はカードやバッテリーを抜き差ししたり、通信可能エリア外に移動したりしないでください。**
- 本機は公衆無線 LAN 環境を経由して無線 LAN 接続することはできません。
- 無線アクセスポイントは、IEEE802.11b、IEEE802.11g または IEEE802.11n 対応のものをご使用ください。
- 画像を送信する際は、十分に充電されたバッテリーの使用をお勧めします。
- 3G や LTE などの携帯電話回線を利用して画像を転送する場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。
- 電波の状況によっては、送信が完了できないことがあります。また、画像送信中に切断された場合、一部が表示できない画像が送信されることがあります。

スマートフォンとつないで使う

スマートフォンを使って、離れた場所からカメラを操作できます。
お使いのスマートフォンに「Panasonic Image App」（以降では「Image App」と表記）をインストールする必要があります。

スマートフォン / タブレットアプリ「Panasonic Image App」をインストールする

対応 OS	Android™ : Android 4.0 以上 iOS : iOS 7.0 以上

1 スマートフォンをネットワークに接続する

2 （Android）「Google Play™ ストア」を選ぶ
（iOS）　「App Store」を選ぶ

3 検索フィールドに「Panasonic Image App」または「LUMIX」と入力する

4 「Panasonic Image App」 を選び、インストールする

- 最新のバージョンをお使いください。
- 対応 OS は 2017 年 2 月現在のものです。また、対応 OS は変更する場合があります。
- お使いのスマートフォンによっては、正しく動作しない場合があります。
「Image App」の最新情報については、下記サポートサイトをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/dsc/
- 3G や LTE などの携帯電話回線を利用してアプリケーションをダウンロードしたり写真や動画を転送したりする場合、契約内容によっては高額なパケット通信料が発生することがあります。
- 操作方法などについて、詳しくは「Image App」のメニューの中の「ヘルプ」をお読みください。
- 本機とスマートフォンを Wi-Fi 接続して「Image App」で操作中は、お使いのスマートフォンによっては、「Image App」の「ヘルプ」の表示ができません。その場合は、いったん本機との Wi-Fi 接続を終了して、3G や LTE 等の携帯電話回線、またはインターネット回線に接続後、「Image App」の「ヘルプ」を表示してください。
- 対応 OS や「Image App」のバージョンによって、本書に掲載している画面や内容と一部異なる場合があります。

スマートフォンと接続する

パスワードを利用せずに接続する

スマートフォンでパスワードを入力することなく、本機と Wi-Fi 接続することができます。

(カメラ側)

MENU ボタン→ [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 機能] → [新規に接続する] → [スマートフォンとつないで使う]

- スマートフォンを本機に直接接続するために必要な情報（SSID）が表示されます。
- カメラの［Wi-Fi］ボタンを押すことでも表示できます。



SSID

(スマートフォン側)

1. **設定メニューで Wi-Fi 機能を ON にする**
2. **Wi-Fi 設定画面で、カメラに表示された SSID を選ぶ**
3. **「Image App」（P.195）を起動する**
   - 本機に接続確認画面が表示されたら、［はい］を選び、［MENU/SET］ボタンを押してください。（初回接続時のみ）



お買い上げ時は［Wi-Fi パスワード］が［OFF］に設定されています。Wi-Fi 接続を開始する際、本機の接続確認画面に表示されている機器が実際に接続したい機器か必ずご確認ください。別の機器が表示されている場合でも、「はい」を選ぶとそのまま接続されます。
お近くに別の Wi-Fi 接続機器があるような場合などは、［Wi-Fi パスワード］を［ON］に設定することをお勧めします。（P.197、198、229）

パスワードを利用して接続する

［Wi-Fi パスワード］を［ON］に設定すると、手動入力または QR コードによるパスワード認証を行うことで、セキュリティーを強化できます。

準備
（カメラ側）［Wi-Fi パスワード］を［ON］にする （P.229）

■QR コードを読み取って接続する場合

（カメラ側）

MENU ボタン→ [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 機能] → [新規に接続する] → [スマートフォンとつないで使う]

- スマートフォンを本機に直接接続するために必要な情報（QR コード、SSID とパスワード）が表示されます。
- カメラの［Wi-Fi］ボタンを押すことでも表示できます。



SSID とパスワード
QR コード

（スマートフォン側）

①「Image App」（P.195）を起動する
②［QR コード］を選ぶ
- スマートフォンが無線アクセスポイントに接続している場合、QR コードが表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- （iOS 機器）確認画面が表示されます。［OK］を選んで進んでください。

③本機に表示された QR コードを「Image App」で読み取る
- カメラの［MENU/SET］ボタンを押すと、QR コードが拡大表示されます。

• iOS 機器をお使いの場合のみ

④プロファイルをインストールする
［インストール］を選び、［インストール］→［完了］を選んでください。
- スマートフォンにパスコードを設定している場合は、パスコードの入力が必要です。

⑤ホームボタンを押してブラウザを終了する
⑥設定メニューで Wi-Fi 機能を ON にする
⑦Wi-Fi 設定画面で、カメラに表示された SSID を選ぶ
⑧「Image App」を起動する



- （iOS 機器）手順 ① ～ ⑤ は 2 回目以降は不要です。

■パスワードを手動入力して接続する場合
（カメラ側）

MENU ボタン→ [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 機能] → [新規に接続する] → [スマートフォンとつないで使う]

- スマートフォンを本機に直接接続するために必要な情報（QR コード、SSID とパスワード）が表示されます。
- カメラの［Wi-Fi］ボタンを押すことでも表示できます。



SSID とパスワード
QR コード

（スマートフォン側）

①設定メニューで Wi-Fi 機能を ON にする
②Wi-Fi 設定画面で、カメラに表示された SSID を選ぶ
③本機に表示されたパスワードを入力する（初回接続時のみ）
- Android 機器をお使いの場合、パスワードを表示のボックスにチェックを入れておくと、入力中のパスワードを確認しながら入力できます。

④「Image App」（P.195）を起動する



接続方法を変える

接続方法を切り換える場合は、以下の操作をしてください。

MENU ボタン→ [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 機能] → [新規に接続する] → [スマートフォンとつないで使う] → [DISP.] ボタン



または

Wi-Fi ボタン→ [DISP.] ボタン→ [新規に接続する] → [スマートフォンとつないで使う] → [DISP.] ボタン

■［ネットワーク経由］で接続する場合

（カメラ側）

①［ネットワーク経由］を選び、［MENU/SET］ボタンを押す
- 224 ページの接続方法に従って本機を無線アクセスポイントに接続してください。

（スマートフォン側）

②Wi-Fi 機能を ON にする
③本機を接続した無線アクセスポイントを選び、設定する
④「Image App」（P.195）を起動する

■［直接接続］で接続する場合

（カメラ側）

①［直接接続］を選び、［MENU/SET］ボタンを押す
- 226 ページの接続方法に従って本機をスマートフォンに接続してください。

（スマートフォン側）

②「Image App」（P.195）を起動する

接続を終了する

1 カメラを撮影モードにする
- シャッターボタン半押しで撮影モードに戻ります。

2 カメラのメニューで Wi-Fi 接続を終了する

MENU ボタン→ [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 機能] → [はい]

- カメラの［Wi-Fi］ボタンを押すことでも終了できます。（P.194）



3 スマートフォンで「Image App」を終了する

＜ iOS 端末をお使いの場合＞
「Image App」の画面でホームボタンを押してアプリを終了する
＜ Android 端末をお使いの場合＞
「Image App」の画面で戻るボタンを 2 回押してアプリを終了する

- スマートフォンで 4K プリ連写を撮影時は、カメラの［Q.MENU/ ⮌］ボタンを押して 4K 連写に切り換えてから、接続を終了してください。

スマートフォンで撮影する（リモート撮影）

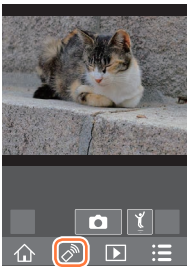
1 スマートフォンと接続する （P.196）

2 スマートフォンを操作する

①［ ］を選ぶ

②撮影する

- 撮影した画像はカメラに保存されます。
- 設定など一部利用できないものがあります。



● ズームを使うと、レンズ鏡筒が伸びてカメラが傾くおそれがあります。三脚を使用するなどして、カメラを固定してください。
● 次の場合、リモート撮影はできません。
- パノラマモード
- インターバル撮影時

ジャンプ中の写真を撮影する

スマートフォンを持ってジャンプすると、スマートフォンがジャンプの頂点を検知して自動的にシャッターを切ることができます。（ジャンプスナップ）

1 スマートフォンを操作する

①［ ］→［ ］→ 感度を選ぶ

- スマートフォンのリモート撮影画面に［ ］が表示されます。
- 試し撮りをすることをお勧めします。
- 詳しくは「Image App」のメニューの中の「ヘルプ」をお読みください。

カメラの画像を再生する

1 スマートフォンと接続する (P.196)

2 スマートフォンを操作する

①［▶］を選ぶ
- 画面左上のアイコンで、表示する画像の機器を切り換えられます。カメラの画像を表示するには［LUMIX］を選んでください。
- 画像をタッチすると、画像が大きく再生されます。



- 動画再生時は、データサイズを小さくして「Image App」に送信しているため、実際に撮影された画質とは異なります。また、お使いのスマートフォンや使用環境によって、動画や写真の再生時に、画質劣化や音飛びが発生する場合があります。

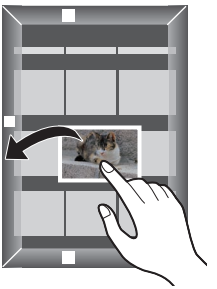
カメラの画像を保存する

1 スマートフォンと接続する (P.196)

2 スマートフォンを操作する

①［▶］を選ぶ
- 画面左上のアイコンで、表示する画像の機器を切り換えられます。カメラの画像を表示するには［LUMIX］を選んでください。

②画像を長押ししてドラッグし、スマートフォンに保存する



● RAW 形式の写真、AVCHD 動画、［画質設定］のサイズが［4K］の MP4 動画、4K 連写ファイル、フォーカスセレクト撮影した画像は保存できません。

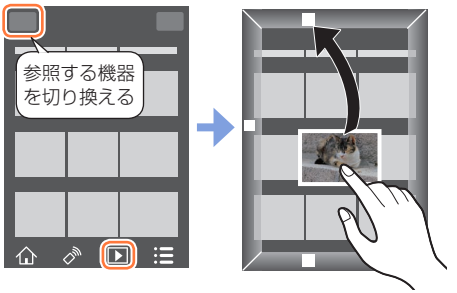
カメラの画像を SNS へ送信する

1 スマートフォンと接続する (P.196)

2 スマートフォンを操作する

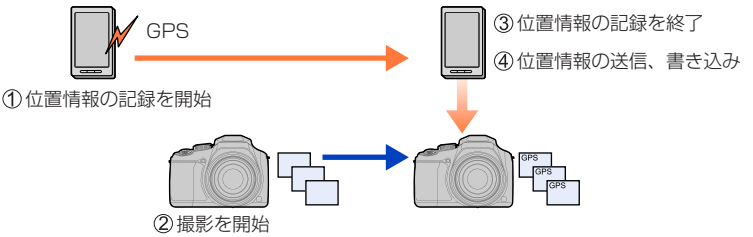
①［▶］を選ぶ
- 画面左上のアイコンで、表示する画像の機器を切り換えられます。カメラの画像を表示するには［LUMIX］を選んでください。

②画像を長押ししてドラッグし、SNS などに送信する
- SNS などの Web サービスに画像が送信されます。



カメラの画像にスマートフォンから位置情報を追加する

スマートフォンで取得した位置情報をカメラに送信できます。送信後にカメラの画像に書き込むこともできます。



- 送信した位置情報の画像への書き込みは、［再生］メニューの［位置情報記録］でもできます。
- 撮影時と異なる位置情報が書き込まれることがあります。以下をご確認ください。
  - カメラの［ワールドタイム］の［ホーム］の設定をお住まいの地域に設定してください。
  - スマートフォンで位置情報の記録開始後、カメラの［ワールドタイム］の［ホーム］の設定を変更しないでください。
- 時計設定を行わずに撮影した画像には、位置情報を書き込めません。

■位置情報の記録・撮影

①スマートフォンで位置情報の記録を開始する
- ❶「Image App」を起動する （P.195）
- ❷［⌂］を選ぶ
- ❸［✕］を選ぶ
- ❹［✕ 記録開始］を選ぶ



②カメラで撮影する

③スマートフォンで位置情報の記録を終了する
- ❶［✕ 記録停止］を選んで、位置情報の記録を終了する

■画像への位置情報の書き込み

準備

（カメラ側）スマートフォンと接続する （P.196）

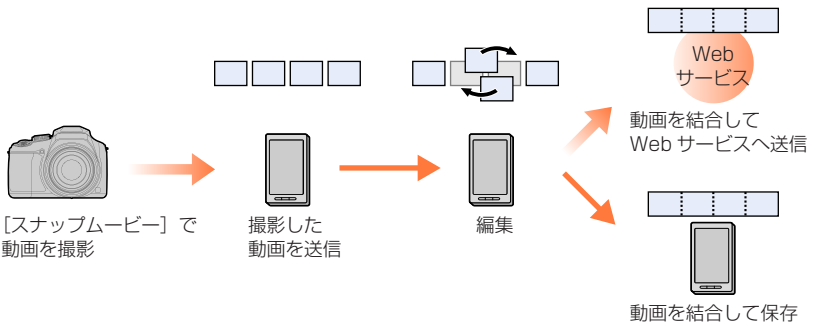
④スマートフォンを操作する
- ❶「Image App」を起動する
- ❷［⌂］を選ぶ
- ❸［✕］を選ぶ
- ❹［⚲］を選んで、位置情報の送信、書き込みをする
  - 画面のメッセージに従って、操作してください。
  - 位置情報が書き込まれた画像には［GPS］が表示されます。



- 位置情報の記録中はスマートフォンの電池の消耗が早くなります。不要な場合は停止してください。
- 操作方法などについて、詳しくは「Image App」のメニューの中の「ヘルプ」をお読みください。
  - スマートフォンで位置情報の取得間隔の設定と位置情報の送信状況の確認ができます。
- 次の場合、位置情報は書き込まれません。
  - 位置情報の送信後に撮影した画像
  - すでに位置情報が書き込まれている画像
  - ［記録方式］を［AVCHD］で撮影した動画

スナップムービーで撮影した動画をスマートフォンでお好みに結合する

スマートフォンを使って、カメラの［スナップムービー］で撮影した動画（P.132）をつなぎ合わせて音楽を付けることができます。つなぎ合わせた動画を保存したり、Webサービスへアップロードしたりできます。



■スマートフォンを操作して動画を結合する

①スマートフォンと接続する（P.196）
②スマートフォンを操作する
❶［⌂］を選ぶ



❷［SNAP］を選ぶ
- ［スナップムービー］で撮影した動画を、日付の新しいものから自動でスマートフォンに送信します。
- 日付の新しい動画がない場合は動画の選択画面が表示されるので、動画を選んで送信してください。

❸スマートフォンを操作して動画を編集する
- 「Image App」の［スナップムービー］の操作について、詳しくは「Image App」のメニューの中の「ヘルプ」をお読みください。

● 「Image App」の［スナップムービー］は、Android OS 4.3 以上に対応している必要があります。
● 「Image App」の［スナップムービー］は、iPhone 4 には対応していません。

テレビに写真を映す

DLNA 規格のデジタルメディアレンダラー（DMR）機能に対応したテレビに写真を表示することができます。

準備

テレビを DLNA 待ち受けモードにする

- お使いのテレビの取扱説明書をお読みください。

MENU ボタン→ [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 機能] → [新規に接続する] → [TV で見る]

1 **[ネットワーク経由] または [直接接続] を選び、接続する** (P.224、226)

2 **接続したい機器を選ぶ**

- 接続が完了すると画面が表示されます。

3 **本機で撮影または写真を再生する**

- 接続を終了するには、以下の操作を行ってください。

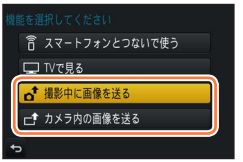
  MENU ボタン→ [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 機能] → [はい]

  ([Wi-Fi] ボタンを押すことでも、接続を終了できます。(P.194))

- Wi-Fi 機能を使って表示する場合は、4K の出力解像度で出力できません。4K の出力解像度で出力したい場合は、HDMI マイクロケーブルで本機とテレビを接続してください。(P.231)
- 本機との接続中に、テレビ画面が一時的に接続前の状態に戻ることがありますが、撮影もしくは再生を行うと再びテレビに写真が表示されます。
- スライドショー再生時、本機で [効果] と [音設定] を設定していてもテレビでは無効になります。
- 動画、4K 連写ファイルは再生できません。
- マルチ再生、カレンダー再生中、フォーカスセレクト撮影した画像からピントを合わせる位置を選ぶときに、本機に表示されている画像はテレビに表示されません。

画像を送る

［新規に接続する］を選んだあとに、画像を送る方法を選びます。
接続が完了したあと、送信する画像サイズなどの送信設定を変更することもできます。



■本機で送信できる画像について

送信先	JPEG	RAW	MP4※1	AVCHD※1、※2	4K 連写ファイル※1 フォーカスセレクト 撮影した画像※1
［スマートフォン］ (P.209)	○	×	○※3	×	×
［PC］ (P.212)	○	○	○	○	○
［クラウド同期サービス］ (P.217)	○	×	○※3	×	×
［Web サービス］ (P.214)	○	×	○※3	×	×
［AV 機器］ (P.211)	○	×	×	×	×
［プリンター］※1 (P.210)	○	×	×	×	×

※1 ［撮影中に画像を送る］時は送信できません。
※2 4 GB を超える場合、送信できません。
※3 ［画質設定］のサイズが［4K］で撮影された動画を除く

- お使いの機器によっては、送信または再生できない場合があります。
- 画像の再生については、送信先機器の取扱説明書、または Web サービスをご確認ください。

［撮影中に画像を送る］

写真を撮るたびに、指定した機器に自動で画像を送ります。

- 接続を終了するには、以下の操作を行ってください。
  MENU ボタン→ 🔧［セットアップ］→［Wi-Fi］→［Wi-Fi 機能］→［はい］
- ［Wi-Fi］ボタンを押すと、接続を終了したり、送信設定を変更したりできます。(P.194)
  写真を送信中は設定を変更することはできません。送信が完了するまでお待ちください。



- 撮影動作中は撮影を優先するため、送信完了までに時間がかかります。
- 送信完了前に電源を切ったり、Wi-Fi 接続を終了した場合、送信されなかったファイルの再送信は行われません。
- 送信中はファイルの消去や［再生］メニューの使用はできない場合があります。
- 動画、4K 連写ファイルとフォーカスセレクト撮影した画像は送信できません。
- インターバル撮影時は、Wi-Fi 接続を終了するため使用できません。

［カメラ内の画像を送る］

撮影後に画像を選んで送信できます。

■［1 枚選択］、［複数選択］での画像の選び方

［1 枚選択］

①画像を選ぶ
②［決定］を選ぶ



［複数選択］

①画像を選ぶ（繰り返す）
- もう一度選ぶと設定が解除されます。

②［実行］を選ぶ
- ［複数選択］で一度に設定できる枚数には制限があります。



- 画像送信後の画面で、送信設定を変更する場合は［DISP.］ボタンを押してください。接続を終了する場合は、［終了］を選んでください。

- ［再生］メニューの［お気に入り］または［プリント設定］の設定内容は送信されません。
- 本機以外で撮影した画像、パソコンで編集・加工した画像は送信できない場合があります。

画像の送信設定を変更する

接続が完了したあとに［DISP.］ボタンを押すと、送信する画像サイズなどの送信設定を変更することができます。

［送信サイズ］	送信する画像のサイズを変更します。 **［元画像］/［自動］**※1**/［変更］** • ［自動］の画像サイズは送信先の状況に合わせて変更されます。 • ［変更］の画像サイズは［M］、［S］または［VGA］を選択できます。画像の横縦比は変わりません。
［送信ファイル形式］※2	**［JPG］/［RAW+JPG］/［RAW］**
［位置情報データ消去］※3	送信時に画像から位置情報を消去するか選択できます。 **［ON］**：位置情報を消去して送信します。 **［OFF］**：位置情報を消去せずに送信します。 • 位置情報が消去されるのは送信した画像のみです。（本機の画像から位置情報は消去されません）
［クラウド上限枚数動作］※4	クラウドフォルダーの容量が上限に達したときに、画像送信を実行するか選択できます。 **［ON］**：画像を送信しません。 **［OFF］**：古い画像から順番に消去して、新しい画像を送信します。

※1 送信先が［Web サービス］の場合のみ設定できます。
※2 送信先が［PC］の場合のみ設定できます。
※3 送信先が［クラウド同期サービス］、［Web サービス］または［AV 機器］の［宅外 AV 機器］の場合のみ設定できます。
※4 送信先が［クラウド同期サービス］の場合のみ設定できます。

スマートフォンに画像を送る

準備
「Image App」をインストールしておく（P.195）

MENU ボタン→ [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 機能] → [新規に接続する] → [撮影中に画像を送る] または [カメラ内の画像を送る] → [スマートフォン]

1 [ネットワーク経由] または [直接接続] を選び、接続する（P.224、226）

（スマートフォン側）

■ [ネットワーク経由] で接続する場合

①Wi-Fi 機能を ON にする
②本機を接続した無線アクセスポイントを選び、設定する
③「Image App」を起動する

■ [直接接続] の [WPS 接続]※で接続する場合

①「Image App」を起動する

※WPS とは、無線 LAN 機器の接続やセキュリティーに関する設定を簡単に行うことができる機能です。お使いのスマートフォンが対応しているかどうかは、スマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

■ [直接接続] の [手動接続] で接続する場合

①Wi-Fi 機能を ON にする
②本機の画面に表示されている SSID と同じものを選ぶ
③「Image App」を起動する

2 接続したい機器を選ぶ

3 送信設定を確認し、[決定] を選ぶ

- 画像の送信設定を変更するには［DISP.］ボタンを押してください。（P.208）

[撮影中に画像を送る] 選択時

4 写真を撮る（P.206）

[カメラ内の画像を送る] 選択時

4 画像を選ぶ（P.207）

ワイヤレスでプリントする

撮影した写真をワイヤレスで PictBridge（ワイヤレス LAN 対応）※のプリンターから印刷することができます。
※DPS over IP 規格準拠
PictBridge（ワイヤレス LAN 対応）のプリンターについて詳しくは、各製造元へお問い合わせください。

MENU ボタン→ [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 機能] → [新規に接続する] → [カメラ内の画像を送る] → [プリンター]

1 [ネットワーク経由] または [直接接続] を選び、接続する （P.224、226）

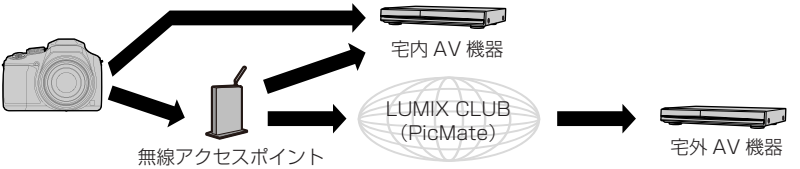
2 接続したいプリンターを選ぶ

3 画像を選んでプリントする
- 画像の選び方は USB 接続ケーブルで接続時と同じになります。（P.237）
- 接続を終了するには、[Q.MENU/ ⮌] ボタンを押してください。

● 動画、4K 連写ファイル、フォーカスセレクト撮影した画像はプリントできません。

AV 機器に画像を送る

写真や動画を家の中にある DLNA に対応したレコーダーなどの AV 機器（宅内 AV 機器）に送れます。離れて暮らす家族や友人の AV 機器（宅外 AV 機器）にも、「LUMIX CLUB (PicMate)」を経由することで送れます。



準備

［宅内 AV 機器］に画像を送る場合、お使いの機器を DLNA 待ち受けモードにする

- お使いの機器の取扱説明書をお読みください。

［宅外 AV 機器］に画像を送る場合、以下が必要になります。

- 「LUMIX CLUB (PicMate)」への登録（P.218）
- 送信先の宅外 AV 機器で取得した、アドレス番号とアクセス番号（P.222）

MENU ボタン→［セットアップ］→［Wi-Fi］→［Wi-Fi 機能］→［新規に接続する］→［撮影中に画像を送る］または［カメラ内の画像を送る］→［AV 機器］

1 ［宅内 AV 機器］または［宅外 AV 機器］を選ぶ

2 ［ネットワーク経由］または［直接接続］を選び、接続する（P.224、226）

- ［宅外 AV 機器］を選択時は、［直接接続］は選べません。

3 接続したい機器を選ぶ

4 送信設定を確認し、［決定］を選ぶ

- 画像の送信設定を変更するには［DISP.］ボタンを押してください。（P.208）

［撮影中に画像を送る］選択時

5 写真を撮る（P.206）

［カメラ内の画像を送る］選択時

5 画像を選ぶ（P.207）

- 2015 年秋以降、［宅外 AV 機器］に対応した AV 機器は発売されていません。
- AV 機器の操作状態によっては、送信できない場合があります。また、送信に時間がかかる場合があります。

パソコンに画像を送る

本機で撮影した写真や動画をパソコンに送ることができます。

準備
- パソコンの電源を入れておく。
- あらかじめパソコンで受信するフォルダーの設定をしておく。(下記)
- 接続先のパソコンのワークグループを標準設定から変更している場合、[PC 接続設定] で本機の設定も変更する。(P.229)

画像を受信するフォルダーを作成する

- パソコンのユーザーアカウント(アカウント名(254 文字以内)とパスワード(32 文字以内))は半角英数字で設定してください。半角英数字以外で設定していると、フォルダーを作成できない場合があります。

■「PHOTOfunSTUDIO」を使用する場合

①「PHOTOfunSTUDIO」をインストールする (P.233)
②「PHOTOfunSTUDIO」で受信するフォルダーを作成する
- 詳しくは、「PHOTOfunSTUDIO」の取扱説明書(PDF ファイル)をお読みください。

■「PHOTOfunSTUDIO」を使用しない場合

(Windows をお使いの場合)
対応 OS :Windows 10 / Windows 8.1 / Windows 8 / Windows 7
例) Windows 7
①受信するフォルダーを選び、右クリックする
②「プロパティ」を選び、フォルダーに共有の設定をする
- 詳しい設定方法は、お使いのパソコンの取扱説明書や OS のヘルプをご参照ください。

(Mac をお使いの場合)
対応 OS : OS X v10.5 ～ v10.12
例) OS X v10.8
①受信するフォルダーを選び、以下の順にクリックする
「ファイル」→「情報を見る」
②フォルダーに共有の設定をする
- 詳しい設定方法は、お使いのパソコンの取扱説明書や OS のヘルプをご参照ください。

パソコンに画像を送る

MENU ボタン→ [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 機能] → [新規に接続する] → [撮影中に画像を送る] または [カメラ内の画像を送る] → [PC]

1 [ネットワーク経由] または [直接接続] を選び、接続する (P.224、226)

2 接続したいパソコンを選ぶ

- 接続したいパソコンが表示されていない場合は、[マニュアル入力] を選び、パソコンのコンピューター名（Mac の場合は NetBIOS 名）を入力してください。

3 送信するフォルダーを選ぶ

4 送信設定を確認し、[決定] を選ぶ

- 画像の送信設定を変更するには [DISP.] ボタンを押してください。(P.208)

[撮影中に画像を送る] 選択時

5 写真を撮る (P.206)

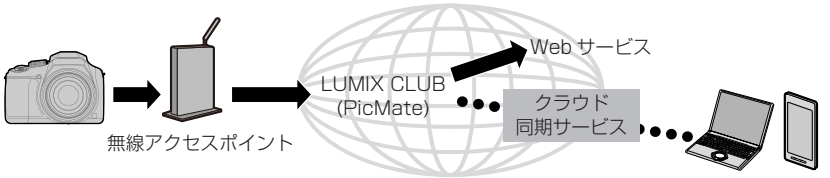
[カメラ内の画像を送る] 選択時

5 画像を選ぶ (P.207)

- 設定したフォルダー下に送信日ごとのフォルダーが作成され、そこに画像が保存されます。
- ユーザーアカウントとパスワードを要求された場合は、お使いのパソコンで設定したものを入力してください。
- コンピューター名（Mac の場合は NetBIOS 名）にスペース（空白文字）などが入っていると、正しく認識できないことがあります。15 文字以内の英字と数字のみを組み合わせたコンピューター名（Mac の場合は NetBIOS 名）に変更することをお勧めします。
- OS およびセキュリティーソフトウェアなどのファイアウォールが有効になっている場合、パソコンに接続できないことがあります。

Web サービスを利用する

「LUMIX CLUB (PicMate)」を経由することで、写真や動画を SNS などに送れます。クラウド同期サービスへ写真や動画を自動転送する設定をすると、パソコンやスマートフォンで転送した写真や動画を受信できます。



Web サービスに画像を送る

準備

Web サービスに画像を送信するには、「LUMIX CLUB (PicMate)」への登録 (P.218) が必要です。

「LUMIX CLUB (PicMate)」以外の Web サービスに画像を送信するには、その Web サービスを登録しておく必要があります。(P.215)

- **Web サービスにアップロードした画像の流出、消失などによる損害については、当社は一切の責任を負いかねます。**
- **Web サービスに画像をアップロードする場合、本機での送信が完了しても、Web サービス上にアップロードされていることを確認するまでは、本機の画像を消去しないでください。本機の画像を消去したときの損害については、当社は一切の責任を負いかねます。**
- Web サービスにアップロードした画像を本機で表示したり消去したりすることはできません。スマートフォンやパソコンで Web サービスにアクセスして、画像を確認してください。
- 画像の送信に失敗すると、「LUMIX CLUB (PicMate)」に登録したメールアドレスに送信失敗の報告メールが届きます。

Web サービスを「LUMIX CLUB (PicMate)」に登録する

対応する Web サービスは、下記サイト内にある「FAQ・お問い合わせ」をご確認ください。
http://lumixclub.panasonic.net/jpn/c/lumix_faqs/

準備
利用する Web サービスにてアカウントを作成し、ログイン情報を用意しておく。

1 スマートフォンまたはパソコンで、「LUMIX CLUB (PicMate)」のサイトへアクセスする
http://lumixclub.panasonic.net/jpn/

2 「LUMIX CLUB (PicMate)」のログイン ID とパスワードを入力し、ログインする

3 「LUMIX CLUB (PicMate)」にメールアドレスを登録していない場合は、メールアドレスを登録する

4 「Web サービス連携設定」で利用する Web サービスを選び、登録する
- 画面の指示に従って操作してください。

画像を送る

MENU ボタン→ [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 機能] → [新規に接続する] → [撮影中に画像を送る] または [カメラ内の画像を送る] → [Web サービス]

1 [ネットワーク経由] を選び、接続する (P.224)

2 接続したいサービスを選ぶ

3 送信設定を確認し、[決定] を選ぶ
- 画像の送信設定を変更するには [DISP.] ボタンを押してください。(P.208)

[撮影中に画像を送る] 選択時

4 写真を撮る (P.206)

[カメラ内の画像を送る] 選択時

4 画像を選ぶ (P.207)

■カメラ内の画像を簡単に Web サービスに送る

一度送信すると、無線アクセスポイントに接続できる環境であれば、スマートフォンを操作する感覚で手軽に画像を Web サービスに送信できます。

（以下の手順は、「LUMIX CLUB (PicMate)」に登録済みで、無線アクセスポイントとの接続履歴がある場合の例で説明しています）



①画像を表示する

②▼を押し、◀で［はい］を選ぶ
（グループ画像を 1 枚ずつ再生時は、▲を押して［アップロード（Wi-Fi)］または［全画像アップロード（Wi-Fi)］を選ぶ）
- ［ ］をタッチしても同じ操作ができます。
（グループ画像選択時は、［ ］、［ ］、［ ］をタッチしたあと［SUB MENU］をタッチし、［アップロード（Wi-Fi)］または［全画像アップロード（Wi-Fi)］を選んでください）

③接続したいサービスを選ぶ

④送信設定を確認し、［決定］を選ぶ
以前接続した無線アクセスポイントに接続し、画像が Web サービスへ送信されます。
- 続けて画像を送信する場合は、手順 ③、④ は不要です。
- 画像の送信設定を変更するには、［DISP.］ボタンを押してください。(P.208)
- 接続を終了する場合は、［MENU/SET］ボタンを押すなどの操作をし、再生画面を終了してください。［Wi-Fi］ボタンを押すことでも終了できます。(P.194)

画像の送信設定、Web サービスを変更するには

以下のいずれかを行ってください。
- Wi-Fi 接続を終了し、もう一度手順 ① 以降の操作を行う
- Wi-Fi 接続中に［Wi-Fi］ボタンを押す (P.194)

- 利用可能な無線アクセスポイントの接続履歴がない場合は、接続方法の選択画面が表示されます。接続方法を選び、本機を無線アクセスポイントに接続してください。(P.224)
- 「LUMIX CLUB (PicMate)」への登録がされていない場合は、ログイン ID の新規取得画面が表示されます。ログイン ID を取得し、パスワードを設定してください。(P.219)
- グループ画像をまとめて表示している場合は、グループ内の画像すべてを送信します。グループ画像を 1 枚ずつ表示している場合は、表示中の画像 1 枚を送信します。

クラウド同期サービスに画像を送る

準備

- 「LUMIX CLUB (PicMate)」に登録する (P.218)
- クラウド同期設定を行う（パソコンの場合は「PHOTOfunSTUDIO」(P.233) で、スマートフォンの場合は「Image App」で設定してください。）

■［クラウド同期サービス］を利用する（2017 年 2 月現在）

- 画像の送信先をクラウド同期サービスに設定した場合、送信された画像はクラウドフォルダーに一時保存され、パソコンやスマートフォンなど、お使いの機器と同期させることができます。
- クラウドフォルダーに送信された画像は 30 日間（最大 1000 枚まで）保存されます。

以下の場合、自動的に消去されますので、お気をつけください。

- 送信後 30 日を超えた場合
  （30 日以内であっても指定した機器すべてにダウンロードされた場合は消去されることがあります。）
- 1000 枚を超えた場合（［クラウド上限枚数動作］(P.208) の設定による）

MENU ボタン→ 🔧［セットアップ］→［Wi-Fi］→［Wi-Fi 機能］→［新規に接続する］→［撮影中に画像を送る］または［カメラ内の画像を送る］→［クラウド同期サービス］

1 **［ネットワーク経由］を選び、接続する** (P.224)

2 **送信設定を確認し、［決定］を選ぶ**

- 画像の送信設定を変更するには［DISP.］ボタンを押してください。(P.208)

［撮影中に画像を送る］選択時

3 **写真を撮る** (P.206)

［カメラ内の画像を送る］選択時

3 **画像を選ぶ** (P.207)

LUMIX CLUB (PicMate) への登録

LUMIX CLUB (PicMate) を設定する

「LUMIX CLUB (PicMate)」のサービスユーザー登録（無料）をして、ログイン ID を取得します。
「LUMIX CLUB (PicMate)」に登録すると、画像をお使いの機器間で同期したり、Web サービスに画像を転送するなど、画像の整理・共有・公開ができます。
「LUMIX CLUB (PicMate)」以外の Web サービスや宅外の AV 機器に画像を転送する際にも、「LUMIX CLUB (PicMate)」を経由して利用します。

- すでにパソコンで「LUMIX CLUB (PicMate)」のログイン ID を取得済みの場合は、同じログイン ID を本機でも使用できます。
- 本機とスマートフォンの「LUMIX CLUB (PicMate)」のログイン ID を合わせることができます。(P.220)

■「LUMIX CLUB (PicMate)」について

デジタルカメラで撮影した写真や動画を整理・共有・公開して楽しむ写真・動画共有サイトです。詳しくは、「LUMIX CLUB (PicMate)」のサイトをご覧ください。
http://lumixclub.panasonic.net/jpn/
また、本機との連携サービスを利用する場合は、下記のページにアクセスしてください。
http://lumixclub.panasonic.net/jpn/c/

本サービスは、事前の通知なく、定期的なメンテナンス、不測のトラブルによる一時的な停止や、サービス内容の変更、追加等を行う場合があります。また、事前の通知をもって本サービスの全部または一部を中止する場合があります。あらかじめご了承ください。

新規でログイン ID を取得する（[新規登録]）

MENU ボタン→ [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 設定] → [PicMate 設定] → [ログイン・新規登録] → [新規登録]

- ネットワークに接続します。[次へ] を選ぶと、次のページへ進みます。
- すでに本機でログイン ID が取得されている場合は確認画面が表示されます。取得し直すときは [はい] を、取得し直さないときは [いいえ] を選んでください。

1 無線アクセスポイントとの接続方法を選び、設定する (P.224)

- 初回接続時のみ設定画面が表示されます。一度設定した接続方法は、本機に保存され、次回接続時に利用されます。接続する無線アクセスポイントを変更したい場合は、[DISP.] ボタンを押して、接続先を変更してください。
- [次へ] を選ぶと、次のページへ進みます。

2 LUMIX CLUB (PicMate) の利用規約を読み、[同意する] を選ぶ

- ページを切り換える：▲▼
- 拡大表示（2 倍）する：ズームレバーを T 側に回す（W 側に回すと 1 倍に戻ります）
- 拡大位置を移動する：▲▼◀▶
- 登録せずに中止する：[Q.MENU/ ⮌] ボタンを押す

3 パスワードを入力する

- 英数字交じり 8 ～ 16 桁で任意のパスワードを入力してください。
- 文字の入力方法 (P.43)

4 ログイン ID を確認し、[OK] を選ぶ

- ログイン ID（数字 12 桁）は自動的に表示されます。
  パソコンで「LUMIX CLUB (PicMate)」にログインする場合は、数字のみを入力してください。
- 接続が完了するとメッセージが表示されます。[OK] を選んでください。
- ログイン ID とパスワードは必ず控えを取っておいてください。

取得済みのログイン ID を使う / ログイン ID やパスワードを確認・変更する（[ログイン ID 設定]）

準備
取得済みのログイン ID を使う場合、ID とパスワードを確認しておく。
パスワードを変更する場合、スマートフォンまたはパソコンで「LUMIX CLUB (PicMate)」のサイトにアクセスし、パスワードを変更しておく。

MENU ボタン→ [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 設定] → [PicMate 設定] → [ログイン・新規登録] → [ログイン ID 設定]

- ログイン ID とパスワードが表示されます。
- パスワードは「★」で表示されます。
- ログイン ID の確認のみをする場合は、メニューを終了してください。

1 変更したい項目を選ぶ

2 ログイン ID またはパスワードを入力する
- 文字の入力方法 （P.43）
- パスワードはスマートフォンまたはパソコンで変更したものを入力してください。

本機とスマートフォンのログイン ID を合わせる

本機とスマートフォンのログイン ID を合わせておくと、本機の画像を他の機器や Web サービスに送信するときに便利です。

■本機またはスマートフォンのどちらか一方がログイン ID を取得している場合

①本機とスマートフォンを接続する （P.196）
②「Image App」のメニューからログイン ID を合わせる

- 本機とスマートフォンの接続後、再生画面に切り換えたときにログイン ID を合わせる画面が表示される場合があります。画面に従って操作してください。

■本機とスマートフォンがそれぞれ別のログイン ID を取得している場合

スマートフォンのログイン ID に合わせる場合
本機のログイン ID とパスワードを、スマートフォンで取得したログイン ID とパスワードに変更する

本機のログイン ID に合わせる場合
スマートフォンのログイン ID とパスワードを、本機で取得したログイン ID とパスワードに変更する

「LUMIX CLUB (PicMate)」の利用規約を確認する

利用規約が更新された場合などに内容を確認することができます。

MENU ボタン→ [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 設定] → [PicMate 設定] → [利用規約確認]

ログイン ID の消去と「LUMIX CLUB (PicMate)」を退会する

本機を譲渡 / 廃棄などする場合に、本機のログイン ID を消去します。また、「LUMIX CLUB (PicMate)」からの退会も行います。

- ログイン ID の変更などは、本機で取得したログイン ID に対してのみ行えます。

MENU ボタン→ [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 設定] → [PicMate 設定] → [消去・退会]

- メッセージが表示されます。[次へ] を選んでください。

1 ログイン ID 消去の確認画面で [はい] を選ぶ

- メッセージが表示されます。[次へ] を選んでください。

2 「LUMIX CLUB (PicMate)」退会の確認画面で [はい] を選ぶ

- 退会をしない場合は、[いいえ] を選ぶとログイン ID の消去のみが実行されます。実行後はメニューを終了してください。

3 [次へ] を選ぶ

- ログイン ID の消去が実行され、退会完了のメッセージが表示されます。[OK] を選んでください。

宅外 AV 機器を設定する

「LUMIX CLUB (PicMate)」を経由して、離れて暮らす家族や友人の AV 機器に画像を送ることができます。

準備
送信先の AV 機器から「LUMIX CLUB (PicMate)」のサービスユーザー登録をして、発行されたアドレス番号（数字 16 桁）とアクセス番号（数字 4 桁）を確認しておく。
（詳しくは、AV 機器の取扱説明書をお読みください）

MENU ボタン→ [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 設定] → [宅外 AV 機器設定] → [追加登録]

1 アドレス番号を入力する
2 アクセス番号を入力する
3 任意の名前を入力する
- 入力できる文字数は最大 28 文字です。全角文字は 2 文字の扱いになります。
- 文字の入力方法 （P.43）

登録した AV 機器の情報を変更または消去する

MENU ボタン→ [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 設定] → [宅外 AV 機器設定]

1 編集または消去したい AV 機器を選ぶ
2 [編集] または [消去] を選ぶ

[編集]	すでに登録している AV 機器の情報を変更します。 「宅外 AV 機器を設定する」の手順 1 ～ 3 を行う。
[消去]	すでに登録している AV 機器の情報を消去します。

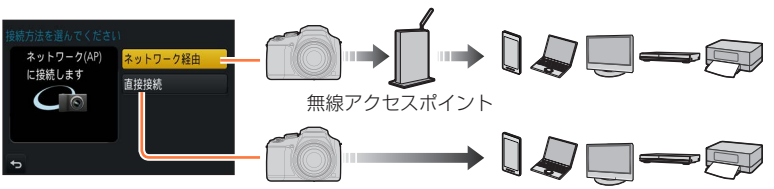
接続について

接続には以下の種類があります。

[新規に接続する]	Wi-Fi 機能や送信先を選択して接続します。	P.196、205、206
[履歴から接続する]	以前 Wi-Fi 接続したときと同じ設定で接続します。	P.227
[お気に入りから接続する]	お気に入りに登録した設定で接続します。	

以下のような画面が表示されたら、接続方法を選んでください。

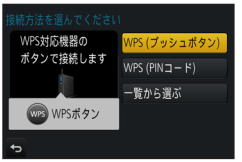
- 画面を表示するための操作の例：
  MENU ボタン→ [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 機能] → [新規に接続する] → [撮影中に画像を送る] → [スマートフォン]



[ネットワーク経由]	無線アクセスポイントを経由して接続します。	P.224
[直接接続]	お使いの機器と本機を直接接続します。 （無線アクセスポイントが使えない外出先や、普段使わない機器と一時的に接続する場合など）	P.226

無線アクセスポイントを経由して接続する（[ネットワーク経由]）

無線アクセスポイントとの接続方法を選びます。
- WPS とは、無線 LAN 機器の接続やセキュリティーに関する設定を簡単に行うことができる機能です。お使いの無線アクセスポイントが対応しているかどうかは、無線アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。



[WPS（プッシュボタン）]	WPS マークがあり、プッシュボタン方式 Wi-Fi Protected Setup™ 対応の無線アクセスポイントを登録します。 **1 無線アクセスポイントが WPS モードになるまで、無線アクセスポイントの WPS ボタンを押す** • 詳しくは無線アクセスポイントの取扱説明書をお読みください。
[WPS（PIN コード）]	WPS マークがあり、PIN コード方式の Wi-Fi Protected Setup 対応の無線アクセスポイントを登録します。 **1 カメラの画面で接続する無線アクセスポイントを選ぶ** **2 カメラの画面に表示されている PIN コードを無線アクセスポイントに入力する** **3 カメラの［MENU/SET］ボタンを押す** • 詳しくは無線アクセスポイントの取扱説明書をお読みください。
[一覧から選ぶ]	WPS に対応しているか分からない場合や、無線アクセスポイントを検索して接続したい場合に選択します。（P.225）

WPS に対応しているか分からない場合（[一覧から選ぶ] で接続する）

利用できる無線アクセスポイントを検索します。

- 選択した無線アクセスポイントにネットワーク認証が暗号化されている場合は、選択した無線アクセスポイントの「暗号化キー」を確認してください。
- [マニュアル入力] で接続する場合は、お使いの無線アクセスポイントの「SSID」、「ネットワーク認証方式」、「暗号化方式」、「暗号化キー」を確認してください。

1 接続する無線アクセスポイントを選ぶ

- [DISP.] ボタンを押すと、無線アクセスポイントを再検索します。
- 無線アクセスポイントが見つからない場合は
  下記の「[マニュアル入力] で接続する場合」をお読みください。



2 （ネットワーク認証が暗号化されている場合）暗号化キーを入力する

- 文字の入力方法 （P.43）

■[マニュアル入力] で接続する場合

①手順 *1* の画面で、[マニュアル入力] を選ぶ

②接続する無線アクセスポイントの SSID を入力して［決定］を選ぶ

- 文字の入力方法 （P.43）

③ネットワークの認証方式を選ぶ

- ネットワークの認証方式については、無線アクセスポイントの取扱説明書をお読みください。

④暗号化方式を選ぶ

- ネットワーク認証の設定内容によって、設定できる方式が異なります。

ネットワーク認証方式	設定できる暗号化方式
[WPA2-PSK] / [WPA-PSK]	[TKIP] / [AES]
[共通キー]	[WEP]
[オープン]	[暗号化なし] / [WEP]

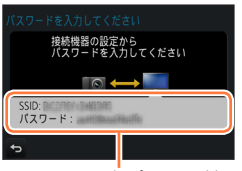
⑤**（[暗号化なし] 以外選択時）**
暗号化キーを入力する

- 無線アクセスポイントを登録する場合は、無線アクセスポイントの取扱説明書や設定をご確認ください。
- 接続できないときは、無線アクセスポイントの電波が弱いと考えられます。詳しくは、「メッセージ表示」（P.251）、「Q&A 故障かな？と思ったら」（P.256）をご確認ください。
- お使いの環境によっては通信速度が低下したり、ご利用になれない場合があります。

直接接続する（[直接接続]）

お使いの機器が対応している接続方法を選んでください。
• 接続する機器の取扱説明書もお読みください。



[WPS 接続]	[WPS（プッシュボタン）] **1 カメラの画面で［WPS（プッシュボタン）］を選ぶ** **2 機器を WPS モードにする** • 本機の［DISP.］ボタンを押すと、接続待ちの状態を延長できます。
	[WPS（PIN コード）] **1 カメラの画面で［WPS（PIN コード）］を選ぶ** **2 機器の PIN コードをカメラに入力する**
[手動接続]	**1 機器との接続待ちの画面で本機に表示されている、SSID とパスワードを機器に入力する** • 接続先が［スマートフォン］の場合は、パスワードは表示されません。SSID を選んで接続してください。(P.196)  SSID とパスワード

以前と同じ設定で素早く接続する（［履歴から接続する］/［お気に入りから接続する］）

Wi-Fi 機能を使うと履歴が保存されます。履歴はお気に入りに登録することができます。履歴やお気に入りから接続すると、簡単に以前と同じ設定で接続することができます。

- 接続する機器の Wi-Fi 設定が変更されていると、接続できない場合があります。

1 メニューを設定する（P.36）

MENU ボタン→［セットアップ］→［Wi-Fi］→［Wi-Fi 機能］

［履歴から接続する］	以前と同じ設定で接続します。
［お気に入りから接続する］	お気に入りに登録された設定で接続します。

2 接続したい項目を選ぶ

履歴をお気に入り登録する

MENU ボタン→［セットアップ］→［Wi-Fi］→［Wi-Fi 機能］→［履歴から接続する］

1 登録したい項目を選び、▶ を押す

2 登録名を入力する

- 文字の入力方法（P.43）
- 入力できる文字数は最大 30 文字です。全角文字は 2 文字の扱いになります。

お気に入り登録した項目を編集する

MENU ボタン→［セットアップ］→［Wi-Fi］→［Wi-Fi 機能］
→［お気に入りから接続する］

1 編集したいお気に入り項目を選び、▶ を押す

［お気に入りを消す］	—
［お気に入りの順番を変える］	移動先を選びます。
［登録名を変える］	• 文字の入力方法（P.43） • 入力できる文字数は最大 30 文字です。全角文字は 2 文字の扱いになります。

よく使う Wi-Fi 接続設定はお気に入り登録しておく （P.227）

履歴に保存できる数には制限があります。

履歴やお気に入りの接続の詳細を確認する

履歴やお気に入りの項目を選ぶときに、［DISP.］ボタンを押すと、接続の詳細を表示できます。

- ［Wi-Fi 設定リセット］を行うと、履歴とお気に入り登録した内容は消去されます。
- スマートフォンなどの接続する機器が本機以外の無線アクセスポイントと接続されているときは、［直接接続］を使って本機と接続できません。スマートフォンなどの接続する機器側の Wi-Fi 設定で、接続するアクセスポイントを本機に変更してください。
  または、［新規に接続する］で接続し直してください。（P.196、206）
- 多くの機器が使用しているネットワークに［履歴から接続する］や［お気に入りから接続する］で接続すると、接続されにくい場合があります。その場合は、［新規に接続する］で接続してください。

[Wi-Fi 設定]

Wi-Fi 機能を使うために必要な各種設定を行います。
Wi-Fi 接続中は［Wi-Fi 設定］の変更はできません。

MENU ボタン→ [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 設定]

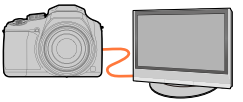
Wi-Fi パスワード スマートフォンと直接接続する際にパスワードを要求し、セキュリティーを強化できます。	**[ON]**：SSID とパスワードを利用してカメラとスマートフォンを接続します。(P.197) **[OFF]**：SSID を利用してカメラとスマートフォンを接続します。(P.196) • ［ON］に設定時は QR コードを読み取って接続することもできます。(P.197)
PicMate 設定	「LUMIX CLUB (PicMate)」のログイン ID の取得や変更を行います。(P.218)
PC 接続設定 ワークグループを設定することができます。	パソコンに画像を送信する際は、送信先のパソコンと同じワークグループに接続する必要があります。 （お買い上げ時は「WORKGROUP」に設定されています） **[変更する]**：接続するパソコンのワークグループを入力してください。 **[標準に戻す]**：お買い上げ時の状態に戻します。 • 文字の入力方法(P.43) • パソコンを標準の設定でお使いの場合は、ワークグループを変更する必要はありません。
機器名称 本機の名前（SSID）を変更することができます。	① ［DISP.］ボタンを押す ② 任意の機器名称を入力する（最大 32 文字） • 文字の入力方法(P.43)
宅外 AV 機器設定	「LUMIX CLUB (PicMate)」を経由して、離れて暮らす家族や友人の AV 機器に画像を送ることができます。(P.222)
Wi-Fi 機能ロック 誤操作や第三者による Wi-Fi 機能の使用を防いだり、設定した個人情報を保護するため、Wi-Fi 機能をパスワードで保護することをお勧めします。	Wi-Fi 機能使用時、自動的にパスワードが要求されるようになります。 **[設定]**：数字 4 桁で任意のパスワードを設定します。 **[解除]** • 文字の入力方法(P.43) • パスワードは必ず控えを取っておいてください。忘れた場合、［セットアップ］メニューの［Wi-Fi 設定リセット］を行うとパスワードをリセットできますが、その他の設定もすべてリセットされます。（［PicMate 設定］を除く）
ネットワークアドレス表示 本機の MAC アドレスと IP アドレスを表示します。	• 「MAC アドレス」とは、ネットワーク機器を識別するための固有アドレスです。 • 「IP アドレス」とは、インターネットなどのネットワークに接続されたコンピューターを識別する番号のことです。ご家庭では、無線アクセスポイントなどの DHCP 機能で自動的に割り当てられるのが一般的です。（例：192.168.0.87）
認証情報	電波法に基づく工事設計認証番号を表示します。

4K 動画を楽しむ

4K 動画を見る

■テレビで見る

本機と 4K 動画対応テレビを接続して、［画質設定］のサイズが［4K］で撮影された動画を再生すると、きめ細かい 4K 動画を楽しむことができます。出力解像度は下がりますが、4K 動画に対応していないハイビジョンテレビなどに接続して再生することもできます。

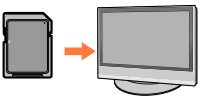


準備

- ［HDMI 出力解像度（再生時）］(P.174) を［AUTO］または［4K］に設定する。
- 4K 動画に対応していないテレビに接続する場合は、［AUTO］に設定してください。

①HDMI マイクロケーブルで本機と 4K 動画対応テレビをつなぎ、再生画面を表示する (P.231)

- ［ビエラリンク］を［ON］に設定していてビエラリンク対応テレビに接続した場合は、テレビの入力切換が自動で切り換わり、再生画面が表示されます。詳しくは、232 ページをお読みください。
- ［記録方式］が［MP4］で［画質設定］のサイズが［4K］の動画は、4K 動画対応の SD カードスロット付きテレビにカードを入れて再生することもできます。
- テレビの取扱説明書もお読みください。



■パソコンで見る

［画質設定］のサイズが［4K］で撮影された動画をパソコンで再生する場合は、ソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」をご使用ください。(P.233)

- 4K 動画の再生、編集には、高性能なパソコン環境が必要です。
- 詳しくは「PHOTOfunSTUDIO」の取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください。



4K 動画を残す

■パソコンに残す

詳しくは、233 ページをお読みください。ソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」(P.233) を使うと、サイズの小さい動画に変換したり、DVD にコピーしたりできます。詳しくは「PHOTOfunSTUDIO」の取扱説明書（PDF ファイル）をお読みください。

■当社製ブルーレイディスクレコーダーに残す

［画質設定］のサイズが［4K］の動画は、4K 動画取り込みに対応した当社製ブルーレイディスクレコーダーのハードディスクへダビングすることができます。

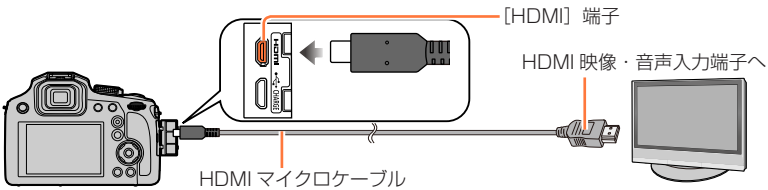
テレビで見る

本機とテレビを HDMI マイクロケーブルで接続すると、写真や動画をテレビで見ることができます。

準備
本機とテレビの電源を切る。

1 本機とテレビを接続する

端子の向きを確認し、まっすぐ入れてください。(向きを逆にすると、端子が変形して故障の原因になります) また、誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。



2 テレビの電源を入れ、接続する端子に合わせてテレビの入力切換を選ぶ

3 本機の電源を入れ、[▶] (再生) ボタンを押す

- 画像横縦比によっては、上下や左右に帯が付いて表示されることがあります。
- 画像の上下の端が切れて表示される場合は、テレビ側で画面モードの設定を変えてください。
- [HDMI 出力解像度 (再生時)] (P.174) を確認してください。
- 本機の画面に画像は表示されません。
- USB 接続ケーブル (付属) と同時に接続すると、[HDMI] 端子は働きません。
- テレビの取扱説明書もお読みください。

SD カードスロット付きテレビにカードを入れて、撮影した画像を再生することができます

- テレビの機種によって、画像がテレビの全画面で表示されないことがあります。
- 再生できる動画のファイル形式はテレビの機種によって異なります。
- パノラマ写真は再生できない場合があります。また、パノラマ写真の自動スクロール再生はできません。
- 再生に対応したカードについては、テレビの取扱説明書をお読みください。

ビエラリンク（HDMI）（HDAVI Control™）を使う

ビエラリンク（HDMI）とは

- 本機と HDMI マイクロケーブルを使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、ビエラのリモコンで簡単に操作できる機能です。（すべての操作ができるものではありません）
- ビエラリンク（HDMI）は HDMI CEC（Consumer Electronics Control）と呼ばれる業界標準の HDMI によるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製 HDMI CEC 対応機器との動作保証はしておりません。ビエラリンク（HDMI）に対応した他社製品については、その製品の取扱説明書をご確認ください。
- 本機は、ビエラリンク（HDMI）Ver.5 に対応しています。ビエラリンク（HDMI）Ver.5 とは、従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した当社基準です。

準備

［ビエラリンク］を［ON］に設定しておく。(P.174)

1 **HDMI マイクロケーブルで、本機とビエラリンク（HDMI）に対応した当社製テレビ（ビエラ）をつなぐ** (P.231)

2 **本機の電源を入れ、［▶］（再生）ボタンを押す**

3 **テレビのリモコンで操作する**

電源 OFF

- テレビのリモコンを使ってテレビの電源を切ると、本機の電源も連動して切れます。

自動入力切換

- HDMI マイクロケーブルで接続して本機の電源を入れ、本機の［▶］（再生）ボタンを押すと、テレビの入力切換が自動で本機の画面に切り換わります。また、テレビの電源が待機状態のときは自動で電源が入ります。（テレビの［電源オン連動］を［する］に設定している場合）

- 本機のボタンを使っての操作は制限されます。
- スライドショーで動画の音声を再生するには、スライドショー設定画面で［音設定］を［AUTO］または［音声］に設定してください。
- HDMI ロゴがあり、4K に対応したハイスピード HDMI マイクロケーブル（2 m まで）をお使いください。
- ビエラリンク（HDMI）が正しく働かない場合は、257 ページをご確認ください。

写真や動画をパソコンに残す

本機とパソコンを接続すると、本機の画像をパソコンに取り込むことができます。
- お使いのパソコンによっては、取り出したカードから直接読み込むこともできます。詳しくはパソコンの取扱説明書をお読みください。

■使用できるパソコン

マスストレージデバイス（大容量記憶装置）を認識できるパソコンに接続することができます。
- Windows の場合：Windows 10 / Windows 8.1 / Windows 8 / Windows 7
- Mac の場合：OS X v10.5 ～ v10.12

AVCHD 動画はファイルやフォルダーのコピーでは正しく取り込めない場合があります

- Windows の場合、AVCHD 動画は「PHOTOfunSTUDIO」（P.233）をお使いください。
- Mac の場合、AVCHD 動画は「iMovie」を使って取り込むことができます。ただし、画質設定によっては、取り込みできない場合があります。
（iMovie の詳細は、Apple にお問い合わせください）

ソフトウェアをダウンロードする

パソコンで画像を再生・編集するには、ソフトウェアをダウンロード・インストールしてお使いください。

PHOTOfunSTUDIO 9.9 PE

パソコンに写真や動画を取り込んだり、取り込んだ画像を撮影日や撮影したデジタルカメラの機種名などで分類して整理することができます。また、写真の補正や動画の編集、DVD への書き込みなどもできます。

下記サイトをご確認いただき、ダウンロード / インストールしてください。
本ダウンロードは 2022 年 2 月まで有効です。
http://panasonic.jp/support/software/photofun/download/d_pfs99pe.html

• **動作環境**

対応 OS	Windows® 10（32 bit/64 bit） Windows® 8.1（32 bit/64 bit） Windows® 8（32 bit/64 bit） Windows® 7（32 bit/64 bit）SP1	
CPU	Windows® 10	Pentium® 4 2.8 GHz 以上
	Windows® 8.1	
	Windows® 8	
	Windows® 7	
ディスプレイ	1024 × 768 以上（1920 × 1080 以上を推奨）	
搭載メモリ	Windows® 10	1 GB 以上（32 bit）/ 2 GB 以上（64 bit）
	Windows® 8.1	
	Windows® 8	
	Windows® 7	
ハードディスク	インストールに 450 MB 以上の空き容量	

- 4K 動画を編集するときは、Windows 10 / Windows 8.1 / Windows 8 / Windows 7 の 64 bit 版が必要です。
- 「PHOTOfunSTUDIO」は Mac では使えません。
- その他の動作環境について、詳しくは「PHOTOfunSTUDIO」の取扱説明書（PDF）をお読みください。

SILKYPIX Developer Studio SE

RAW ファイルの画像を現像や編集するソフトウェアです。編集した画像をパソコンなどで表示できるファイル形式（JPEG、TIFF など）で保存できます。

下記サイトをご確認いただき、ダウンロード / インストールしてください。
http://www.isl.co.jp/SILKYPIX/japanese/p/

• **動作環境**

対応 OS	Windows® 10 Windows® 8.1 Windows® 8 Windows® 7 Mac OS X v10.6 ～ v10.12

- SILKYPIX Developer Studio の動作環境や使い方などの詳しい説明は、「ヘルプ」または市川ソフトラボラトリーのサポートサイトをご覧ください。

LoiLoScope -30 日間フル体験版

（Windows 10 / 8.1 / 8 / 7）

簡単に動画を編集することができます。

下記サイトをご確認いただき、ダウンロード / インストールしてください。
http://loilo.tv/product/20

- LoiLoScope の詳しい動作環境や使い方は、サイトから「マニュアル」をダウンロードしてご覧ください。
- 「LoiLoScope」は Mac では使えません。

● ソフトウェアをダウンロードするためには、パソコンをインターネットに接続する必要があります。
● 通信環境によっては、ダウンロードに時間がかかる場合があります。

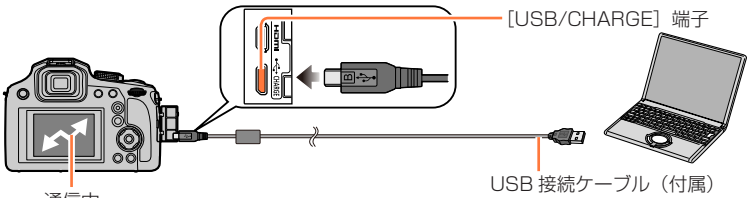
写真、動画を取り込む

準備

- パソコンに「PHOTOfunSTUDIO」をインストールしておく。(P.233)
- 本機とパソコンの電源を入れる。

1 本機とパソコンを接続する

- 端子の向きを確認し、まっすぐ入れてください。（向きを逆にすると、端子が変形して故障の原因になります）また、誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。
- 付属の USB 接続ケーブル以外は使わないでください。



- 表示中は USB 接続ケーブル（付属）を抜かない。

2 ▼ で［PC］を選び、［MENU/SET］ボタンを押す

- ［セットアップ］メニューで［USB モード］(P.173) を［PC］に設定しておくと、［USB モード］の選択画面は表示されず、自動的にパソコンと接続します。

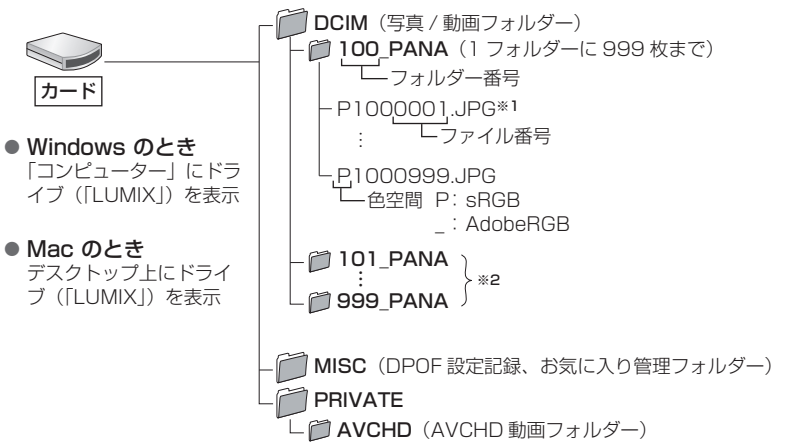
3 「PHOTOfunSTUDIO」を使って画像をパソコンにコピーする

- コピーしたファイルやフォルダーを、Windows のエクスプローラーなどで消去や移動などを行わないでください。「PHOTOfunSTUDIO」を使って再生、編集などができなくなります。

■「PHOTOfunSTUDIO」を使わずにパソコンにコピーする

取り込みたい画像が入っているフォルダーやファイルを、パソコン上の別のフォルダーにドラッグ＆ドロップするとパソコンに画像を保存することができます。

・本機のカードの中（フォルダー構造）は以下のようになります。

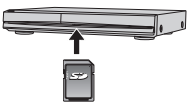


※1 .JPG ：写真
.RW2 ：RAW で記録した写真
.MP4 ：MP4 動画

※2 フォルダーは次の場合に新しく作成されます。
- フォルダー内にファイル番号 999 の画像がある場合
- 同じフォルダー番号のあるカードを入れたとき（他社のカメラで撮影したものなど）
- ［番号リセット］したとき （P.175）

- カードの抜き差しは、本機の電源を切って、USB 接続ケーブルを抜いてから行ってください。データが破壊されるおそれがあります。
- 十分に充電されたバッテリー、または AC アダプター（別売：DMW-AC10）および DC カプラー（別売：DMW-DCC6）を使用してください。
- バッテリー使用時、USB 接続中にバッテリー残量が少なくなると、警告音が鳴ります。USB 接続ケーブルを安全に取り外してください。データが破壊されるおそれがあります。

写真や動画をレコーダーに残す



当社製レコーダーに本機で記録したカードを入れるとブルーレイディスクや DVD などにダビングすることができます。

- 本機で記録した写真や動画は、そのファイル形式（JPEG、RAW、AVCHD、MP4）によって他の機器への取り込み方法が異なります。
- ［画像横縦比］を［16:9］以外に設定し撮影した 4K 連写ファイル（MP4 形式）は、4K 動画取り込みに対応した当社製レコーダーであっても、ハードディスクへダビングすることができない場合があります。（2017 年 2 月現在）
- ダビングや再生方法など詳しくは、レコーダーの取扱説明書をお読みください。

プリントする

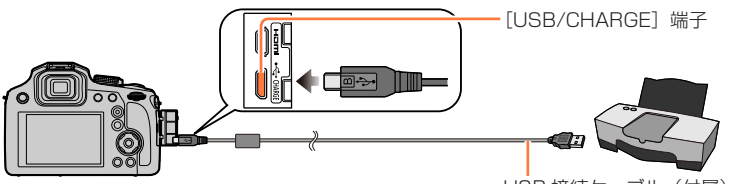
PictBridge（ピクトブリッジ）対応のプリンターに直接接続し、プリントできます。

準備

- プリンター側で印字品質などを必要に応じて設定しておく。
- 本機とプリンターの電源を入れる。

1 本機とプリンターを接続する

- 端子の向きを確認し、まっすぐ入れてください。（向きを逆にすると、端子が変形して故障の原因になります）また、誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。
- 付属の USB 接続ケーブル以外は使わないでください。



［⊗］：ケーブル切断禁止アイコン

- 表示中は USB 接続ケーブル（付属）を抜かない。
（プリンターによってはアイコンが表示されません）

2 ▲ で［PictBridge(PTP)］を選び、［MENU/SET］ボタンを押す

3 ◀▶ でプリントする写真を選び、［MENU/SET］ボタンを押す

4 ▲ で［プリント開始］を選び、［MENU/SET］ボタンを押す

（プリントの各種設定：P.239）

［複数プリント］

複数まとめてプリントします。

1「プリントする」（P.237）の手順 **3** で ▲ を押して複数プリントに設定する

2 ▲▼ で項目を選び、［MENU/SET］ボタンを押す

複数選択	①▲▼◀▶ で画像を選び、［MENU/SET］ボタンを押す （解除するとき→再度［MENU/SET］ボタンを押す） ②◀ で［実行］を選び、［MENU/SET］ボタンを押す
全画像	すべての画像
プリント設定（DPOF）	［プリント設定］で設定した画像（P.190）
お気に入り	［お気に入り］で設定した画像（P.189）

3 ▲ で［プリント開始］を選び、［MENU/SET］ボタンを押す

（プリントの各種設定：P.239）

- グループ画像は、グループ単位ではなく 1 枚ずつ表示されます。
- 十分に充電されたバッテリー、または AC アダプター（別売：DMW-AC10）および DC カプラー（別売：DMW-DCC6）を使用してください。接続中にバッテリー残量が少なくなると、警告音が鳴ります。プリントを中止し、USB 接続ケーブル（付属）を抜いてください。
- カードの抜き差しは電源を切って、USB 接続ケーブルを抜いてから行ってください。
- お使いのプリンターによっては、取り出したカードから直接プリントすることもできます。詳しくはプリンターの取扱説明書をお読みください。
- プリント中にオレンジ色の［●］が表示されたときは、プリンターでエラーが発生しています。
- プリント枚数が多いとき、数回に分けてプリントされることがあります。（残り枚数の表示が設定と異なることがあります）
- 動画、4K 連写ファイル、フォーカスセレクト撮影した画像はプリントできません。
- RAW で記録した写真はプリントできません。（同時に記録した JPEG 形式の写真はプリントできます）

■本機でプリントの各種設定をする
プリント枚数や用紙サイズなどを設定できます。［プリント開始］を選ぶ前に設定してください。

日付プリント	ON（日付プリントする）/OFF
プリント枚数	枚数を設定（最大 999 枚）
用紙サイズ	用紙サイズを設定します。
レイアウト	縁あり、縁なしや複数印刷の設定をします。

- プリンターが日付プリントに対応していない場合は、日付をプリントすることができません。
- ［日付プリント］を［ON］にするときは、プリンター側の日付プリント設定も確認してください。（プリンター側の設定が優先される場合があります）
- プリンターが対応していない項目は表示されません。
- 本機が対応していない用紙サイズやレイアウトでプリントするには［🖨］（プリンター優先）を選び、プリンター側で設定してください。（プリンターの取扱説明書をお読みください）
- ［プリント設定］をしても、お店やプリンターによって日付プリントされないことがあります。

写真に日付や文字を入れる

［再生］メニューの［文字焼き込み］で日付や日時を写真に焼き込むことができます。(P.185)

■［文字焼き込み］せずに日付などをプリントするとき

お店プリントの場合：
撮影日時のみ印刷できます。お店で、日付プリントを指定してください。
- お店にカードを渡す前に、本機で［プリント設定］(P.190)をしておくと、カードを渡すだけで、プリント枚数や日付プリントを指定できます。
- ［個人認証］または［プロフィール設定］の［月齢 / 年齢］や［名前］、［トラベル日付］［旅行先］［タイトル入力］で入力した文字のプリントはお店では依頼できません。

パソコンの場合：
ソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」(P.233)で撮影日時や文字情報の印刷設定ができます。

プリンターの場合：
本機で［プリント設定］をするか、日付プリント対応プリンターをお使いの場合は本機で［日付プリント］(P.239)を［ON］に設定すると、撮影日時を印刷できます。

別売品を使う

コンバージョンレンズ（別売）

コンバージョンレンズを使用すると、より望遠で撮影したり、より小さな被写体をアップで撮影したりすることができます。レンズを取り付けた後、撮影メニューを設定します。

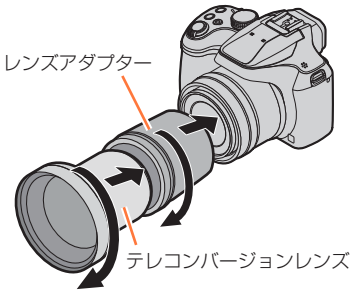
■コンバージョンレンズの取り付け方

準備

レンズキャップを取り外す。

①レンズアダプター（別売：DMW-LA8）を取り付ける
- ゆっくり丁寧に回してください。

②テレコンバージョンレンズ（別売：DMW-LT55）を取り付ける
- クローズアップレンズ（別売：DMW-LC55）も同様に取り付けることができます。



		テレコンバージョンレンズ	クローズアップレンズ
35 mm フィルムカメラ換算焦点距離※1（最大画素数時※2）		700 mm～1200 mm	154 mm～1200 mm
撮影可能範囲	W 側	5.5 m～∞	18 cm～50 cm
	T 側		37 cm～50 cm

※1 ズーム使用時の実際の焦点距離は、表示の 1.7 倍になります。
※2［画像横縦比］を［4:3］に設定時 （P.145）

■撮影メニューを設定する

撮影モード： iA iA+ P A S M M SCN

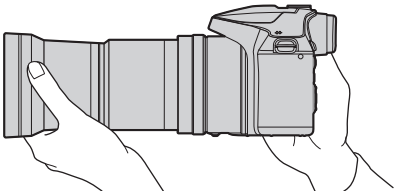
①メニューを設定する （P.36）

MENU ボタン→ [撮影] / [動画] → [コンバージョン]

T	テレコンバージョンレンズを装着するとき
C	クローズアップレンズを装着するとき
[OFF]	—

- コンバージョンレンズを外したときは、必ず［OFF］に設定してください。

例）テレコンバージョンレンズ装着時の手持ち撮影での構え方



- **コンバージョンレンズを使用するときは、レンズアダプター（別売：DMW-LA8）が必要になります。**
- **DMW-LC55、DMW-LT55 以外は取り付けないでください。**
- コンバージョンレンズと別売の MC プロテクターや ND フィルターなどを併用することはできません。必ず取り外してからコンバージョンレンズを取り付けてください。
- テレコンバージョンレンズ使用時は
  - 三脚の使用をお勧めします。
  - 手ブレ補正が効きにくくなることがあります。
  - 手ブレの影響により、ピントが合っていないのにフォーカス表示が点灯することがあります。
  - ピントが合うまでの時間が通常よりも長くなることがあります。
- 詳しくは、コンバージョンレンズの取扱説明書をお読みください。

外部フラッシュ（別売）

フラッシュライト（別売：DMW-FL200L、DMW-FL360L、DMW-FL580L）を使用すると、内蔵フラッシュに比べてフラッシュ撮影可能範囲が広がります。

準備

内蔵フラッシュを閉じ、本機の電源スイッチを［OFF］にしてください。

1 **ホットシューに外部フラッシュを取り付け、本機と外部フラッシュの電源を入れる**

- 本機で外部フラッシュの設定をするとき（P.119）
- ワイヤレスフラッシュの設定について（P.123）

本機（DC-FZ85）との通信機能のない市販の外部フラッシュを使う場合

- 外部フラッシュ使用時の露出は、外部フラッシュ側で設定する必要があります。外部フラッシュをオートモードでお使いになる場合は、本体側で設定されている絞り値とISO 感度に合わせることのできる製品をお使いください。
- 絞り優先 AE モードまたはマニュアル露出モードにして使用し、本機で設定した絞り値と ISO 感度を外部フラッシュ側でも設定してください。（シャッター優先 AE モードでは絞り値が変化するので適正露出が得られません。またプログラム AE モードでは絞り値が固定できないので、外部フラッシュの調光が適切に働きません。）

- 外部フラッシュ装着時も本機の絞り値やシャッタースピード、ISO 感度を設定できます。
- 市販の外部フラッシュには、シンクロ端子が高圧のものや、極性が逆のものがあります。このようなフラッシュを使用した場合、本機を故障させる原因になったり、正常に動作しない場合があります。
- 外部フラッシュ装着時は、脱落のおそれがありますので、外部フラッシュのみを持たないようにしてください。
- 広角時に近くで撮影すると、フラッシュ光がレンズで遮られ画面の下部が暗くなる場合があります。
- 詳しくは、外部フラッシュの取扱説明書をお読みください。

AC アダプター（別売）/DC カプラー（別売）

AC アダプター（別売：DMW-AC10）と DC カプラー（別売：DMW-DCC6）を使うと、バッテリー残量を気にすることなく撮影や再生ができます。
AC アダプターと DC カプラーは、必ずセットでお買い求めください。本機の場合、単独では使用できません。

- AC アダプターおよび DC カプラーの取扱説明書もお読みください。

フィルター（別売）

PL フィルター（別売：DMW-LPL55）は、金属や球面以外（平らな非金属、水蒸気や空気中の見えない微粒子など）からの反射光を抑え、コントラストを強調する写真を撮影することができます。
ND フィルター（別売：DMW-LNDH55）は、色調に変化を与えずに、光量だけを 1/8（3 絞り分）に減少させることができます。
MC プロテクター（別売：DMW-LMCH55）は、色調や光量にほとんど変化を与えない透明なフィルターで、レンズ保護用として使うことができます。

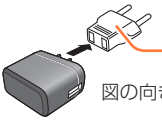
- 複数のフィルターを同時に取り付けないでください。
- フィルターを付けたままレンズキャップを取り付けることができます。
- 詳しくは、各種フィルターの取扱説明書をお読みください。

海外旅行先で使う

ACアダプター（付属）は、日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での使用は問題ありません。

- 電源電圧（100 V～240 V）、電源周波数（50 Hz、60 Hz）でご使用いただけます。
- 国、地域によって電源コンセントの形状は異なるため変換プラグが必要です。変換プラグは旅行会社や販売店にご相談のうえ、お求めください。
- ご使用にならないときはACアダプターと変換プラグを電源コンセントから外してください。
- 市販の変圧器などを使用すると、故障するおそれがありますので、使用しないでください。

■変換プラグの付け方について



■主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

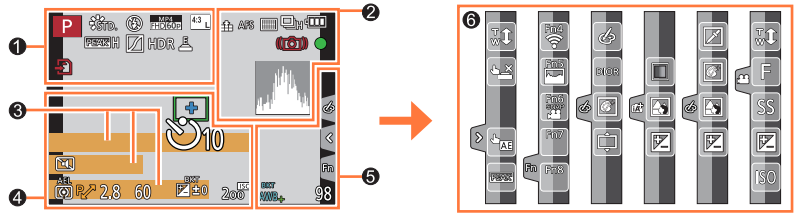
北米					
アメリカ合衆国 A	カナダ A	ハワイ A			
ヨーロッパ					
イギリス BF, B3	イタリア C (C2)	オーストリア C (C2), SE	オランダ C (C2), SE	ギリシャ A, B, B3, C (C2), SE	スイス A, B, C (C2), SE
スウェーデン B, C (C2), SE	スペイン A, C (C2), SE	デンマーク C (C2)	ドイツ A, C (C2), SE	ノルウェー C (C2)	ハンガリー C (C2)
フィンランド B, C (C2)	フランス A, C (C2), SE	ベルギー B, C (C2), SE	ロシア A, C (C2), SE		
アジア					
インド B, BF, B3, C (C2)	インドネシア B, B3, C (C2), SE	シンガポール B, BF, B3	タイ A, BF, C (C2)	大韓民国 A, C (C2), SE	台湾 A, C (C2), O
中華人民共和国 すべて	フィリピン A, O	ベトナム A, BF, C (C2), SE	香港特別行政区 B, BF, B3, C (C2)	マカオ特別行政区 B, BF, B3, C (C2)	マレーシア B, BF, B3, C (C2)
オセアニア					
オーストラリア O	グァム島 A	サイパン島 A	トンガ O	ニュージーランド O	フィジー A, B, C (C2), O
中南米					
アルゼンチン BF, C (C2), SE	プエルトリコ A, BF, C (C2)	ブラジル A, C (C2), SE	メキシコ A, C (C2), SE		
中東・アフリカ					
アラブ首長国連邦 B, BF, B3	エジプト BF,B3, C (C2), SE	クウェート B, B3, C (C2)	トルコ A, B, C (C2), SE	南アフリカ共和国 B, BF, B3, C (C2)	モロッコ A, C (C2), SE

タイプ	A	B	BF	B3	C (C2)	SE	O
	アメリカンタイプ	U.K. タイプ			ヨーロピアンタイプ		オーストラリアンタイプ
コンセント形状							
変換プラグ	不要です						

モニター / ファインダーの表示一覧

モニター / ファインダーの画面表示は、本機の操作状態を示しています。
- 画面は［モニター表示スタイル］を［▭］（モニタースタイル）に設定時の例です。
- 表示されるヒストグラムや倍率、数値などの情報は目安です。

撮影時



❶

P A S M C1 C2 SCN	撮影モード（P.29）
C1	カスタムセット（P.67）
STD. VIVD NAT MONO SCNY PORT CUST	フォトスタイル（P.142）
	フラッシュ設定（P.118、123）
MP4 FHD 60p	記録方式 / 画質設定（P.127）
SNAP 4SEC	スナップムービー（P.132）
4:3 L	画像横縦比（P.145）/ 記録画素数（P.146）
STD. WIDE	画像サイズ（パノラマモード）（P.54）
	画像効果（フィルター）調整表示（P.61、144）
POP	画像効果（フィルター）種別（P.144）
	カード（記録時のみ表示）（P.21）
XXhXXmXXs	記録経過時間※1（P.125）
	同時記録表示（P.131）
PEAK H PEAK L	ピーキング（P.164）
	ハイライトシャドウ（P.148）
HDR	HDR（P.150）/iHDR（P.47）
	多重露出（P.151）
	コンバージョン（P.241）
	電子シャッター（P.152）
	温度上昇表示（P.254）

❷

RAW	クオリティ（P.146）
240fps 120fps	ハイスピード動画（P.65）
AFS AFF AFC MF	AFS/AFF/AFC（P.69）/ MF（P.81）
	オートフォーカスモード（P.70）
	ピント送り（P.133）
	個人認証（P.155）
AFL	AF ロック（P.83）
	連写（P.102）
4K S/S 4K PRE	4K フォト（P.89）
	フォーカスセレクト（P.97）
	セルフタイマー（P.103）
	バッテリー残量表示（P.19）
AF	マクロ撮影（P.80）
OFF	手ブレ補正（P.110）
	手ブレ警告表示（P.110）
●	記録動作（赤点滅）（P.125）/ フォーカス（緑点灯）（P.28）
LOW	フォーカス（低照度時）（P.68）
	Wi-Fi 接続状態
	ヒストグラム表示（P.165）

モニター / ファインダーの表示一覧

❸

名前※2 (P.158)	
トラベル経過日数※3 (P.170)	
月齢 / 年齢※2 (P.158)	
旅行先※3 (P.170)	
現在日時 / 旅行先設定※3：✈ (P.169)	
露出メーター (P.167)	
ズーム表示 (P.114)	

❹

□	AF エリア (P.68、76)
+	スポット測光ターゲット (P.147)
+	センターマーカー表示 (P.165)
10 10 2	セルフタイマー (P.103)
ZOOM	ズームマイク (P.160)
	サイレントモード (P.161)
AEL	AE ロック (P.83)
AE	測光モード (P.35、147)
P↗	プログラムシフト (P.49)
2.8	絞り値 (P.28)
60	シャッタースピード (P.28)
BKT ±0	露出補正 (P.84)
	露出ブラケット (P.105)
	明るさ（露出）(P.48、63)
	マニュアル露出アシスト (P.51)
200 ISO	ISO 感度 (P.85)

❺

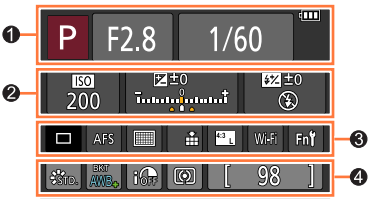
	ダイヤル操作ガイド (P.167)
BKT AWB+	ホワイトバランスブラケット (P.88)
	ホワイトバランス微調整 (P.87)
WB K	ホワイトバランス (P.86)
	色合い (P.47)
98	記録可能枚数 (P.22)
残 XXmXXs	記録可能時間※1 (P.23)

❻

タッチタブ (P.168)		
<	T W	タッチズーム (P.115)
		タッチシャッター (P.34)
	AE	タッチ AE (P.35)
	PEAK	ピーキング (P.164)
Fn	Fn4 Fn5 Fn6 SNAP Fn7 Fn8	ファンクションボタン (P.40)
iA (P.48) (P.63) (P.66)		色合い (P.48)
		ボケ味コントロール (P.48、63)
		明るさ（露出）(P.48、63)
		ぼかし方（ジオラマ）(P.60)
		ワンポイントカラー (P.60)
		サンシャイン (P.60)
		画像効果（フィルター）調整表示 (P.61、144)
		画像効果の入 / 切 (P.144)
	DIOR	画像効果（フィルター）(P.144)
	F	絞り値 (P.66)
	SS	シャッタースピード (P.66)
	ISO	ISO 感度 (P.66)

※1 h は「hour（時間）」、m は「minute（分）」、s は「second（秒）」を省略した表示です。
※2 ［プロフィール設定］を設定時、電源を入れた場合に約 5 秒間表示されます。
※3 電源を入れたとき / 時計設定後 / 再生から撮影モードへ切り換え後、約 5 秒間表示されます。

■モニター撮影情報画面



❶

P A S M	撮影モード（P.29）
F2.8	絞り値（P.28）
1/60	シャッタースピード（P.28）
	バッテリー残量表示（P.19）

❷

ISO 200	ISO 感度（P.85）
±0	露出補正（P.84）
	露出ブラケット（P.105）
	明るさ（露出）（P.48、63）
	マニュアル露出アシスト（P.51）
	フラッシュ設定（P.118、123）

❸

	単写（P.101）
H M L	連写（P.102）
4K S/S PRE	4K フォト（P.89）
10 2	セルフタイマー（P.103）
AFS AFF AFC MF	AFS/AFF/AFC（P.69）/ MF（P.81）
	オートフォーカスモード（P.70）
RAW	クオリティ（P.146）
4:3 L	画像横縦比（P.145）/ 記録画素数（P.146）
Wi-Fi	Wi-Fi（P.193）
Fn	ファンクションボタン設定（P.40）

❹

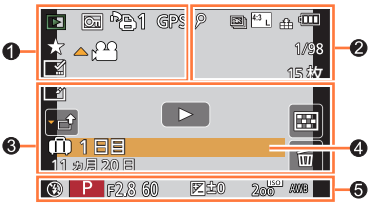
STD. VIVID NAT MONO SCNY PORT CUST	フォトスタイル（P.142）
BKT AWB	ホワイトバランスブラケット（P.88）
	ホワイトバランス微調整（P.87）
K	ホワイトバランス（P.86）
iOFF	iD レンジコントロール（P.149）
AE	測光モード（P.35、147）
98	記録可能枚数（P.22）
残 XXmXXs	記録可能時間※（P.23）

※h は「hour（時間）」、m は「minute（分）」、s は「second（秒）」を省略した表示です。

目次 MENU メニュー一覧 さくいん

続く ▶

再生時



❶

	再生モード（P.179）
On	プロテクト（P.190）
1	プリント枚数（P.190）
GPS	位置情報あり（P.179、203）
★	お気に入り表示（P.189）
	ケーブル切断禁止アイコン（P.237）
	動画再生（P.135）
	パノラマ再生（P.55）
	連写グループ連続再生（P.139）
	4K 連写ファイルから写真を保存（P.91）
	フォーカスセレクト撮影した画像から写真を保存（P.98）
	インターバル撮影グループ連続再生（P.139）
	コマ撮りグループ連続再生（P.139）
	文字焼き込み済み（P.185）
XXhXXmXXs	再生経過時間※1

❷

	マーカーあり表示（P.92、93）
4K	4K フォト（4K 連写ファイル）（P.89）
	フォーカスセレクト（P.97）
	フォーカス合成（P.99）
4:3 L	画像横縦比（P.145）/ 記録画素数（P.146）
MP4 FHD 60p	記録方式 / 画質設定（P.127）
SNAP	スナップムービー（P.132）

RAW	クオリティ（P.146）
240fps 120fps	ハイスピード動画（P.65）
	バッテリー残量表示（P.19）
1/98	画像番号 / トータル枚数
	Wi-Fi 接続状態
15 枚	グループ画像枚数
XXhXXmXXs	動画記録時間※1（P.135）

❸

	クリアレタッチ済み表示（P.183）
	情報取得中アイコン
	再生（動画）（P.135）
1 日目	トラベル経過日数（P.170）
	アップロード(Wi-Fi)アイコン（P.216）
	連写グループ表示（P.139）
	インターバル撮影グループ表示（P.139）
	コマ撮りグループ表示（P.139）
SUB MENU	サブメニューアイコン（P.139、216）
	サイレントモード（P.161）
11 ヵ月 20 日	月齢 / 年齢（P.156、158）
	マルチ再生（P.137）
	消去（P.140）

❹

名前※2（P.156、158）
旅行先※2（P.170）
タイトル※2（P.184）

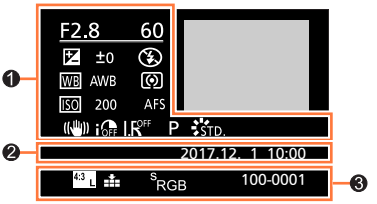
❺

撮影情報

※1 h は「hour（時間）」、m は「minute（分）」、s は「second（秒）」を省略した表示です。
※2 [タイトル]、[旅行先]、[名前]（赤ちゃん / ペット）、[名前]（個人認証）の優先順位で表示されます。

続く ▶

■詳細情報表示



❶

撮影情報

	手ブレ補正（P.110）
iOFF	iD レンジコントロール（P.149）
HDR ON	HDR（P.150）/iHDR（P.47）
I.R OFF	超解像（P.149）

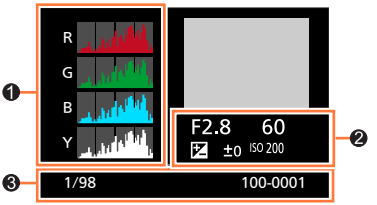
❷

撮影日時 / ワールドタイム（P.169）

❸

4:3 L	画像横縦比（P.145）/ 記録画素数（P.146）
MP4 FHD 60P	記録方式 / 画質設定（P.127）
240fps 120fps	ハイスピード動画（P.65）
RAW	クオリティ（P.146）
sRGB	色空間（P.154）
4K	4K フォト（4K 連写ファイル）（P.89）
	フォーカスセレクト（P.97）
	フォーカス合成（P.99）
100-0001	フォルダー・ファイル番号（P.236）

■ヒストグラム表示



❶

ヒストグラム（P.32）

❷

撮影情報

❸

1/98	画像番号 / トータル枚数
100-0001	フォルダー・ファイル番号（P.236）

メッセージ表示

画面に表示される、主なメッセージの意味と対処法です。

■カードについて

メモリーカードエラー / フォーマットしますか？

- パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマット（P.22）してください。
- 別のカードを入れてお試しください。

リードエラー / ライトエラー / カードを確認してください

- カードが確実に入っているか確認してください。（P.20）
- 電源を切ってからカードを抜き、再びカードを入れてから電源を入れてください。
- 別のカードを入れてお試しください。

カードの書込み速度不足のため記録を終了しました

- 動画の［記録方式］や［画質設定］によって必要なカードのスピードクラスが異なります。4K フォトの撮影には、必要なカードのスピードクラスがあります。対応したカードをお使いください。詳しくは、21 ページの「動画撮影や 4K フォトの撮影とスピードクラスについて」をお読みください。
- 推奨のスピードクラスのカード（P.21）を使用しても停止した場合は、データの書き込み速度が低下しているので、バックアップをとりフォーマット（P.22）することをお勧めします。カードの種類によっては、途中で撮影が終了する場合があります。

メモリーカードエラー / このカードは使用できません

- 対応するカードをご使用ください。（P.21）

■バッテリーについて

このバッテリーは使えません

- パナソニック純正バッテリーをお使いください。それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- バッテリーの端子部のごみなどを取り除いてください。

■Wi-Fi 機能について

アクセスポイントの接続に失敗しました / 接続できませんでした / 送信先が見つかりませんでした

- 本機に設定した無線アクセスポイント情報が間違っています。認証方式・暗号化方式・暗号化キーをご確認ください。(P.225)
- 他の機器の電波により、無線アクセスポイントに接続できない場合があります。無線アクセスポイントに接続している他の機器や、2.4 GHz の周波数を使用する機器の使用状況をご確認ください。

通信できませんでした。時間を空けて再度実行してください。/ ネットワークが切断されました。送信を中止しました。

- 無線アクセスポイントの電波が弱くなっています。無線アクセスポイントの近くで接続してください。
- 無線アクセスポイントによっては、一定時間を経過すると自動的に接続が切断される場合があります。もう一度接続してください。

通信できませんでした

- スマートフォン側の Wi-Fi 設定で、接続するアクセスポイントを本機に変更してください。

サーバと接続できませんでした

- ルート証明書を更新するメッセージが表示された場合は、ルート証明書の更新に同意してください。

■その他

消去できない画像があります / この画像は消去できません

- DCF 規格(P.134)に準拠していない画像は消去できません。パソコンなどに必要なデータを保存してから、本機でフォーマットして消去してください。(P.22)

この画像には設定できません

- DCF 規格(P.134)に準拠していない画像は［プリント設定］、［タイトル入力］、［文字焼き込み］などができません。

電源を入れ直してください / システムエラー

- 電源を入れ直してください。(それでも表示されるときは、お買い上げの販売店にご相談ください)

Q&A 故障かな？と思ったら

①まず、以下の方法（P.252 ～ 258）をお試しください。

それでも解決できない場合は、
②［セットアップ］メニューの［設定リセット］（P.176）を行うと症状が改善する場合があります。
③また、パナソニックのサポートサイトで最新のサポート情報をご確認いただけます。
http://panasonic.jp/support/dsc/
④これらの処置をしても直らないときは、付属冊子「取扱説明書」の「保証とアフターサービス」をお読みください。

■電源、バッテリー

充電ランプが点滅している。

- 温度が極端に高い、または低いところで充電している。
  → 周囲の温度が 10 ℃～ 30 ℃（バッテリーの温度も同様）のところで USB 接続ケーブル（付属）をつなぎ直し、再度充電をお試しください。
- パソコンの給電能力が低い場合は、充電できません。

電源を入れても動作しない。電源を入れてもすぐ切れる。

- バッテリーが消耗している。
  → 充電してください。（P.15）

電源が勝手に切れる。

- ［エコモード］が働いている。（P.173）

バッテリーの消耗が早い。

- ［4K］（4K プリ連写）に設定している。
  → ［4K］（4K プリ連写）で撮影できる状態では、バッテリーの消耗が早くなります。撮影するときだけ［4K］（4K プリ連写）に設定してください。
- 長時間 Wi-Fi 接続を行っている。
  → Wi-Fi 接続中はバッテリーの消耗が早くなります。［エコモード］（P.173）を使うなどして、こまめに電源を切ってください。

■撮影

撮影できない。シャッターボタンを押しても、すぐにシャッターが切れない。

- ［フォーカス / レリーズ優先］が［フォーカス］に設定されている場合は、ピントが合うまで撮影されません。（P.163）

撮影した画像が白っぽい。

- レンズが汚れている。（指紋などの汚れが付いている）
  → 電源を切って、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふいてください。

撮影した画像が明るすぎる。または暗すぎる。

- 不適切な状態で AE ロック（P.83）がかかっている。

1 回の撮影で、複数の画像が撮れるときがある。

- 以下の設定を解除してください。
  - フィルターなし同時記録（P.145）
  - ドライブモード（P.101）
  - ブラケット撮影（P.104）

ピントが合わない。

- 撮影可能範囲から外れている。
- ［フォーカス / レリーズ優先］が［レリーズ］になっている。（P.163）
- ［シャッター半押し AF］が［OFF］になっている。（P.162）
- 不適切な状態で AF ロック（P.83）がかかっている。
- レンズに指紋やほこりなどの汚れがついていると、レンズにピントが合ってしまい被写体にピントが合わない場合があります。

撮影した画像がブレる。手ブレ補正が効かない。

- 暗い場所でシャッタースピードが遅くなり、手ブレ補正が十分に働いていない。
  → 遅いシャッタースピードで撮影するときは、三脚とセルフタイマー（P.103）をお勧めします。

撮影した画像が粗い。ノイズが出る。

- 以下をお試しください。
  → ISO 感度を低くしてください。（P.85）
  → ［フォトスタイル］の［ノイズリダクション］をプラス方向にするか、［ノイズリダクション］以外の各項目をマイナス方向に調整してください。（P.143）

被写体が曲がって撮影される。

- 電子シャッター撮影時、動画撮影時または 4K フォト撮影時、動いている被写体を撮影すると、被写体が曲がって撮影される場合があります。これは、本機の撮像素子である MOS センサーの特徴であり、異常ではありません。

蛍光灯や LED などの照明下で、ちらつきや横しまが出る。



- 本機の撮像素子である MOS センサーの特徴であり、異常ではありません。
- 電子シャッターで写真を撮影している場合は、シャッタースピードを遅くすると横しまが軽減されることがあります。（P.50）
- 動画撮影中、蛍光灯や LED などの照明下でちらつきや横しまが目立つ場合、［フリッカー軽減］（P.159）を設定すると、シャッタースピードを固定することで、ちらつきや横しまを軽減できます。シャッタースピードは［1/50］、［1/60］、［1/100］、［1/120］から選択できます。クリエイティブ動画モード（P.64）でも手動でシャッタースピードを設定できます。

撮影した画像の明るさや色合いが実際と違う。

- 蛍光灯や LED などの照明下での撮影時、シャッタースピードが速くなると、明るさや色合いが多少変化する場合があります。これは光源の特性により発生するものであり、異常ではありません。
- 極端に明るい場所で被写体を撮影したり、蛍光灯、LED、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で撮影すると、色合いや画面の明るさが変わったり、画面に横しまが現れたりすることがあります。

ズームが正常に働かない。

- ［コンバージョン］を［OFF］に設定してください。

4K フォトの撮影が途中で止まる。

- 周囲の温度が高かったり連続で 4K フォトの撮影を行ったとき、［⚠］が表示されたあと、撮影が停止する場合があります。本機の温度が下がるまでお待ちください。

■動画

動画が撮影できない。

- 容量の大きなカードをご使用の場合は、電源を入れたあとしばらくの間撮影できないことがあります。

動画撮影が途中で止まる。

- 周囲の温度が高かったり連続で動画撮影を行ったとき、［⚠］が表示されたあと、撮影が停止する場合があります。本機の温度が下がるまでお待ちください。
- 動画の［記録方式］や［画質設定］によって必要なカードのスピードクラスが異なります。対応したカードをお使いください。詳しくは、21 ページの「動画撮影や 4K フォトの撮影とスピードクラスについて」をお読みください。

4K 動画撮影時、オートフォーカスでピントが合いにくいことがある。

- 高い精度でピントを合わせるために、オートフォーカスの速度を抑えて撮影させる場合に生じる現象ですので、異常ではありません。

動画に「カチッ」、「ジー」などの音が録音される。録音される音声が小さい。

- 静かな環境下での撮影では、絞りやフォーカスなどの動作音が動画に録音されることがあります。これは異常ではありません。動画撮影中のフォーカス動作は［AF 連続動作］(P.128)で［OFF］に設定することができます。
- 動画撮影中にマイクの穴を指で塞ぐと音声が小さく録音されたり、録音されない場合があります。またこのとき、レンズの動作音が録音されやすくなりますのでお気をつけください。

動画に操作音が記録される。

- 操作音が気になるときは、［タッチ静音操作］を使って撮影することをお勧めします。(P.66)

■フラッシュ

発光しない。

- 次の場合は発光しません。
  – フラッシュを閉じている。(P.116)
- ［シャッター方式］を［自動切換］または［メカシャッター］に設定してください。(P.152)
- ［サイレントモード］を［OFF］に設定してください。(P.161)

■モニター / ファインダー

電源が入っているときに、モニター / ファインダーが消える。

- 設定した時間の間に何も操作をしないと、［LVF/ モニター自動 OFF］(P.173) が働き、モニター / ファインダーが消灯します。

一瞬ちらつく、または一瞬画面の明るさが大きく変化することがある。

- シャッターボタンを半押ししたときや、被写体の明るさが変化したときにレンズの絞りが変化することで発生する現象です。故障ではありませんので、安心してお使いください。

［LVF］ボタンを押してもモニターとファインダーが切り換わらない。

- パソコンやプリンターと接続しているときは、本機の画面はモニター表示のみになります。

■再生

再生できない。撮影した画像がない。

- カメラにカードが入っていない。
- パソコンでファイル名を変更した画像ではないですか？その場合、本機で再生することはできません。
  →パソコンからカードに画像を書き込む場合は、ソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」(P.233) を使うことをお勧めします。
- ［再生モード］を［通常再生］に設定してください。(P.179)

撮影した画像の赤い部分が黒く変色している。

- デジタル赤目補正（［ ］、［ ］）が動作しているとき、赤い部分が黒く補正されることがあります。
  →内蔵フラッシュを閉じる、フラッシュモードを［ ］にする、または［デジタル赤目補正］を［OFF］にして撮影することをお勧めします。(P.153)

■Wi-Fi 機能について

無線 LAN に接続できない。電波が途切れる。無線アクセスポイントが表示されない。

Wi-Fi 接続全般について

- 無線 LAN ネットワークの通信圏内でご使用ください。
- 2.4 GHz 帯の周波数を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器を近くで同時に使用された場合、電波が途切れることがあります。
  → 機器から十分に離してご使用ください。
- バッテリー残量表示が赤く点滅している場合は、他の機器と接続できなかったり、通信が途切れたりすることがあります。（[通信エラー] などのメッセージが表示されます）
- 本機を金属のテーブルや棚に置くと電波に影響し接続しにくくなる場合があります。金属面から離してご使用ください。

無線アクセスポイントについて

- 接続したい無線アクセスポイントが使用可能な状態になっているか確認してください。
- 無線アクセスポイントの電波状況を確認してください。
  → 無線アクセスポイントの近くで接続してください。
  → 無線アクセスポイントの置き場所や向きを変えてください。
- 無線アクセスポイントの設定内容によっては、電波が存在していても表示されないことがあります。
  → 無線アクセスポイントの電源を切って、入れ直してください。
  → 無線アクセスポイントの無線チャンネルが自動で設定されない場合は、手動で無線アクセスポイントの無線チャンネルを 1 ～ 11 チャンネルの中から選び、設定してください。
- 無線アクセスポイントのネットワーク SSID が非通知に設定されている場合、検出されない場合があります。
  → ネットワーク SSID を入力して設定してください。（P.225）もしくは、無線アクセスポイントのネットワーク SSID の非通知設定を解除してください。

スマートフォンの Wi-Fi 設定画面で本機が表示されない。

- スマートフォンの Wi-Fi 設定で、Wi-Fi 機能を OFF にしてから、再度 ON にしてください。

「LUMIX CLUB (PicMate)」の画像を表示すると、最新でない画像が表示される。

- パソコンで編集した場合、撮影日ではなく、更新日時がその画像の日付になります。

Windows 8 のパソコンと Wi-Fi 接続しようとすると、ユーザー名とパスワードが認識されず、接続できない。

- Windows 8 など、OS のバージョンによっては 2 種類のユーザーアカウント（ローカルアカウント /Microsoft アカウント）があります。
  → ローカルアカウントを設定して、必ずローカルアカウントのユーザー名とパスワードを使用してください。

Wi-Fi 接続でパソコンが認識されない。
Wi-Fi 機能を使用してパソコン（Mac/Windows）に接続できない。

- お買い上げ時は「WORKGROUP」というワークグループを使用します。ワークグループの名前を変更している場合は、認識されません。
  →［Wi-Fi 設定］の［PC 接続設定］の［変更する］で、接続するパソコンのワークグループ名へ変更してください。(P.229)
- ログイン名、パスワードが正しく入力されているかご確認ください。
- カメラ本体と接続するパソコンの時計設定が大きくずれている場合、OS によっては接続できない場合があります。
  →カメラ本体の［時計設定］/［ワールドタイム］が、Windows の「日付と時刻」/「タイムゾーン」または、Mac の「日付と時刻」/「時間帯」と合っているか、ご確認ください。大きくずれている場合、合わせてください。

Web サービスに画像を送信できない。

- ログイン情報（ログイン ID/ ユーザー名 / メールアドレス / パスワード）が間違っていないか確認してください。

Web サービスに画像を送信するのに時間がかかる。
画像送信が途中で失敗する。送信できなかった画像がある。

- 画像のサイズが大きすぎませんか？
  →［動画分割］で動画を分割して送信してください。(P.186)
  →［送信サイズ］で画像サイズを小さくして送信してください。(P.208)
- 無線アクセスポイントと離れていると、送信するのに時間がかかる場合があります。
  →無線アクセスポイントの近くで送信してください。
- 送信先により送信できる画像のファイル形式は異なります。(P.206)

Wi-Fi のパスワードを忘れた。

→［セットアップ］メニューの［Wi-Fi 設定リセット］を実行してください。(P.176)
ただし、お客様が［Wi-Fi 設定］で設定した情報もリセットされます。

■テレビ、パソコン、プリンター

テレビに画像が出ない。画面が流れたり色が付かない。

- 正しく接続していない。(P.231)
- テレビの入力切換を外部入力にしていない。

ビエラリンク（HDMI）が働かない。

- 本機の［ビエラリンク］を［ON］に設定していますか？(P.174)
  →接続した機器側のビエラリンク（HDMI）の設定を確認してください。
  →本機の電源を入れ直してください。

パソコンとの通信ができない。

- 本機の［USB モード］を［PC］にしてください。(P.173、235)
- 本機の電源を入れ直してください。

パソコンにカードが認識されない。（SDXC メモリーカードを使用している）

- お使いのパソコンが SDXC メモリーカードに対応しているか確認してください。
  http://panasonic.jp/support/sd_w/
- 接続時にカードのフォーマットを促すメッセージが表示されることがありますが、フォーマットしないでください。
- モニターの［通信中］の表示が消えない場合、電源を切ってから USB 接続ケーブル（付属）を抜いてください。

プリンターに接続してもプリントができない。

- PictBridge 対応機を使用していない。
- 本機の［USB モード］を［PictBridge(PTP)］にしてください。(P.173、237)

プリントすると、画像の端が切れる。

- プリンターにトリミングや縁なし印刷機能がある場合、その設定を解除してプリントしてください。
- 写真の横縦比がプリントする用紙の横縦比と異なる。
  → お店に依頼した場合、16:9 のサイズに対応しているか確認してください。

■その他

レンズ部から音がする。

- 電源を入れたり、切ったりするときにレンズ移動や絞り動作を行う音で、故障ではありません。
- ズーム操作や本機を動かしたときなどに明るさが変化することで自動的に絞り動作を行う音で、異常ではありません。

ズームの動きが一瞬止まる

- EX 光学ズーム時、ズームの動きが一瞬止まりますが、異常ではありません。

暗い場所でシャッターボタンを半押しすると、赤いランプが点灯する。

- ［AF 補助光］を［ON］にしている。(P.163)

本機が熱くなる。

- ご使用時、多少熱くなることがありますが、性能・品質には問題ありません。

時計が合っていない。

- 本機を長期間放置すると、時計がリセットされることがあります。
  → 再度時計を設定してください。(P.25)

ズーム撮影すると画像がわずかにゆがんだり、被写体の周りに実際にはない色が付く。

- 倍率によってわずかにゆがんだり、輪郭などに着色して撮影されることがありますが、異常ではありません。

使用上のお願いとお知らせ

お使いのとき

- 磁気が発生するところや電磁波が発生するところ（電子レンジ、テレビ、スピーカーや大型モーターなど）からはできるだけ離れて使ってください。
  - テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で画像や音声が乱れることがあります。
  - スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、画像がゆがんだりします。
  - マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、画像や音声が乱れることがあります。
  - 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーや AC アダプター（別売：DMW-AC10）、DC カプラー（別売：DMW-DCC6）を一度外してから、あらためて接続し、電源を入れ直してください。
- 電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わないでください。
  - 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影画像や音声が悪くなることがあります。
- 付属のコード、ケーブルを必ず使用してください。別売品をお使いの場合は、別売品に付属のコード、ケーブルを使用してください。また、コード、ケーブルは延長しないでください。
- 本機のそばにクレジットカードなど磁気の影響を受けるものを近づけないでください。データが壊れて使用できなくなることがあります。
- 周囲で殺虫剤や揮発性のものを使うときは、本機にかけないでください。
  - かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがあります。

お手入れのとき

お手入れの際は、バッテリーまたは DC カプラー（別売：DMW-DCC6）、カード（別売）を取り出しておく、または電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、その後、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

しばらく使わないとき

- 電源を切ってからバッテリーとカードは抜いておく。
  （特にバッテリーは、過放電により故障の原因になります）
- ゴムやビニール製品に接触させたままにしない。
- 押し入れなどでは、乾燥剤（シリカゲル）とともに保管する。また、バッテリーは、涼しく（15 ℃～ 25 ℃）、湿気の少ない（湿度 40%RH ～ 60%RH）、温度変化の少ない場所で保管する。
- 1 年に 1 回は充電し、いったん使用して、残量がなくなってから再保管する。
- 長期間使用していないときは、撮影前に各部を点検してから使用してください。

モニター / ファインダーについて

- モニターを強く押さえないでください。画面にむらが出たり、故障の原因になります。
- 寒冷地などで本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後はモニター / ファインダーが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

モニター / ファインダーは、精密度の高い技術で作られていますが、画面上に黒い点が現れたり、常時点灯（赤や青、緑の点）することがあります。これは故障ではありません。モニター / ファインダーの画素については高精度管理をしておりますが、画素欠けするものがあります。またこれらの点は、カードの画像には記録されませんのでご安心ください。

レンズについて

- レンズ部を強く押さないでください。
- レンズ表面に汚れ（水、油、指紋など）がついた場合、画像に影響を及ぼすことがあります。撮影前後は、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。
- レンズを太陽に向けたまま放置すると、集光により故障の原因になります。屋外や窓際に置くときにはお気をつけください。
- 持ち運ぶときは、レンズを収納してください。

バッテリーについて

本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。
このバッテリーは温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または、低くなるほど影響が大きくなります。

- 使用後は、必ずバッテリーを取り出す
  - 取り出したバッテリーはポリ袋に入れ、金属類（クリップなど）から離して保管、持ち運びしてください。
- 出かけるときは予備のバッテリーを準備する
  - スキー場などの寒冷地では撮影できる時間がより短くなります。
  - 旅行をされるときは、現地でバッテリーを充電できるように AC アダプター（付属）と USB 接続ケーブル（付属）も忘れずに準備してください。海外で使う場合は、変換プラグが必要な場合があります。(P.244)
- バッテリーを誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認する
  - 端子部が変形したまま本機に入れると、本機をいためます。

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ
詳細は、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。
ホームページ http://www.jbrc.com

充電式
リチウムイオン
電池使用
Li-ion 20

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。

AC アダプター（付属）について

- AM ラジオからは 1 m 以上離す。（ラジオに雑音が入る原因になります）
- AC アダプター（付属）の内部で音がすることがありますが、異常ではありません。
- 使用後は、必ず電源コンセントから抜いてください。（接続したままにしておくと、最大約 0.1 W の電力を消費しています）

カードやデータについて

● カードやデータの破損を防ぐために
  • 高温や直射日光、電磁波、静電気を避ける。
  • 折り曲げない、落とさない、強い振動を与えない。
  • 使用後や保管、持ち運びするときはケースや収納袋に入れてください。
  • カード裏の端子部に触れない、汚さない、ぬらさない。
● 不適切な取り扱いにより故障した結果、記録したデータが破壊されたり、消滅したりすることがあります。記録したデータの消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
● メモリーカードを廃棄 / 譲渡するときのお願い
  • 本機やパソコンの機能による［フォーマット］や［消去］では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。
  廃棄 / 譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。メモリーカード内のデータはお客様の責任において管理してください。

三脚 / 一脚を使うとき

● 無理な力を加えたり、斜めにねじ止めしないでください。（本体、ねじ穴、定格ラベルの損傷の原因になります）
● 三脚が安定していることを確認してください。（三脚の取扱説明書もお読みください）
● 三脚 / 一脚使用時は、カードやバッテリーが取り出せないことがあります。

個人情報について

個人情報の保護のため、Wi-Fi パスワードや Wi-Fi 機能ロックを設定することをお勧めします。(P.229)
［プロフィール設定］/ 個人認証機能で名前または誕生日を設定した場合は、カメラ内および撮影した画像に個人情報が含まれます。
［サイレントモード］、位置情報の書き込み、シャッター音の変更などの機能のご利用につきましては、被写体のプライバシー、肖像権などに十分ご配慮のうえ、お客様の責任で行ってください。
● **免責事項**
  • 個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。
  個人情報を含む情報の変化、消失が生じても、それらに起因する直接または間接の損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

● **修理依頼または譲渡 / 廃棄されるとき**
  • 個人情報の控えを取ったあと、本機内にお客様が登録または設定した無線 LAN 接続設定等の個人情報を含む情報を［Wi-Fi 設定リセット］/［消去・退会］を行って必ず消去してください。(P.176、221)
  • 個人情報保護のため、設定をリセットしてください。(P.176)
  • メモリーカードは、本機より取り出してください。
  • 修理をすると、設定はお買い上げ時の状態に戻る場合があります。
  • 故障の状態により上記の操作が困難な場合は、お買い上げの販売店までご相談ください。
● **メモリーカードを譲渡 / 廃棄する際は、「●メモリーカードを廃棄 / 譲渡するときのお願い」をお読みください。**(P.262)
● **画像を Web サービスにアップロードするとき**
  • 画像には、タイトル、撮影日時、位置情報など、個人を特定する情報が含まれる場合があります。Web サービスに画像をアップロードする際は、よくご確認のうえ、アップロードしてください。

Wi-Fi 機能について

■本機は無線 LAN 機器としてお使いください

無線 LAN 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用する場合は、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を十分に行ってください。無線 LAN 機器としての用途以外で使用して損害が生じた場合、当社は一切の責任を負いかねます。

■Wi-Fi 機能は日本での利用を前提としています

本機の Wi-Fi 機能は、日本での利用を前提としています。日本国外での使用は、その国の電波関連規制等に違反するおそれがあり、当社は一切の責任を負いかねます。

■電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります

電波によるデータの送受信は、第三者に傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。情報セキュリティーのためにも無線アクセスポイントで暗号化を設定することを強くお勧めします。

■磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください

• 電子レンジ付近など磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。電波が届かないことがあります。
• 2.4 GHz 帯の電波を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器の近くで使用すると、両方の処理速度が低下することがあります。

■利用権限のない無線ネットワークに接続しないでください

本機は、無線 LAN 機能を使用するときに無線ネットワーク環境の自動検索を行います。その際、利用する権限のない無線ネットワーク（SSID※）が表示されることがありますが、不正アクセスと見なされるおそれがありますので、接続しないでください。

※SSID とは、無線 LAN で特定のネットワークを識別するための名前のことです。この SSID が双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

使用上のお願いとお知らせ

- SDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴ は、米国およびその他の国における HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。
- HDAVI Control™ は商標です。
- “AVCHD”、“AVCHD Progressive”、および “AVCHD Progressive” のロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- Dolby、Dolby Audio、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- Adobe は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Pentium は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- iMovie、Mac、Mac OS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- iPad、iPhone、iPod、iPod touch は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
- App Store は Apple Inc. のサービスマークです。
- Android および Google Play は Google Inc. の商標または登録商標です。
- “Wi-Fi CERTIFIED™” ロゴは、“Wi-Fi Alliance®” の認証マークです。
- Wi-Fi Protected Setup™ 識別マークは、“Wi-Fi Alliance®” の認証マークです。
- “Wi-Fi®” は “Wi-Fi Alliance®” の登録商標です。
- “Wi-Fi Protected Setup™”、“WPA™”、“WPA2™” は “Wi-Fi Alliance®” の商標です。
- DLNA, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
- QR コードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。
- 本製品には、ダイナコムウェア株式会社の「DynaFont」を使用しております。DynaFont は、DynaComware Taiwan Inc. の登録商標です。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

使用上のお願いとお知らせ

本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為にかかわるお客様の個人的または非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
（ｉ）画像情報を AVC 規格に準拠して（以下、AVC ビデオ）記録すること。
（ii）個人的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した AVC ビデオを再生すること。
詳細については MPEG LA, L.L.C. ホームページ（http://www.mpegla.com）をご参照ください。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

- 本製品に付属するソフトウェアを無断で営業目的として複製（コピー）したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
- 本製品の使用、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書で説明する製品の外観と仕様は、改良により実際とは異なる場合があります。

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

（1）パナソニック株式会社（パナソニック）が独自に開発したソフトウェア
（2）第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
（3）オープンソースソフトウェア

上記（3）に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。
詳細は、［MENU/SET］ボタン→［セットアップ］→［バージョン表示］→［ソフト情報］で表示されるライセンス条件をご参照ください。

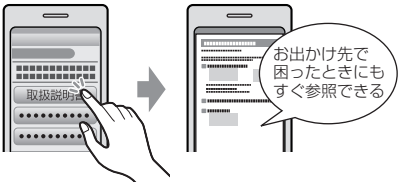
パナソニックスマートアプリのご案内

Panasonic Smart App

パナソニックスマートアプリについて
パナソニックの商品を、スマートフォンで楽しく快適に使うための統合アプリです。

パナソニックスマートアプリで取扱説明書を読む

スマートフォンに取扱説明書を簡単にダウンロードできます。



■カメラとスマートフォンをご自宅の無線アクセスポイント（無線 LAN ルーター）につないで、ご愛用者登録することができます

■カメラを操作できる「Panasonic Image App」などのアプリを一括で管理できます

■お楽しみコンテンツ・サービスの利用や、ソフト更新情報、キャンペーンなど、各種のお得な情報を入手できます

パナソニックスマートアプリのダウンロード方法や使い方はこちら

http://panasonic.jp/pss/ap/

- 「パナソニックスマートアプリ」のご利用にはパナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」のログイン ID が必要です。本アプリからも新規会員登録いただけます。
- 「パナソニックスマートアプリ」は無料です。ダウンロードには別途通信料が発生します。
- インターネット接続ができない環境では、本アプリをご利用になれません。
- スマートフォンの対応 OS やサポート機種は上記サイトにてご確認いただけます。

さくいん

あ行

青空をさわやかに撮る 57
アクセス表示 21
アクティブモード（動画撮影時）..... 110
圧縮率 146
位置情報記録 179
位置情報データ消去 208
位置情報の書き込み 202
イルミネーションをキラキラ撮る 58
色温度設定 86
色空間 ..... 154、236
インターバル撮影 106
インターバル動画作成 186
インテリジェントオートプラスモード 44
インテリジェントオートモード 44
インテリジェント ISO 85
インプレッシブアート 61
動くペットをきちんと撮る 58
後ダイヤル 30
エコモード 173
オートフォーカス 68
オートフォーカスモード 70
オートホワイトバランス（AWB）..... 87
オートレビュー 167
オールドデイズ 61
お気に入り 189
お気に入りから接続する（Wi-Fi）..... 227
お手入れ 259

か行

カーソルボタンロック 41
カード ..... 20、21、262
回折補正 154
ガイドライン表示 165
外部フラッシュ 242
顔・瞳認識 ..... 45、71
拡張 ISO 感度 154
画質設定（動画撮影時）..... 127
画質調整 143
カスタムセット登録 67
カスタムマルチ（AF）..... 73
カスタムメニュー 161
カスタムモード 67
風音キャンセラー 159
画像回転 188
画像サイズ（パノラマ）..... 54
画像表示順 191
画像横縦比 145
カメラ内の画像を送る（Wi-Fi）..... 207
カレンダー再生 138
機器名称（Wi-Fi）..... 229
逆光でしっかり撮る 57
逆光でふんわり撮る 57
逆光補正 46
記録画素数 146
記録可能時間（動画撮影時）..... 23
記録可能枚数 22
記録方式（動画撮影時）..... 127
記録枠表示 167
クイックメニュー 38
クイック AF 162
クオリティ 146
クラウド上限枚数動作 208
クラウド同期サービス 217
クリアレタッチ 183
クリエイティブコントロールモード 59
クリエイティブ動画モード 64
グループ画像 139
クロスフィルター 62
クロスプロセス 62
言語設定 175
光学ズーム 112
個人認証 155
子どもをかわいく撮る 57
コマ撮りアニメ 108
コマ撮りアニメ作成 187
コントラスト ..... 143、148
コンバージョン 241
コンバージョンレンズ 240

さ行

再生 134
再生ズーム 137
再生メニュー 177
再生モード 179
彩度 143
サイレントモード 161
撮影中に画像を送る（Wi-Fi） 206
撮影方向（パノラマ） 54
撮影メニュー 141
三脚 262
サンシャイン 62
残枚数 / 残時間切換 167
シーンガイドモード 56
ジオラマ 62
色調 143
自動シーン判別 45
視度調整 27
絞り優先 AE モード 50
シャープネス 143
シャッター音音色 171
シャッター音音量 171
シャッター半押しレリーズ 162
シャッター半押し AF 162
シャッター方式 152
シャッター優先 AE モード 50
ジャンプスナップ 200
充電 15
消去 140
常時プレビュー（M モード） 166
ショルダーストラップ 14
シルキーモノクローム 61
人物の肌をきれいに撮る 57
人物をきれいに撮る 57
スイーツをかわいく撮る 58
水面をキラキラ撮る 57
ズーム 27、112
ズームマイク 160
ズームマクロ撮影 80
ズームレバー 27、168
ステップズーム 168
スナップムービー 132
スポーツをきれいに撮る 58
スポット測光 147
スマートフォンとつないで使う 195
スライドショー 178
スリープモード 173
スリープモード（Wi-Fi） 173
設定リセット 176
セットアップメニュー 169
セピア 61
ゼブラパターン表示 166
セルフタイマー 103
セルフタイマー自動解除 175
センターマーカー表示 165
送信サイズ 208
送信ファイル形式 208
測光モード 147
ソフトフォーカス 62

た行

タイトル入力 184
ダイナミックモノクローム 61
ダイヤル操作ガイド 167
ダイレクトフォーカス移動 163
宅外 AV 機器設定 222
多重露出 151
タッチ再生送り速度 168
タッチシャッター 34
タッチズーム 115
タッチ静音操作 66
タッチ設定 168
タッチタブ 168
タッチパッド AF 78、168
タッチパネル 33
タッチ AE 35
タッチ AF 76、168
縦位置検出機能 26
縦位置自動回転 189
ダビング 230、237
中央重点測光 147
超解像 149

追尾（AF）..... 72
露付き..... 10
低照度 AF..... 68
デジタル赤目補正..... 153
デジタルズーム..... 114
手ブレ補正..... 110
デモモード..... 176
テレビ再生.....205、230、231
テレビ接続設定..... 174
電子音..... 171
電子音音量..... 171
電子シャッター..... 152
トイフォト..... 62
トイポップ..... 62
動画から写真を作成..... 136
動画再生..... 135
動画撮影.....29、64、125
動画撮影中に写真を撮影する..... 131
動画分割..... 186
動画ボタン.....29、125、168
動画メニュー..... 159
動画露出設定..... 64
時計設定..... 24
ドライブモード..... 101
トラベル日付..... 170
取扱説明書の Web サイト..... 169
トリミング（切抜き）..... 188

な行

認証情報..... 229
認証情報編集..... 191
ネットワークアドレス表示..... 229
ノイズリダクション..... 143

は行

バージョン表示..... 175
ハイキー..... 61
ハイスピード動画..... 65
ハイダイナミック..... 61
ハイライトシャドウ..... 148
ハイライト表示..... 165
パソコンに画像を残す.....212、233
発光禁止..... 116
バッテリー.....15、261
花をふんわり撮る..... 58
パノラマ設定..... 54
パノラマモード..... 54
番号リセット..... 175
ピーキング..... 164
ビエラリンク.....174、232
比較明合成..... 182
ヒストグラム表示..... 165
日付プリント.....190、239
ピント.....28、68、128
ピント送り..... 133
ピンポイント AF 時間..... 162
ピンポイント AF 表示..... 162
ピンポイント（AF）..... 75、77
ファイル番号.....175、236、249
ファインダー.....27、245
ファンクションボタン..... 40
ファンタジー..... 62
フィルター効果.....59、143、144
フィルター設定..... 144
フィルターなし同時記録..... 145
風景をきれいに撮る..... 57
フェード..... 132
フォーカスエリア選択..... 41
フォーカス合成..... 99
フォーカスセレクト..... 98
フォーカスセレクト撮影..... 97
フォーカス / レリーズ優先..... 163
フォーマット..... 22
フォトスタイル..... 142
フォルダー番号.....175、236、249

ブラケット撮影 104
フラッシュ 45、116
フラッシュ光量調整 122
フラッシュシンクロ 121
フラッシュ設定 118～124
フラッシュモード 119
ブリーチバイパス 62
フリッカー軽減 159
プリント 210、237
プリント設定 190
プリント枚数 190、239
プレビューモード 52
プログラムシフト 49
プログラム AE モード 49
プロテクト 190
プロフィール設定 158
ボケ味コントロール 48、63
ポップ 61
ほのぼのした雰囲気で撮る 57
ホワイトバランス 86
ホワイトバランス微調整 87
ホワイトバランスブラケット 88

ま行

マクロ撮影 80
マニュアルフォーカス 81
マニュアル露出モード 51
マルチ再生 137
マルチ測光 147
メカシャッター 152
メニュー位置メモリー 174
メニューインフォメーション 174
メニューガイド 168
メニュー背景色 174
文字入力 43
文字焼き込み 185
モニター 245
モニター輝度 172
モニター撮影情報画面 31、38、40、247
モニター調整 172
モニター表示スタイル 31
モニター優先（再生） 172
モノクローム 61
モノクロで撮る 58
モノクロライブビュー 166

や行

夜景をアーティスティックに撮る 57
夜景を暖かく撮る 57
夜景をきれいに撮る 57
夜景を手持ちで撮る 58
夜景をバックに人物をきれいに撮る 58
夕焼けを印象的に撮る 57
夕焼けを幻想的に撮る 57
夜空をクールに撮る 57

ら行

ライブビューモード 171
ラフモノクローム 61
リサイズ（縮小） 187
リモート撮影 200
料理をおいしそうに撮る 58
履歴から接続する（Wi-Fi） 227
レトロ 61
連写 102
連写速度 102
レンズ 260
レンズ位置メモリー 168
レンズキャップ 13
レンズ収納 168
ローキー 61
露出ブラケット 105
露出補正 84
露出補正リセット 175
露出補正連動 122
露出メーター 167

さくいん

わ行

ワールドタイム..... 169
ワイヤレスフラッシュ..... 123
ワイヤレスプリント..... 210
ワンプッシュ AE..... 53
ワンポイントカラー..... 62

英数字

1 点（AF）..... 75
1 枚消去..... 140
49 点（AF）..... 73
4K 動画..... 125、230
4K フォト..... 89
4K フォト一括保存..... 182
4K プリ連写..... 89、90
4K ライブクロップ..... 129
4K 連写..... 89、90
4K 連写ファイル..... 90、91
4K 連写（S/S）..... 89、90
AC アダプター
..... 17、242、244、261
AF 補助光..... 163
AF マクロ撮影..... 80
AF 連続動作（動画）..... 128
AFC..... 69、128
AFF..... 69、128
AF-ON..... 83
AFS..... 69、128
AFS/AFF/AFC..... 69
AF/AE ロック..... 83
AF/AE ロック維持..... 162
AF/AE ロック切換..... 83
AF+AE..... 79
AF+MF..... 163
AV 機器（Wi-Fi 接続）..... 211
AVCHD..... 127
AVCHD Progressive（プログレッシブ）..... 127
DC カプラー..... 242
DCF 規格..... 134
EX 光学ズーム..... 112
Fn（ファンクション）ボタン設定..... 40
HDAVI Control™（コントロール）..... 232
HDMI 出力解像度（再生時）..... 174
HDMI マイクロケーブル..... 230 ～ 232
HDR..... 150
i 手持ち夜景..... 46
iA ズーム..... 113
iD レンジコントロール..... 149
i HDR..... 47
Image App..... 195
iOS..... 195
IP アドレス..... 229
ISO 感度..... 85
ISO 感度上限設定..... 85、153
ISO 感度ステップ..... 153
i.ISO（インテリジェント ISO）..... 85
LUMIX CLUB（ルミックス クラブ）(PicMate（ピクメイト）)..... 218
LVF 調整..... 172
LVF 表示スタイル..... 31
LVF/ モニター自動 OFF..... 173
MAC アドレス..... 229
MC プロテクター..... 243
MF..... 81
MF アシスト..... 81、164
MF アシスト表示..... 164
MF ガイド..... 81、164
MP4..... 127
ND フィルター..... 243
PC 接続設定..... 229
PHOTOfunSTUDIO..... 233
PicMate（ピクメイト）設定..... 218、219
PictBridge（ピクトブリッジ）..... 173、237
PL フィルター..... 243
Q.MENU（クイックメニュー）..... 38、39
RAW..... 146
RAW 現像..... 180
SD スピードクラス..... 21
TTL..... 118
UHS スピードクラス..... 21

USB 接続ケーブル .....235、237
USB モード.....173
Web サービス 214
Wi-Fi.....192
Wi-Fi 機能ロック.....229
Wi-Fi 設定 229
Wi-Fi 設定リセット.....176
Wi-Fi パスワード.....229
WPS.....224、226

パナソニック株式会社　アプライアンス社
〒 525-8520　滋賀県草津市野路東２丁目３番 1-1 号
© Panasonic Corporation 2017